〔資　料〕

# 昭和女子大学図書館蔵『徒然草古今鈔』

## ―解題・影印―

齋藤　彰

### 【解　題】

昭和女子大学図書館蔵『徒然草古今鈔』（和九一四・四五／一〇七／一〜八（二巻一冊欠））。整版袋綴七冊。欠冊の第二冊については、国文学研究資料館蔵ＭＦ（二四四・二五九／一）、大阪女子大学図書館旧蔵（九一四・四五・〇一〜〇三）による。表紙は、紺地雷文繋ぎ蓮華唐草の押型。縦二七・四糎、横二〇・四糎。外題は、表紙左上の子持ち枠刷題簽（縦一八・三糎、横三・五糎）に「徒然草古今鈔　一（〜八）」とある。第一冊の題簽が破損しているため、「一」を打ち付けに朱書きする。内題はなし。本文料紙は楮紙。見返し共紙。遊紙は首尾共になし。墨付は第一冊四〇丁。ただし33丁表と34丁表の重複、33丁裏と34丁裏の重複、計一丁の重複がある（挿絵七図）。第二冊三九丁（挿絵六図）、第三冊三九丁（挿絵八図）、第四冊三〇丁（挿絵四図）、第五冊二八丁と表紙裏に挿絵、計二九丁（挿絵七図）、第六冊二二丁と裏表紙見返し、計二三丁（挿絵四図）、第七冊三一丁（挿絵二図）、第八冊二二丁と裏表紙見返し、計二三丁（挿絵二図）、全二五三丁（挿絵全四〇図）[註1]。いろは順によるのど丁付がある。第一冊―「一初」〜「一ふ」、「一こ終」（四〇丁裏、他本にあり）、第三冊―「三い」〜「三て終」、第四冊―「四ノい」〜「四ノく終」、第五冊―「五初」〜「五ノゐ終」、第六冊―「六ノい」〜「六ノね」、第七冊―「七ノい」〜「七ノま終」、第八冊―「八ノい」〜「八ノな」。挿絵の丁付にはどの冊も「ノ」がないこと、第一冊、第二冊、第三冊の丁付は「ノ」が入っていないこと、第四冊、第五冊、第六冊、第七冊、第八冊の丁付には「ノ」が入っていることが認められる。一面下段の本文八行、上段の注二四行。註は、『野槌』（「野」）、未詳註（「愚明」）に自註『古今鈔』（「鈔」）を加えたものである。第一冊について、「一初一」（2丁表）から「一初三」（4丁表）までは『野槌』や「愚明」『古今鈔』の註を引き、「一初三」（4丁裏）には「卜部系図」（「鈔」）を載せ、所謂本文は「一い」（5丁表）から始まる。章段区分は漢数字（一〜二四三）と合点による。漢字・平仮名交じり。四周単辺の匡郭は縦二四・四糎、横一七・八糎。第八冊末尾に「萬治元戊年／極月中旬　大和田九左衛門板行」の刊記がある。萬治元年（一六五八）刊。首に「小松操／図書記」陽刻方形朱印（一・八糎）。日本大学文理学部図書館蔵（Ｗ九一四・四五〇九三）[註2]八冊、早稲田大学図書館蔵（へ10　０２２６２）八冊がある。

次に、註1「4　萬治元年（一六五八）刊『徒然草古今鈔』八巻八冊の挿絵（26）」を参照して、挿絵の章段別一覧を示し、絵の構図や本文との

関連を、[註3]（22）慶安五年（一六五二）跋『なぐさみ草』の挿絵と比較して略述する。

**第一冊**

序段　第1図（1丁表・一初）
絵（22）1と同構図。全体にやや縮小し、四辺にゆとりがある。線が細い。
第三段　第2図（10丁表・一ほ）
絵（22）4と同構図。襖が二枚から三枚に増え、鳥三羽から四羽に増やして描く。枕に三本線が入る。
第四段　第3図（10丁裏・一ほ）
絵（22）5と同構図。寺参りする武家の表情が心配そうに眉を寄せて描かれている。第五段冒頭の「不幸に愁にしづめる人」と関連するか。
第一二段　第4図（21丁表・一よ）
絵（22）13と同構図。貴人の眼の描き方が、黒点から釣目に変わる。扉に欠けていた鋲一つを補う。
第一三段　第5図（21丁裏・一よ）
絵（22）14と同構図。庭木は松・紅葉。左肩に外題する袋綴本を畳上に積み上げる。僧衣の様を描く白線が太くなっている。
第一四段　第6図（25丁表・一そ）
絵（22）15と同構図。四辺近くの背景となる雲形・木・草花などを加える。
第一五段　第7図（25丁裏・一そ）
絵（22）16と同構図。童の髻を白くする。僧は草鞋から足袋にかわる。

**第二冊**（昭和女子大学蔵　欠冊）

第二五段　第8図（3丁表・二ろ）
絵（22）27と同構図。左上の庭石二個を省略する。縁側の右側の破損を省略する。
第二六段　第9図（3丁裏・二ろ）
絵（22）28と同構図。庭木は柳。切妻屋根の家屋は、荒廃した昔の恋人の家。第二六段の本文は次丁の「二は」から始まる。
第四八段　第10図（22丁表・二ね）
絵（22）47と同構図。烏帽子に白線で縁どりをする。
第四九段　第11図（22丁裏・二ね）
絵（22）48と同構図。酷似するが、門の屋根の曲線が異なる。
第五八段　第12図（33丁表・二ま）
絵（22）42と同構図。障子戸や板戸が余分に描かれている。第四二段の挿絵（行雅僧都の病床姿）を「一仏道をねがふといふは、別事なし。いとまある身になりて、世の事を心にかけぬを第一の道とす。」の心身閑暇の僧侶の姿として応用する。
第五九段　第13図（33丁裏・二ま）
絵（22）54と同構図。第五九段の本文は次丁の「二け」から始まる。

**第三冊**

第六五段　第14図（2丁表・三い）
絵（22）2を応用した構図。「此比の冠は、昔よりははるかにたかく成たるなりとそある人おほせられし。古代の冠桶をもちたる人は、はたをつきて今はもちゆるなり。」の本文に適うように、（22）2の図から馬と牛車を除いた。板戸を継ぎ足す。
第六六段　第15図（2丁裏・三い）
絵（22）58と同構図。襖絵の飛雁を三羽多く描く。第六六段の本文は次丁の「三ろ」から始まる。
第七七段　第16図（15丁表・三わ）
絵（22）65と同構図。聖法師の「言ひ入れ」ている様子を眼の表情で示す。僧衣が掠れている。
第七九段　第17図（15丁裏・三わ）
絵（22）66と同構図。三猿の毛がきが荒く、〈言わざる〉の腕の様子が分かりにくい。
第八四段　第18図（21丁表・三そ）

絵（22）69と同構図。食事を運ぶ印度の僧の眼を線描きにして、柔和な表情にする。

第八五段　第19図（21丁裏・三そ）

絵（22）にはない挿絵。町人などの旅人を刀を抜いて襲う武士。背景は遠山。「狂人のまねとて、大路をはしらば、則狂人也。悪人のまねとて、人をころさば、悪人也。」の絵画化。第八五段の本文は、次丁の「三つ」から始まる。第八七段の挿絵（22）71の応用か。

第八八段　第20図（26丁表・三ら）

絵（22）にはない挿絵。第九五段の挿絵（22）77の応用。或者（狩衣姿）が或人（直衣姿）に小野道風筆『和漢朗詠集』について尋ねている図。絵（22）77の烏帽子、直垂を省き、文箱・手箱を書物に改める。他の構図は同じである。

第八九段　第21図（26丁裏・三ら）

絵（22）72と同構図。

**第四冊**

第一一五段　第22図（12丁表・四る）

絵（22）91と同構図。弔う武士や僧侶の眼が切れ長に描かれている。

第一一七段　第23図（12丁裏・四る）

絵（22）92と同構図。左端に草葉を添える。

第一二五段　第24図（20丁表・四そ）

絵（22）98と同構図。門の右端を加える。

第一二八段　第25図（20丁裏・四そ）

絵（22）99と同構図。随身の眼を引目で描く。近習の狩衣の模様がやや異なる。

**第五冊**

第一三七段　第26図（表表紙見返し・五初）

絵（22）103と同構図。草庵の屋根の茅葺きの描写がやや写実的になる。

第一三七段　第27図（9丁表・五ち）

絵（22）にはない構図。第二三〇段の挿絵（22）148の応用。囲碁に興ずる殿上人達（三名）の図。（22）148の御簾をかかげてのぞく未練の狐を除く。「見ごといとをそし。其程は桟敷不用なりとて、おくなる屋にて、酒のみ物くひ、囲碁・双六などあそびて、」の絵画化。第一三九段に挿絵を配置したのは、庭木に松が描かれているので、「家にありたき木は松・さくら。」に引きつけられたためであろう。

第一三七段　第28図（9丁裏・五ち）

絵（22）にはない構図。第二三一段の挿絵（22）149の応用。眼を瞑る貴人達（四名）。（22）149の園の別当入道の金箸と庖丁を持つ手を除き、まな板・鯉・器を除く。「都の人のゆゝしげなるは、睡ていとも見ず。」の絵画化。狩衣の模様がやや異なる。

第一四一段　第29図（16丁表・五か）

絵（22）106と同構図。門の屋根の金具が籠目に変わる。門の屋根は切れずに、右端まですべて描く。

第一四四段　第30図（16丁裏・五か）

絵（22）107と同構図。明恵上人が右手の人差し指で馬を指していることが明瞭に描かれる。

第一四九段　第31図（21丁表・五そ）

絵（22）108と同構図。伺候する侍の直垂の模様が異なる。

第一五二段　第32図（21丁裏・五そ）

絵（22）109と同構図。日野家の侍の直垂の模様が三つ鱗に変わる。下人の着物の絵柄も三つ星に変わる。

**第六冊**

第一七〇段　第33図（5丁表・六に）

絵（22）にはない挿絵。第三二段の挿絵（22）33の応用。狩衣姿の貴人と童・仕丁各一人、見送る主人（貴人）。「さしたる事なくて、人のがりゆくは、よからぬこと也。用

ありて行たりとも其ことはてなばとくかへるべし。」あるいは「其事となきに、人の来りて、長閑に物語して帰りぬる、いとよし。」の絵画化。（22）33の垣間見をする僧体の兼好、満月を除く。

第一七一段　第34図（5丁裏・六に）
絵（22）115と同構図。左下の女房の桂の模様を九曜に似たものに変える。

第一八〇段　第35図（19丁表・六れ）
絵（22）120と同構図。童の着物の模様を省略し、左義長の中央に燃え上がる炎を省略する。

第一八一段　第36図（19丁裏・六れ）
絵（22）121と同構図。狩衣や袴の模様を簡略化もしくは省略する。

**第七冊**

第二〇九段　第37図（18丁表・七れ）
絵（22）135と同構図。刈田狼藉をする使用人（二名）の持つ鎌を黒く描き、強調する。稲穂を左手につかむ様を省き、写実性が弱まる。

第二一〇段　第38図（18丁裏・七れ）
絵（22）73と同構図。第九〇段の乙鶴丸と対面する大納言法印の挿絵を呼子鳥について稚児に教える高僧の図としたか。第二一〇段の本文は次丁の「七ノろ」から始まる。「よぶこ鳥は、春の物なりとばかりいひて、いかなる鳥共さだかにしるせるものなし。ある真言書の中に、よぶこ鳥なく時、招魂の法をばおこなふ次第あり。是は鵺なり。万葉集の長哥に、『霞たつながき春日の』などつゞけたり。鵺鳥も喚子鳥のことざまに通てきこゆ。」という章段全体からの連想による絵画化。稚児の装束の模様を簡略化する。

**第八冊**

第二四二段　第39図（21丁表・八ね）
絵（22）102と同構図。第一三五段の挿絵（近習の人々や女房も同席している御前で、資季大納言入道が具氏宰相中将の謎々の答えにつまっている場面）を「楽欲するところ、一には名也。名に二種あり。行跡と才芸とのほまれなり。」の才芸の誉れを求める一例としたもの。

第二四三段　第40図（21丁裏・八ね）
絵（22）157と同構図。空から降りる仏の左側に雲形が加えられている。

以上の四〇図の挿絵をみると、ほとんど『なぐさみ草』の挿絵を縮小模写して、同段の挿絵としたり（三一例）、他の章段の挿絵に転用したり（12 38 39、三例）一部分を省略して応用する（14 20 27 28 33、五例）。なお、第19図のように、新しく創造した挿絵も稀にある。本文を絵画化するに際しての対象や機能の傾向は、（一）章段全体のイメージ（1 20 30 31 35 36 37）、（二）章段の冒頭部分（18 29 34）、（三）章段の末尾部分（なし）、（四）章段からの連想（38 39）、（五）兼好の主張の明確化（2 3 4 5 6 7 8 16 19 26 33）、（六）論証の明確化（11）、（七）要所の文句・文意の明確化（10 12 13 14 15 21 22 24 25 27 28 32）、（八）会話・言説の明確化（40）、（九）歌意の明確化（9）、（十）見立てによる文意の理解（17 23）が認められ、およそ主張や文意の明確化を意図している。この『なぐさみ草』の挿絵からの選択傾向は、萬治三年（一六六〇）刊十行絵入本『つれ〴〵草』（29）[註4]でも同様であるが、両者に共通する挿絵は少ない（10 21 29 35）。

註1　齋藤　彰「徒然草版本の挿絵史（二）」（「学苑」七三九号　平成一四年二月）

「4　萬治元年（一六五八）刊『徒然草古今鈔』八巻八冊の挿絵（26）」二二〜二七頁参照。

2　辻勝美編『日本大学文理学部図書館所蔵『徒然草』和本目録』（二〇〇五年一一月）「30徒然草古今鈔」四一頁参照。

3　齋藤　彰『徒然草の研究』（風間書房　平成一〇年二月）〈資料編〉所載の「徒然草の近世期刊本・注釈書書目」の通し番号。

4　註3参照。

【影　印】

『徒然草古今鈔』

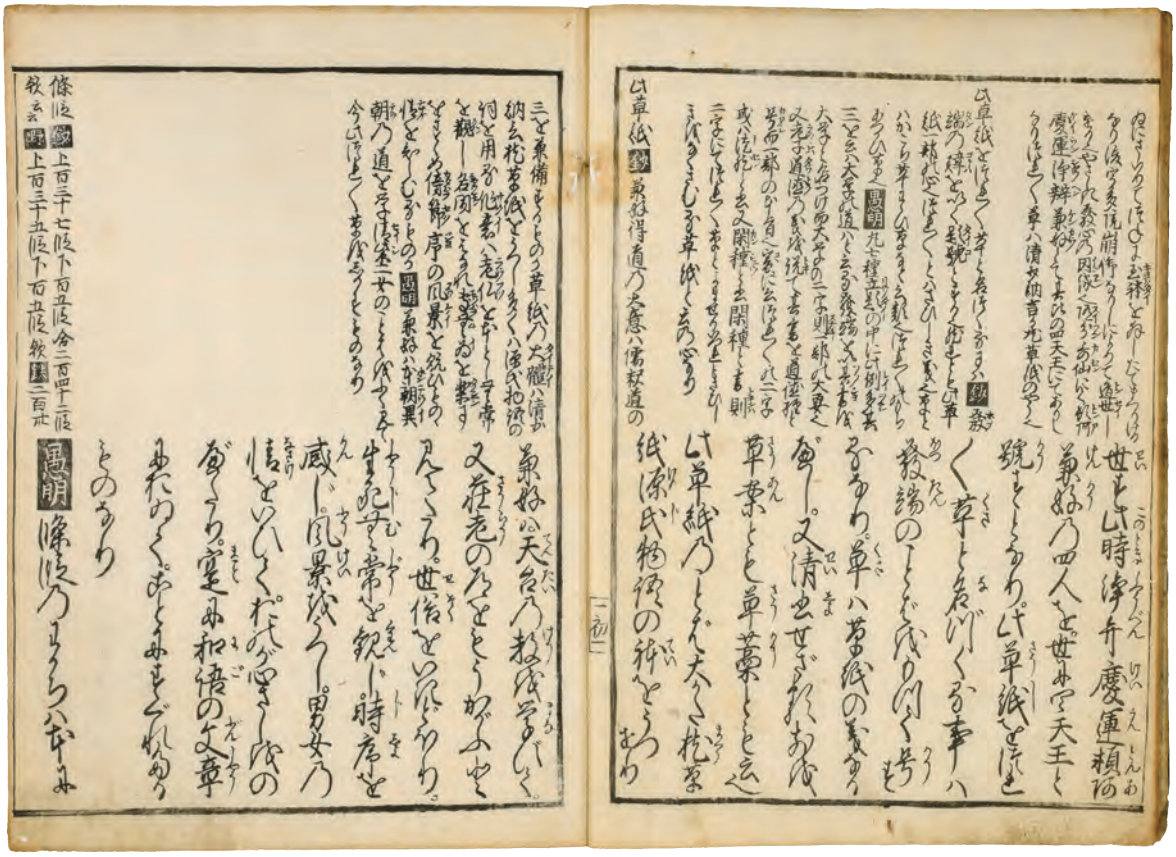
徒然草古今鈔　一

第一冊　表表紙

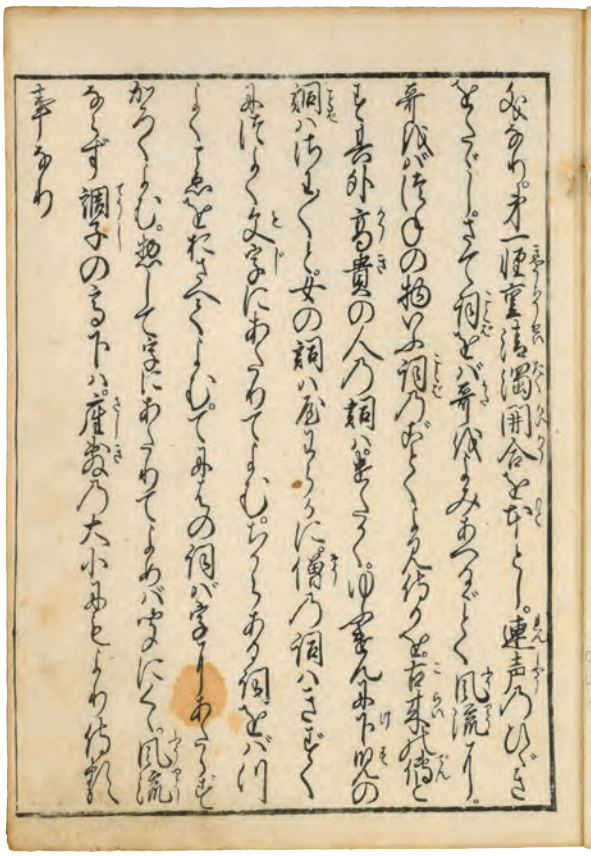
第一冊　１丁表　第１図

第一冊　表表紙見返し

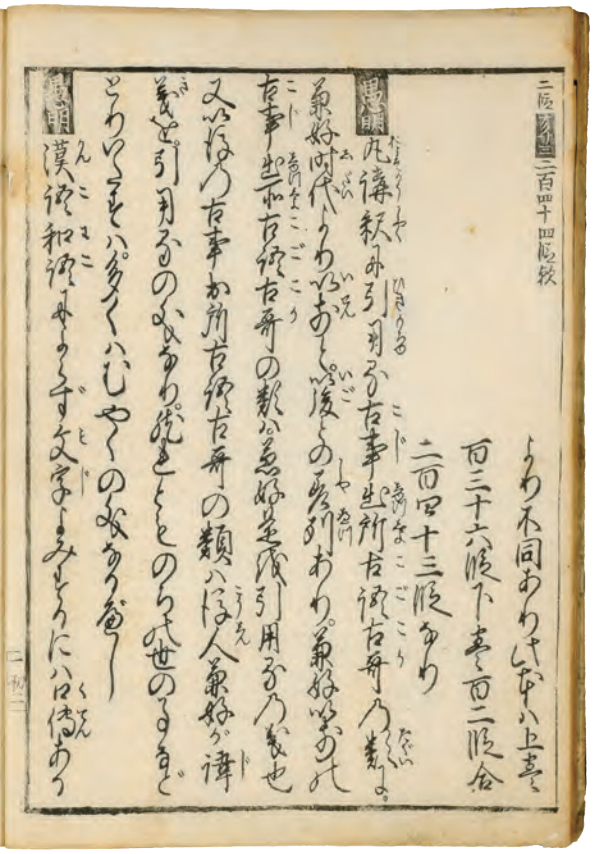
第一冊　1丁裏　　第一冊　2丁表



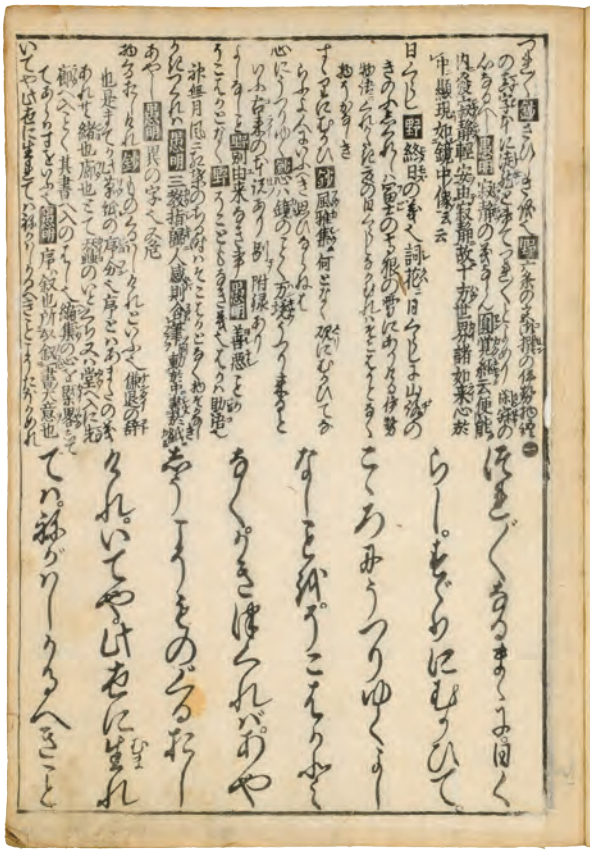
第一冊　2丁裏　　第一冊　3丁表



第一冊　4丁表

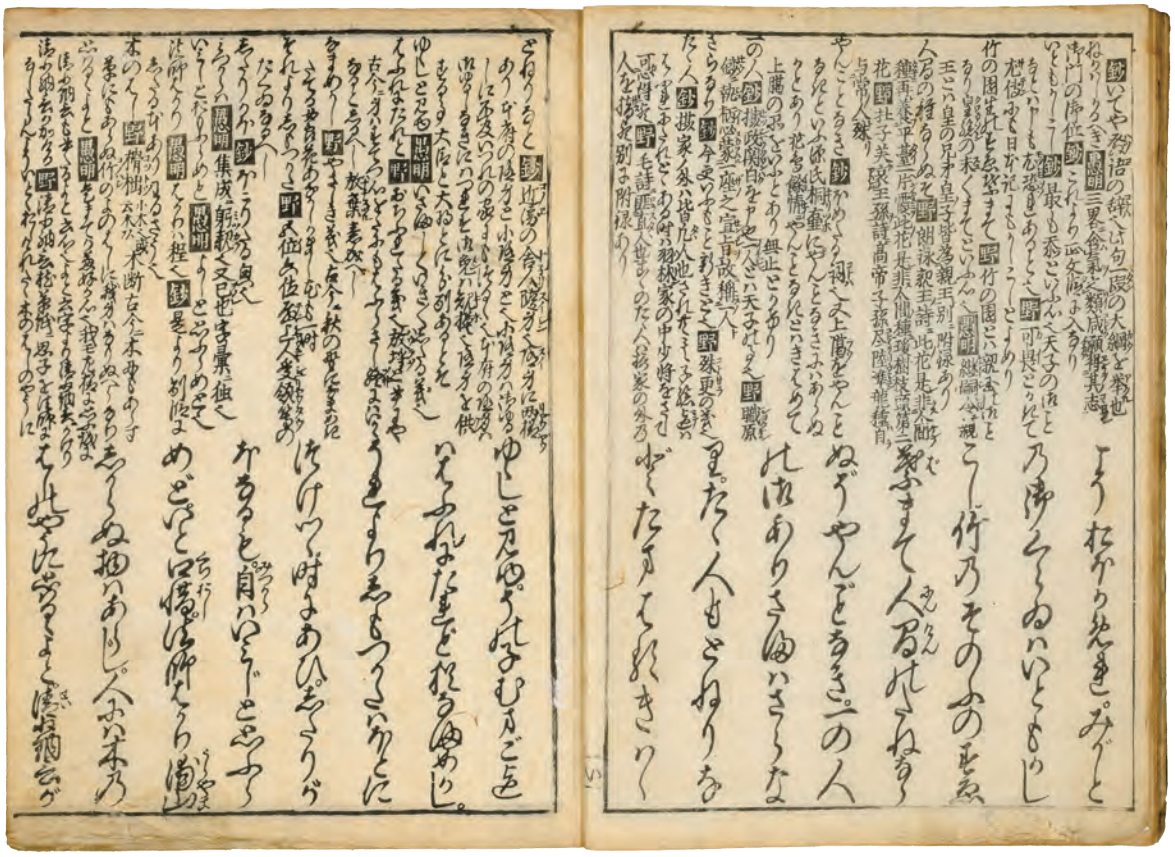


第一冊　3丁裏



第一冊　5丁表

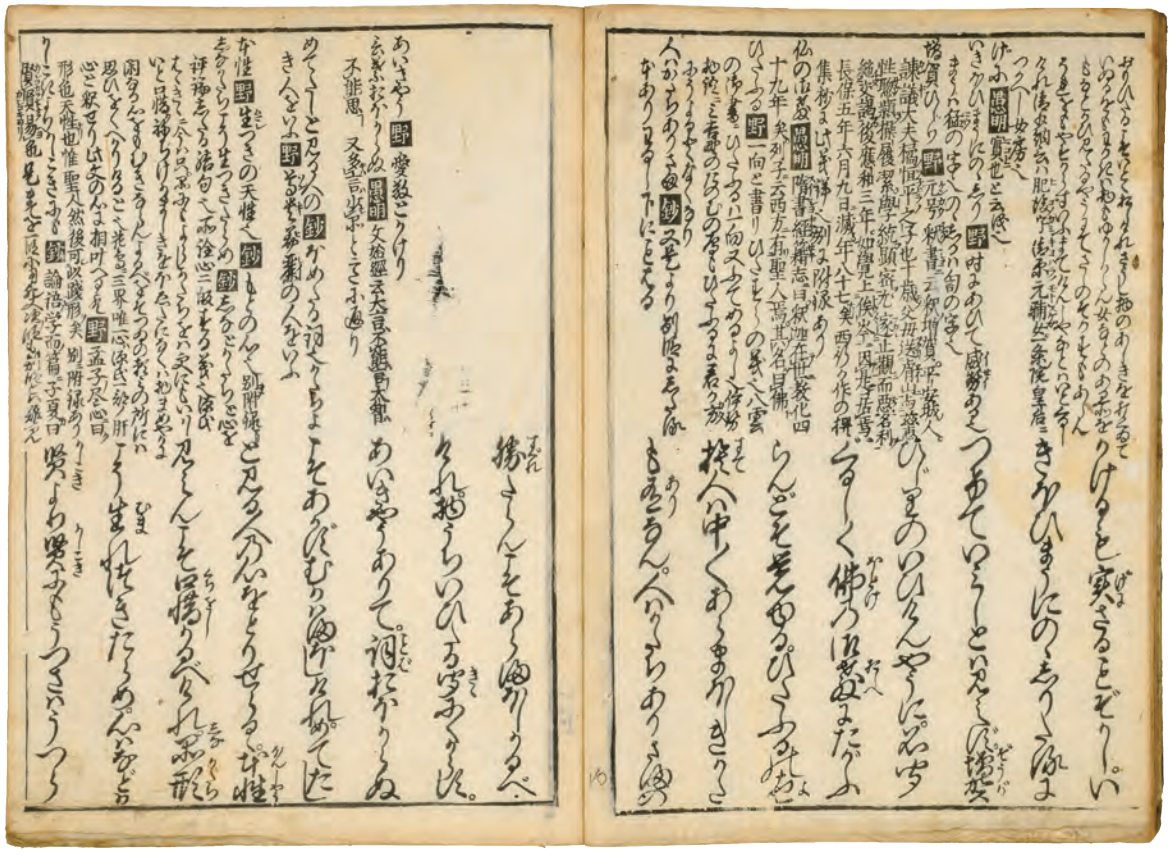
第一冊　4丁裏



第一冊　5丁裏



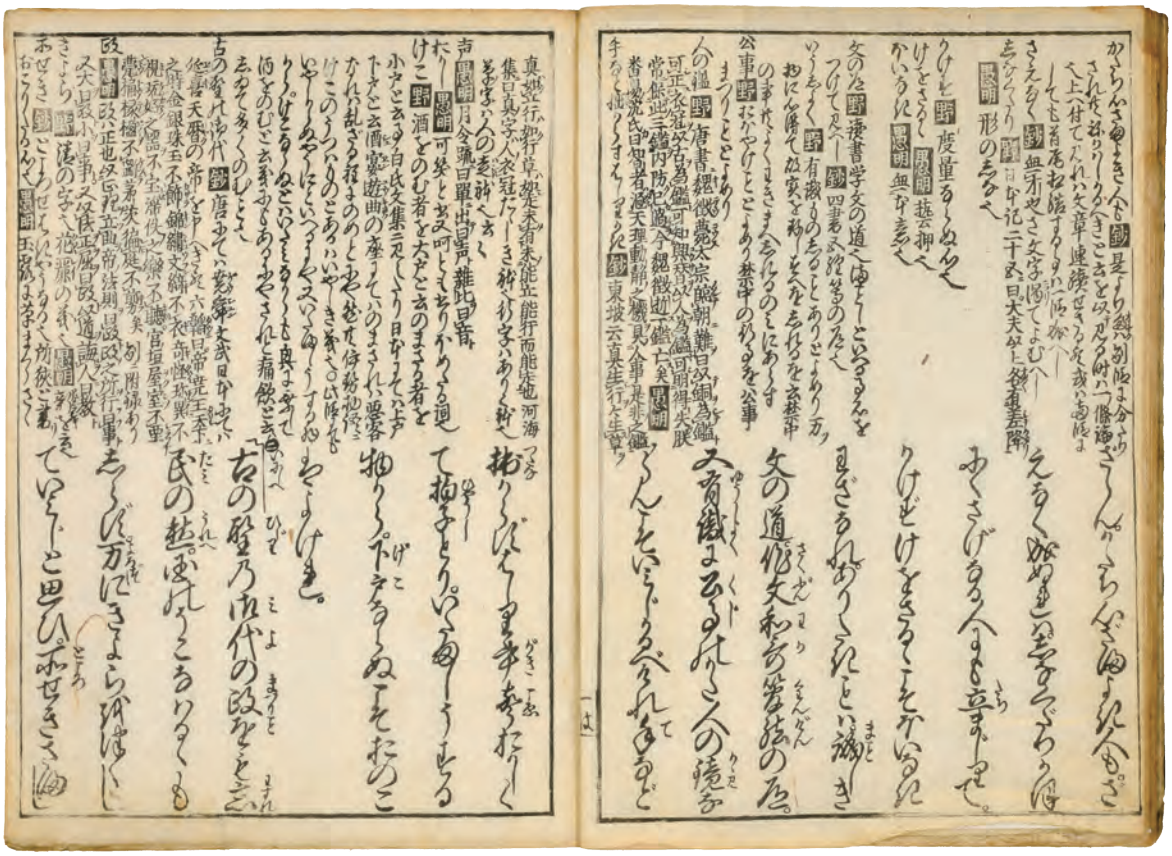
第一冊　6丁表



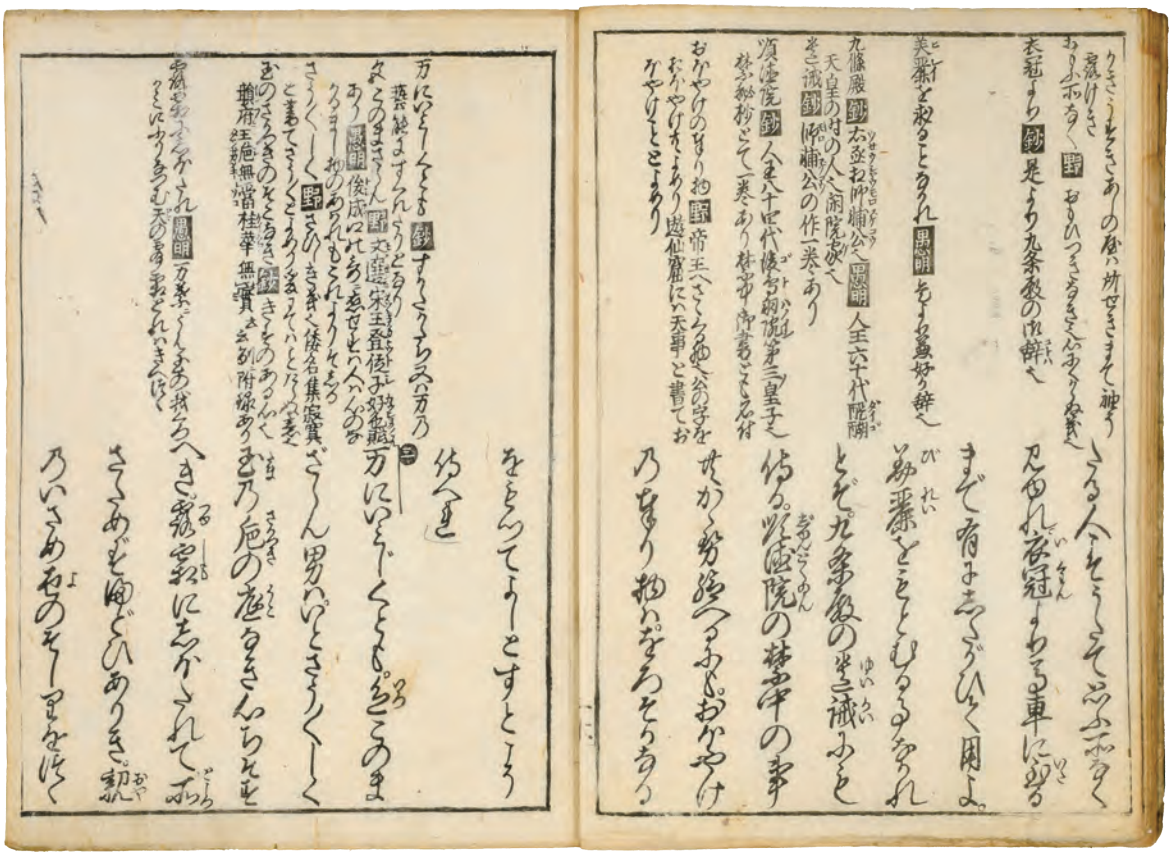
第一冊　6丁裏



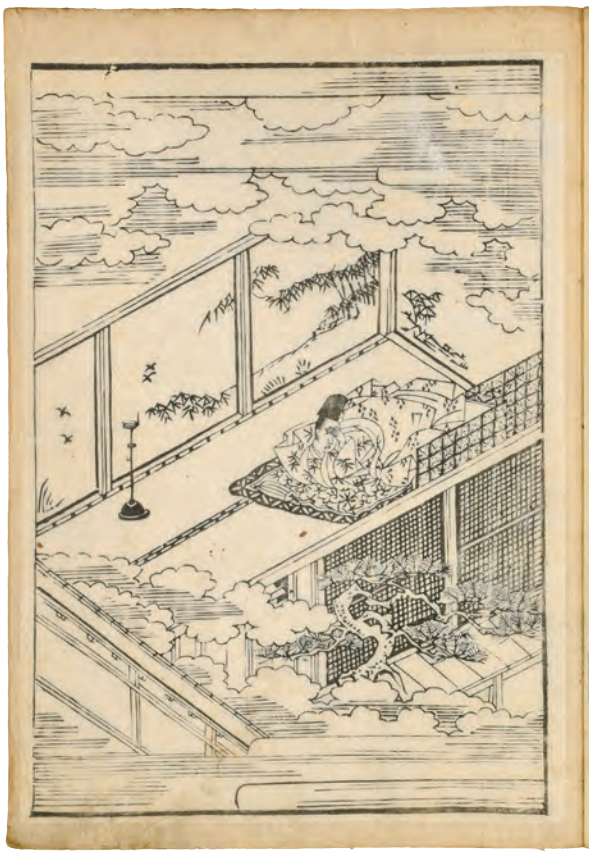
第一冊　7丁表



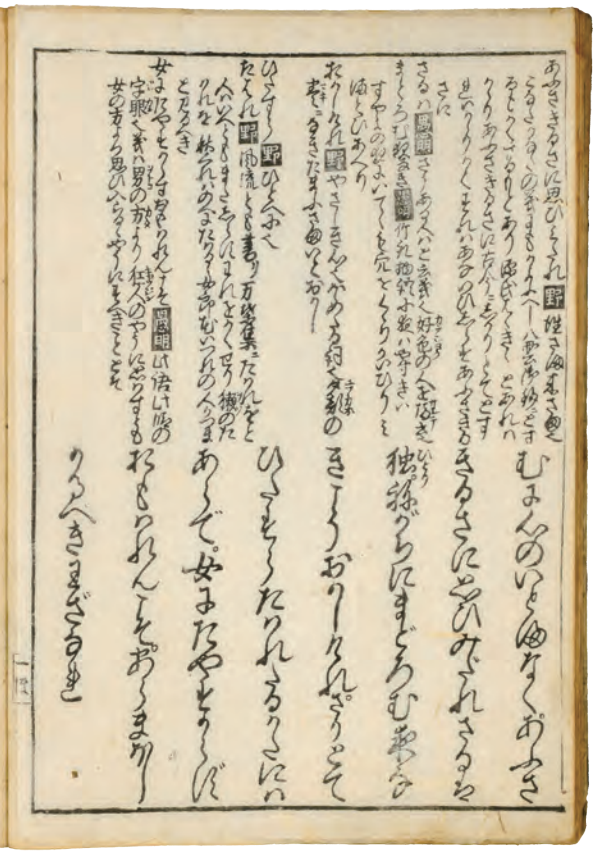
第一冊　7丁裏　　第一冊　8丁表



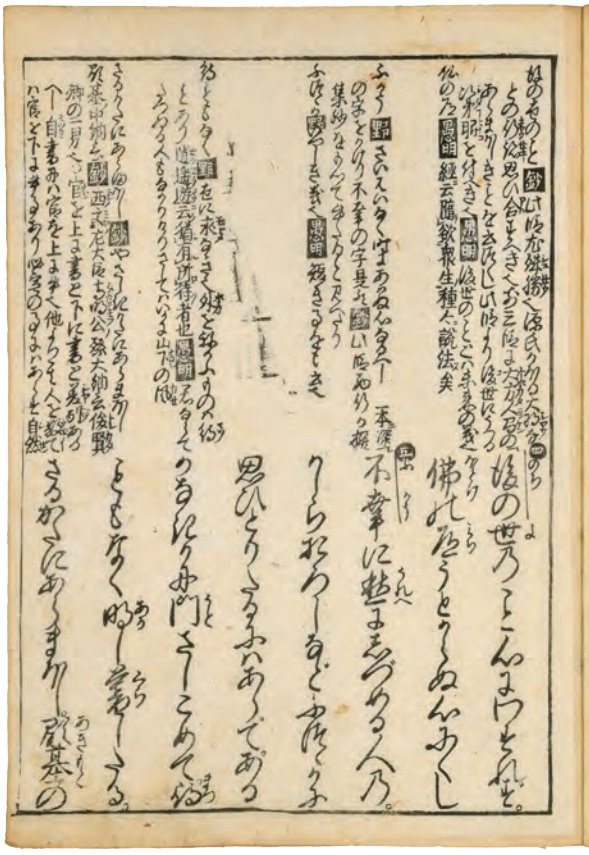
第一冊　8丁裏　　第一冊　9丁表



第一冊　10丁表　第2図

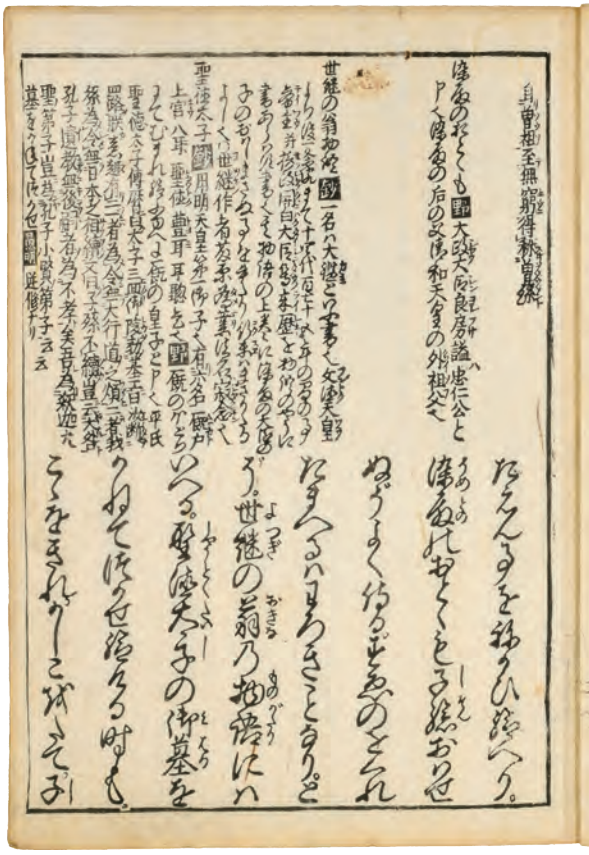


第一冊　9丁裏

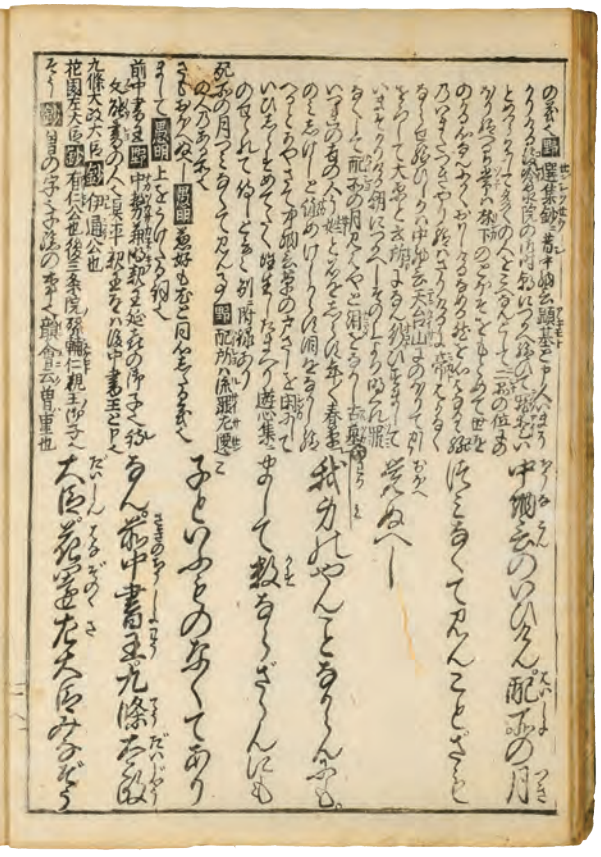


第一冊　11丁表

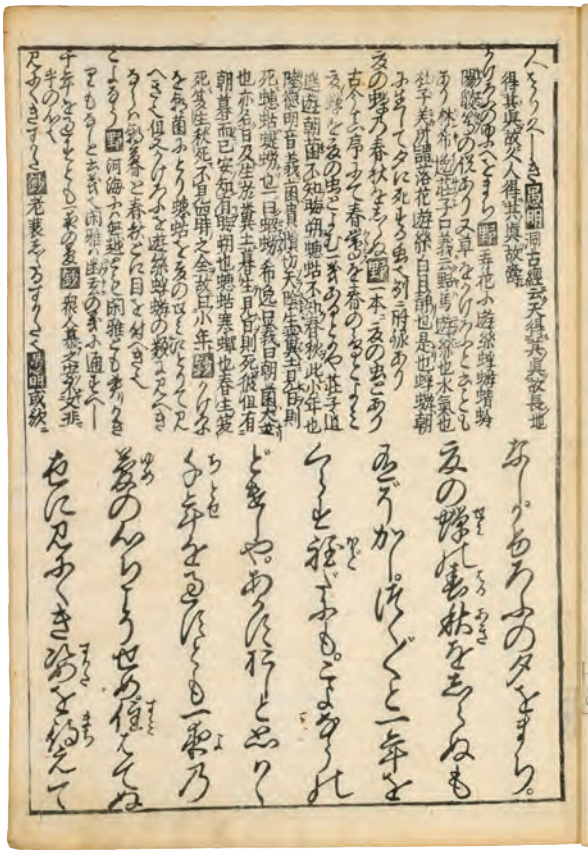
第一冊　10丁裏　第3図



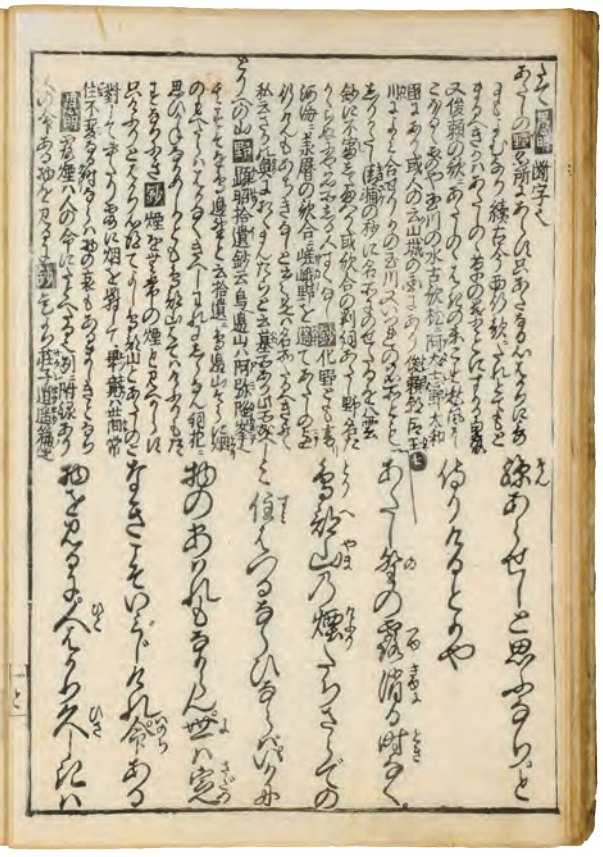
第一冊　12 丁表



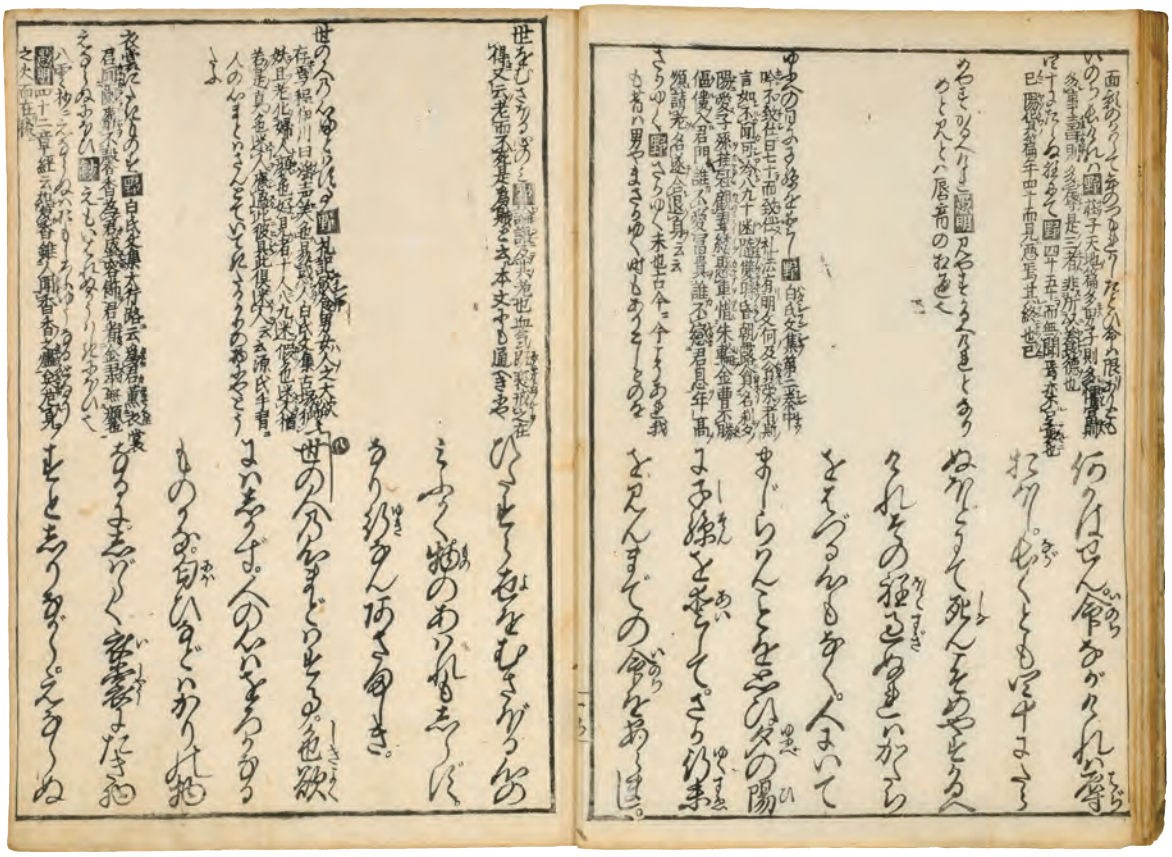
第一冊　11 丁裏



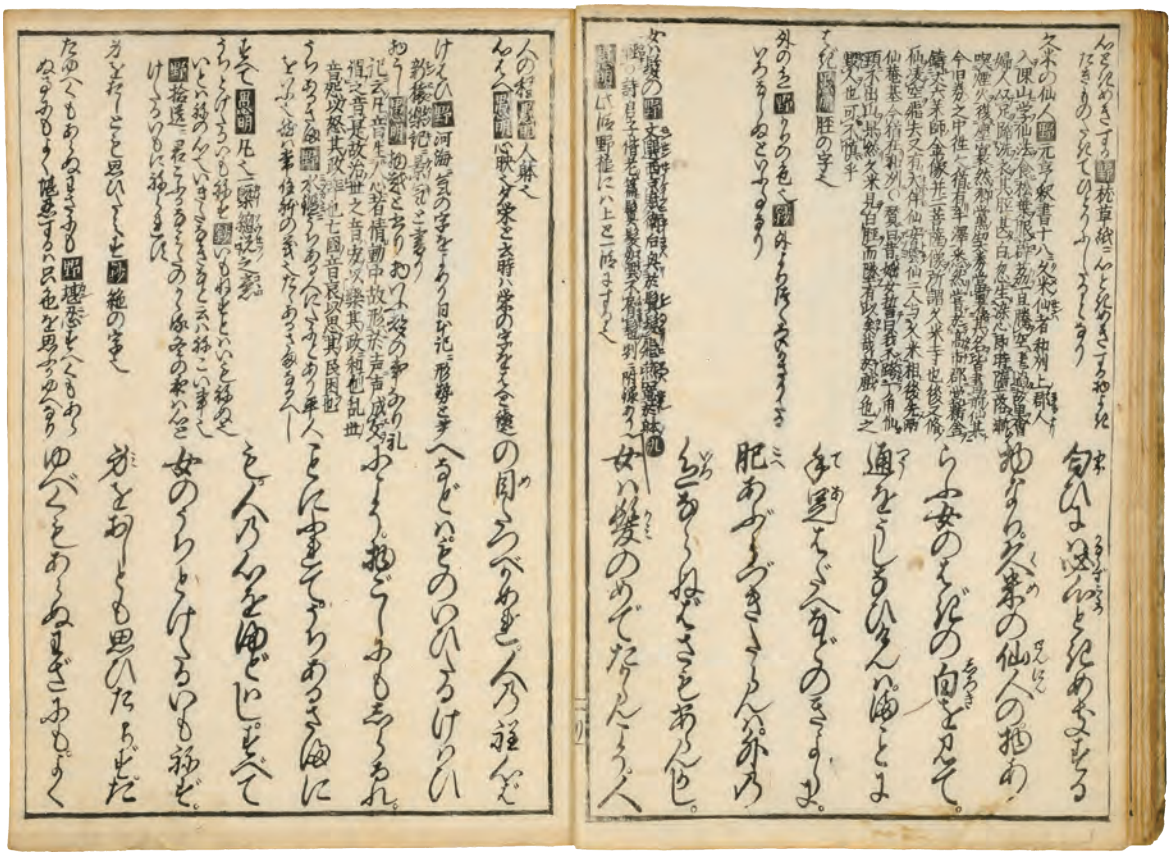
第一冊　13 丁表



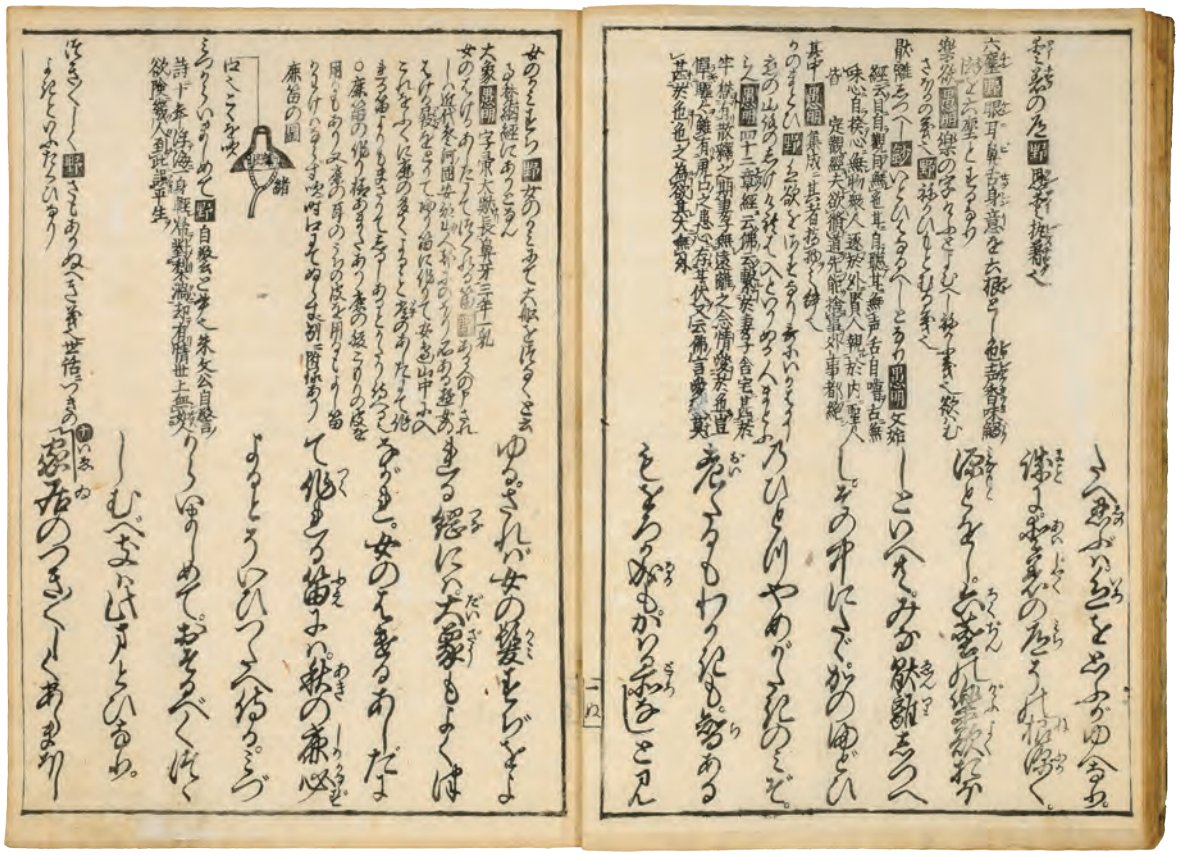
第一冊　12 丁裏



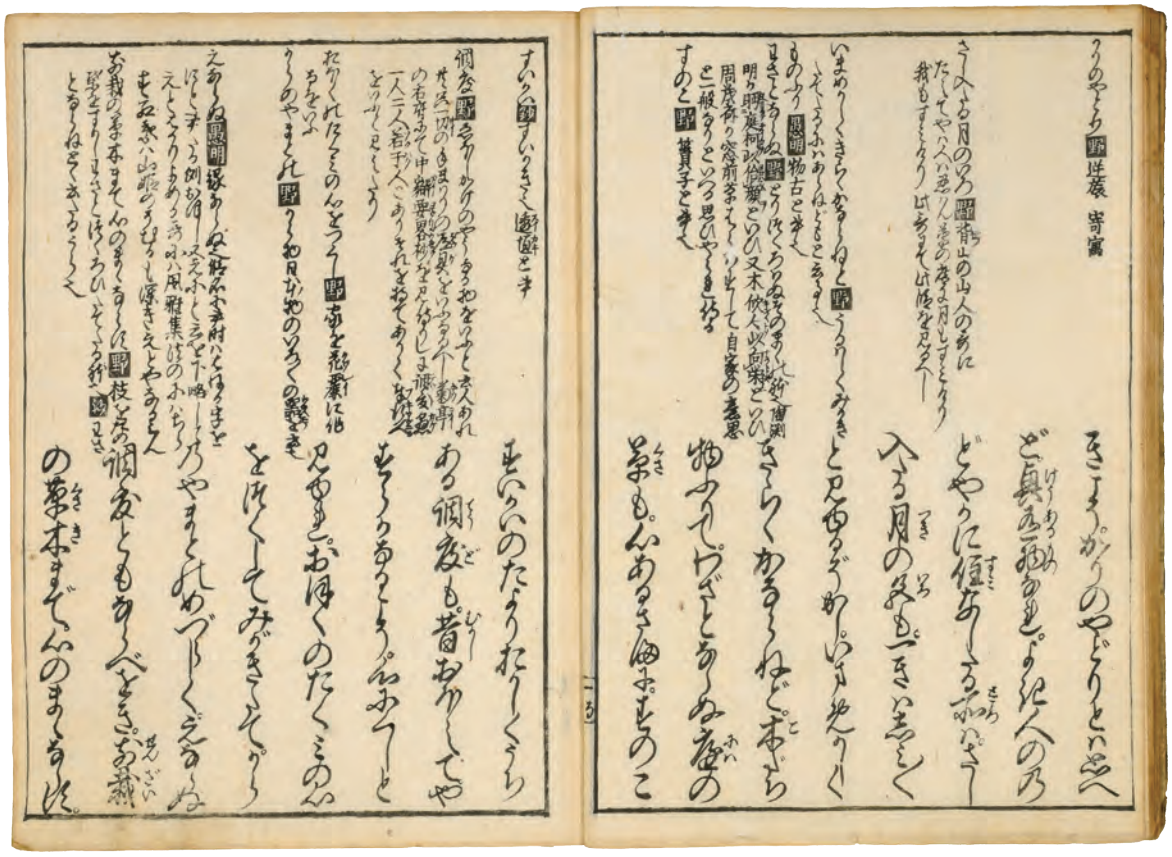
第一冊　13 丁裏　　第一冊　14 丁表



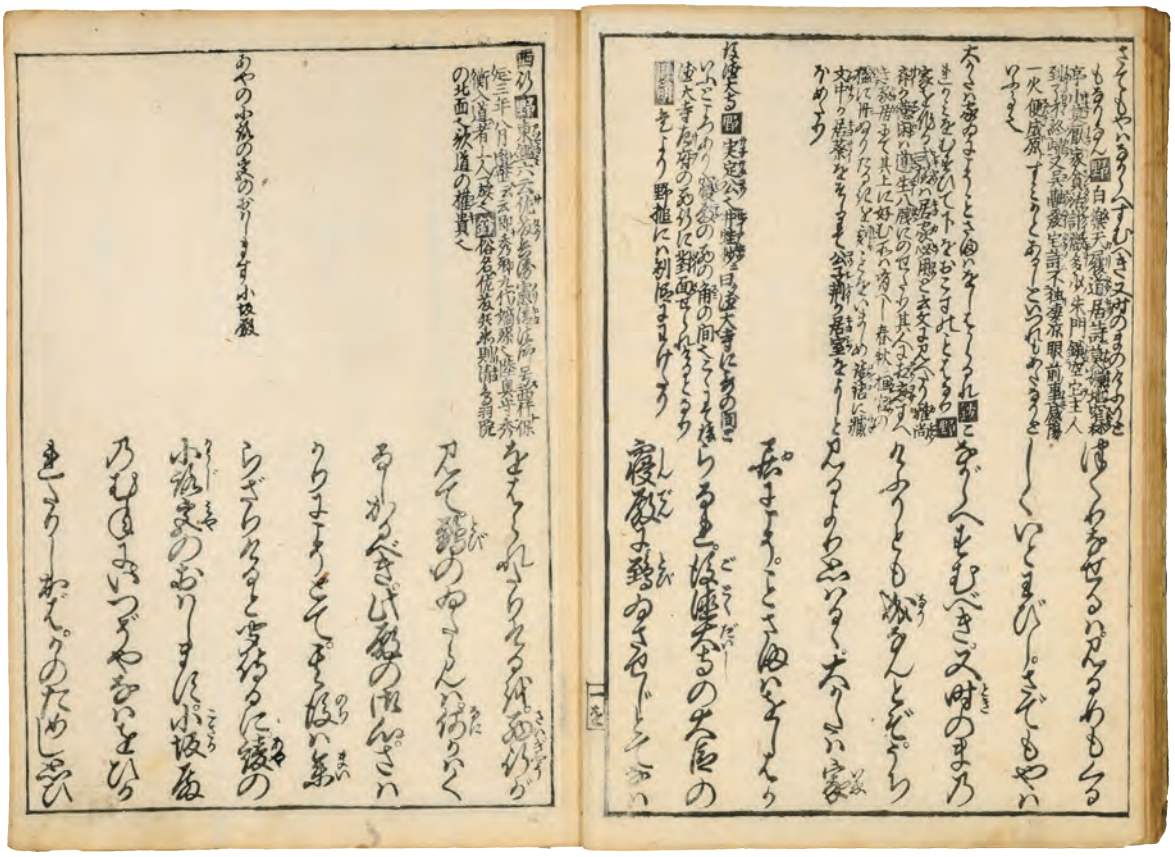
第一冊　14 丁裏　　第一冊　15 丁表



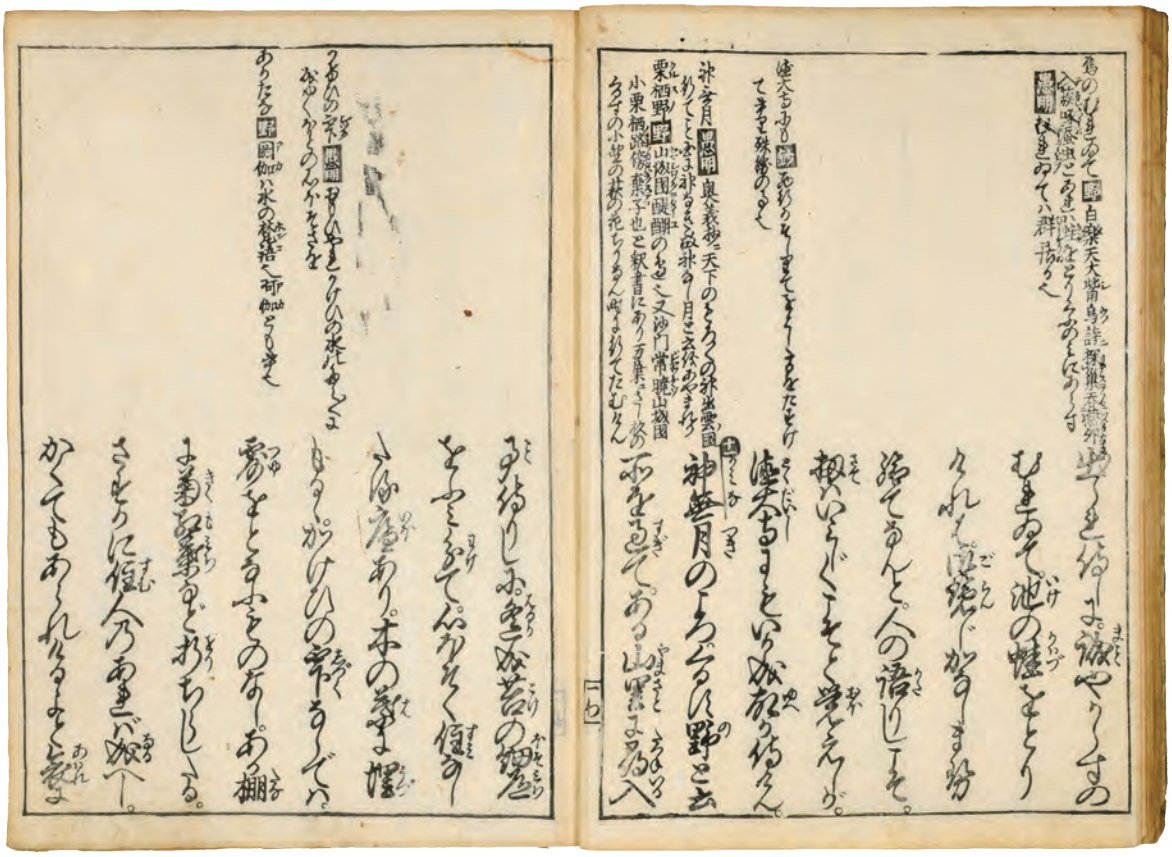
第一冊　15 丁裏　　第一冊　16 丁表



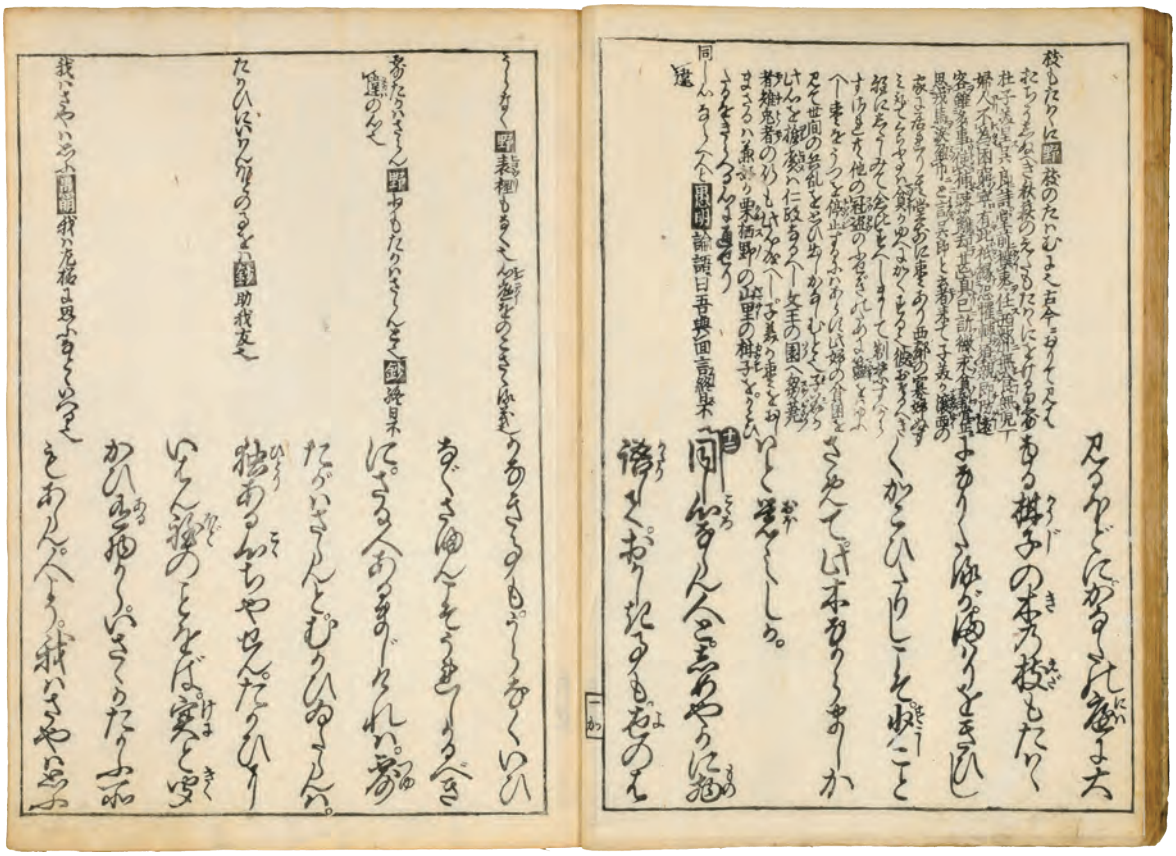
第一冊　16 丁裏　　第一冊　17 丁表



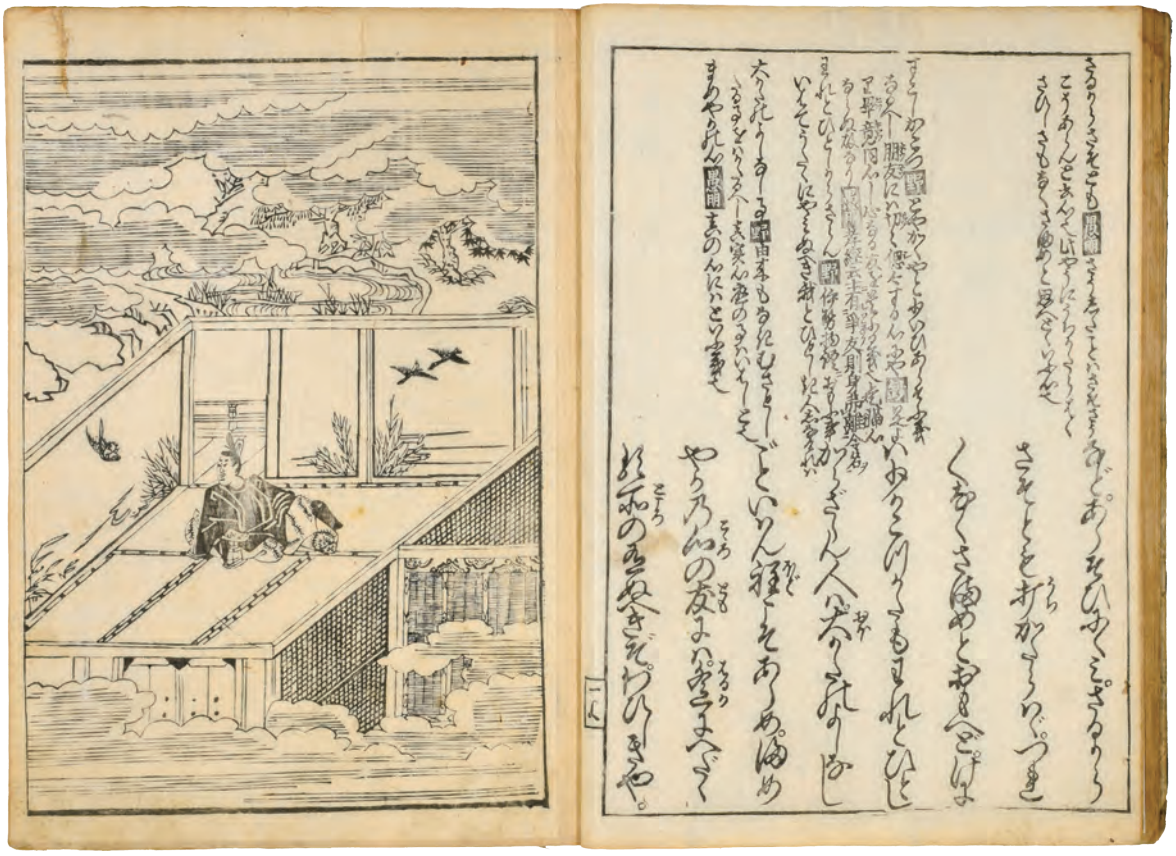
第一冊　17 丁裏　　第一冊　18 丁表



第一冊　18 丁裏　　第一冊　19 丁表



第一冊　19 丁裏　　第一冊　20 丁表



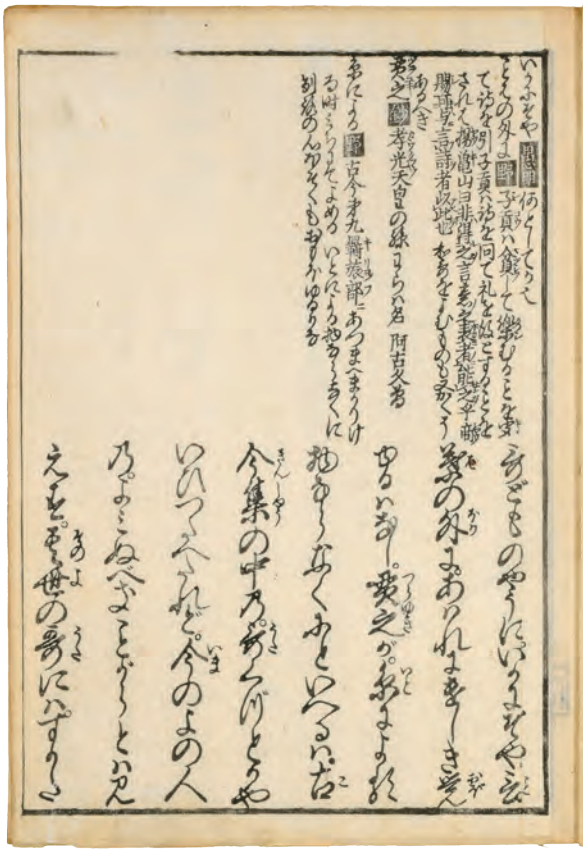
第一冊　20 丁裏　　第一冊　21 丁表　第 4 図

第一冊　21 丁裏　第 5 図

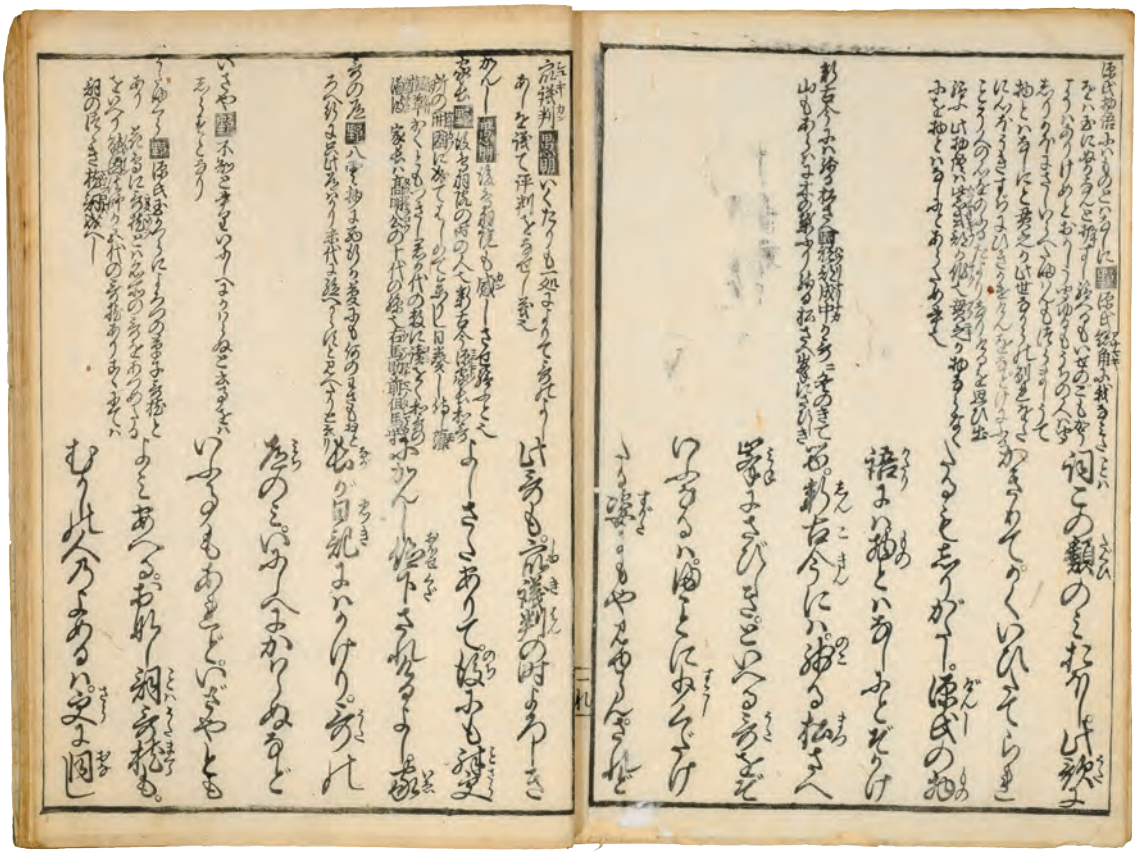


第一冊　22 丁表

第一冊　22 丁裏



第一冊　23 丁表

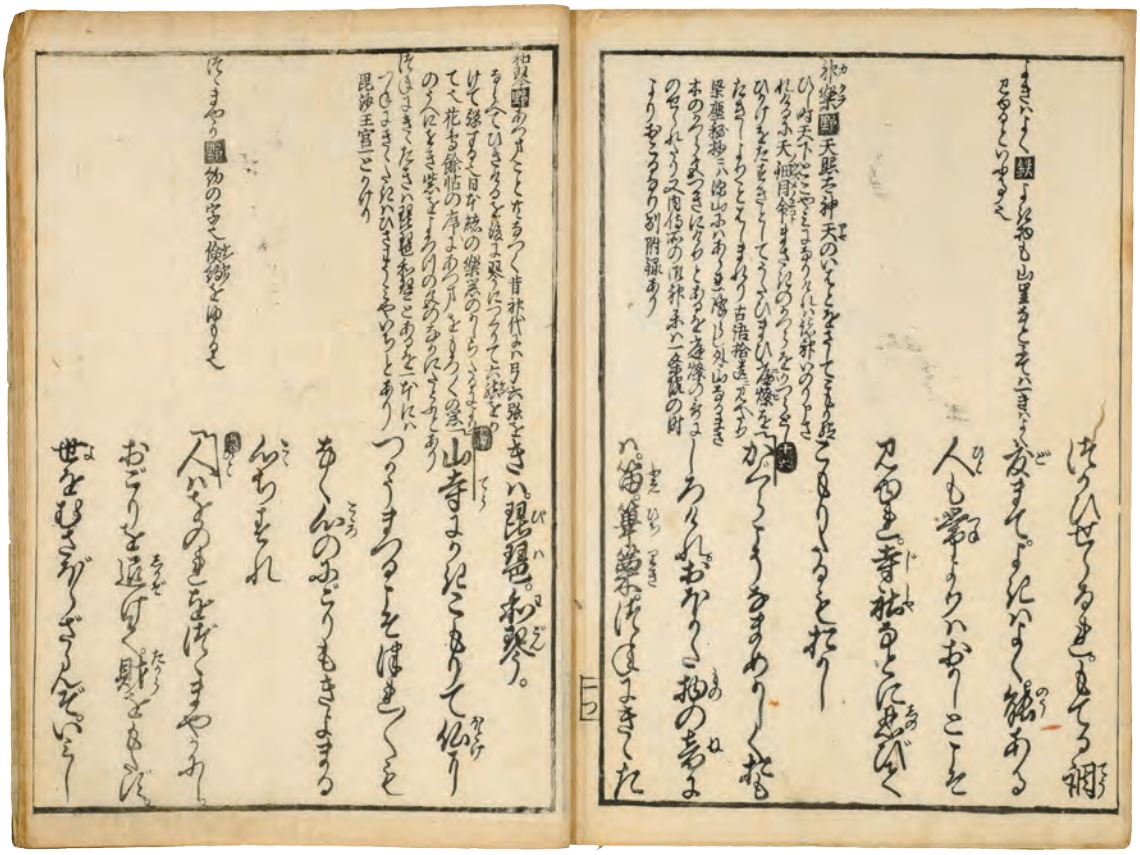


第一冊　24 丁表　　第一冊　23 丁裏

第一冊　25 丁表　第 6 図　　第一冊　24 丁裏

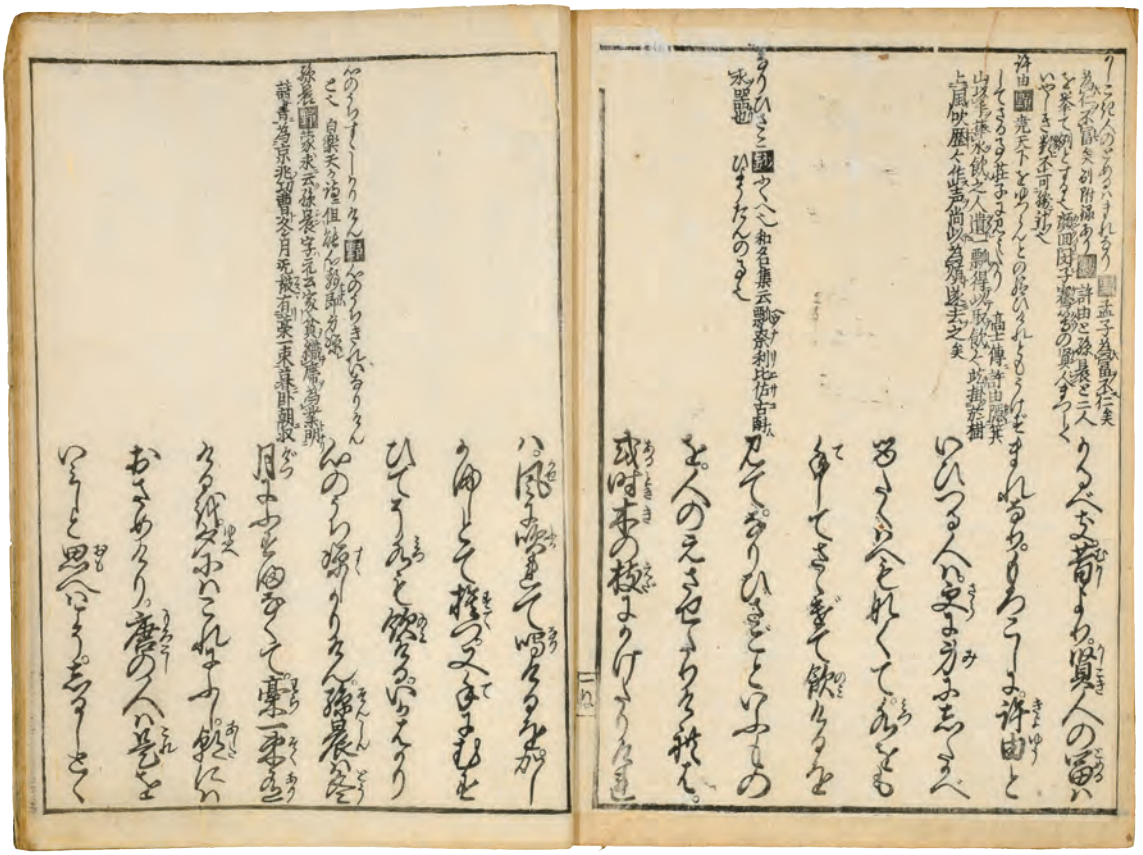
第一冊　25 丁裏　第 7 図

第一冊　26 丁表

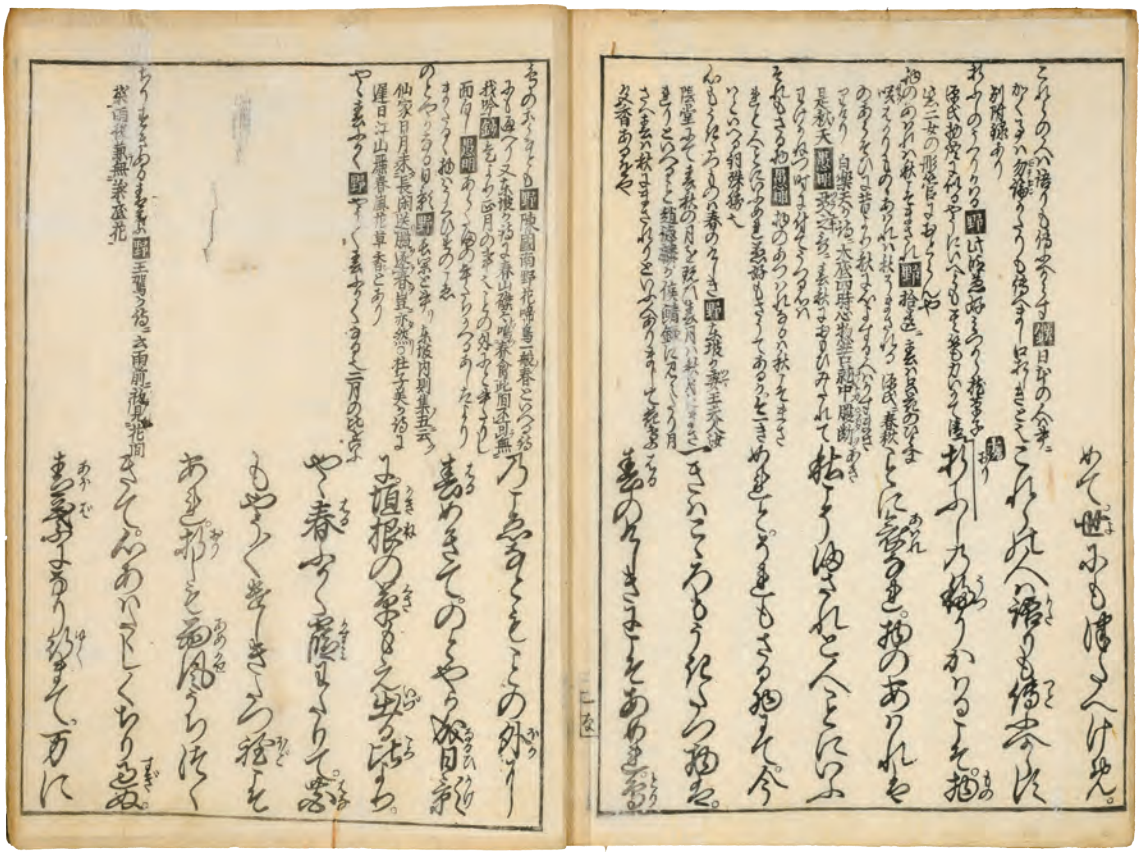


第一冊　26 丁裏

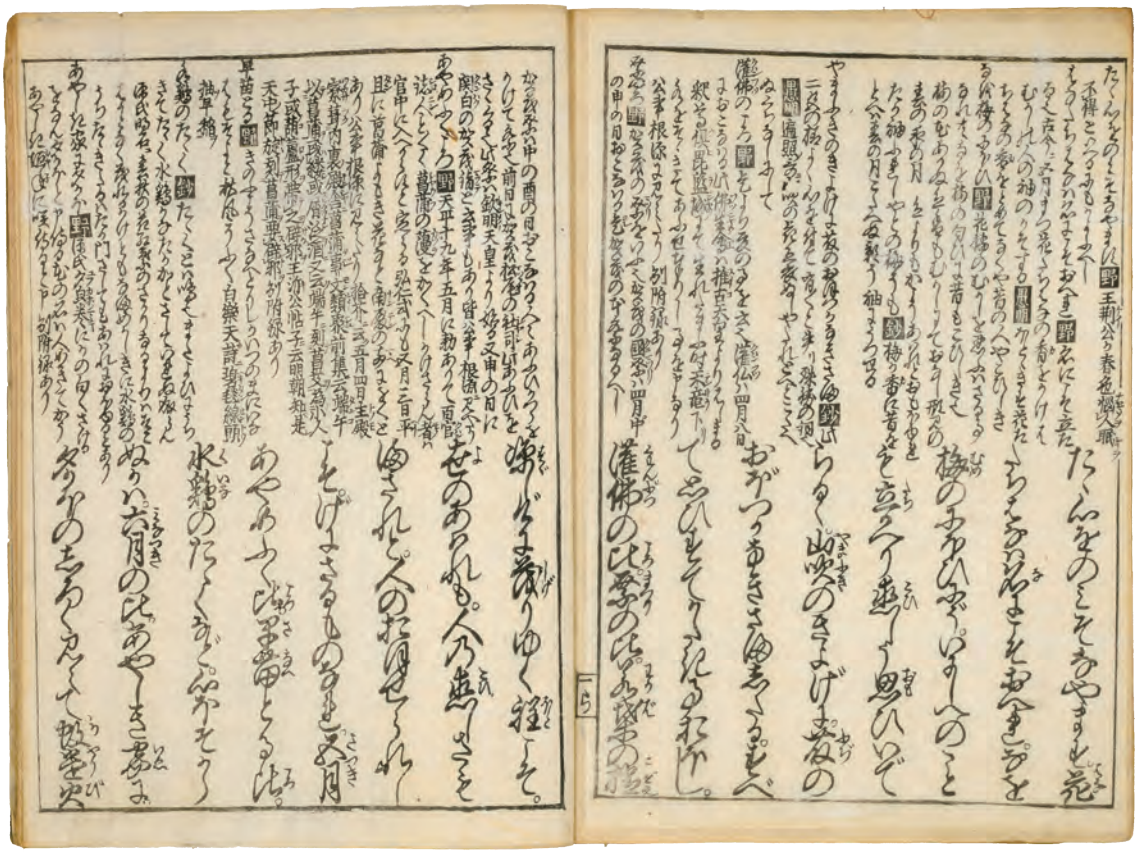
第一冊　27 丁表



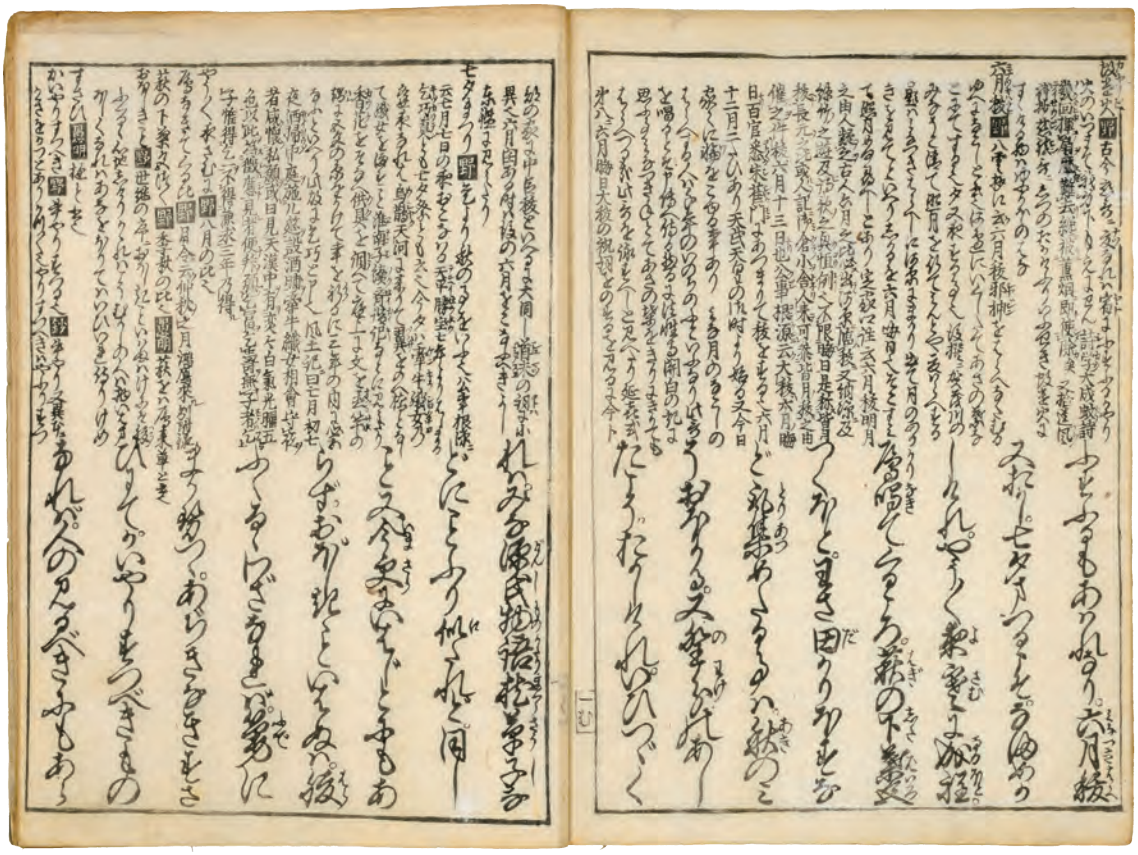
第一冊　27 丁裏　　第一冊　28 丁表



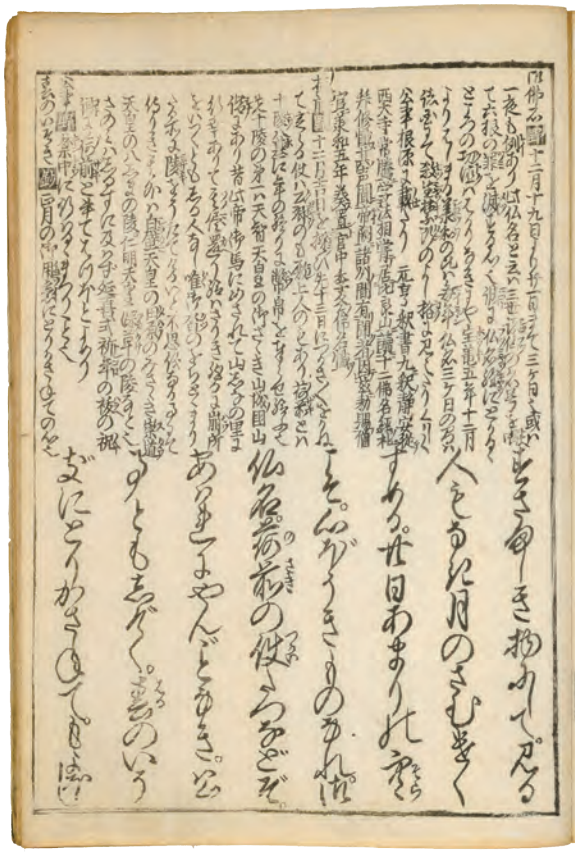
第一冊　28 丁裏　　第一冊　29 丁表



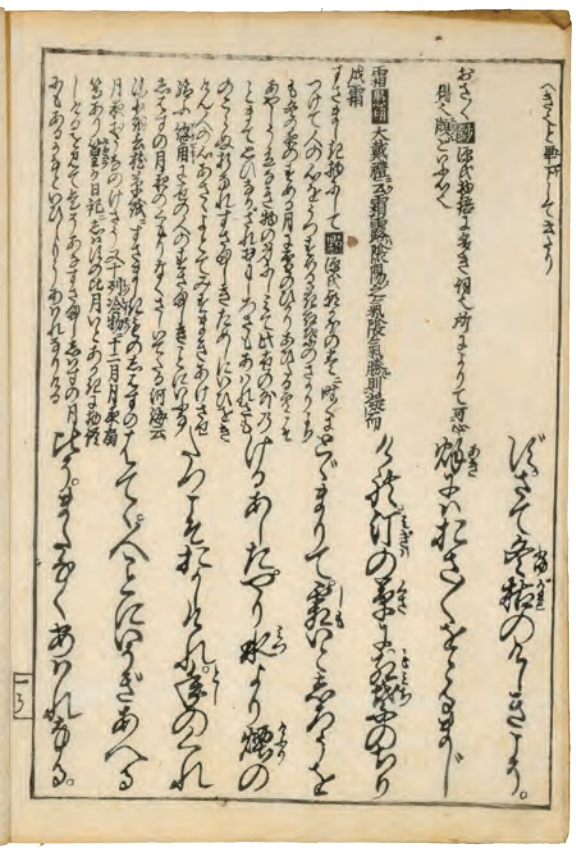
第一冊　29 丁裏　　第一冊　30 丁表



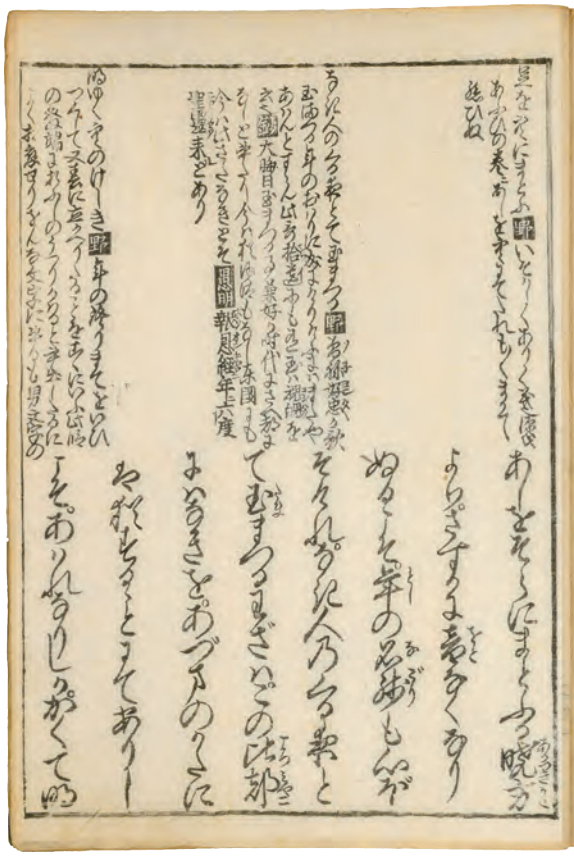
第一冊　30 丁裏　　第一冊　31 丁表



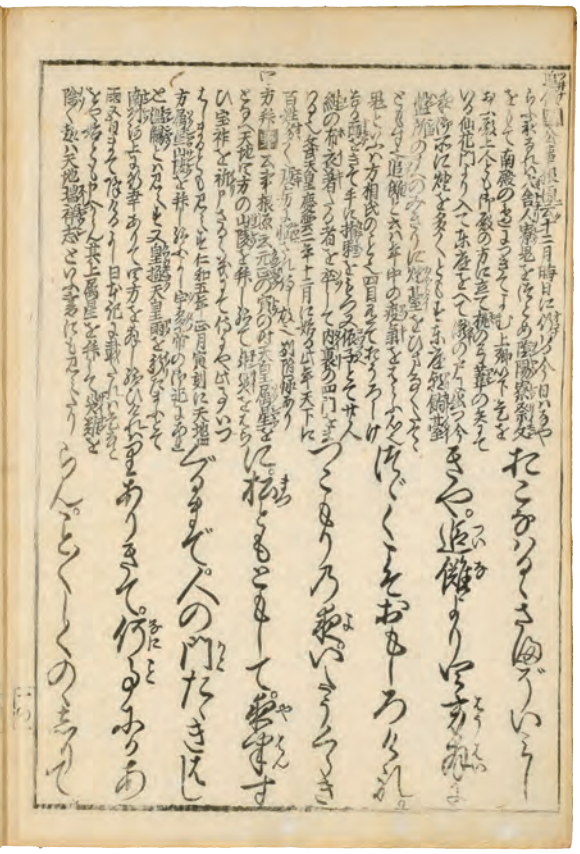
第一冊　32 丁表



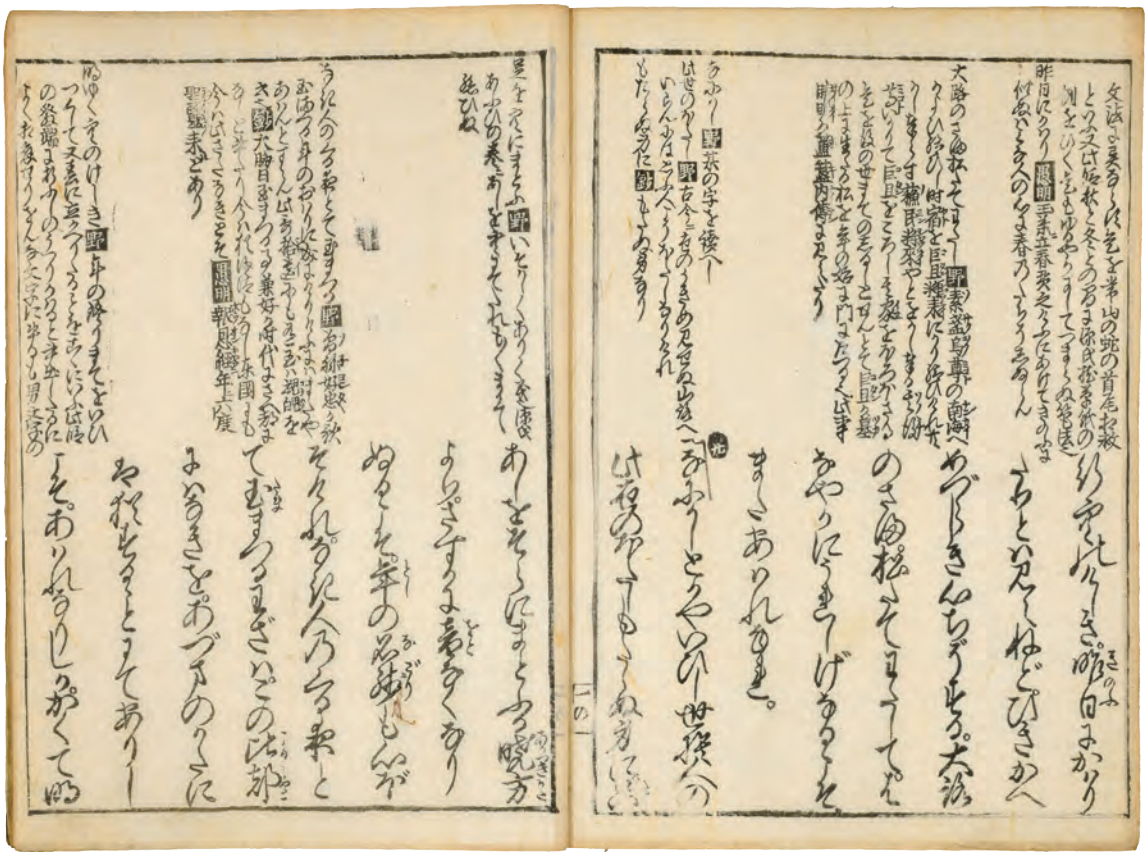
第一冊　31 丁裏



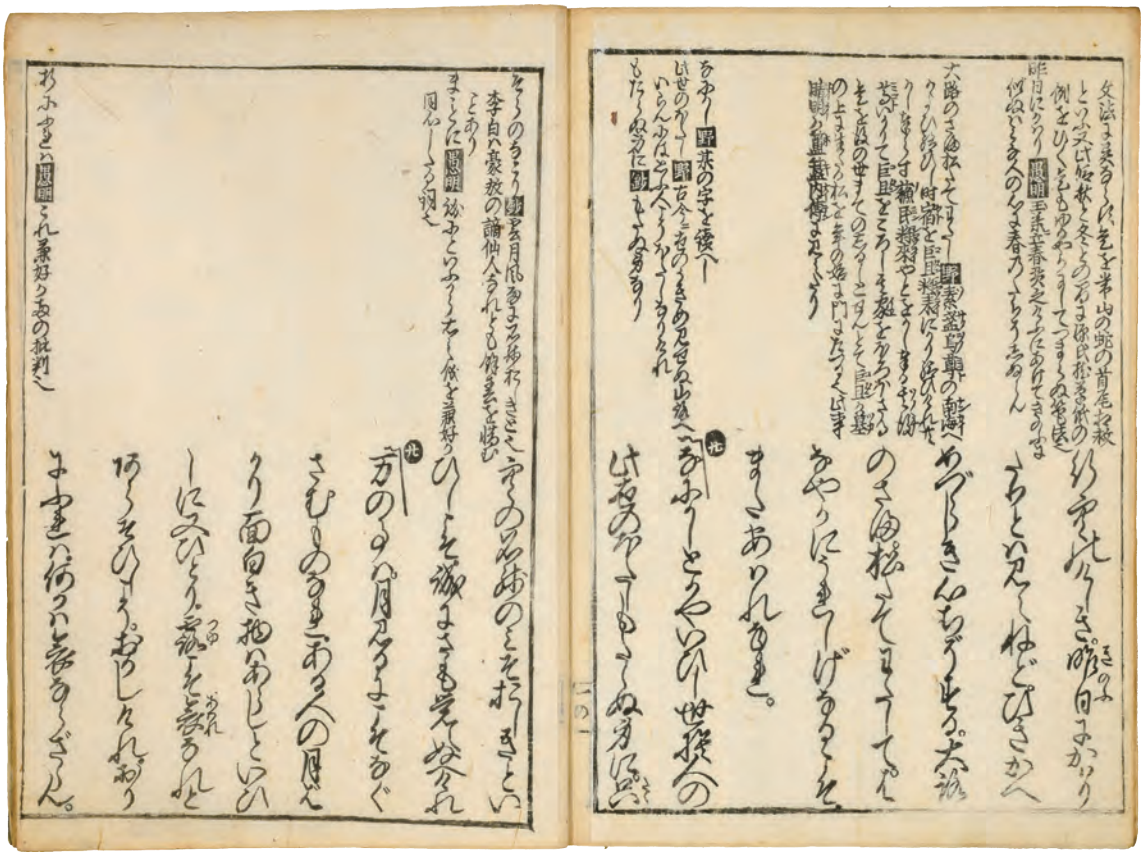
第一冊　33 丁表



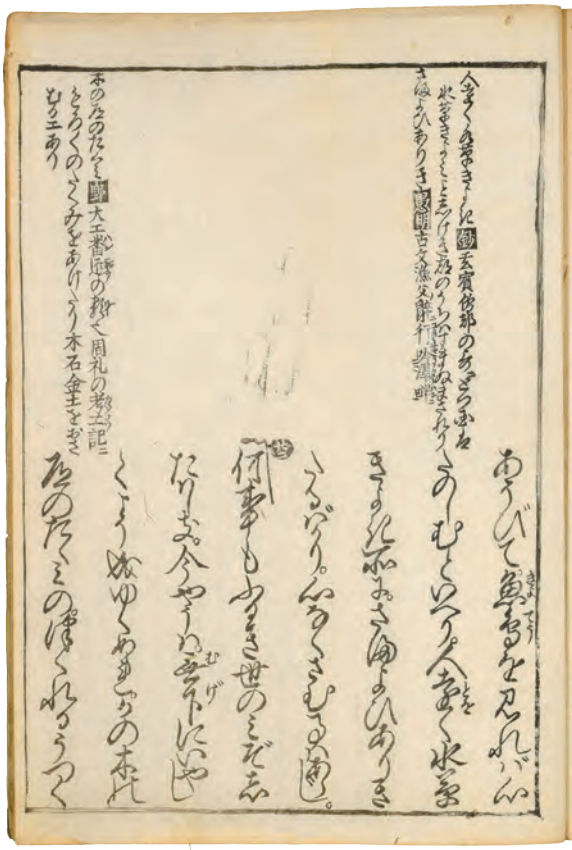
第一冊　32 丁裏



第一冊　33 丁裏　　第一冊　34 丁表

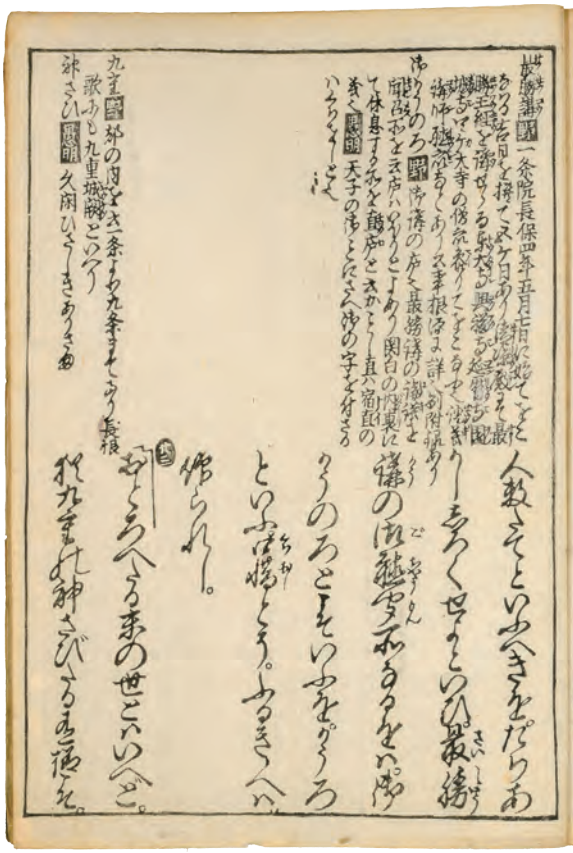


第一冊　34 丁裏　　第一冊　35 丁表

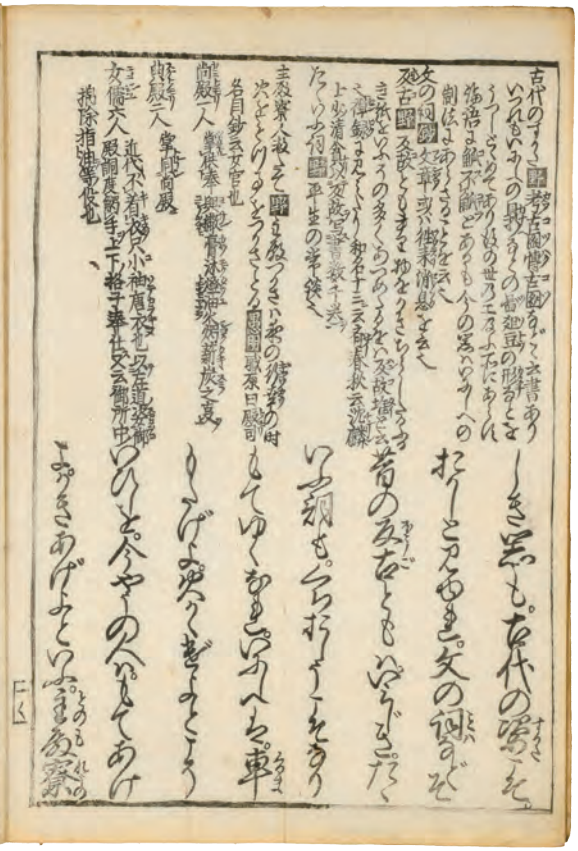


第一冊　36 丁表

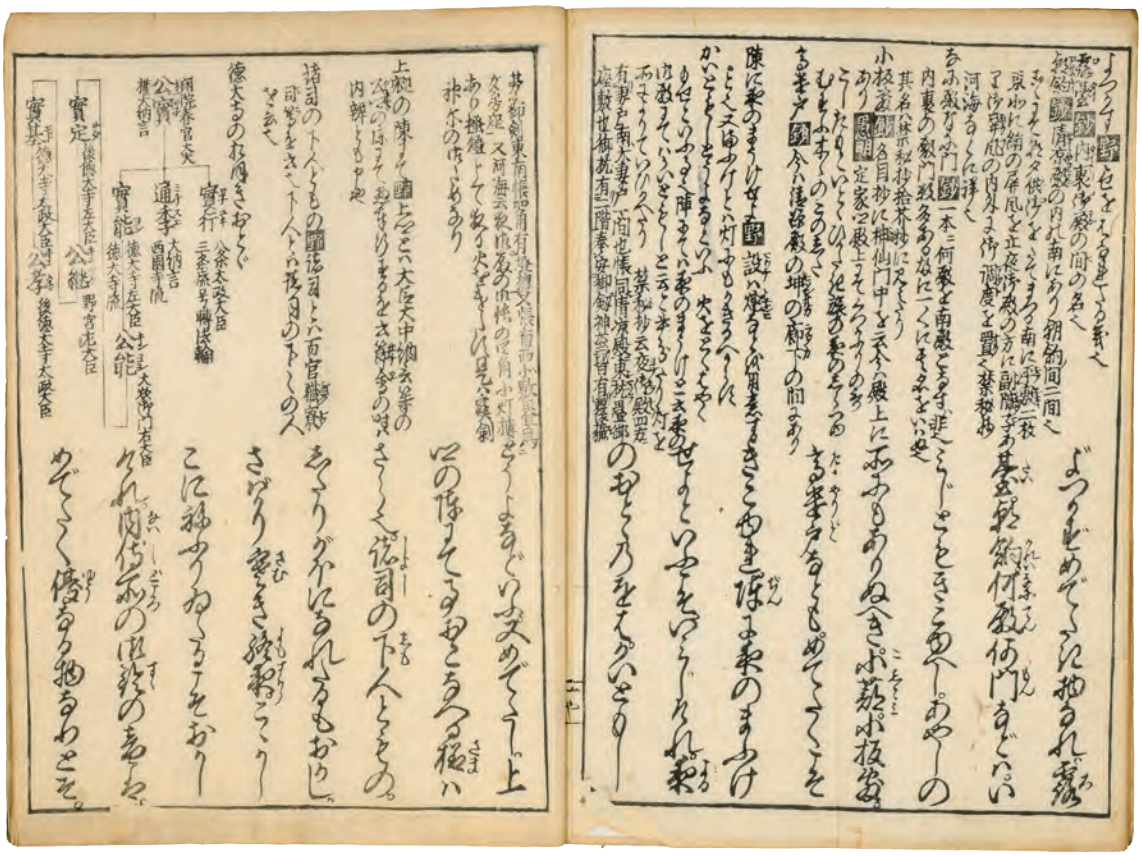
第一冊　35 丁裏



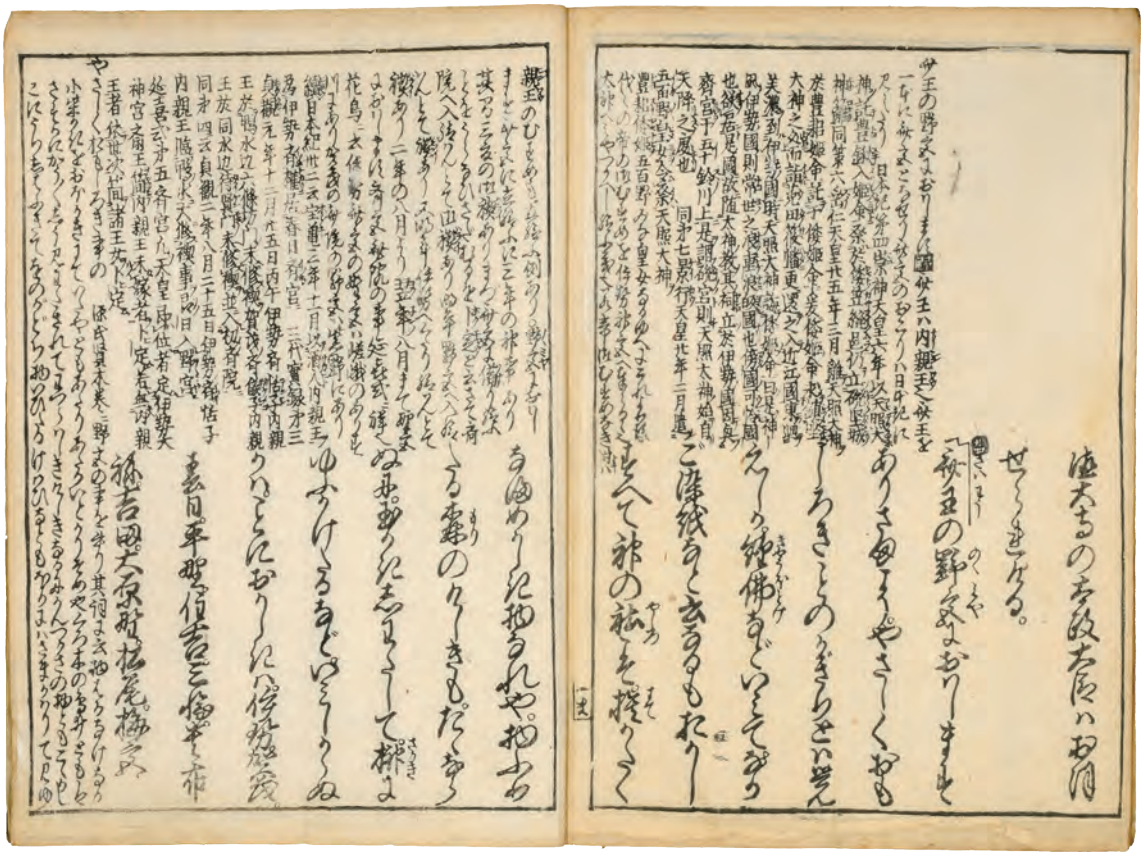
第一冊　37 丁表



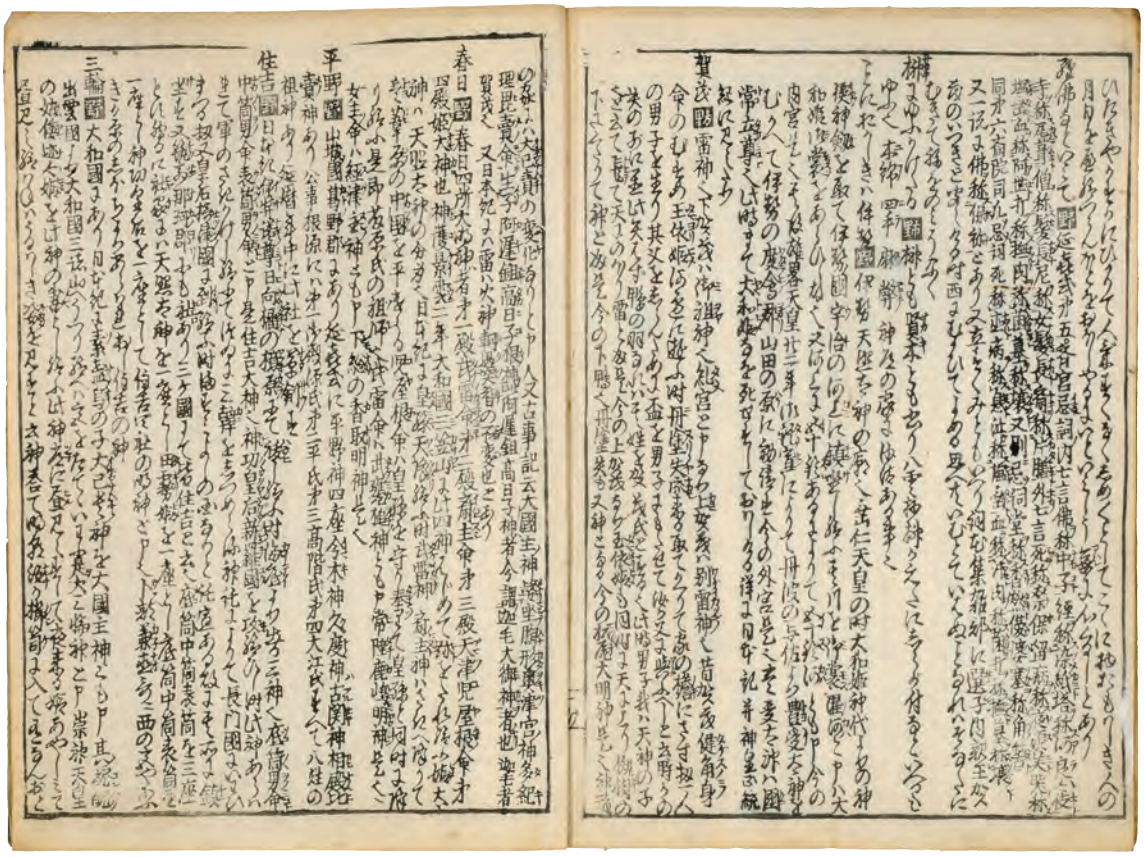
第一冊　36 丁裏



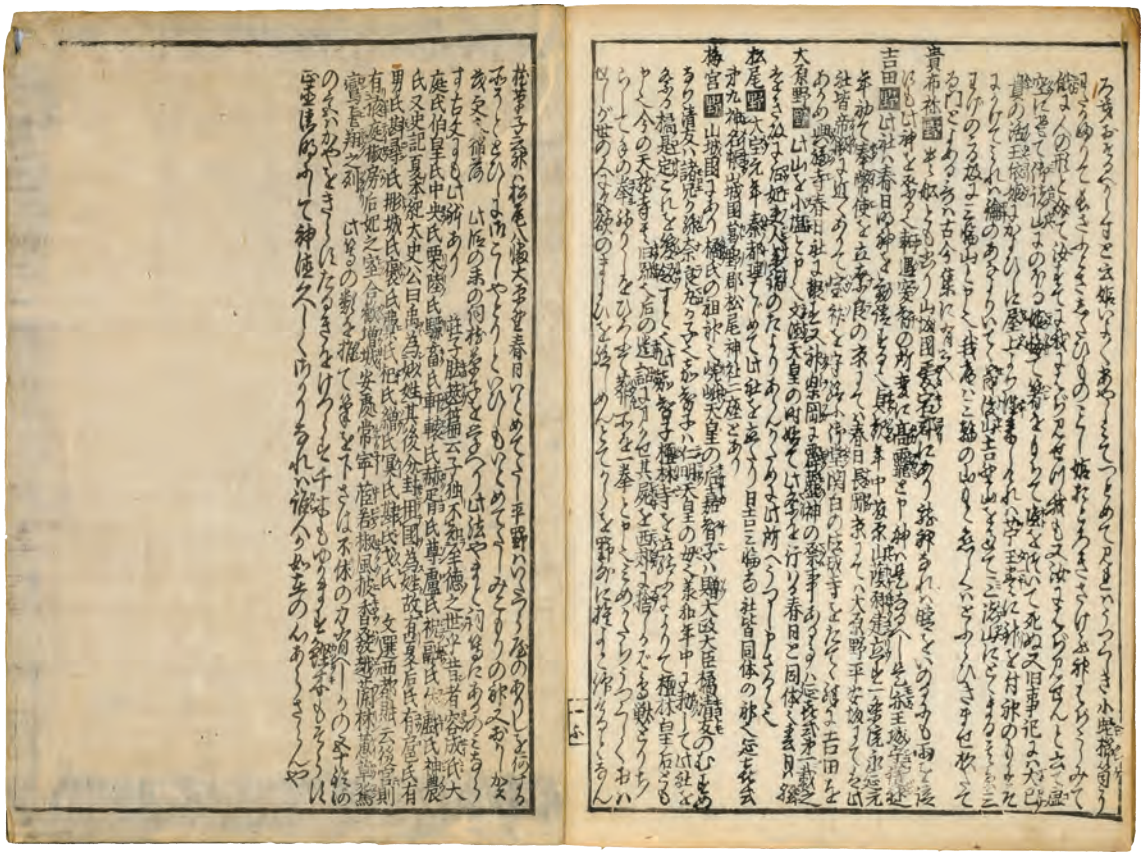
第一冊　37 丁裏　　第一冊　38 丁表



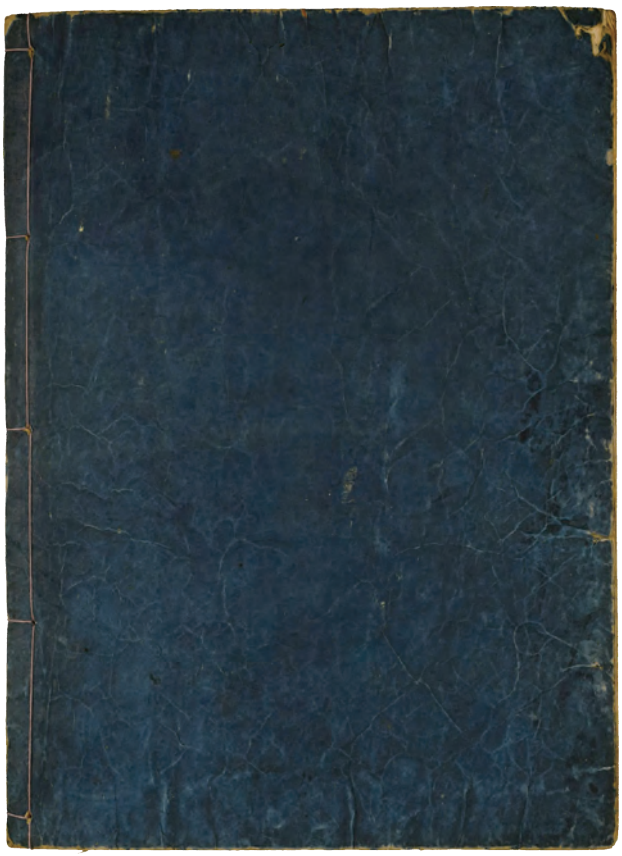
第一冊　38 丁裏　　第一冊　39 丁表



第一冊　39 丁裏　　第一冊　40 丁表



第一冊　40 丁裏　　第一冊　裏表紙見返し



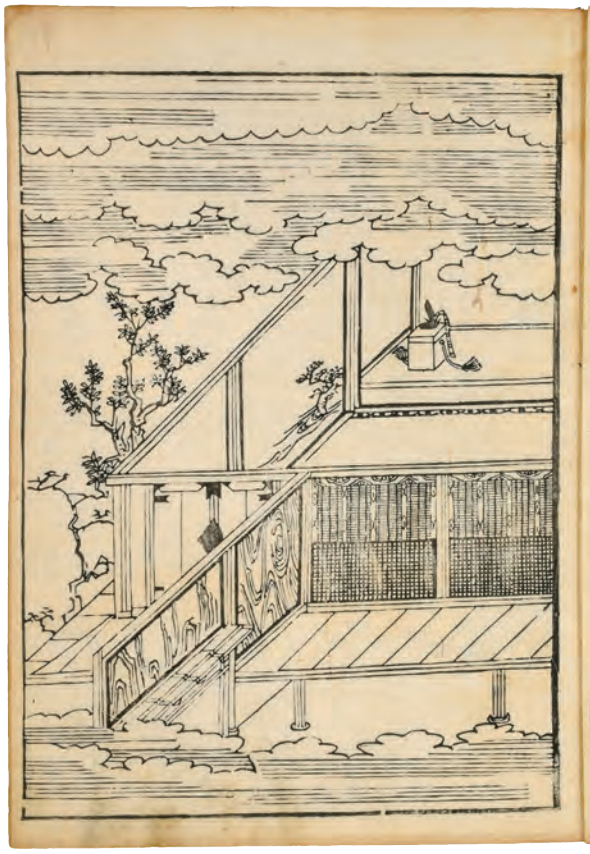
第一冊　裏表紙

第二冊は欠冊

第三冊　表表紙

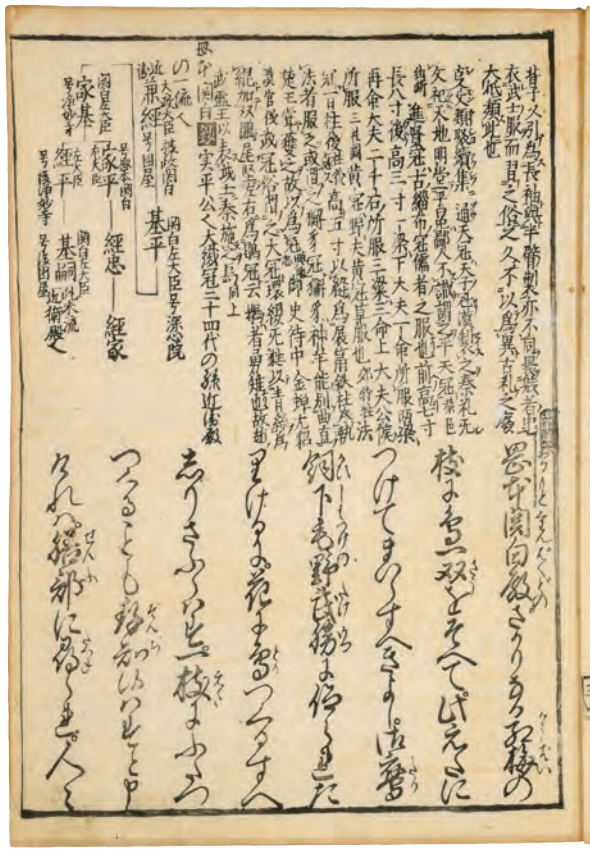
第三冊　１丁表

第三冊　表表紙見返し

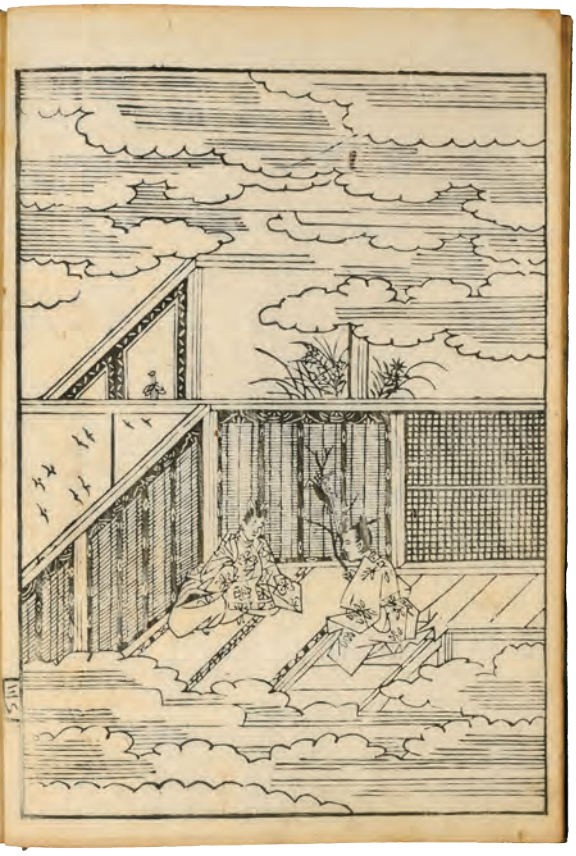


第三冊　2丁表　第14図

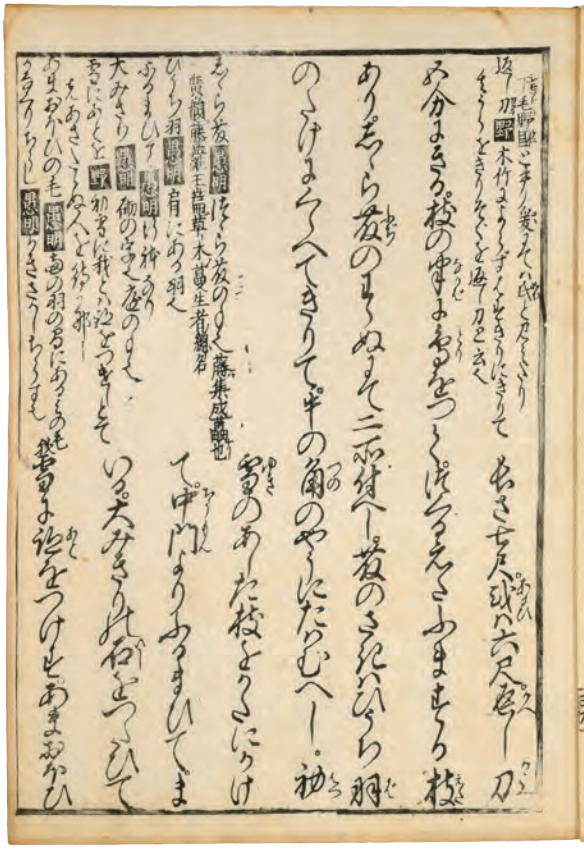
第三冊　1丁裏



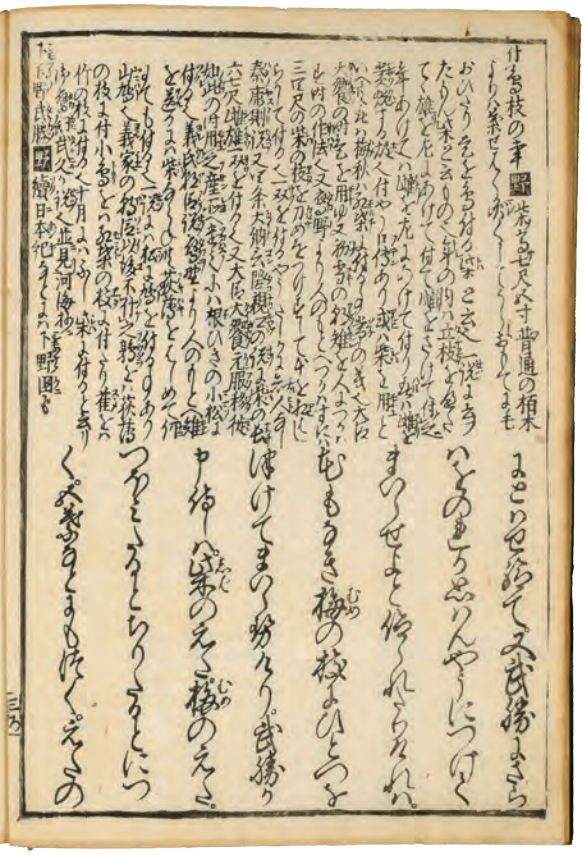
第三冊　3丁表



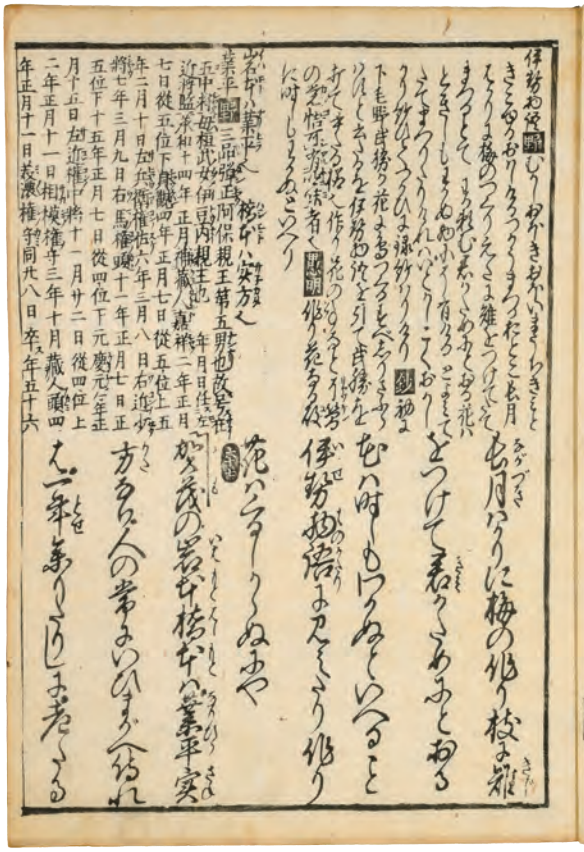
第三冊　2丁裏　第15図



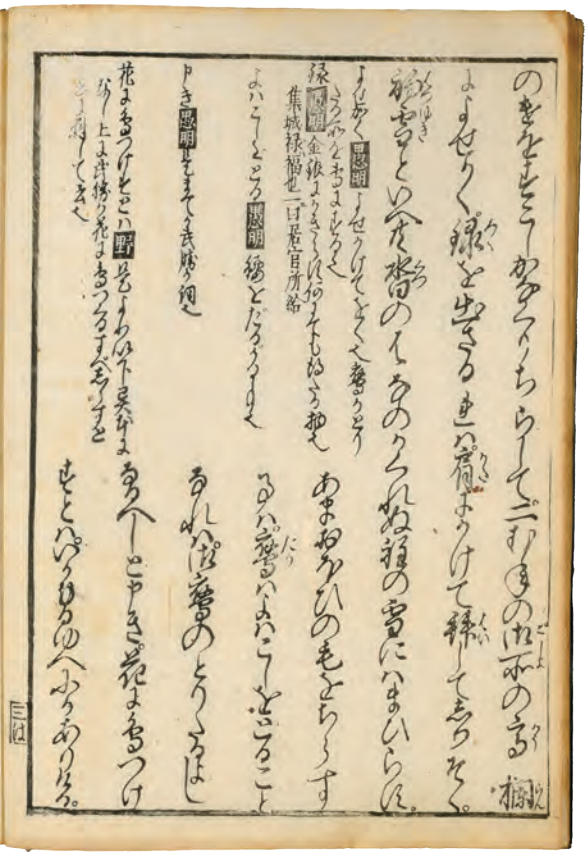
第三冊　4丁表



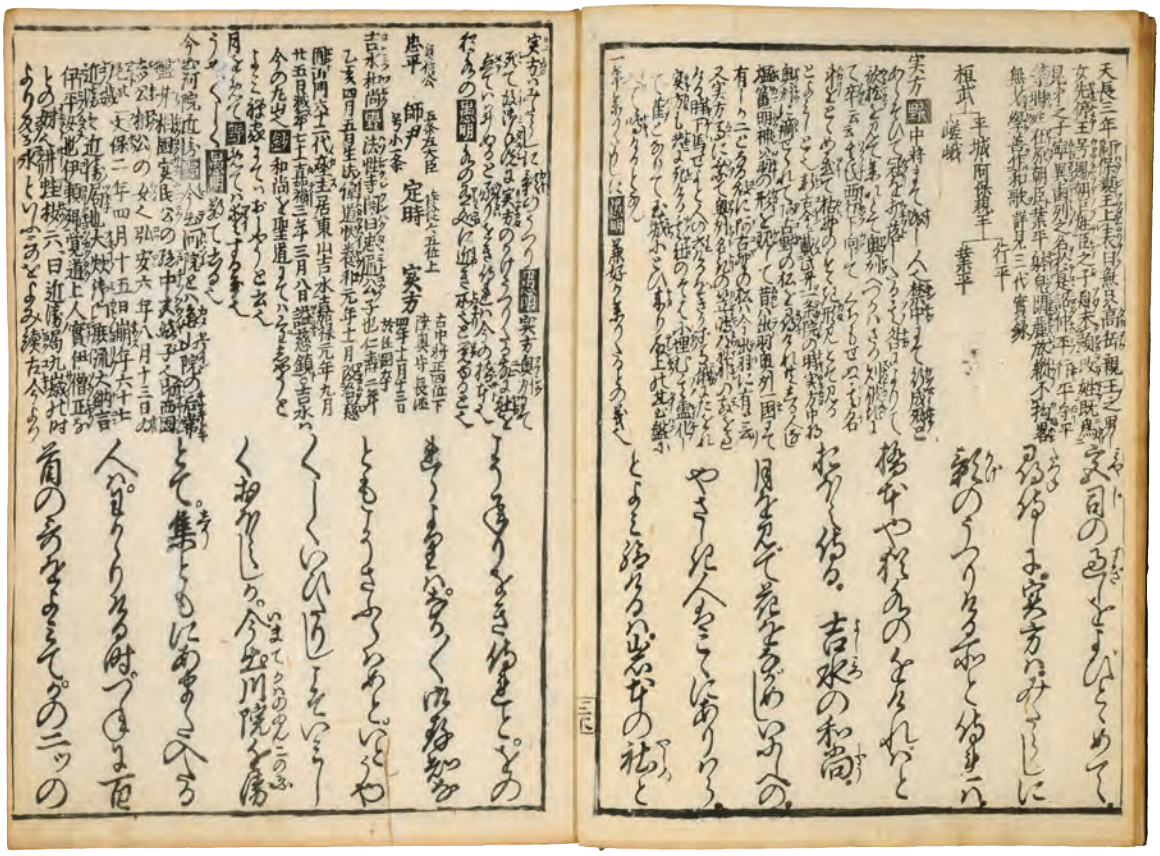
第三冊　3丁裏



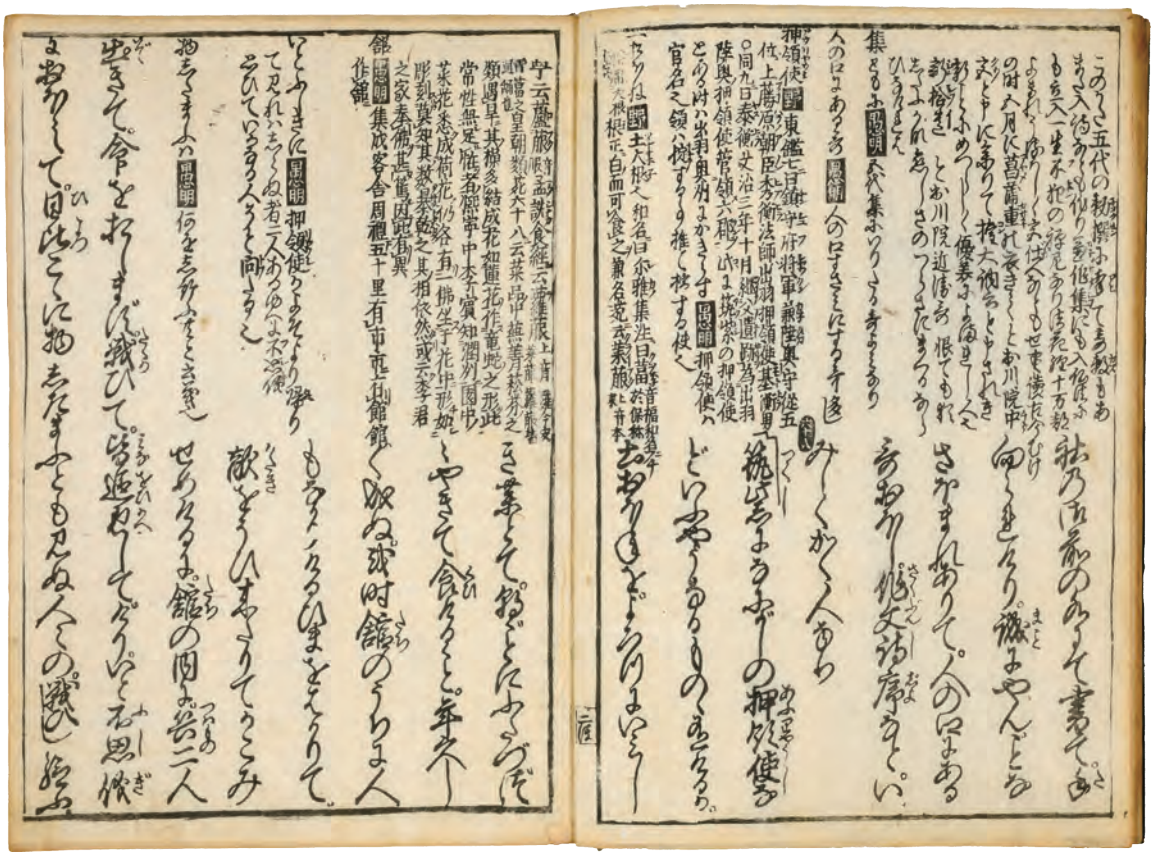
第三冊　5丁表



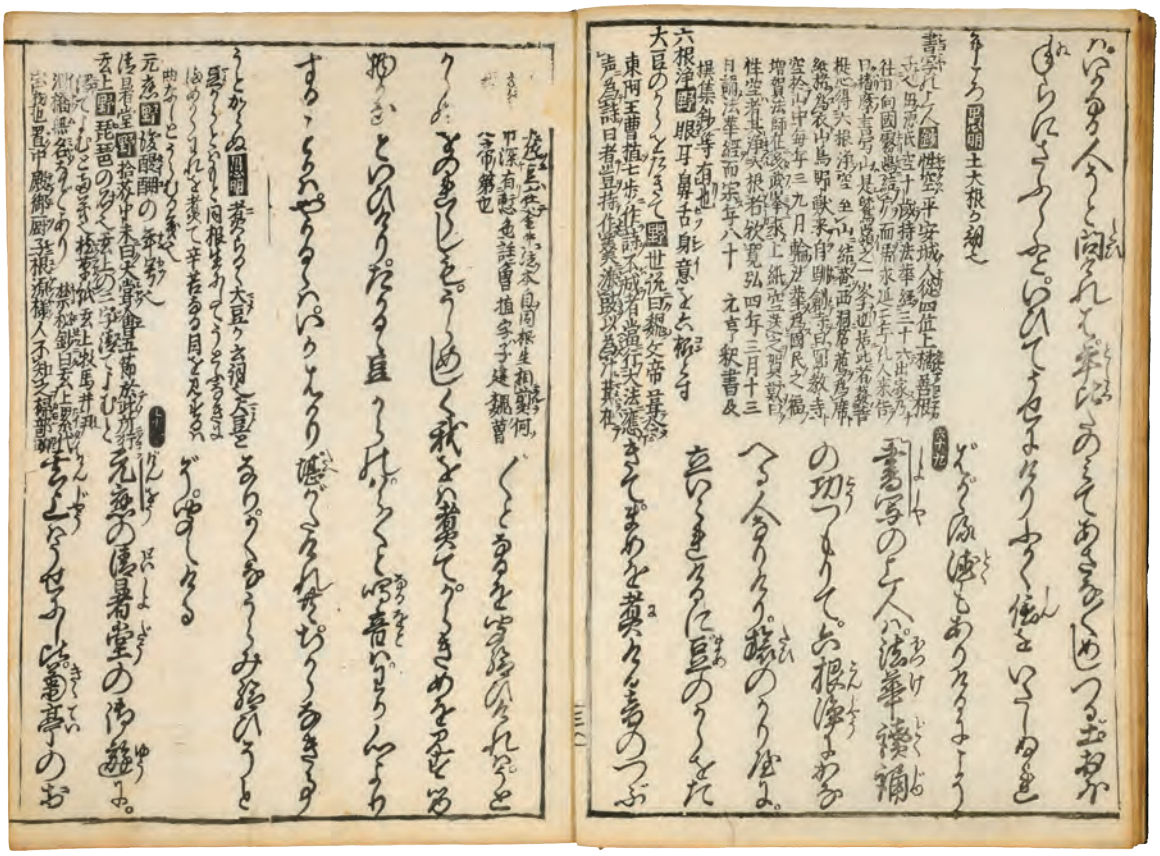
第三冊　4丁裏



第三冊　5丁裏　　第三冊　6丁表

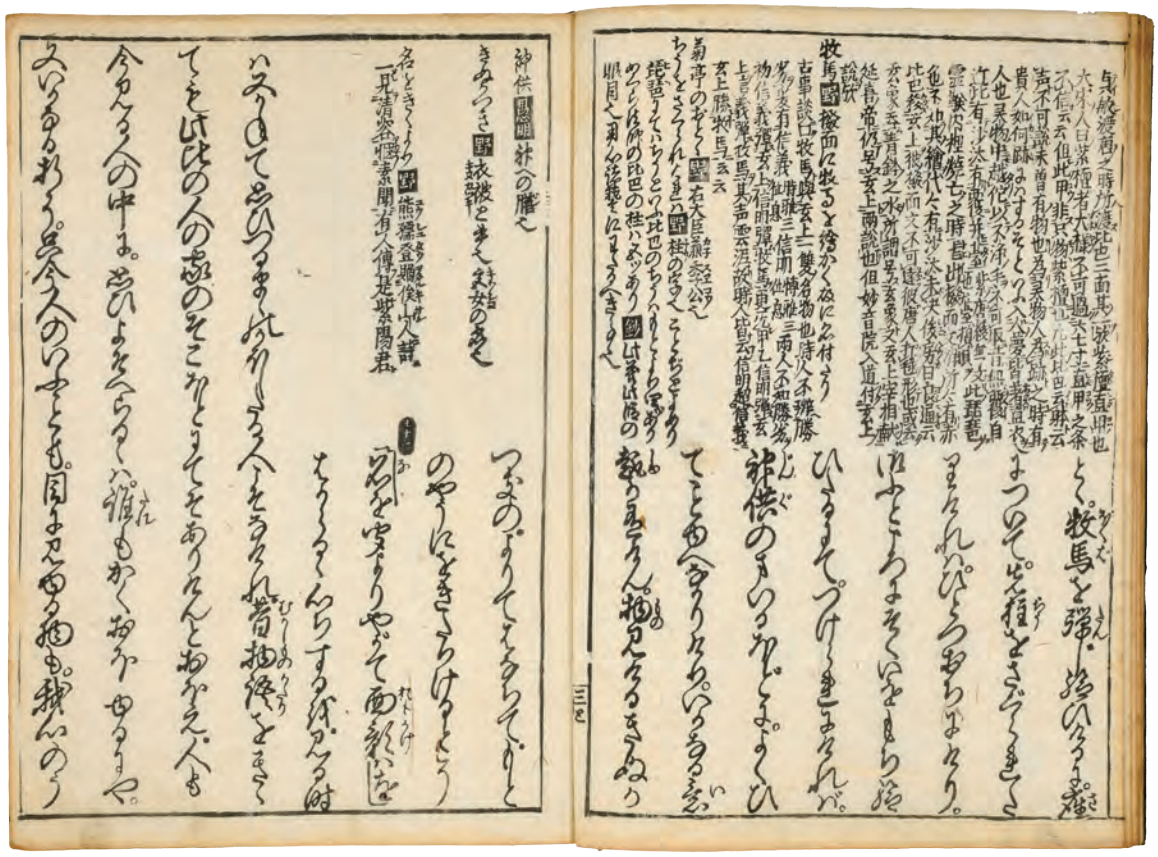


第三冊　6丁裏　　第三冊　7丁表



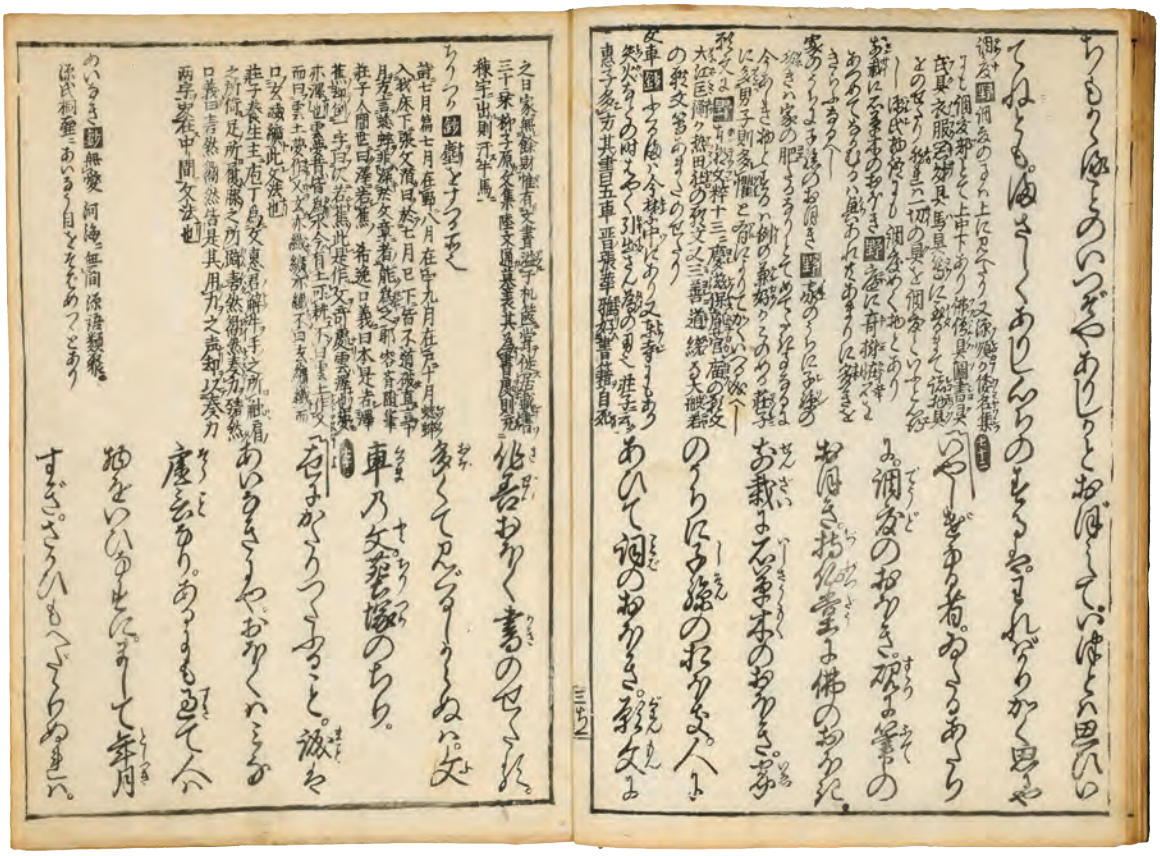
第三冊　7丁裏

第三冊　8丁表

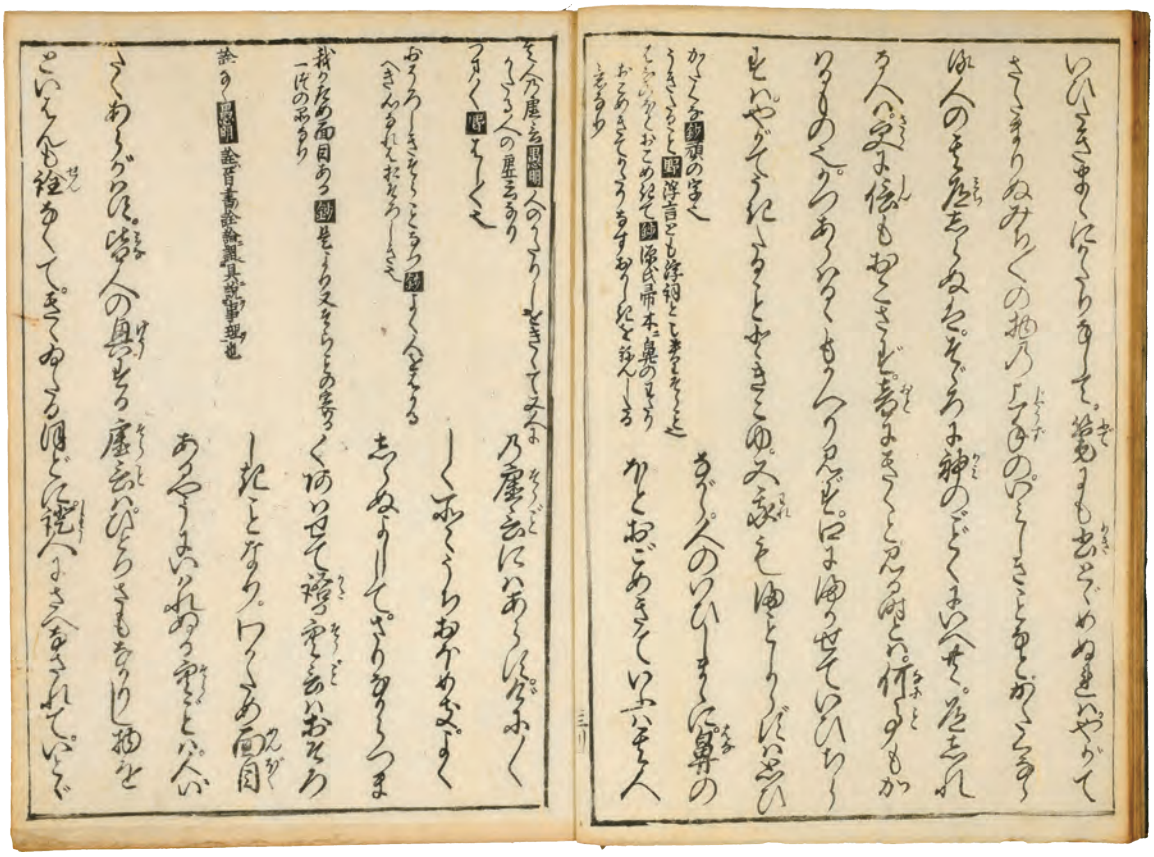


第三冊　8丁裏

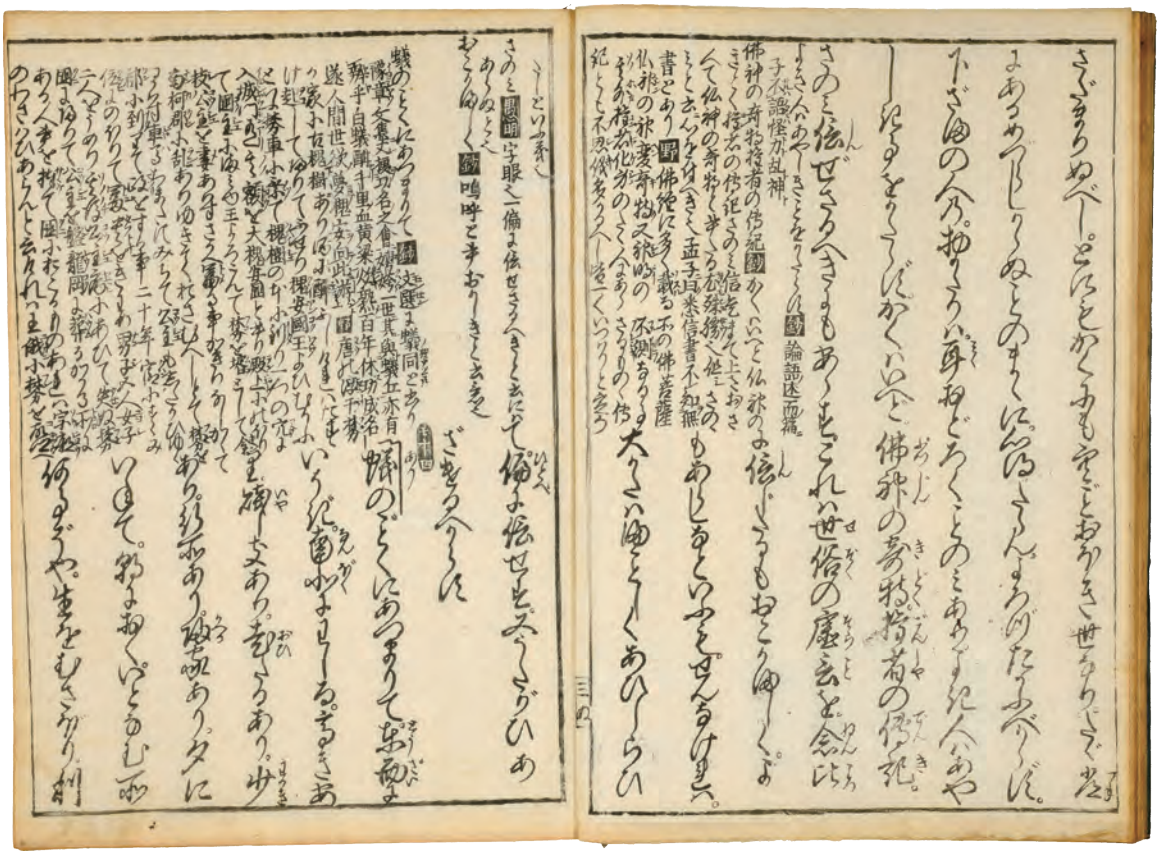
第三冊　9丁表



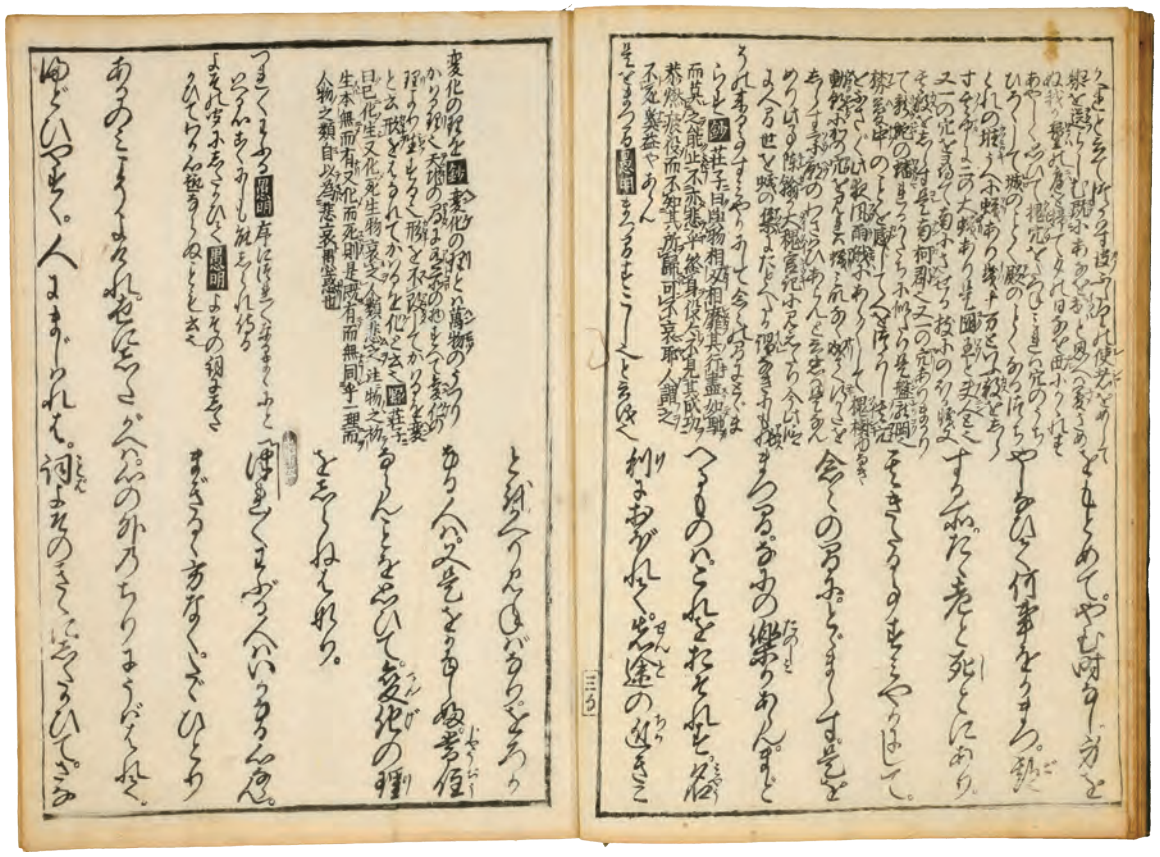
第三冊　9丁裏　　第三冊　10丁表



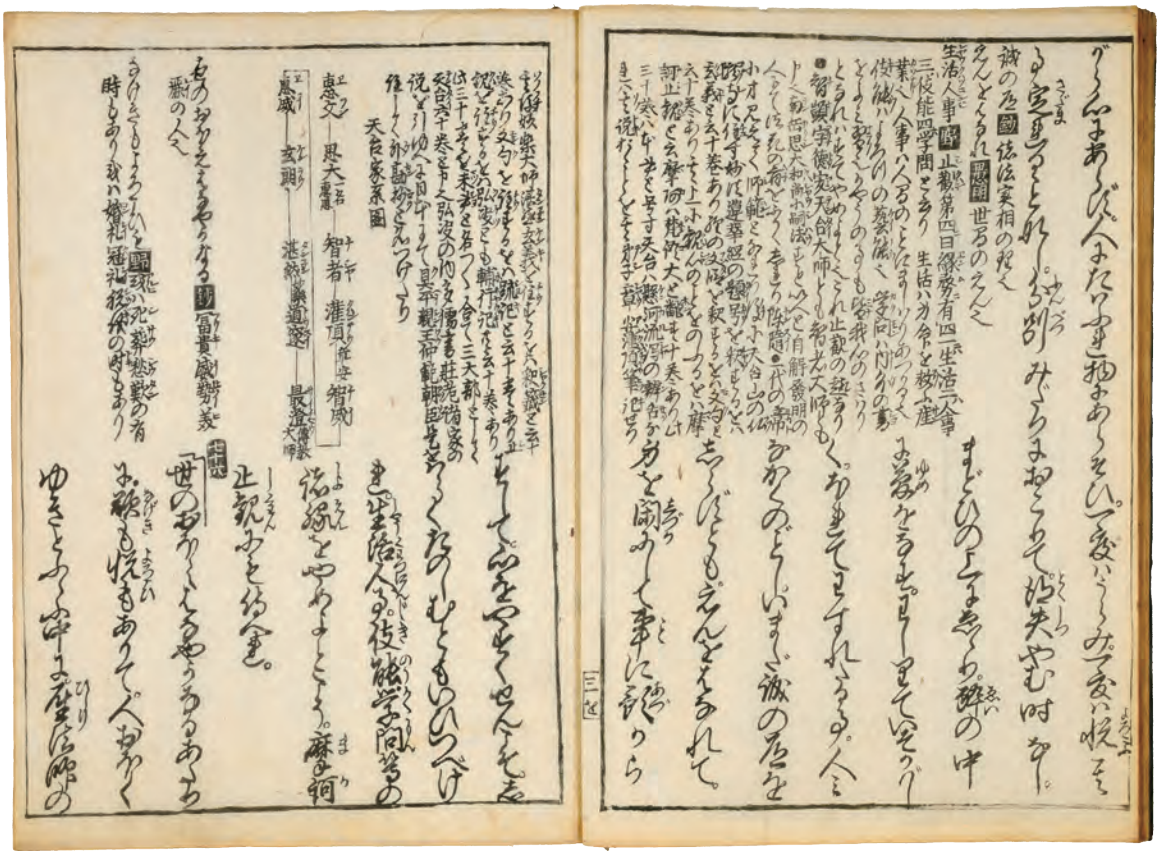
第三冊　10丁裏　　第三冊　11丁表



第三冊　11 丁裏　　第三冊　12 丁表



第三冊　12 丁裏　　第三冊　13 丁表

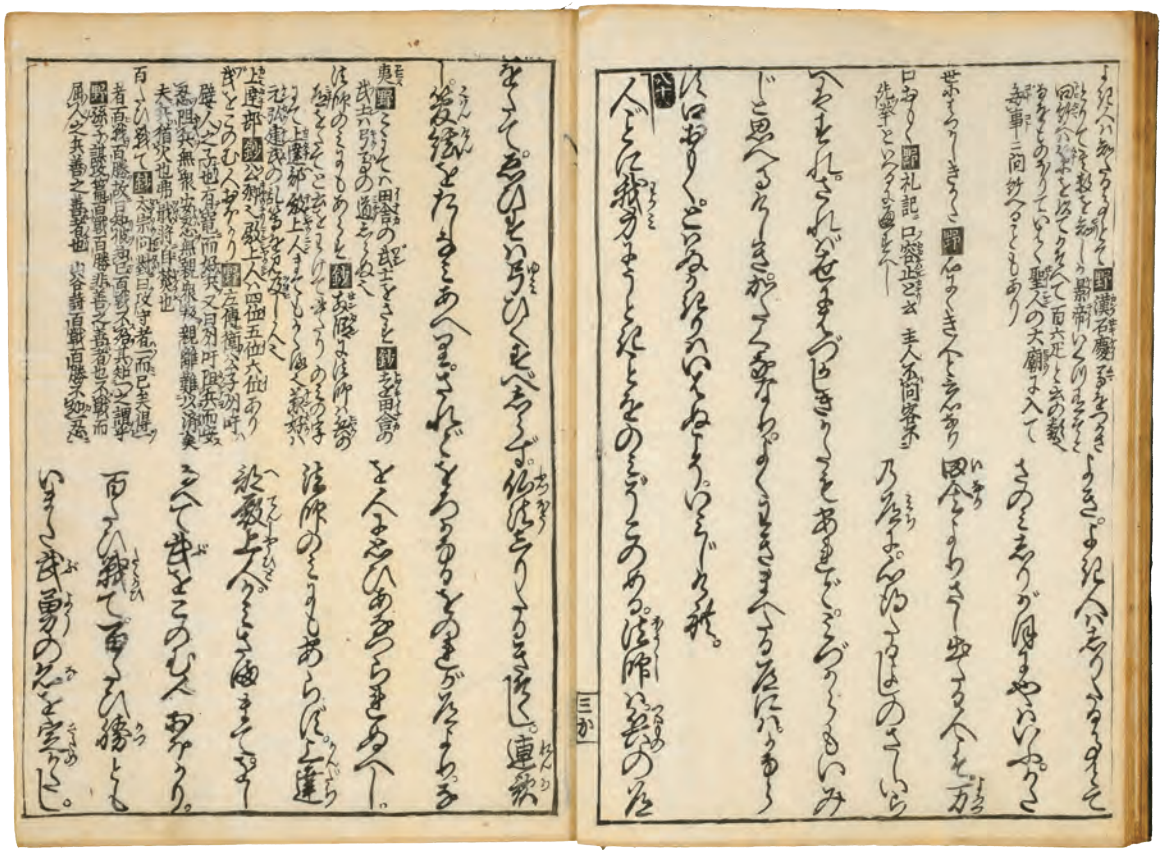


第三冊　14 丁表　　第三冊　13 丁裏

第三冊　15 丁表　第 16 図　　第三冊　14 丁裏

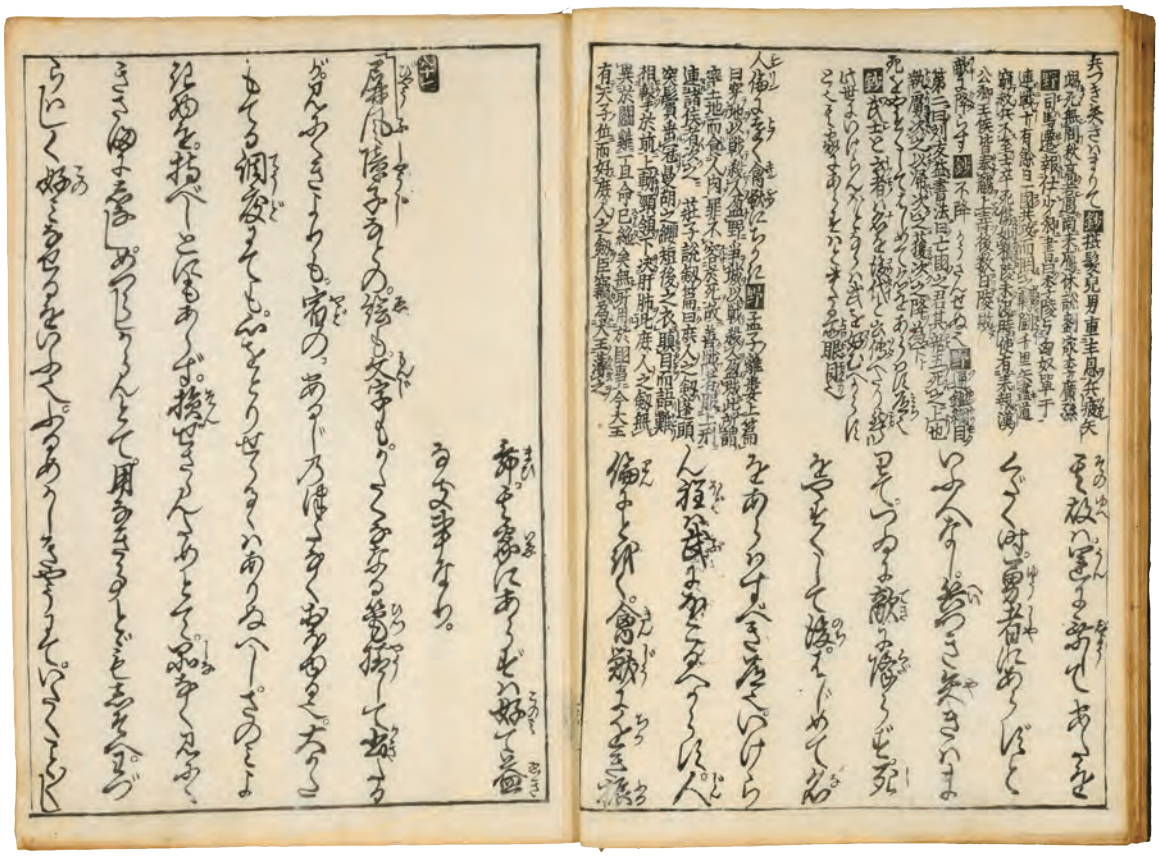
第三冊　15 丁裏　第 17 図

第三冊　16 丁表



第三冊　16 丁裏

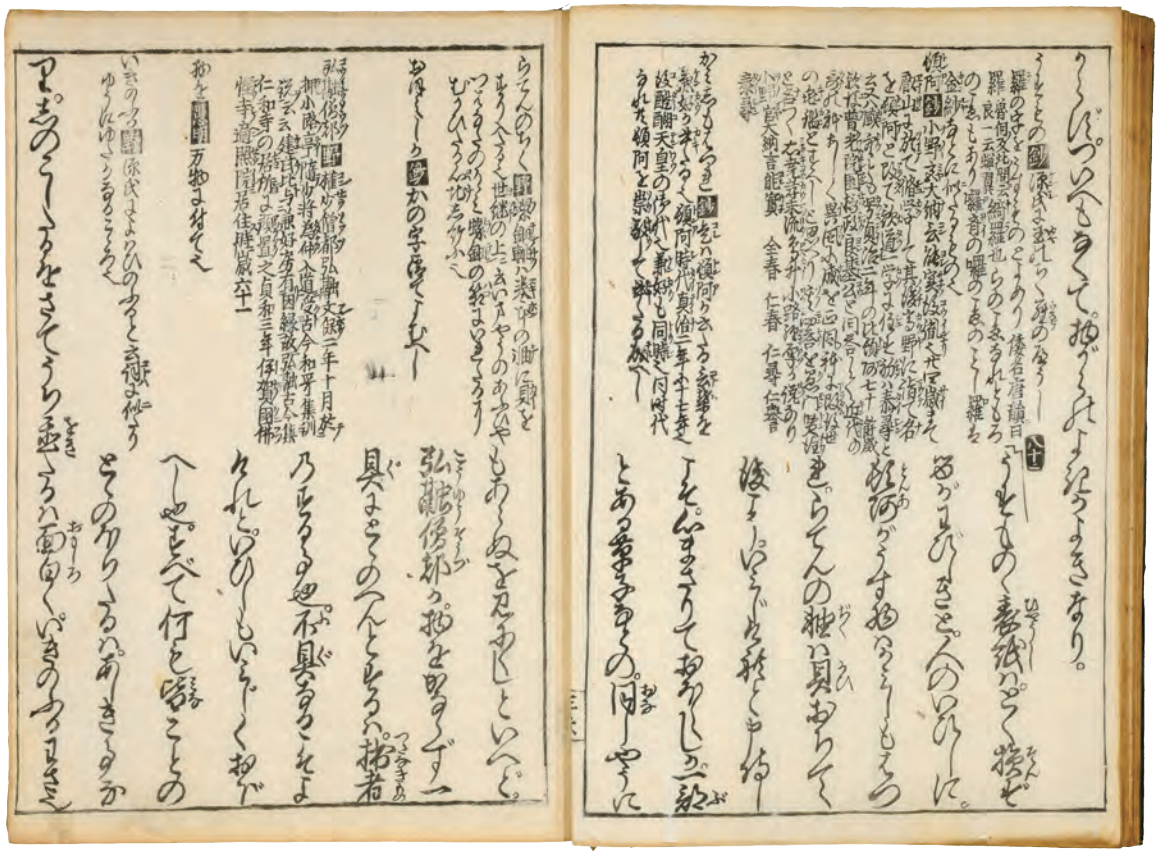
第三冊　17 丁表



第三冊　17丁裏



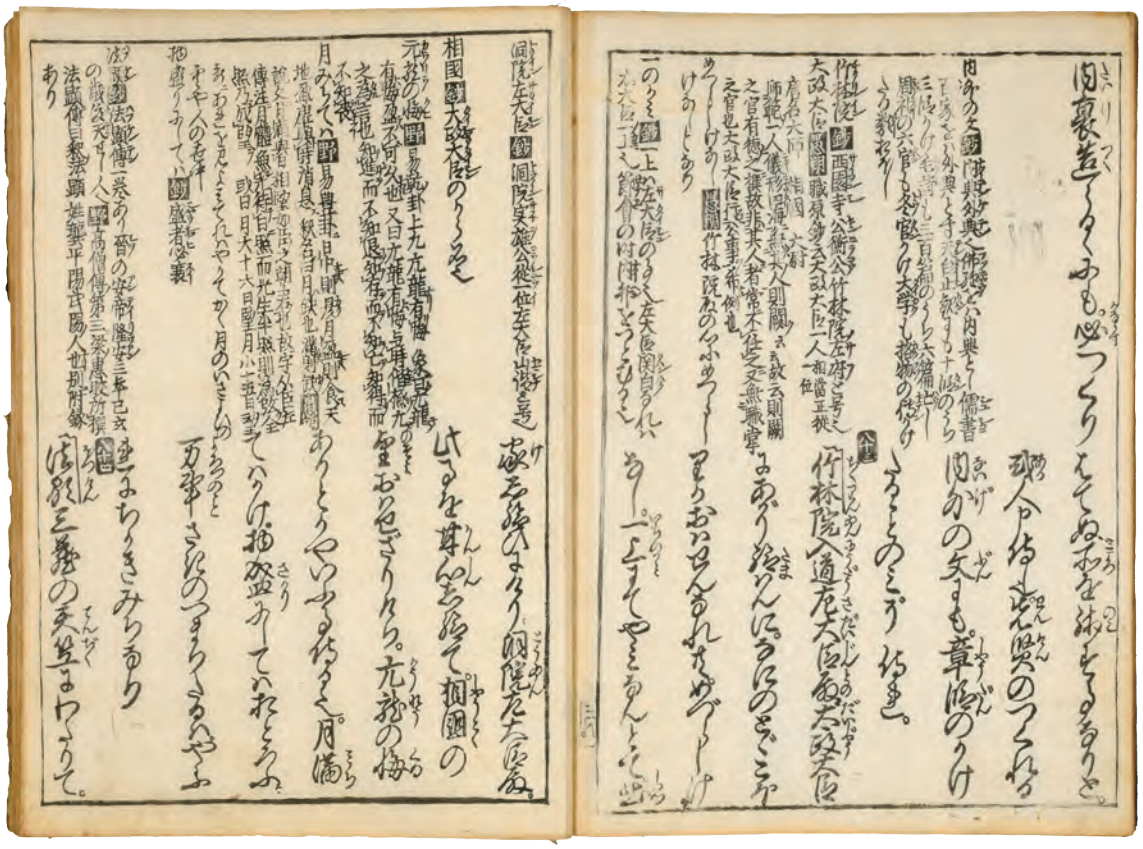
第三冊　18丁表



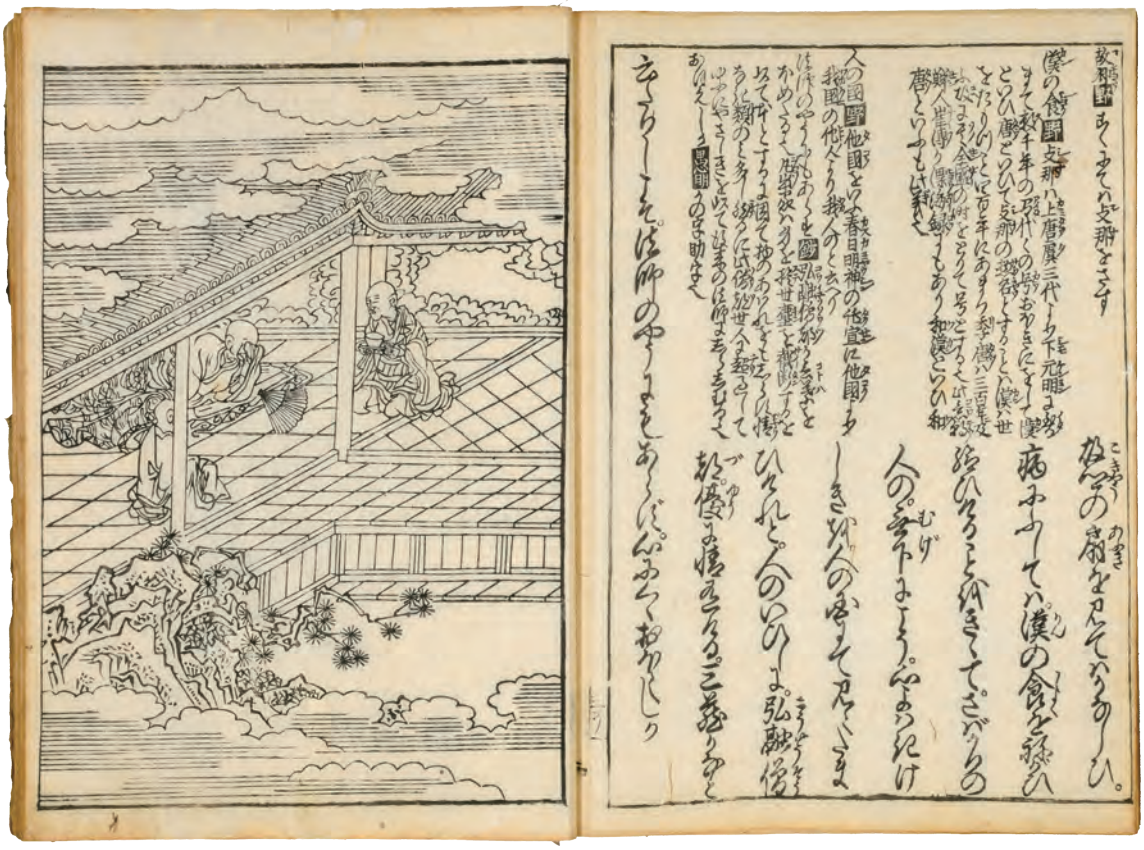
第三冊　18丁裏



第三冊　19丁表

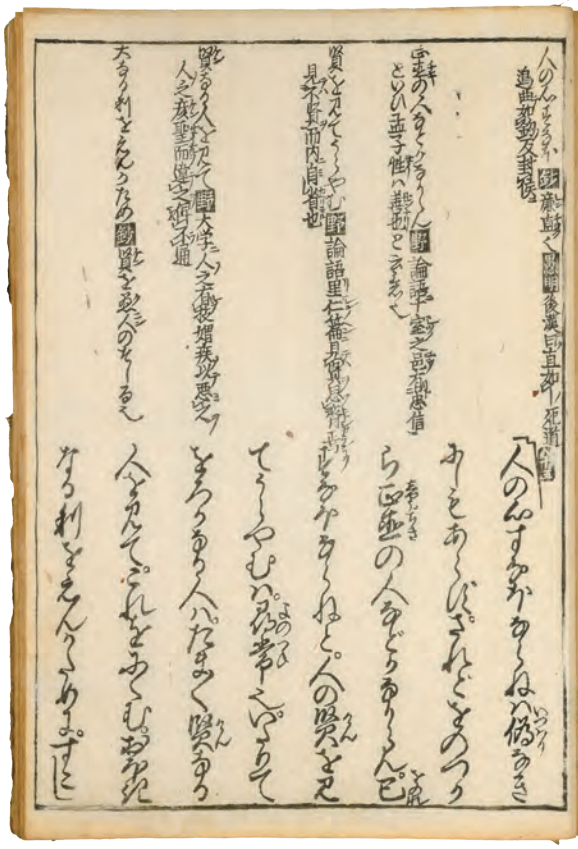


第三冊　19 丁裏　　第三冊　20 丁表

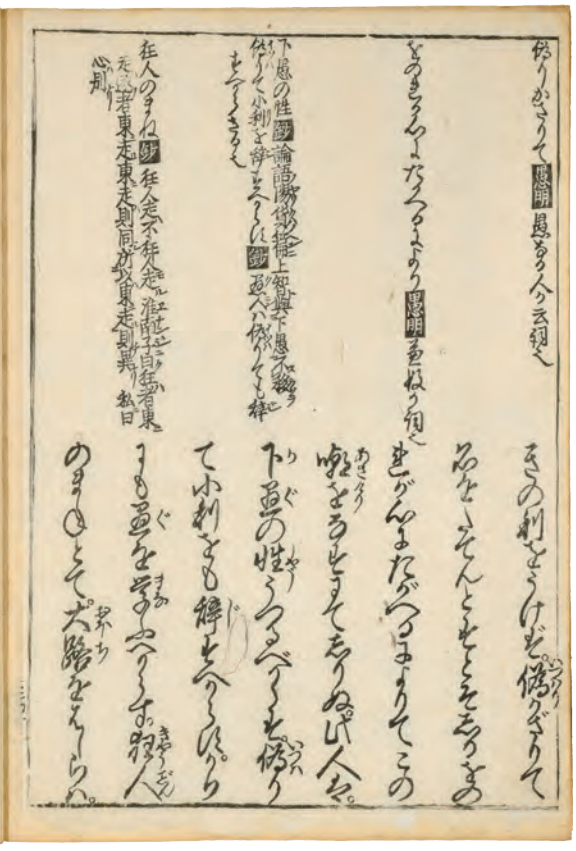


第三冊　20 丁裏　　第三冊　21 丁表　第 18 図

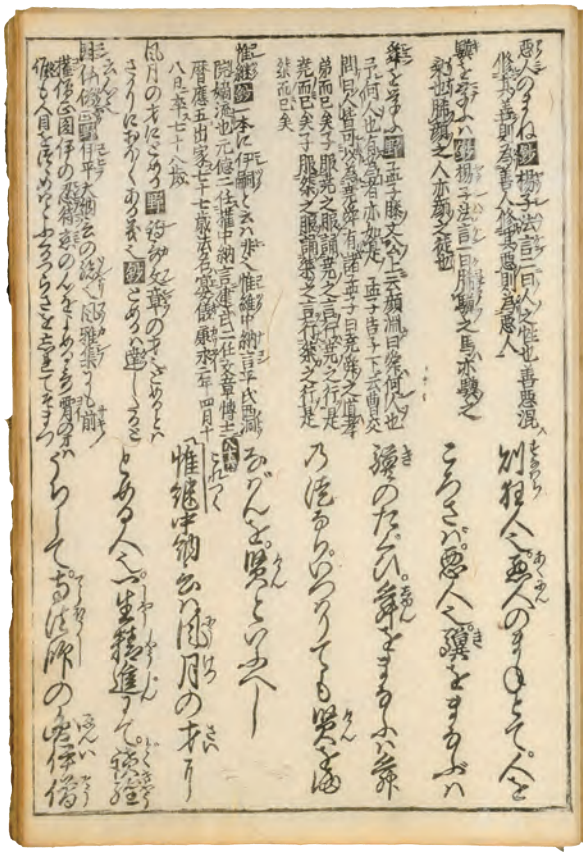
第三冊　21 丁裏　第 19 図



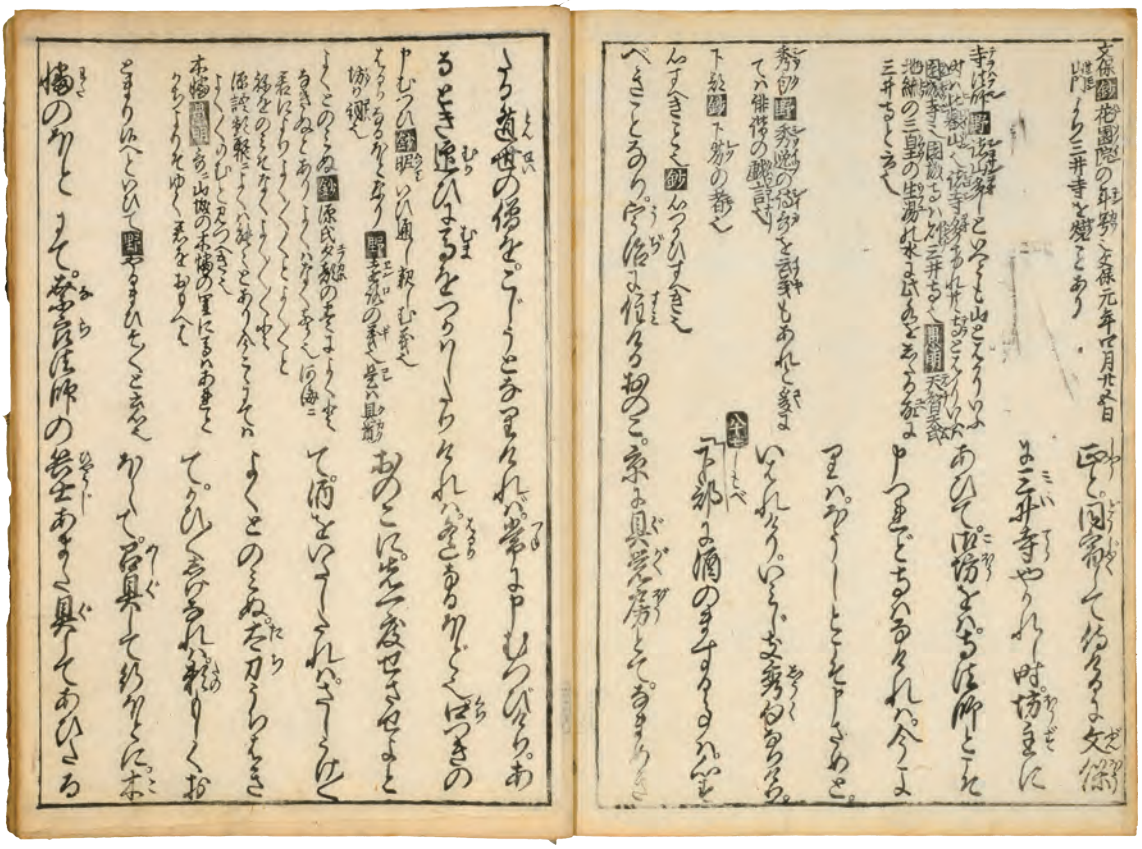
第三冊　22 丁表



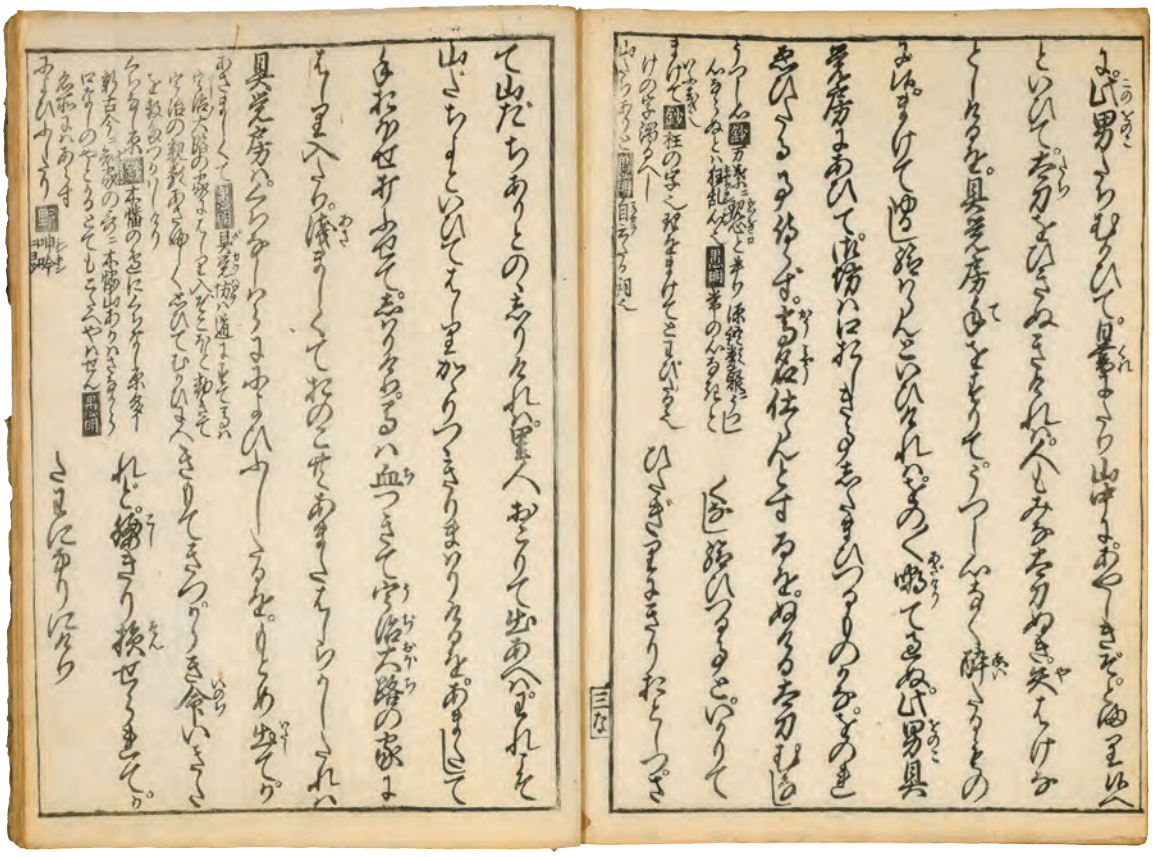
第三冊　22 丁裏



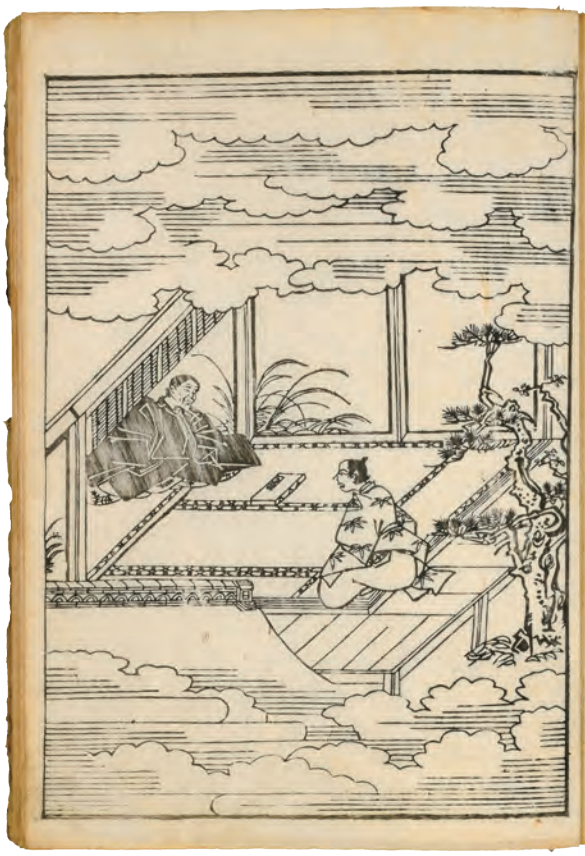
第三冊　23 丁表



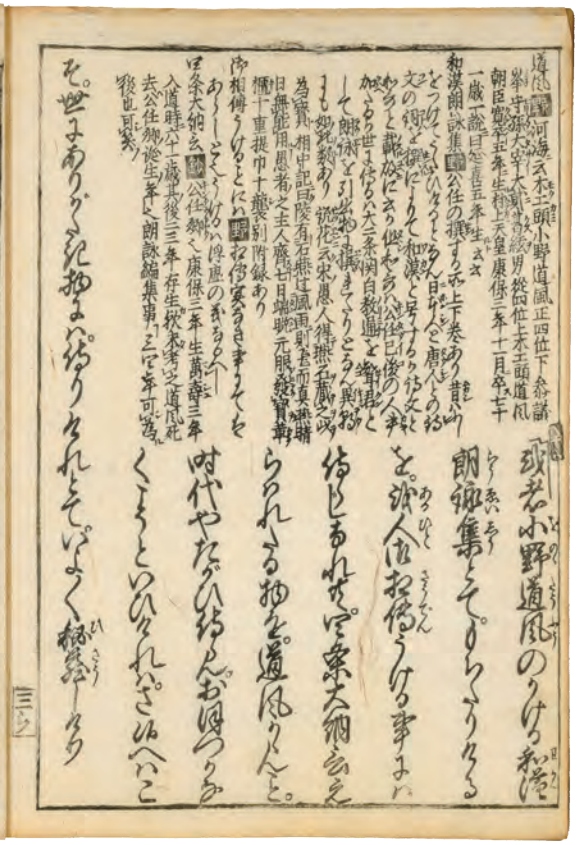
第三冊　23 丁裏　　第三冊　24 丁表



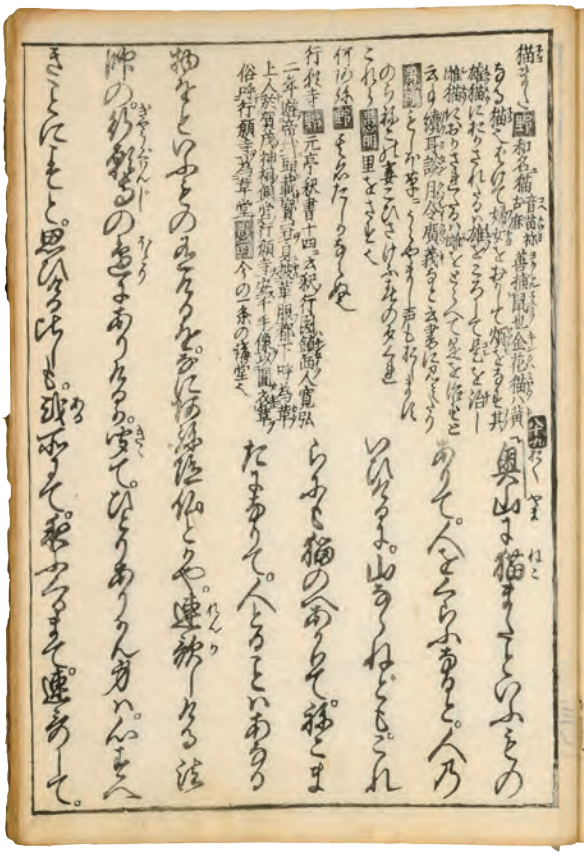
第三冊　24 丁裏　　第三冊　25 丁表



第三冊　26 丁表　第 20 図

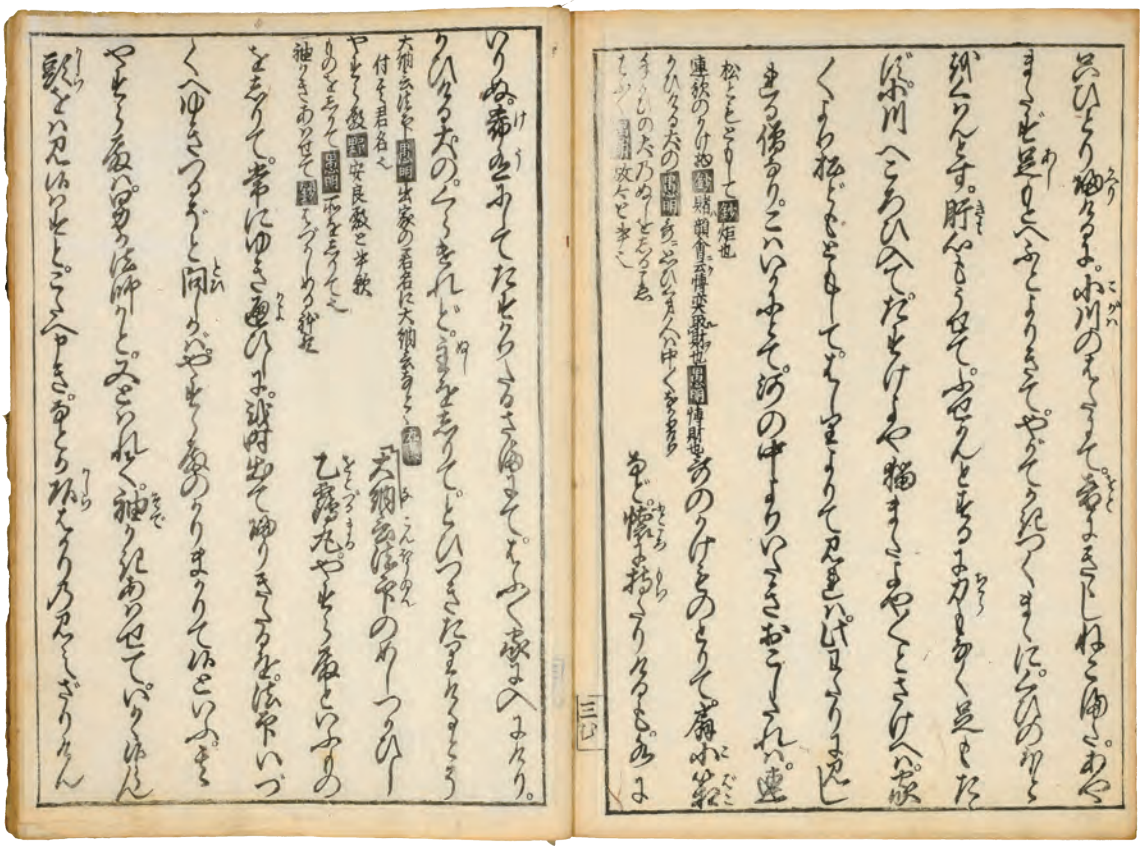


第三冊　25 丁裏

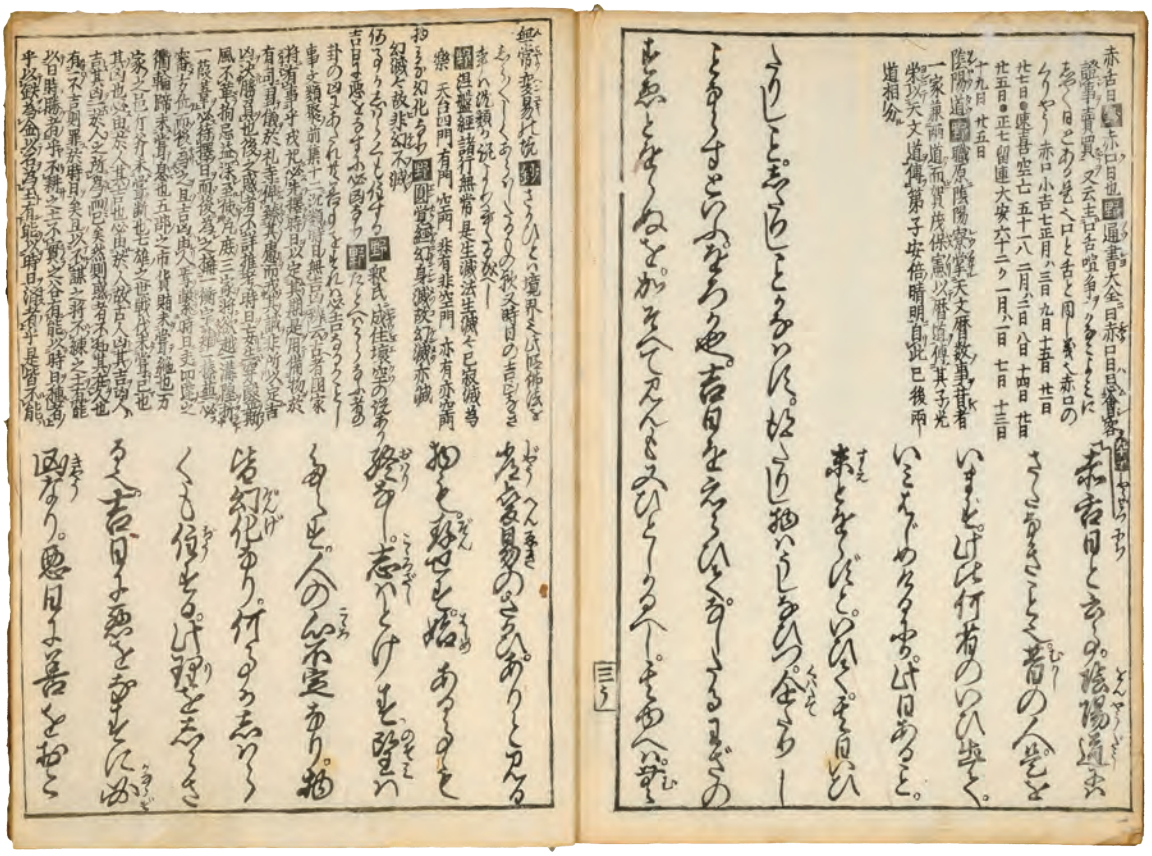


第三冊　27 丁表

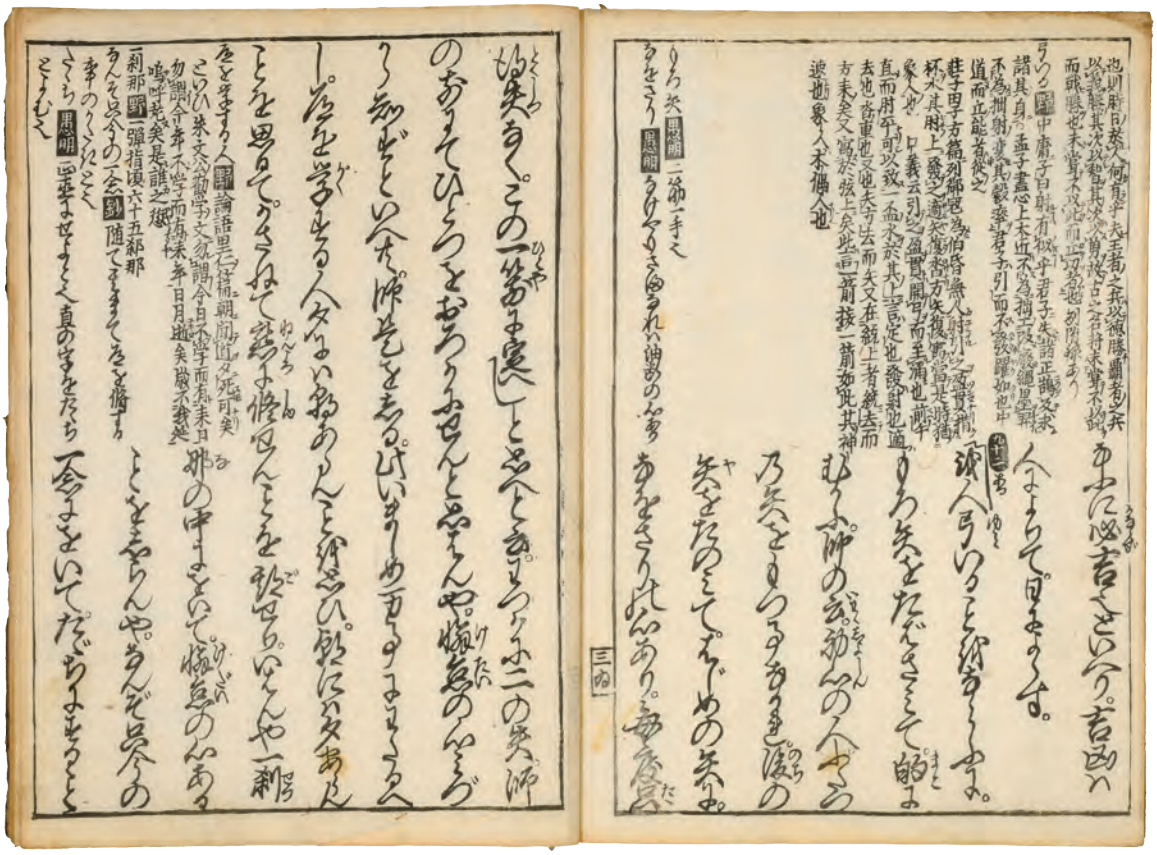
第三冊　26 丁裏　第 21 図



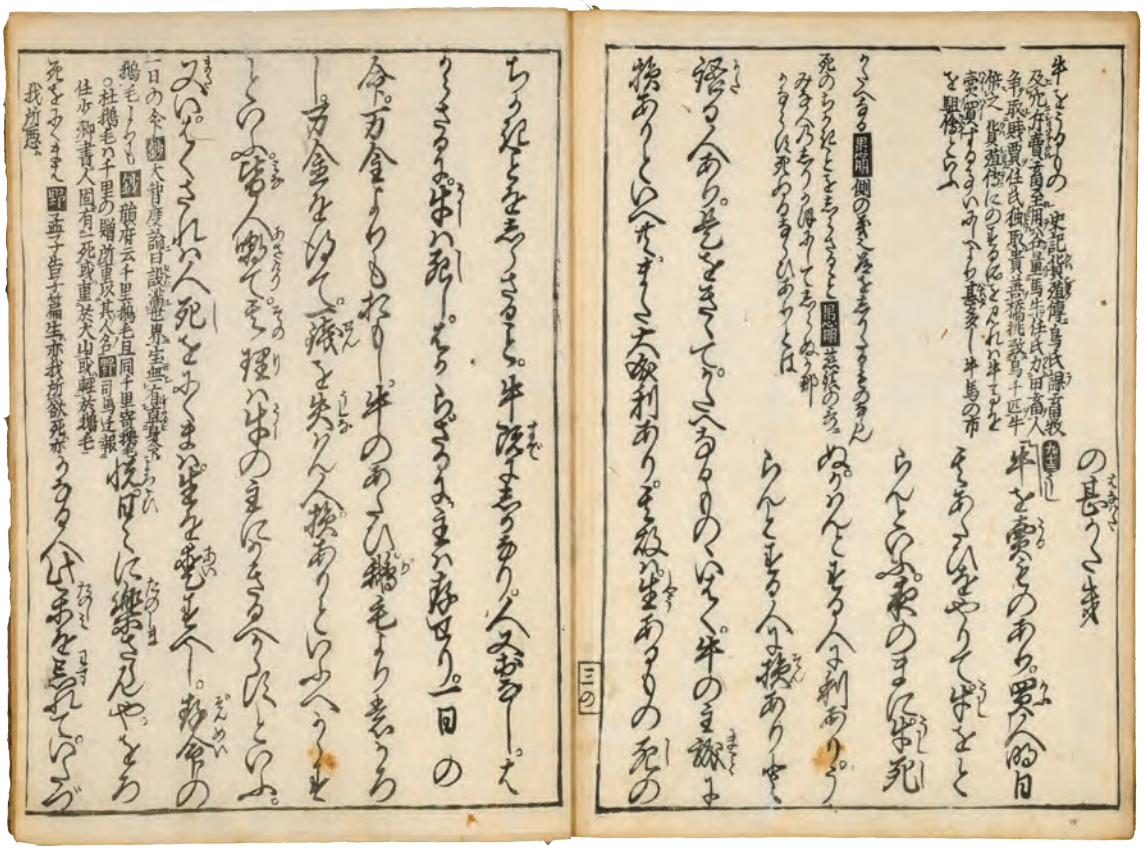
第三冊　27 丁裏　　第三冊　28 丁表



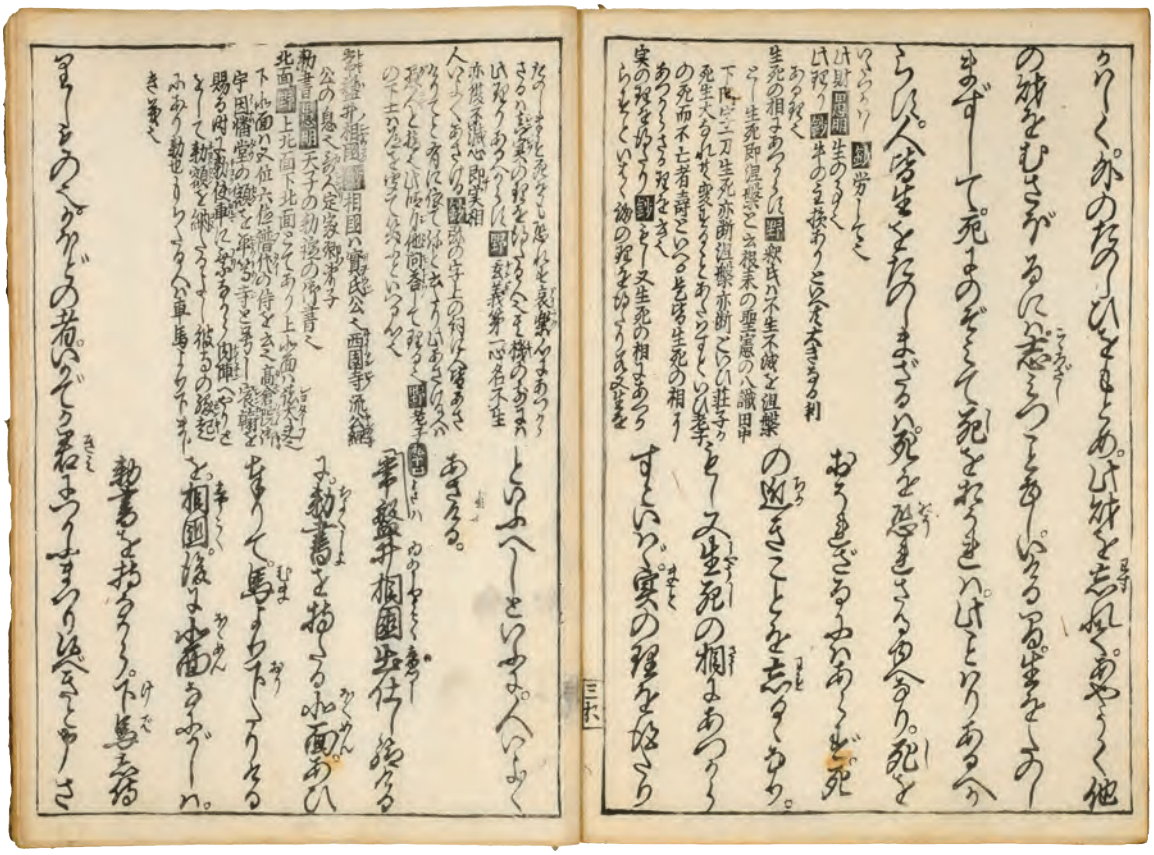
第三冊　28 丁裏　　第三冊　29 丁表



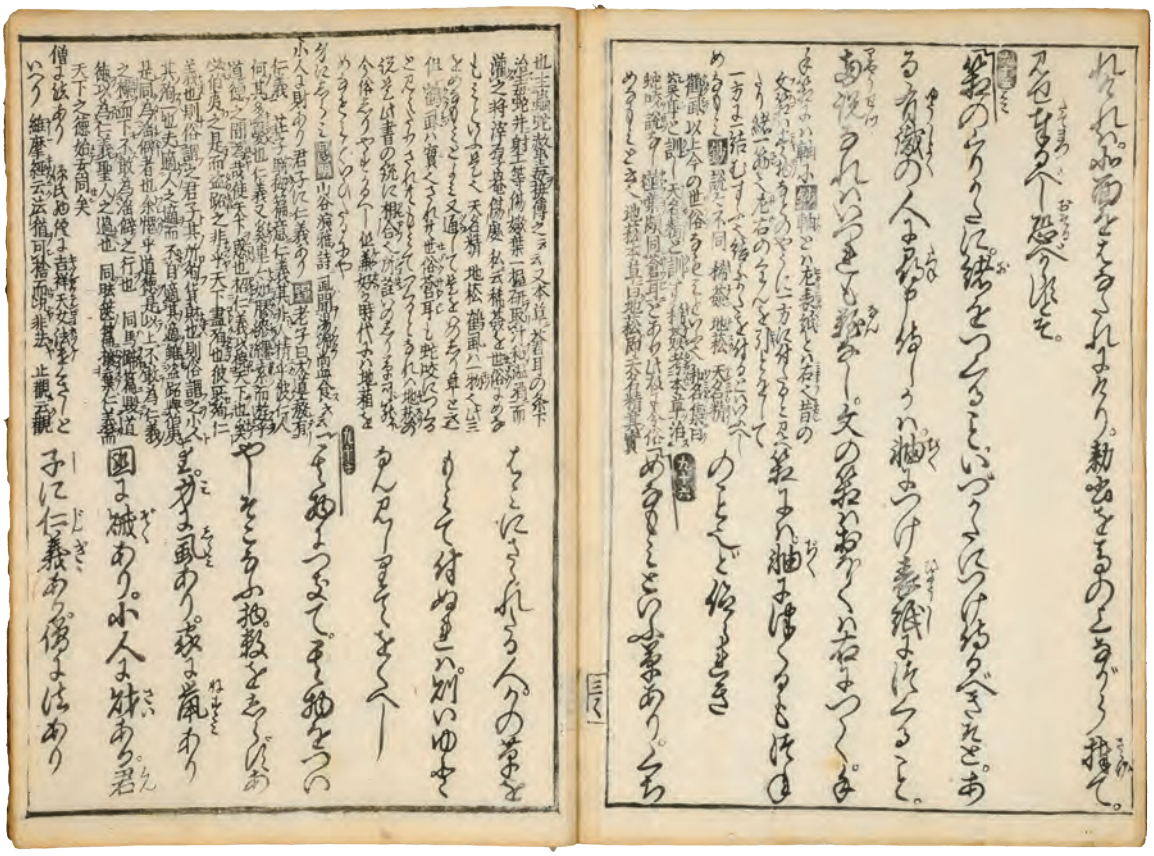
第三冊　29 丁裏　　第三冊　30 丁表



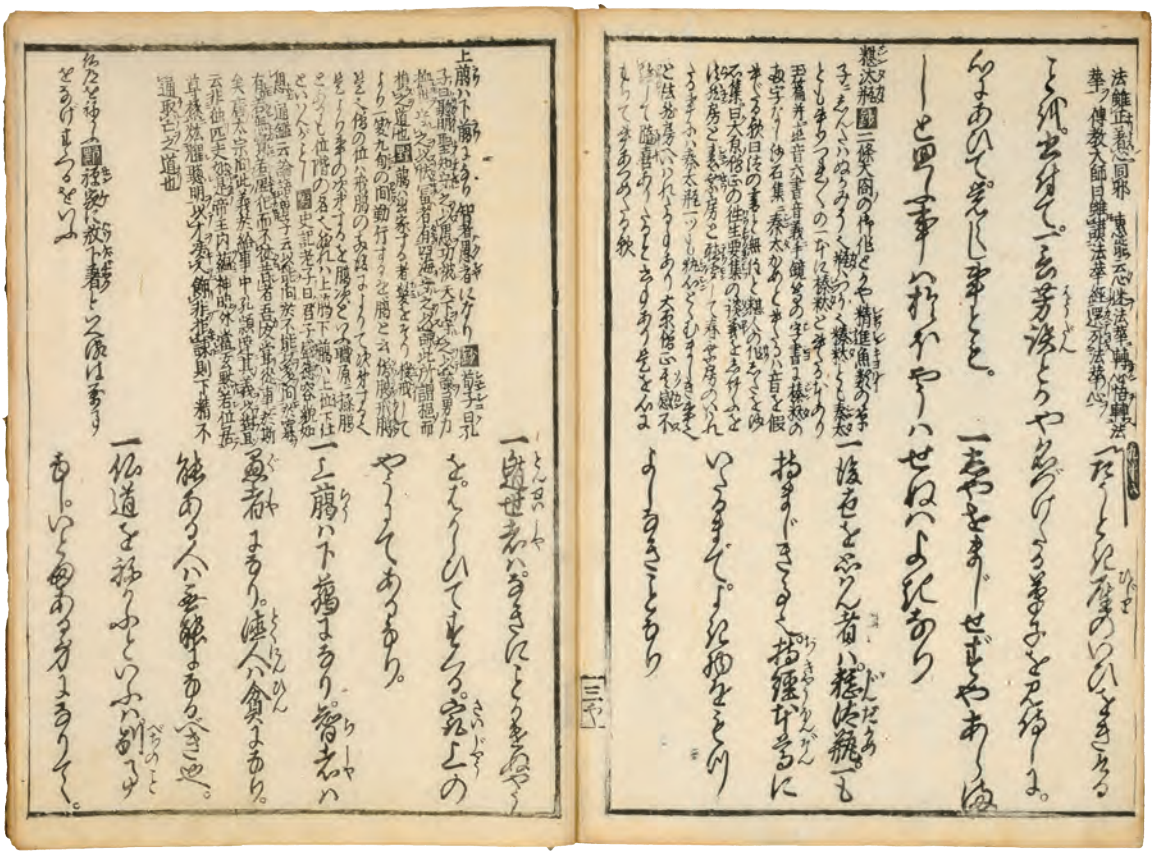
第三冊　30 丁裏　　第三冊　31 丁表



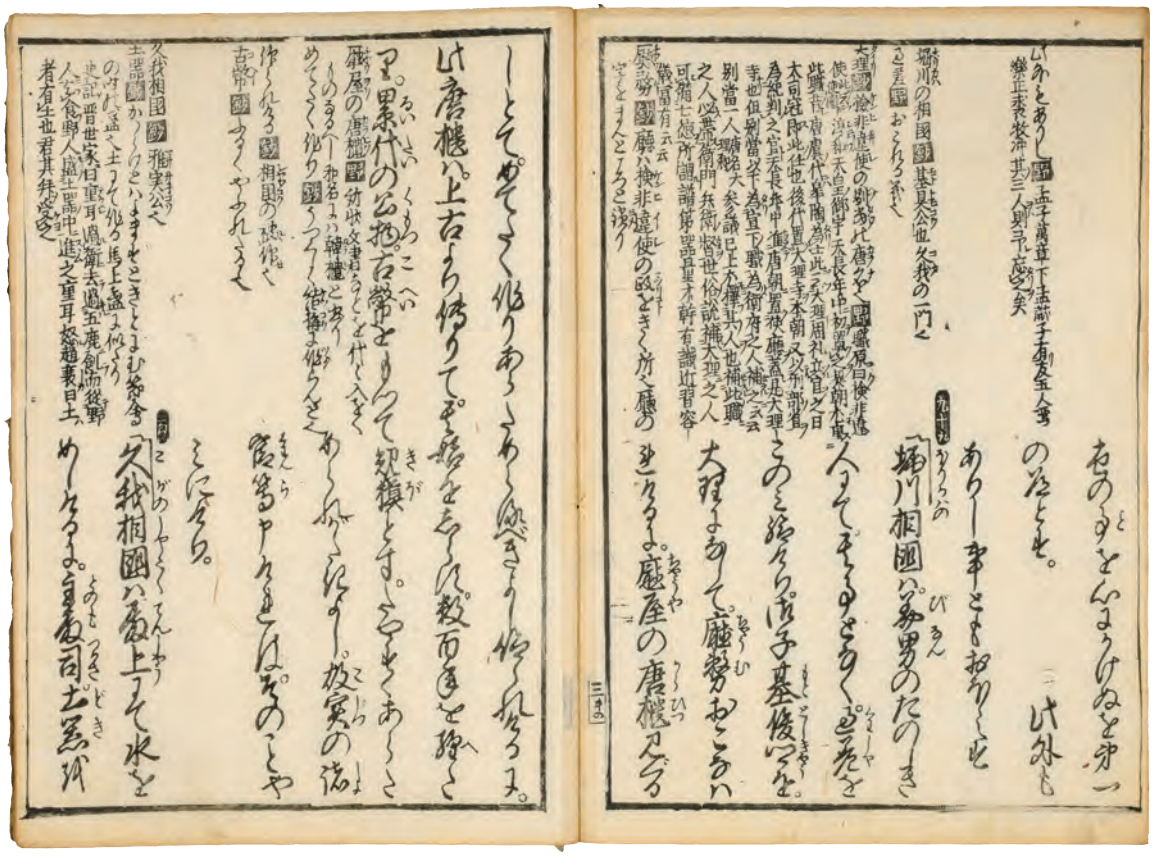
第三冊　31 丁裏　　第三冊　32 丁表



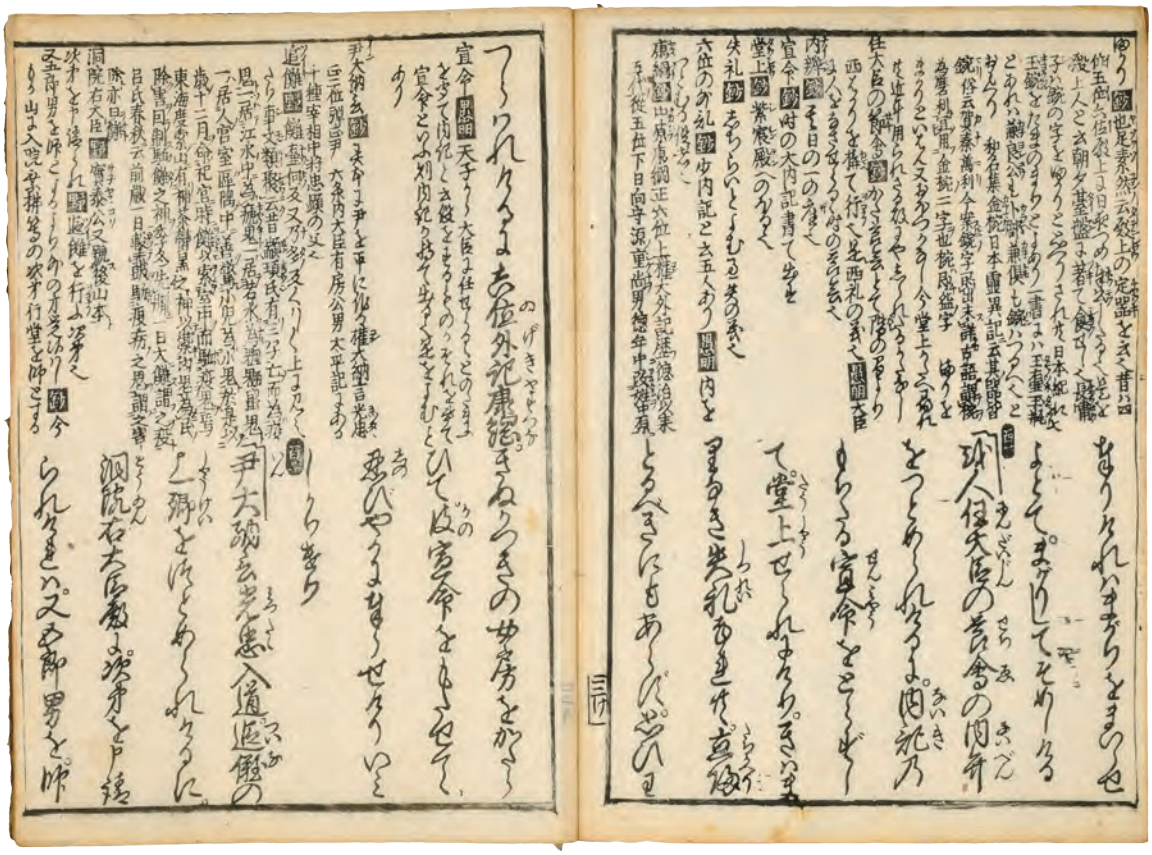
第三冊　32 丁裏　　第三冊　33 丁表



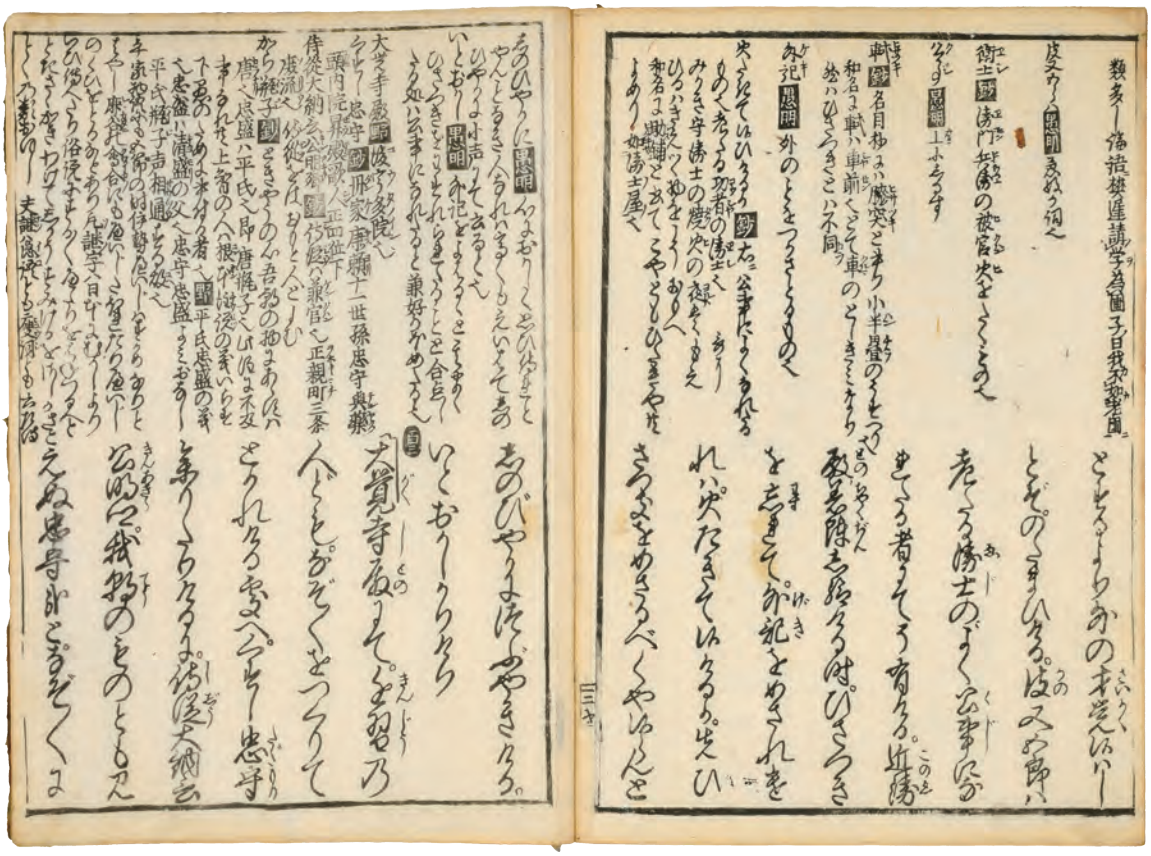
第三冊　33 丁裏　　第三冊　34 丁表



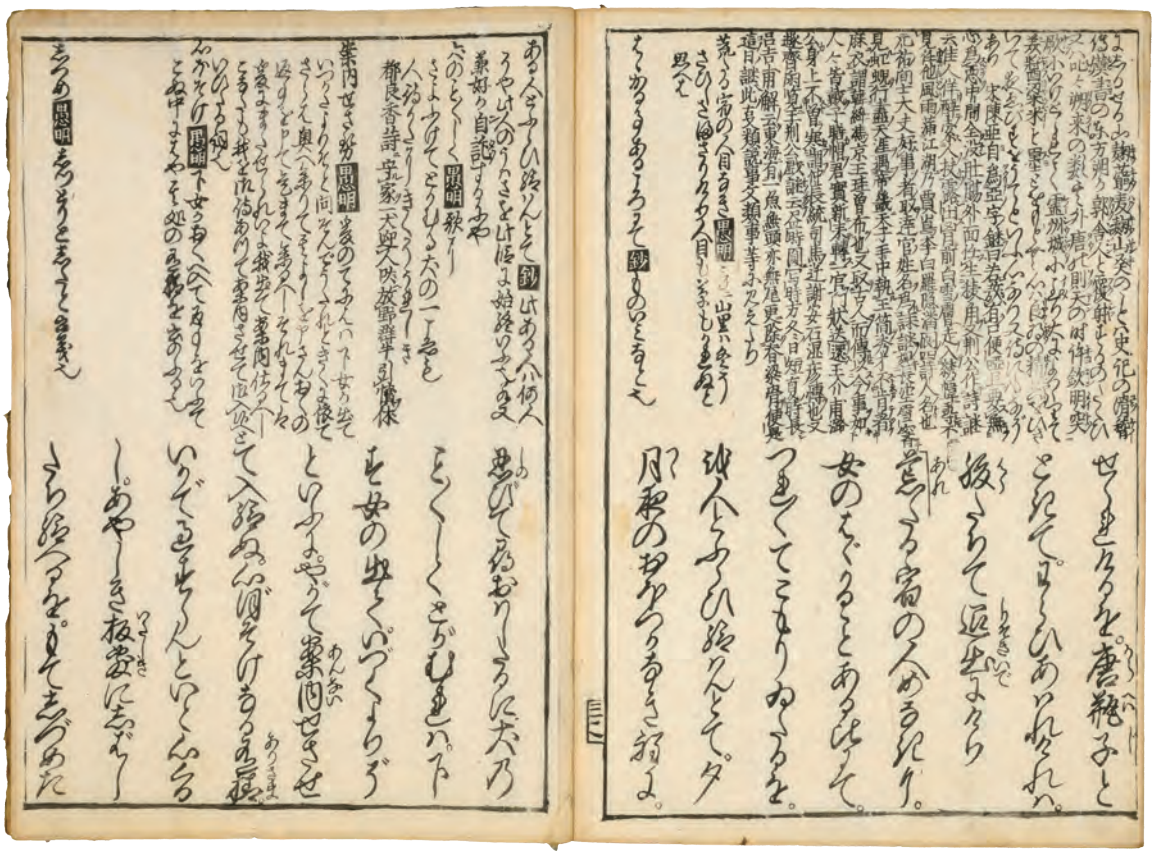
第三冊　34 丁裏　　第三冊　35 丁表



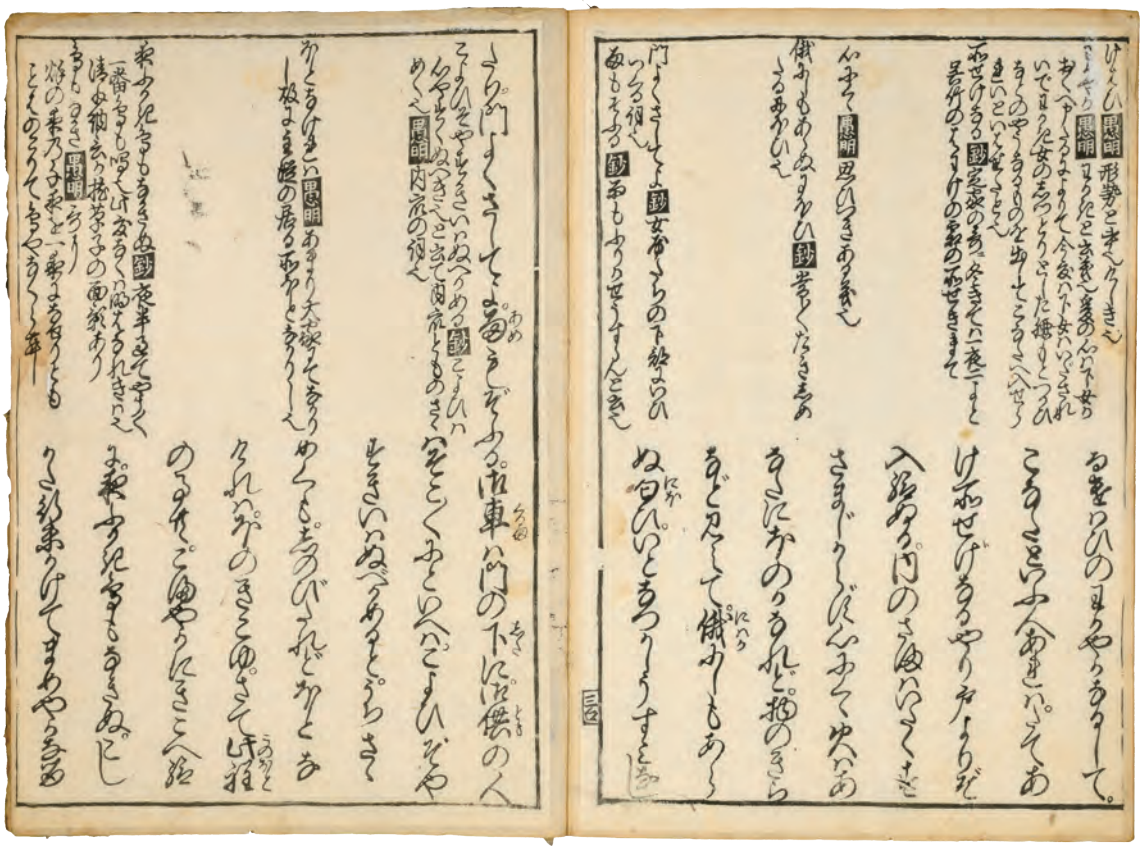
第三冊　35 丁裏　　第三冊　36 丁表



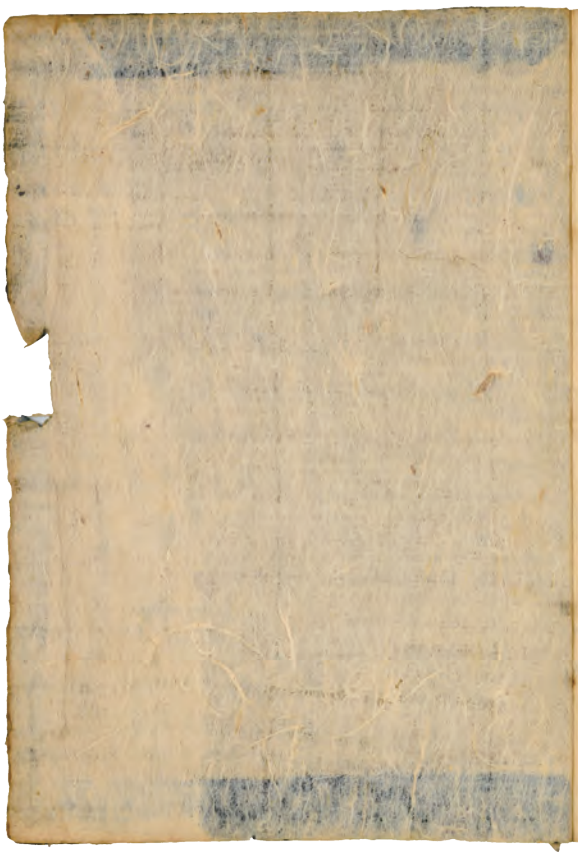
第三冊　36 丁裏　　第三冊　37 丁表



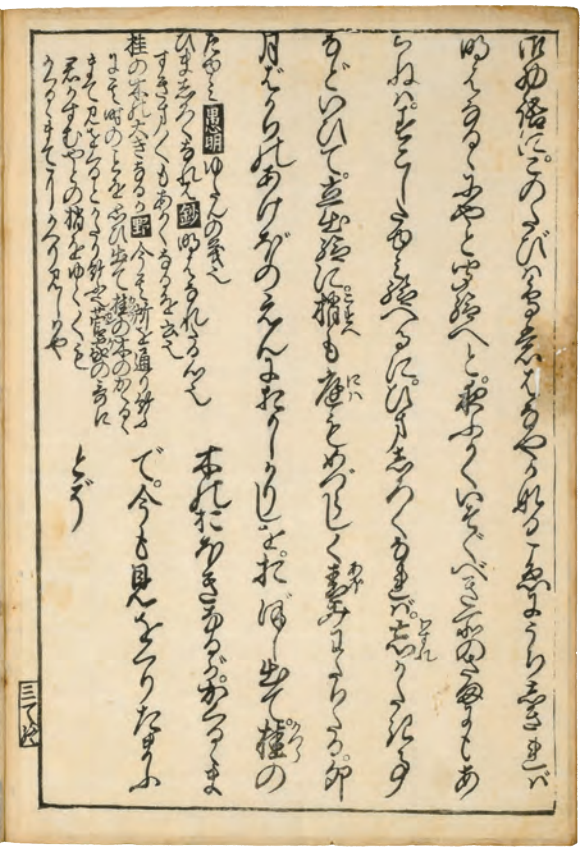
第三冊　37 丁裏　　第三冊　38 丁表



第三冊　38 丁裏　　第三冊　39 丁表



第三冊　裏表紙見返し



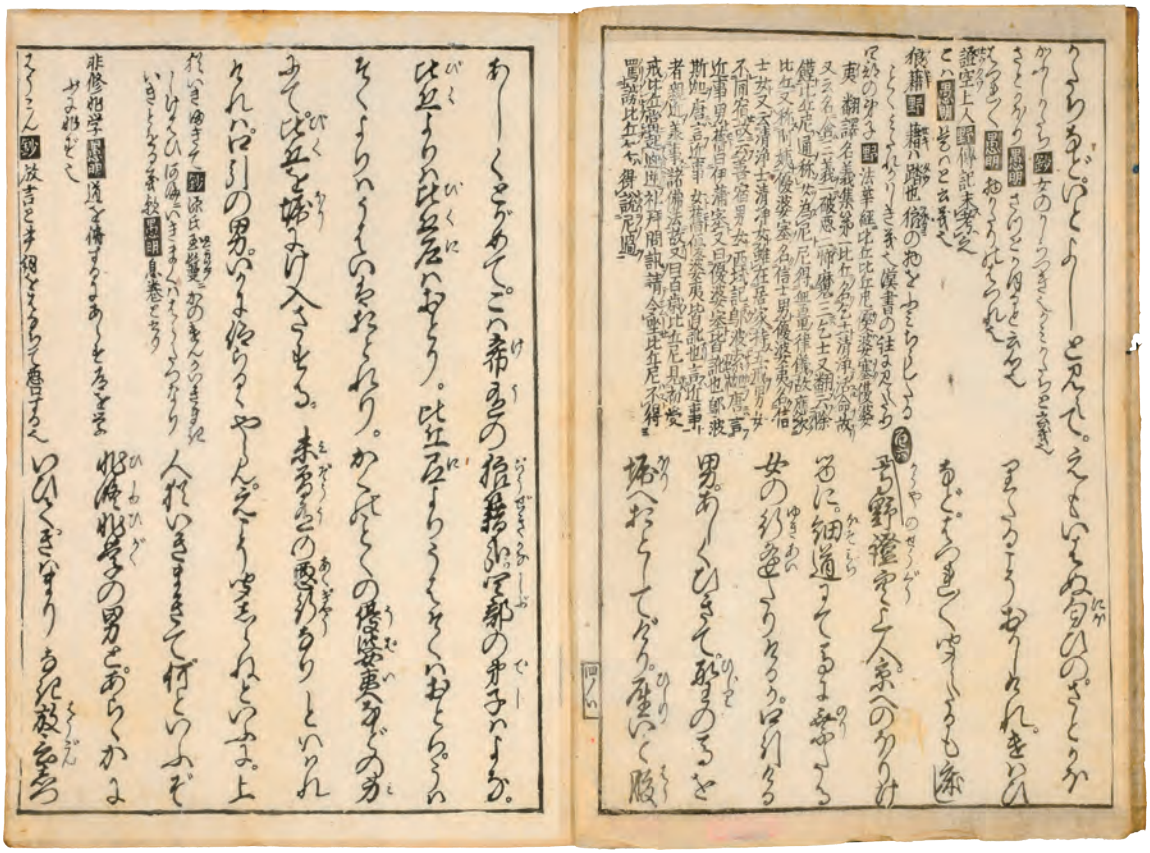
第三冊　39 丁裏

第三冊　裏表紙

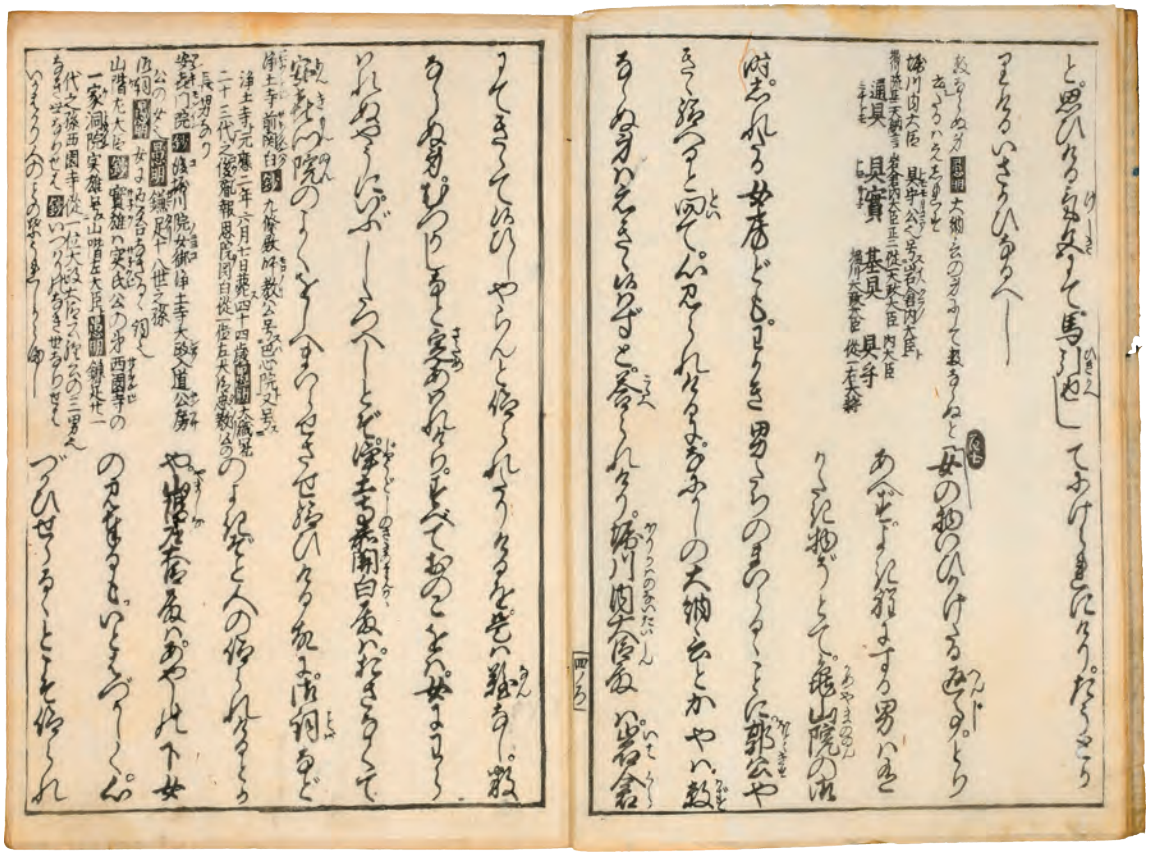
第四冊　表表紙

第四冊　１丁表

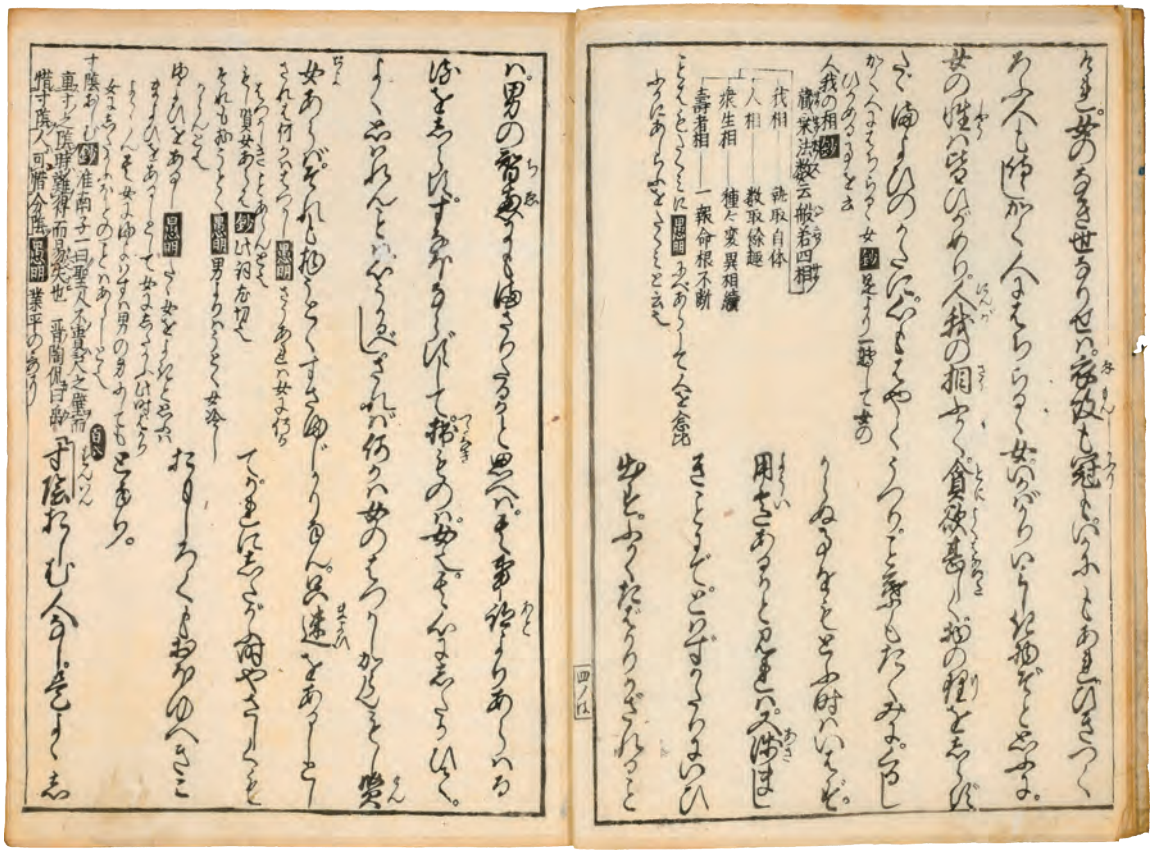
第四冊　表表紙見返し



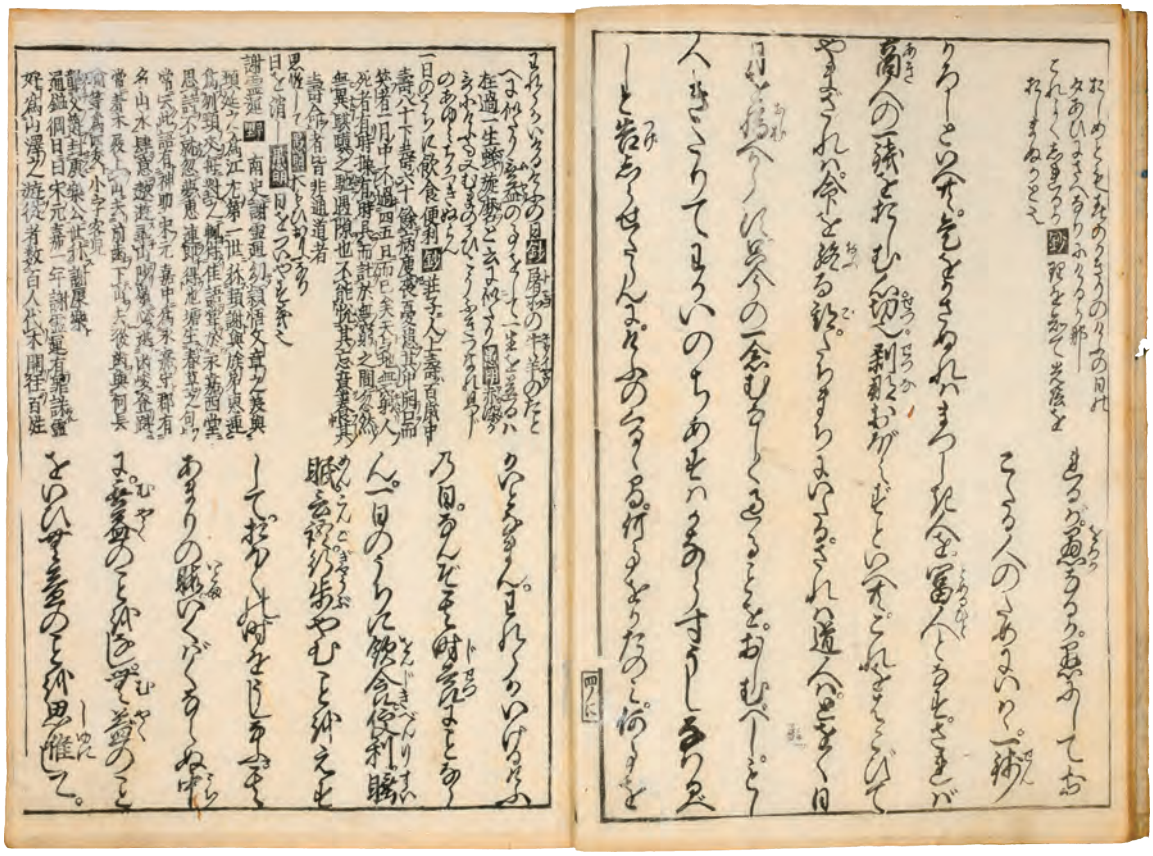
第四冊　1丁裏　　第四冊　2丁表



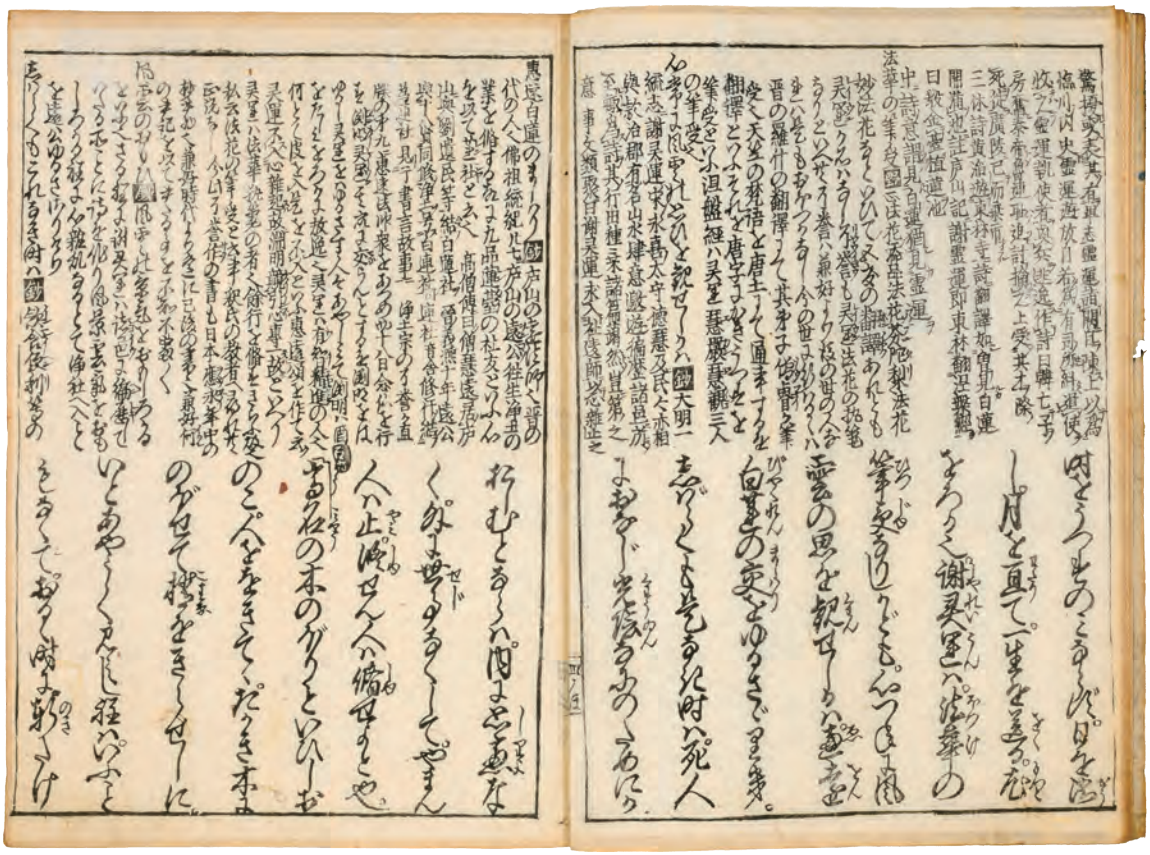
第四冊　2丁裏　　第四冊　3丁表



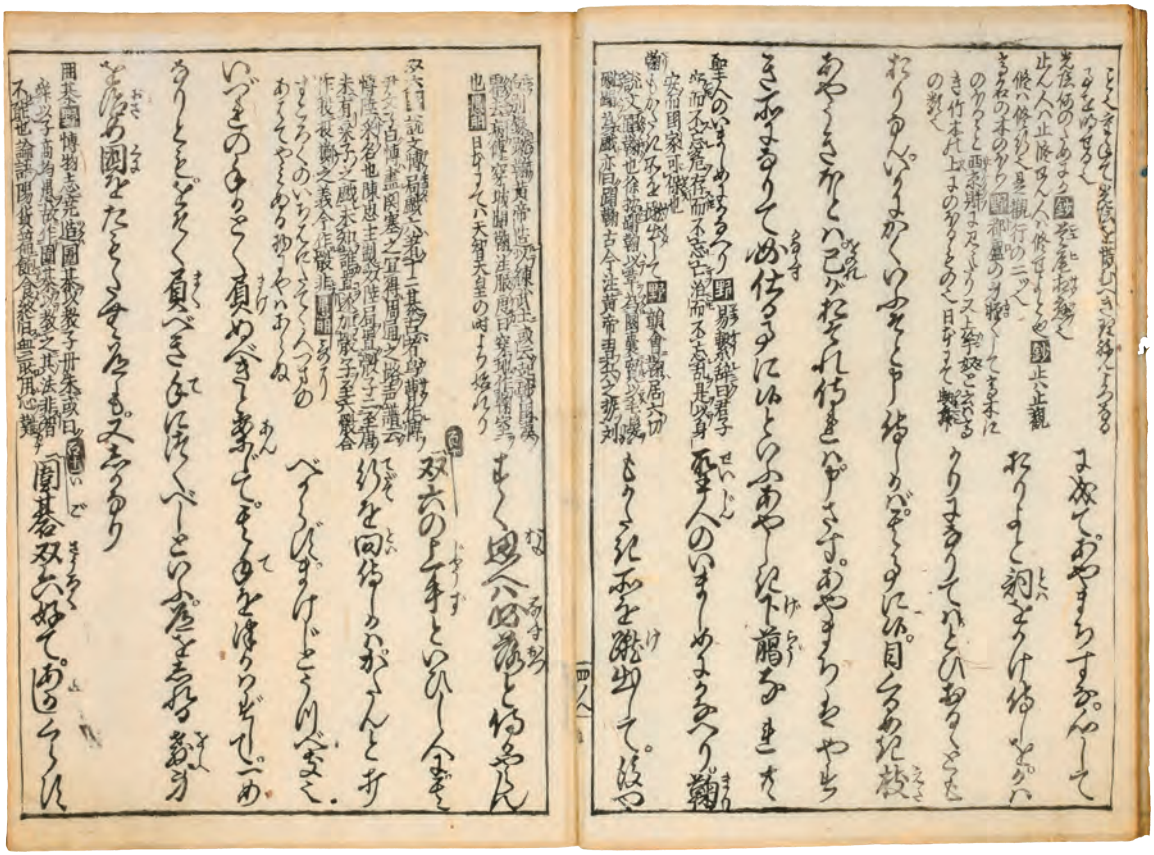
第四冊　3丁裏　　第四冊　4丁表



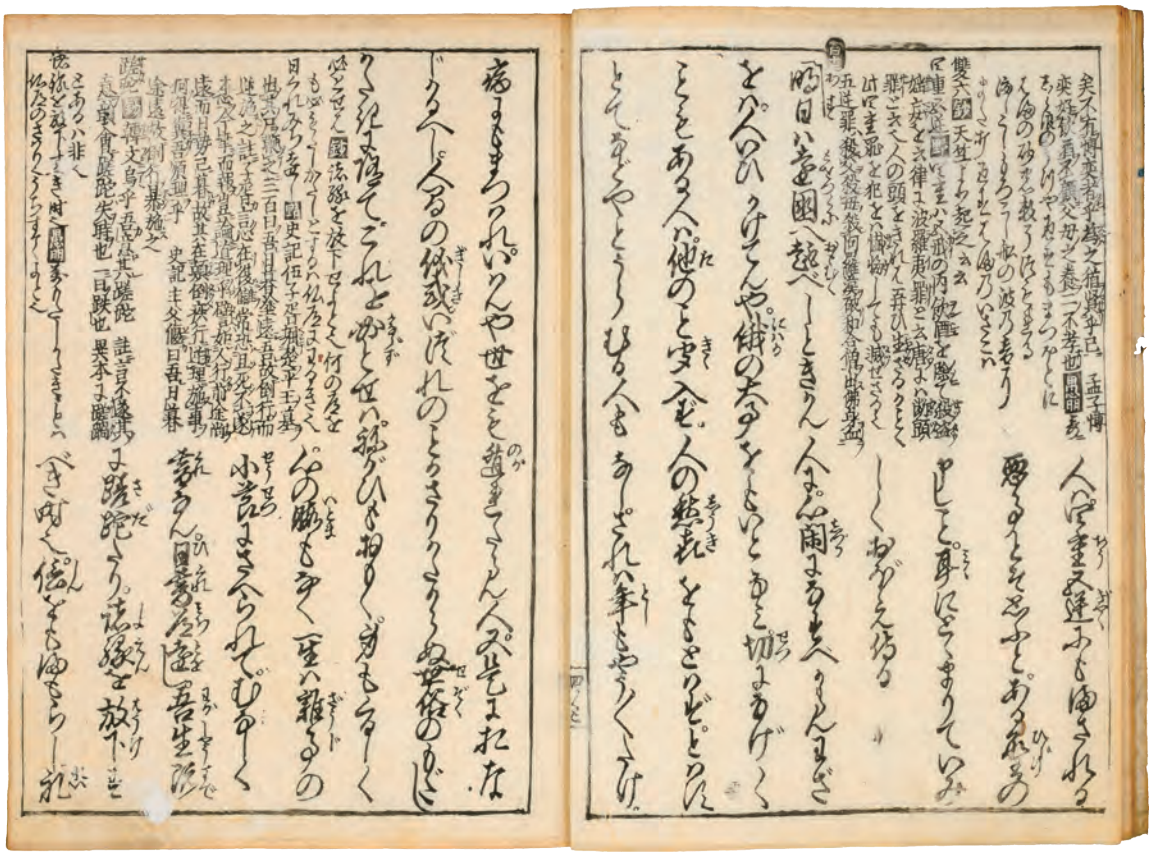
第四冊　4丁裏　　第四冊　5丁表



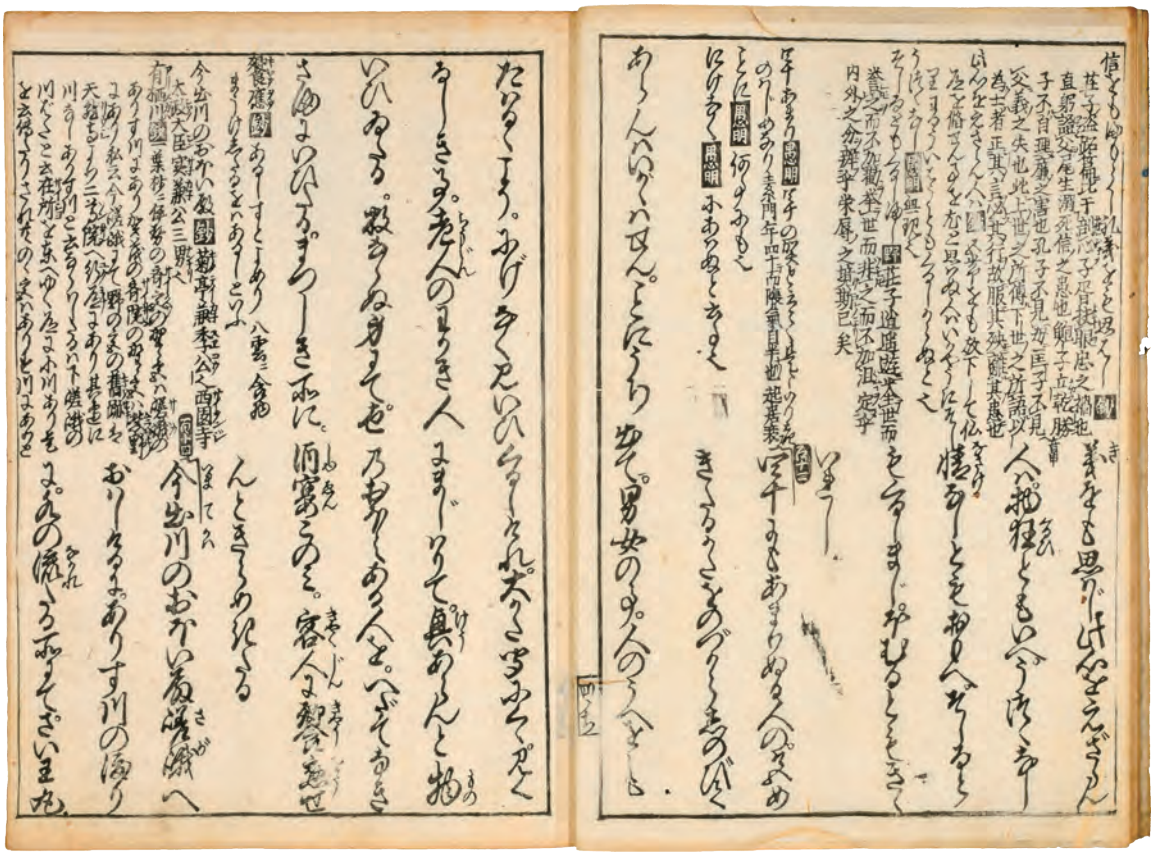
第四冊　5丁裏　　第四冊　6丁表



第四冊　6丁裏　　第四冊　7丁表

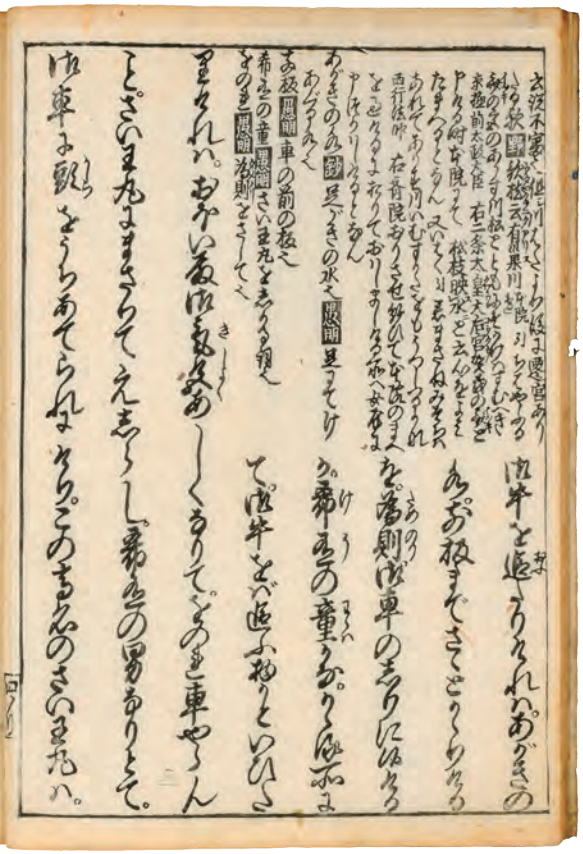


第四冊　7丁裏　　第四冊　8丁表

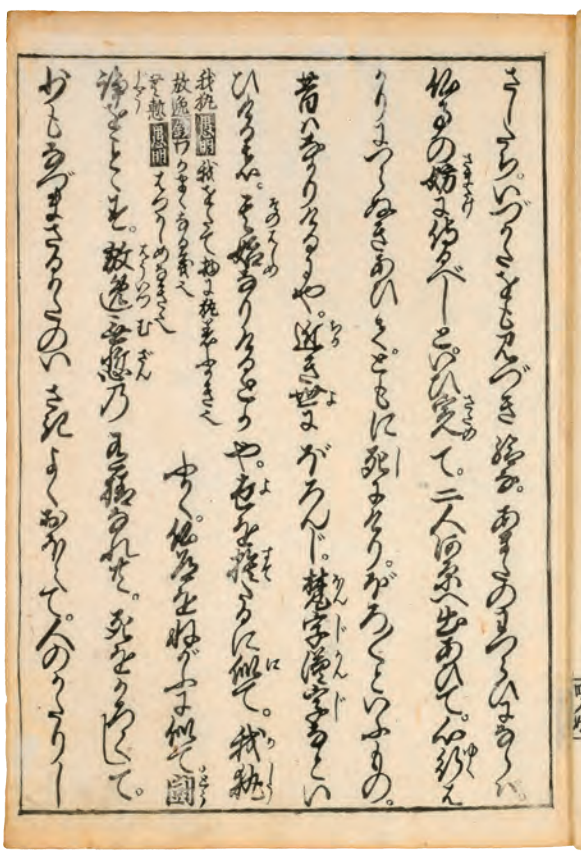


第四冊　8丁裏　　第四冊　9丁表

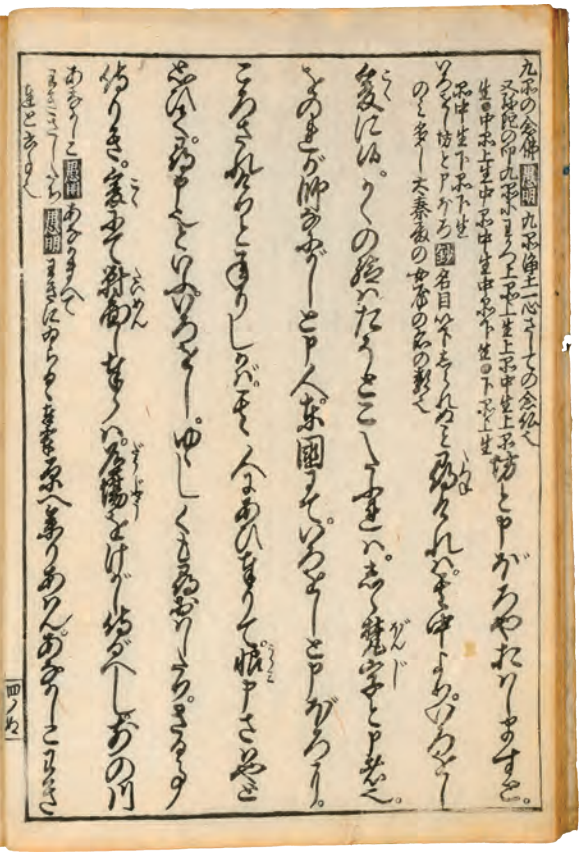
第四冊　10 丁表



第四冊　9 丁裏

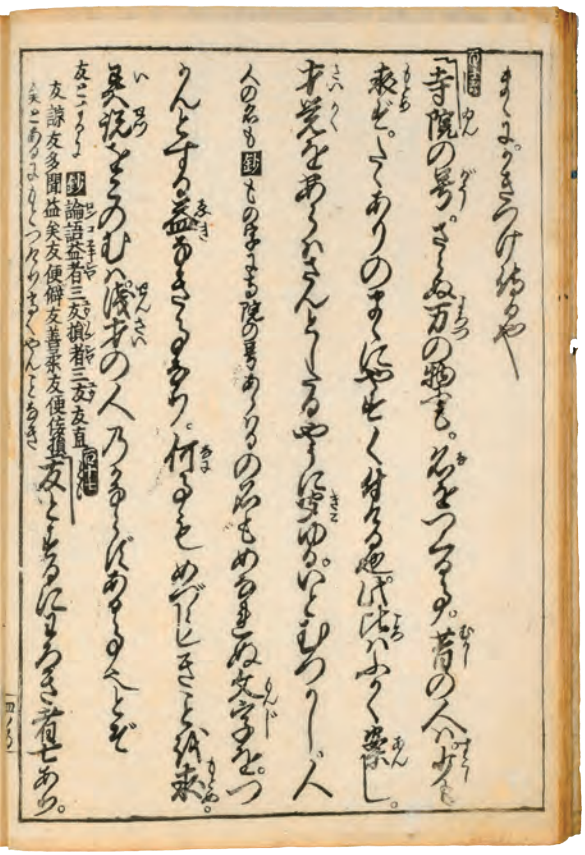


第四冊　11 丁表

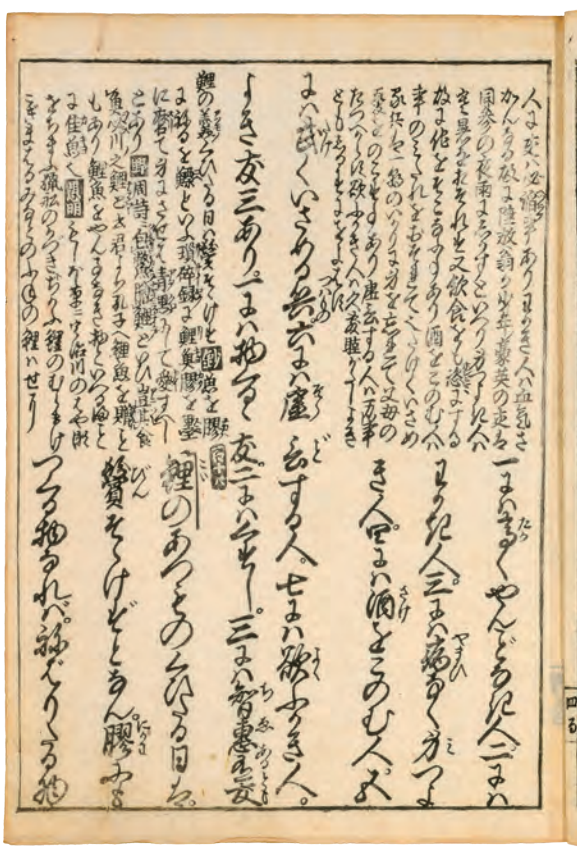


第四冊　10 丁裏

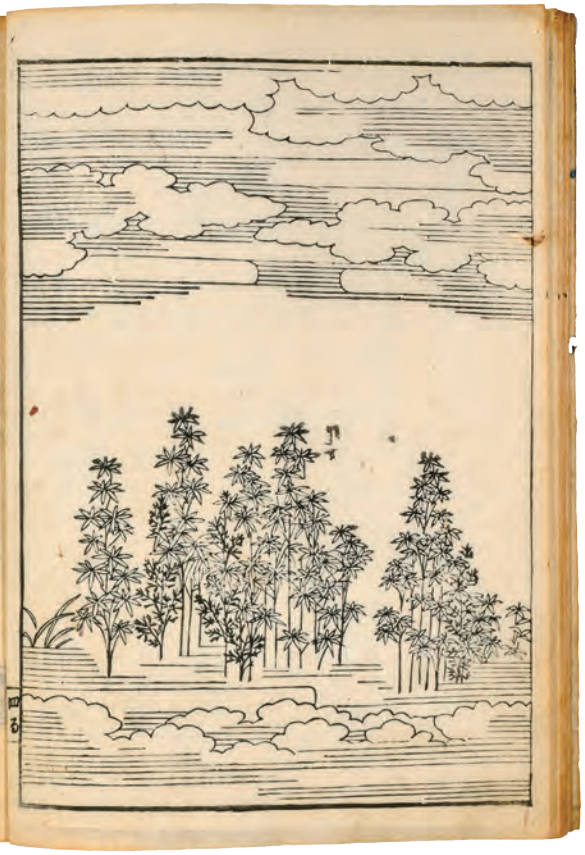
第四冊　12 丁表　第 22 図



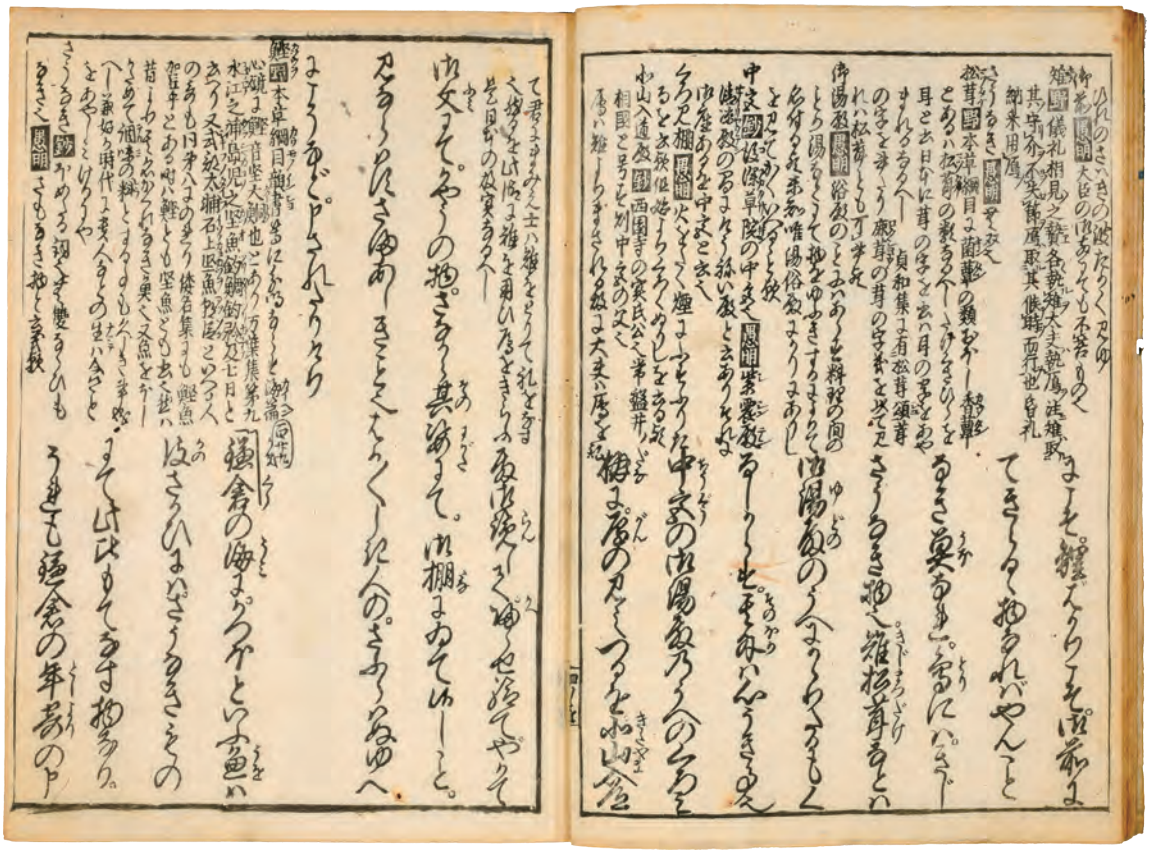
第四冊　11 丁裏



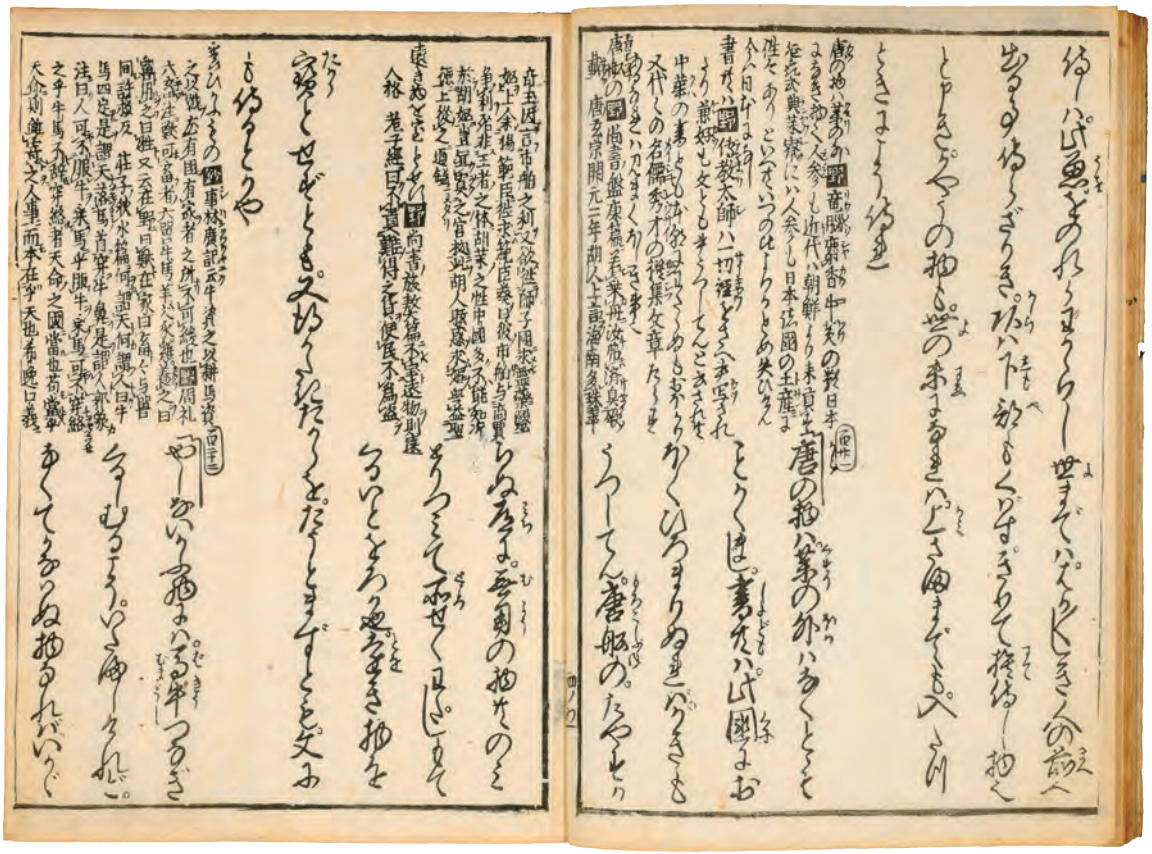
第四冊　13 丁表



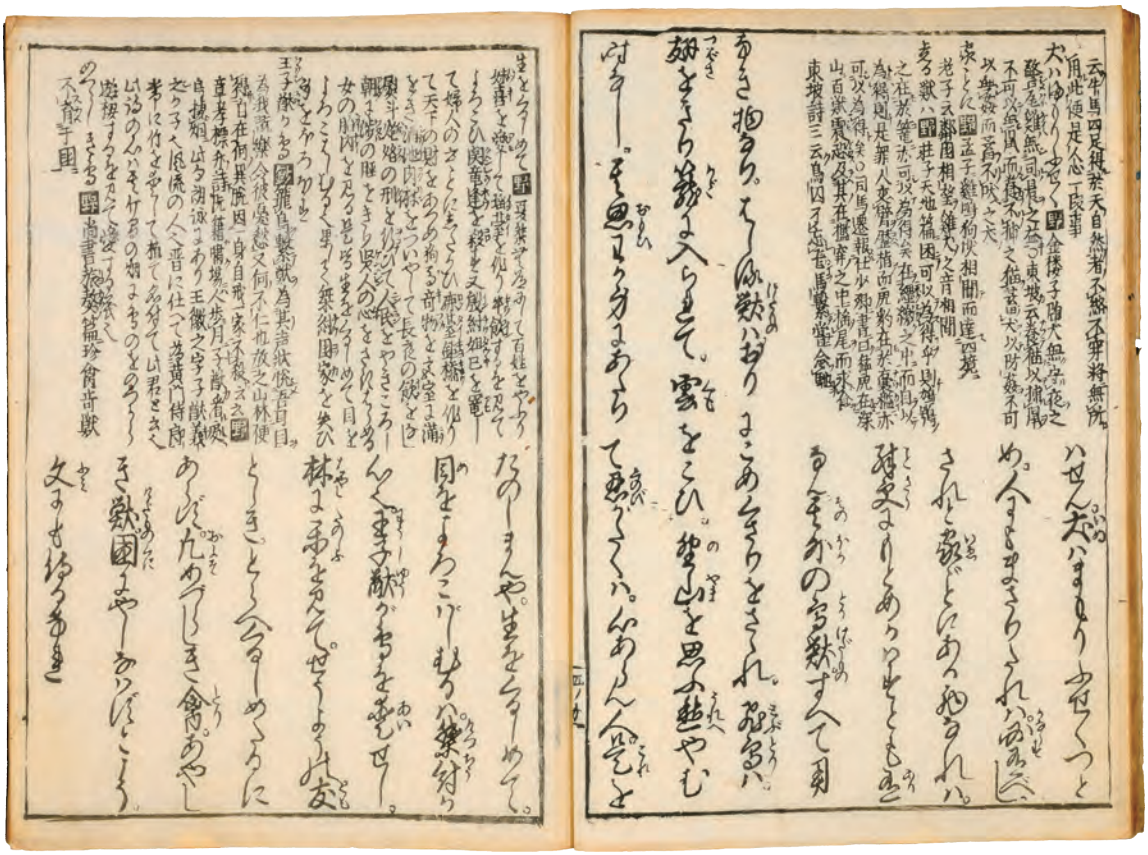
第四冊　12 丁裏　第 23 図



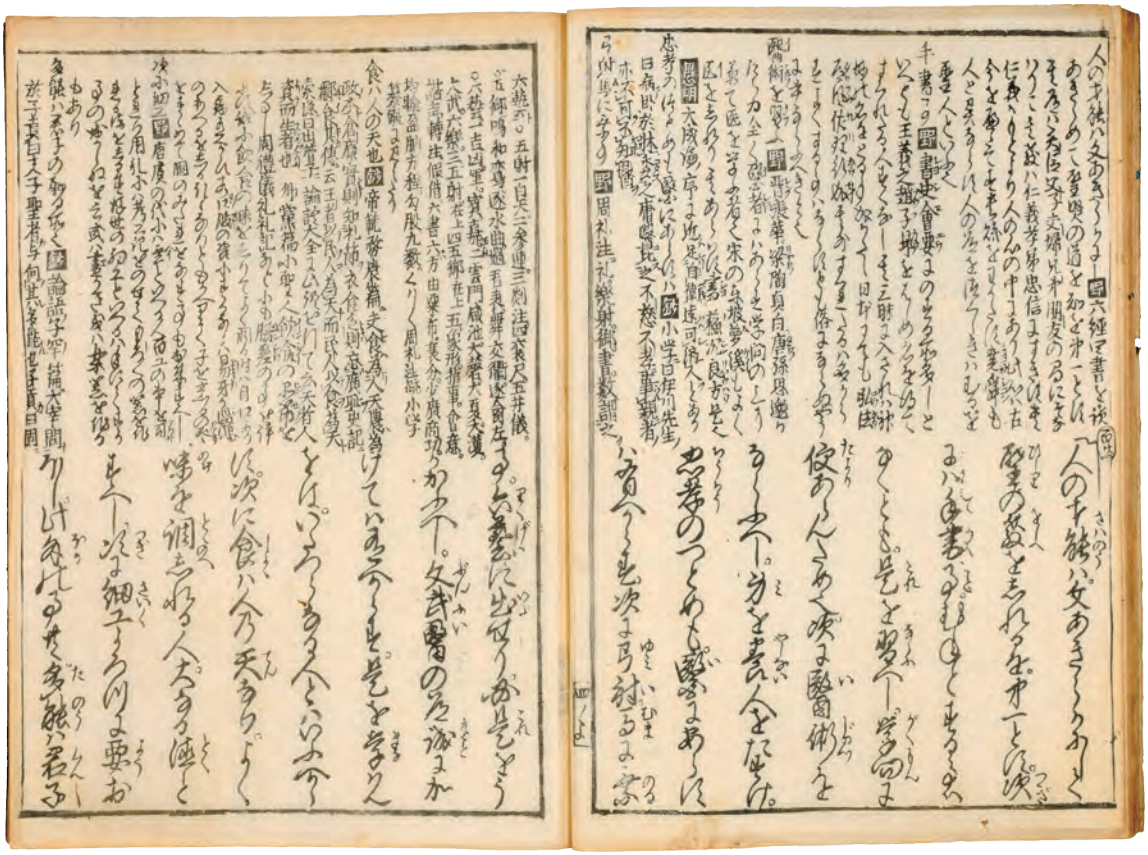
第四冊　13 丁裏　　第四冊　14 丁表



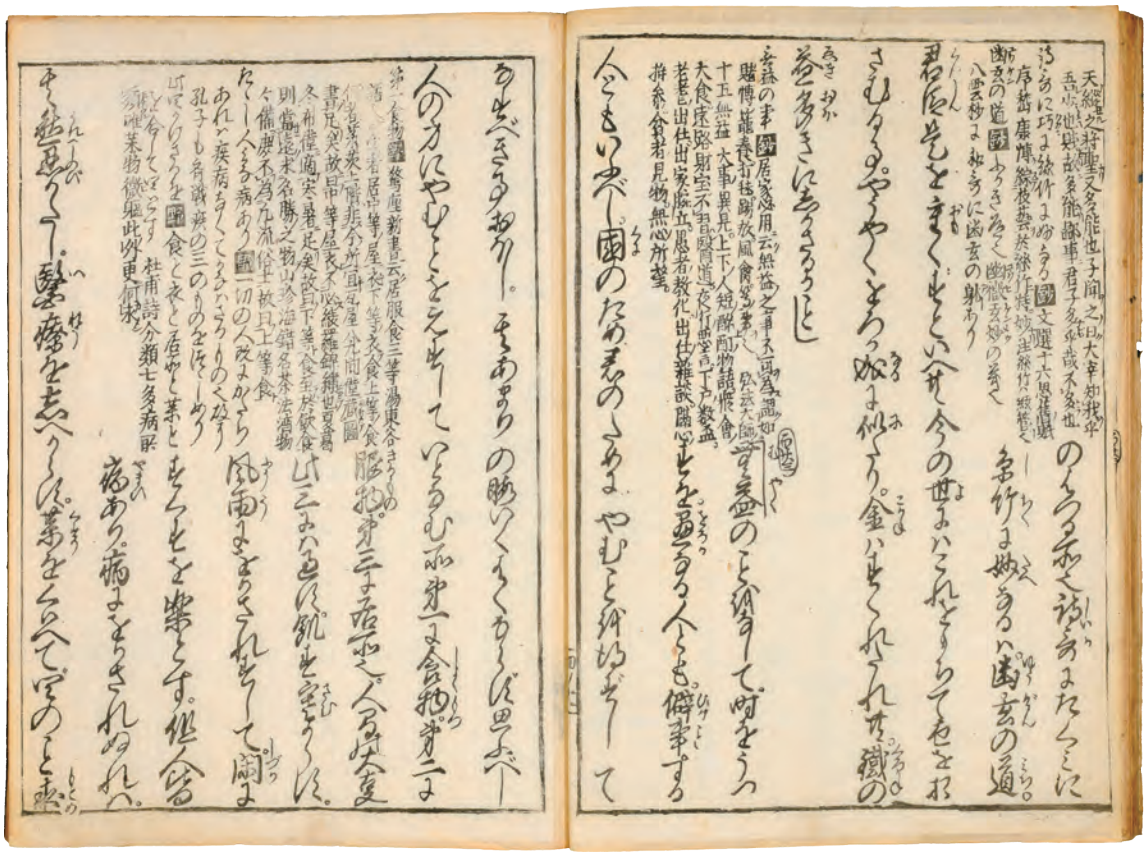
第四冊　14 丁裏　　第四冊　15 丁表



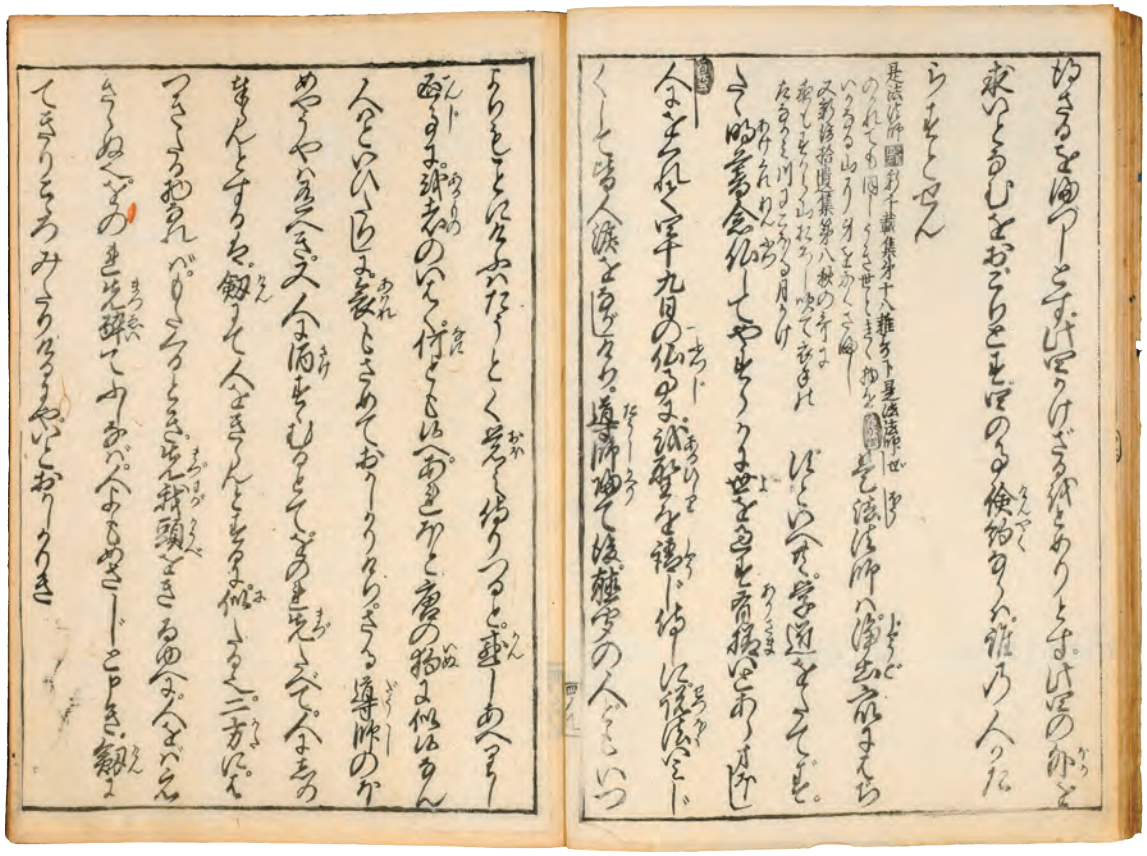
第四冊　15 丁裏　　第四冊　16 丁表



第四冊　16 丁裏　　第四冊　17 丁表

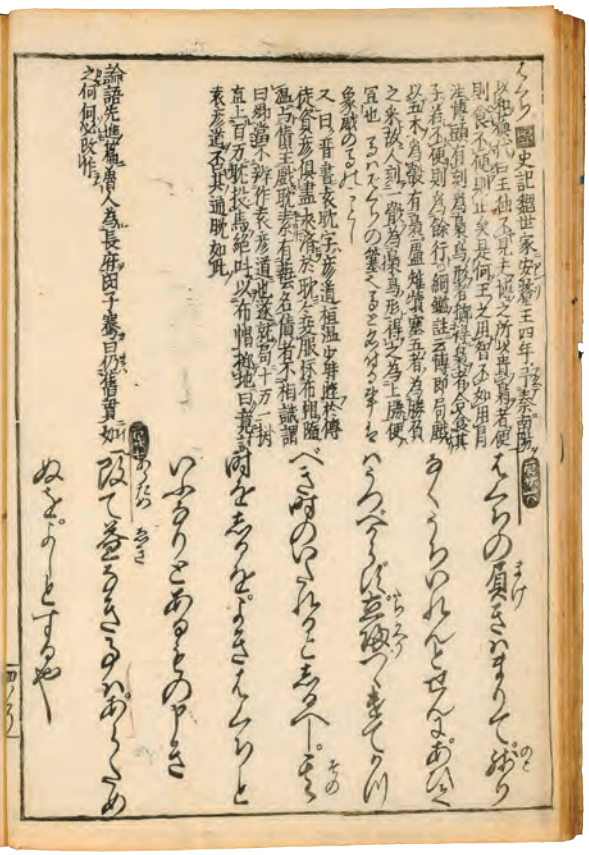


第四冊　17 丁裏　　第四冊　18 丁表

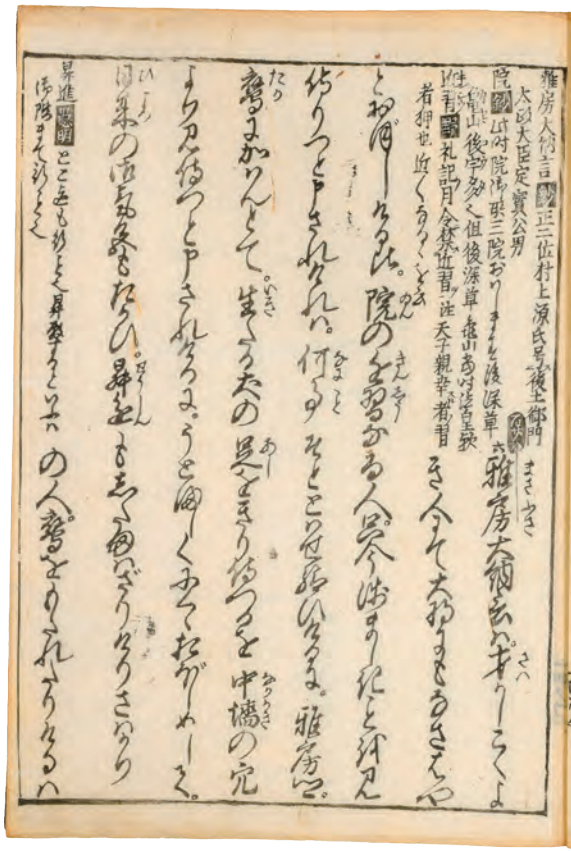


第四冊　18 丁裏　　第四冊　19 丁表

第四冊　20 丁表　第 24 図

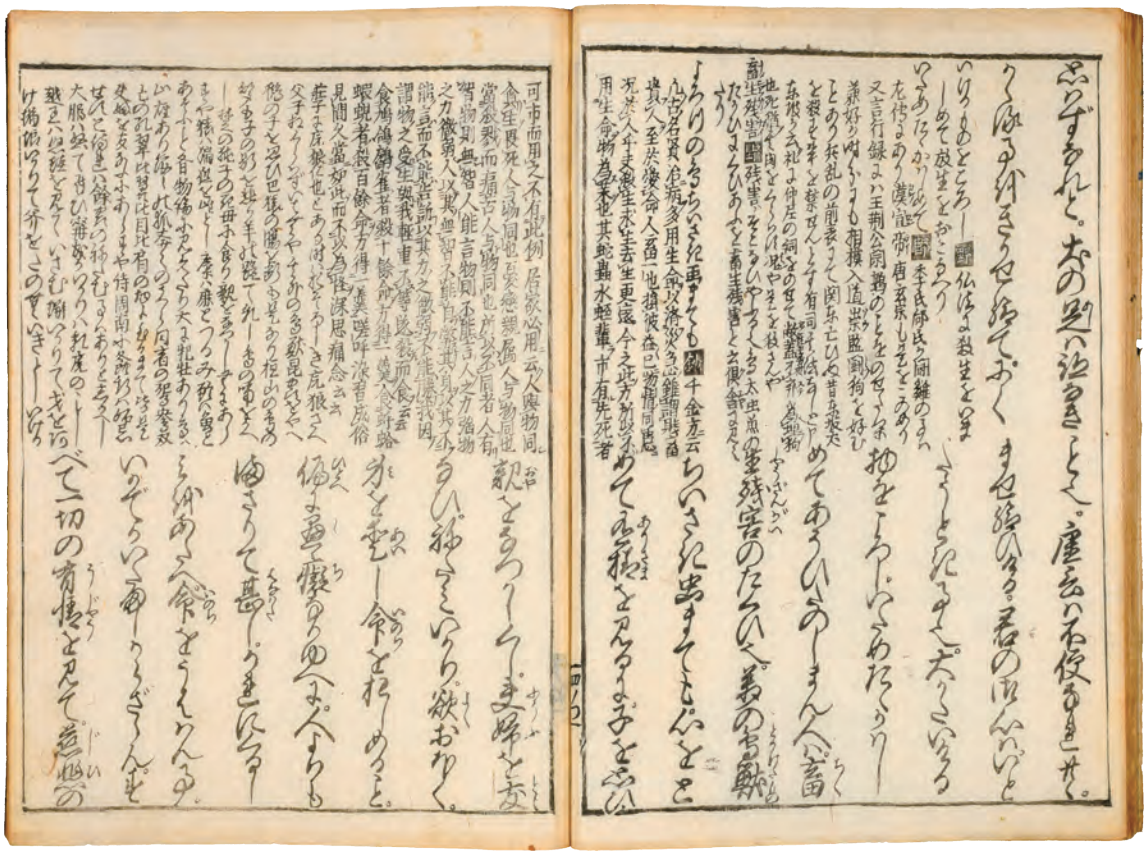


第四冊　19 丁裏

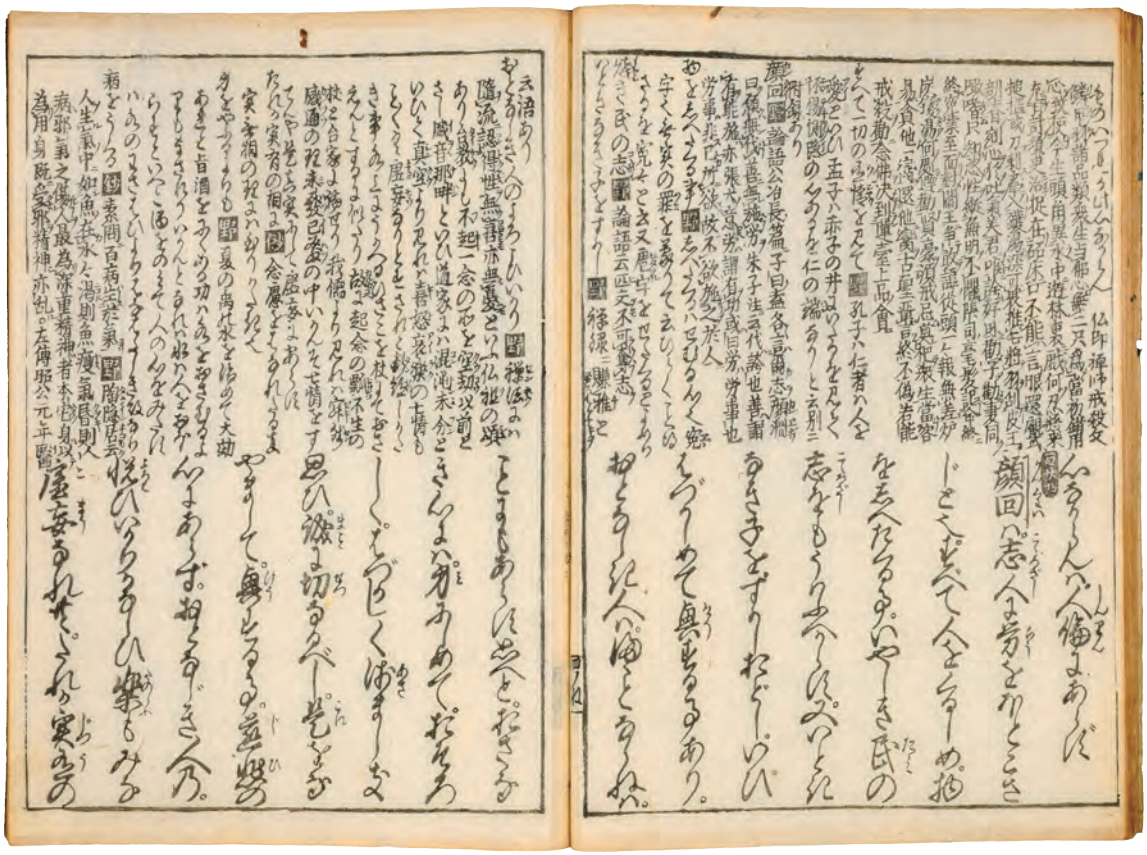


第四冊　21 丁表

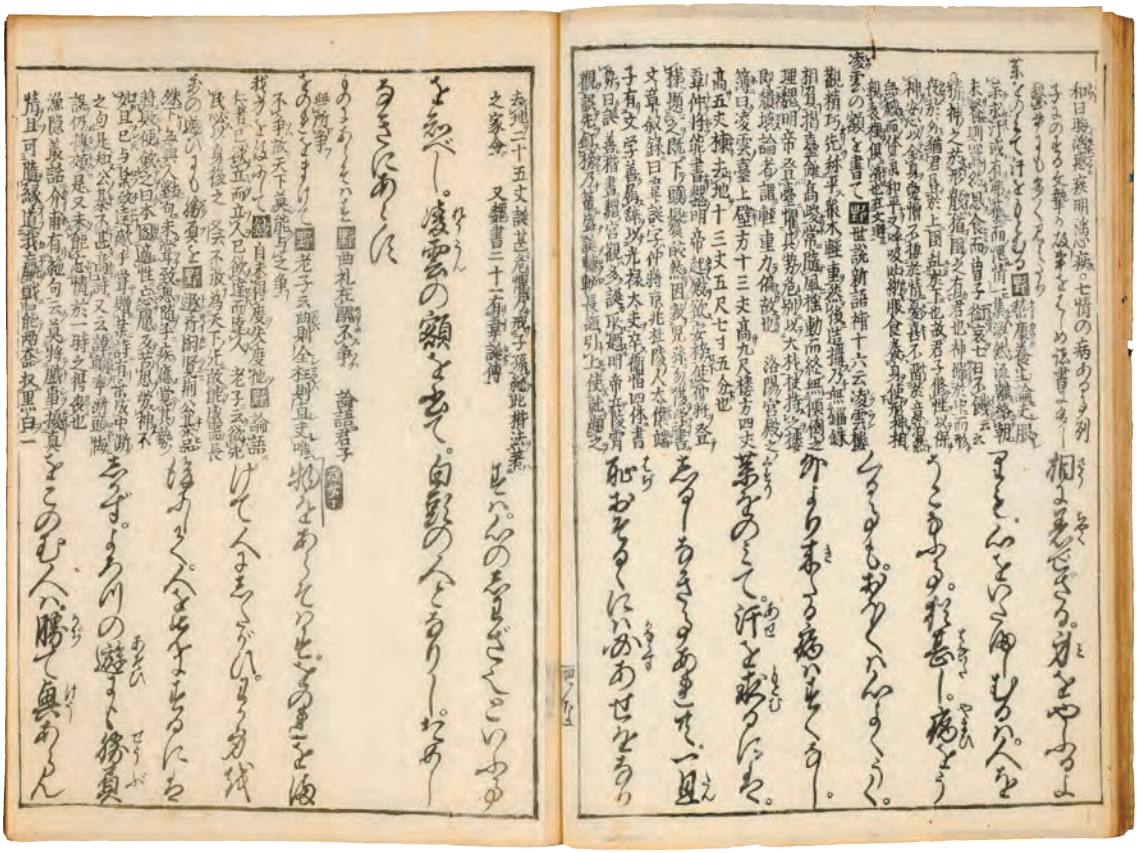
第四冊　20 丁裏　第 25 図



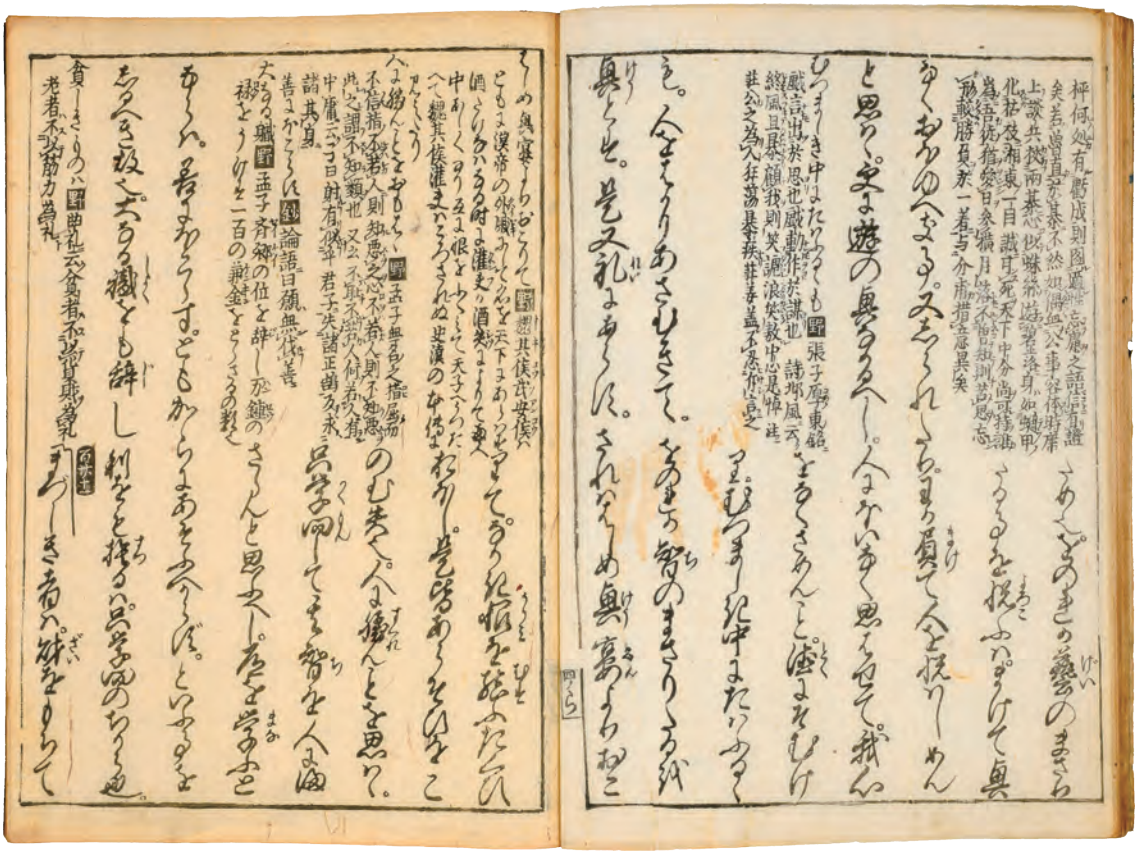
第四冊　21 丁裏　　第四冊　22 丁表



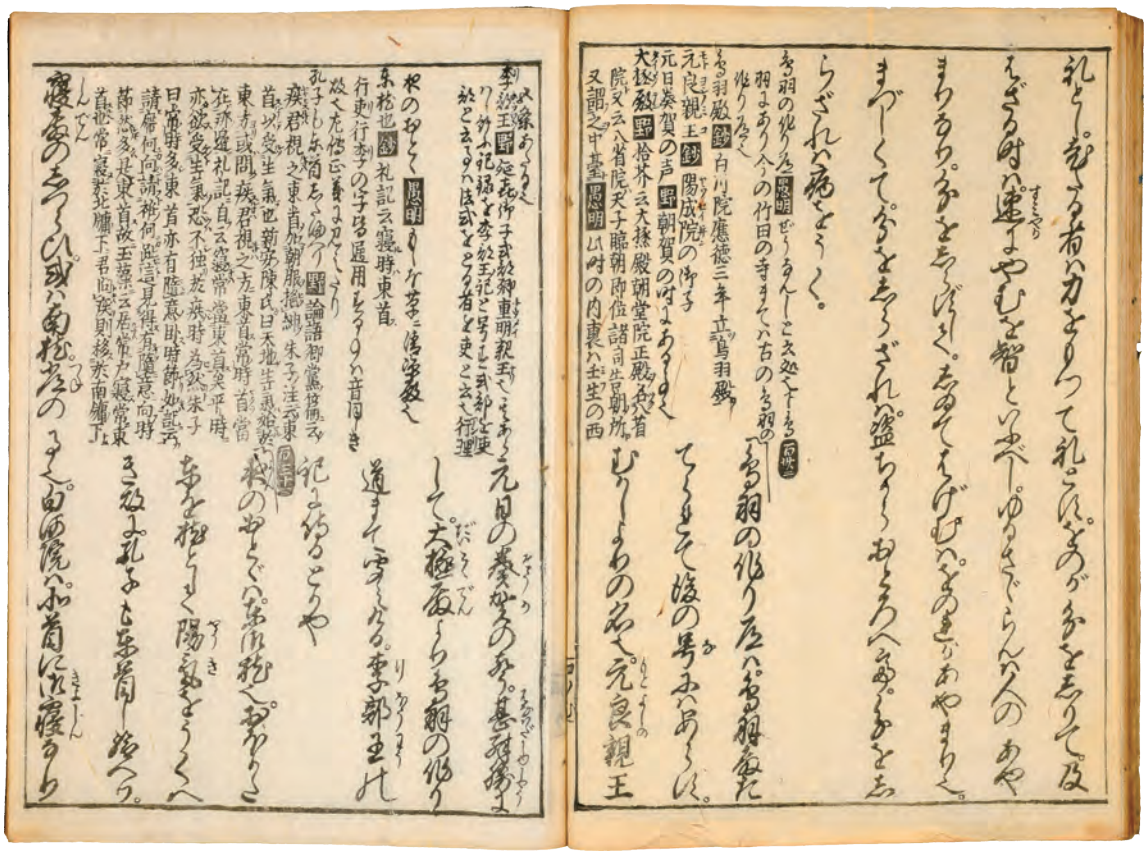
第四冊　22 丁裏　　第四冊　23 丁表



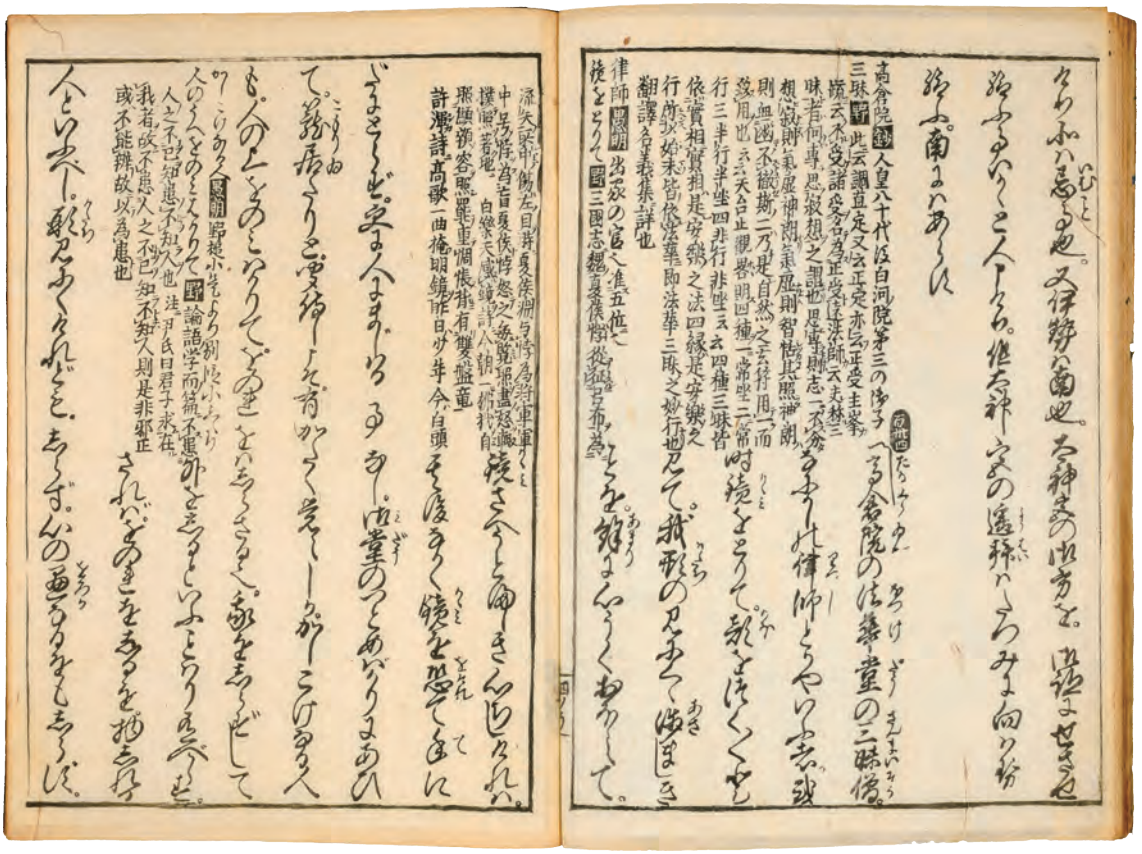
第四冊　23 丁裏　　第四冊　24 丁表



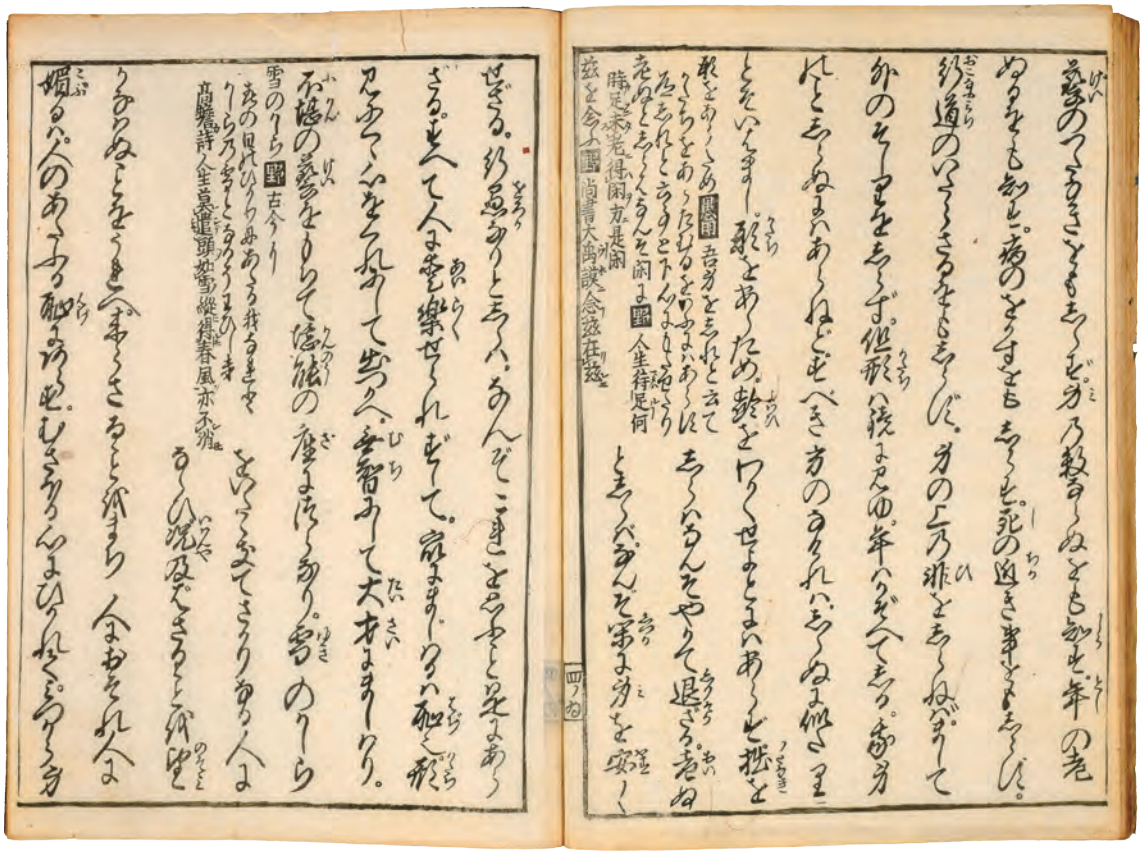
第四冊　24 丁裏　　第四冊　25 丁表



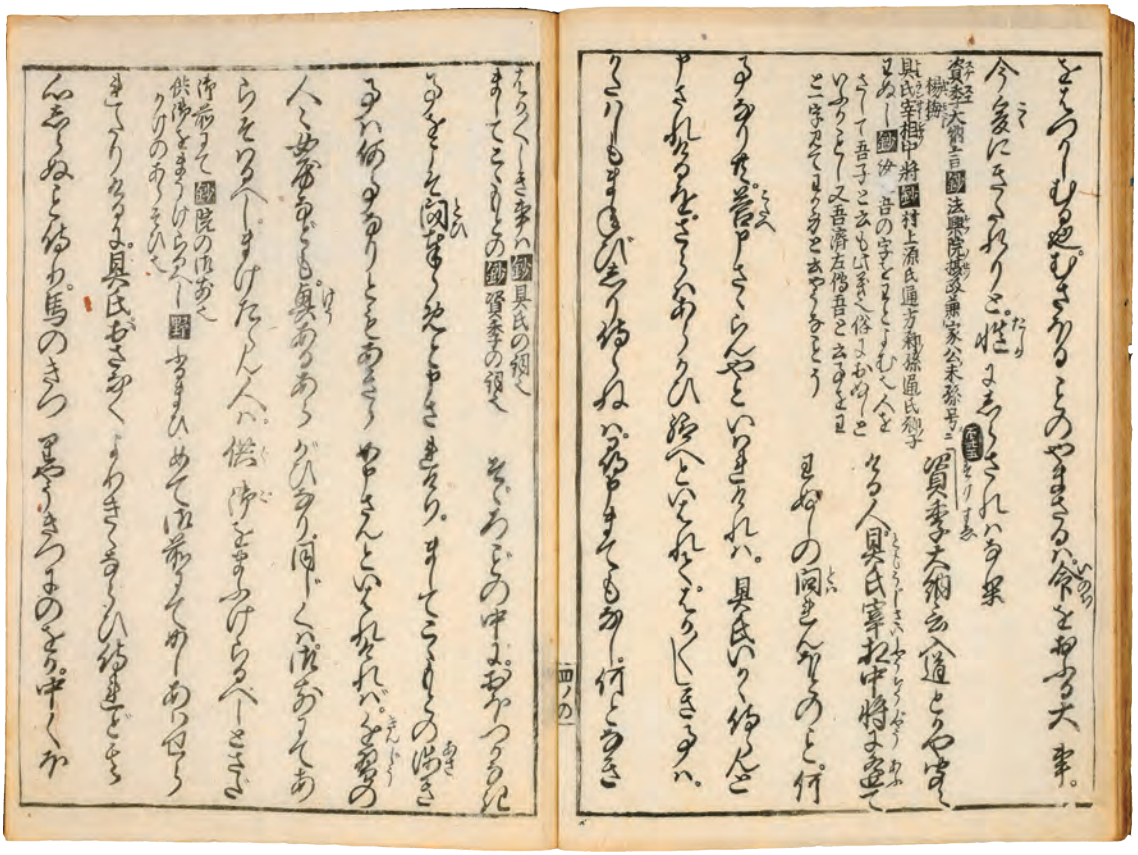
第四冊　25 丁裏　　第四冊　26 丁表



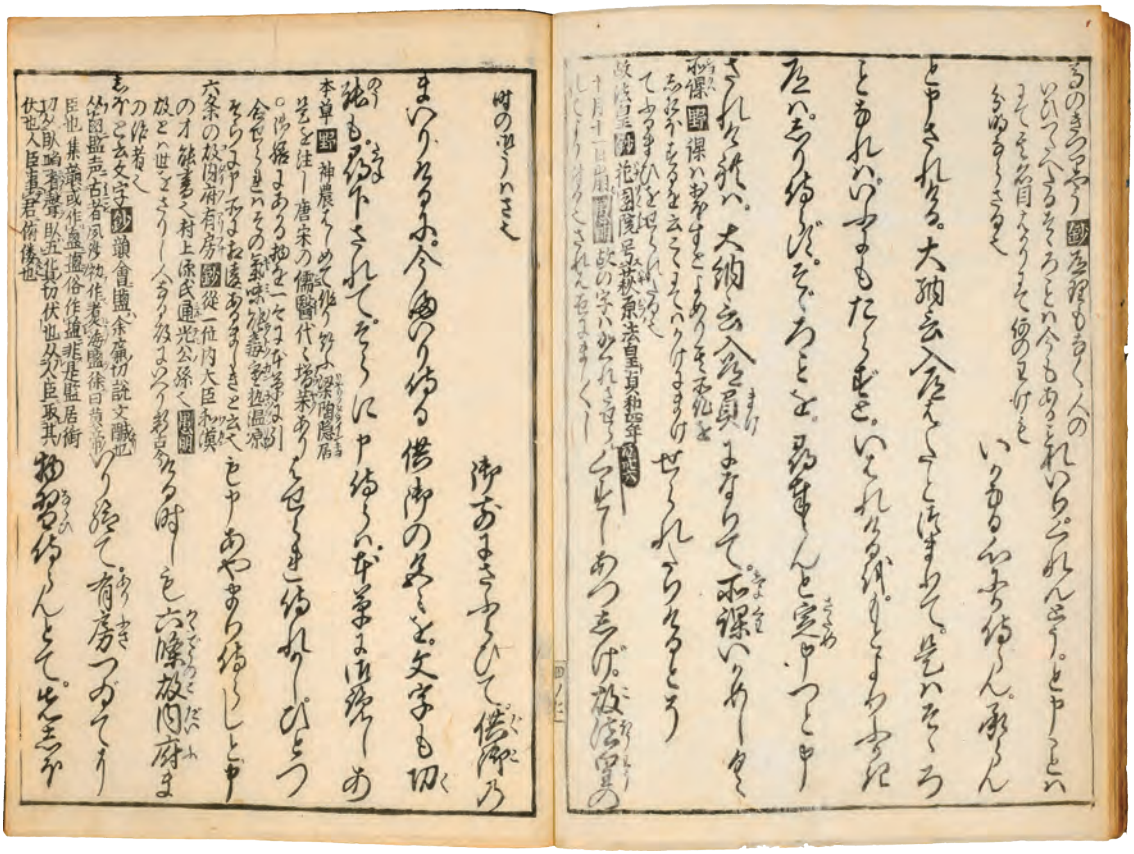
第四冊　26 丁裏　　第四冊　27 丁表



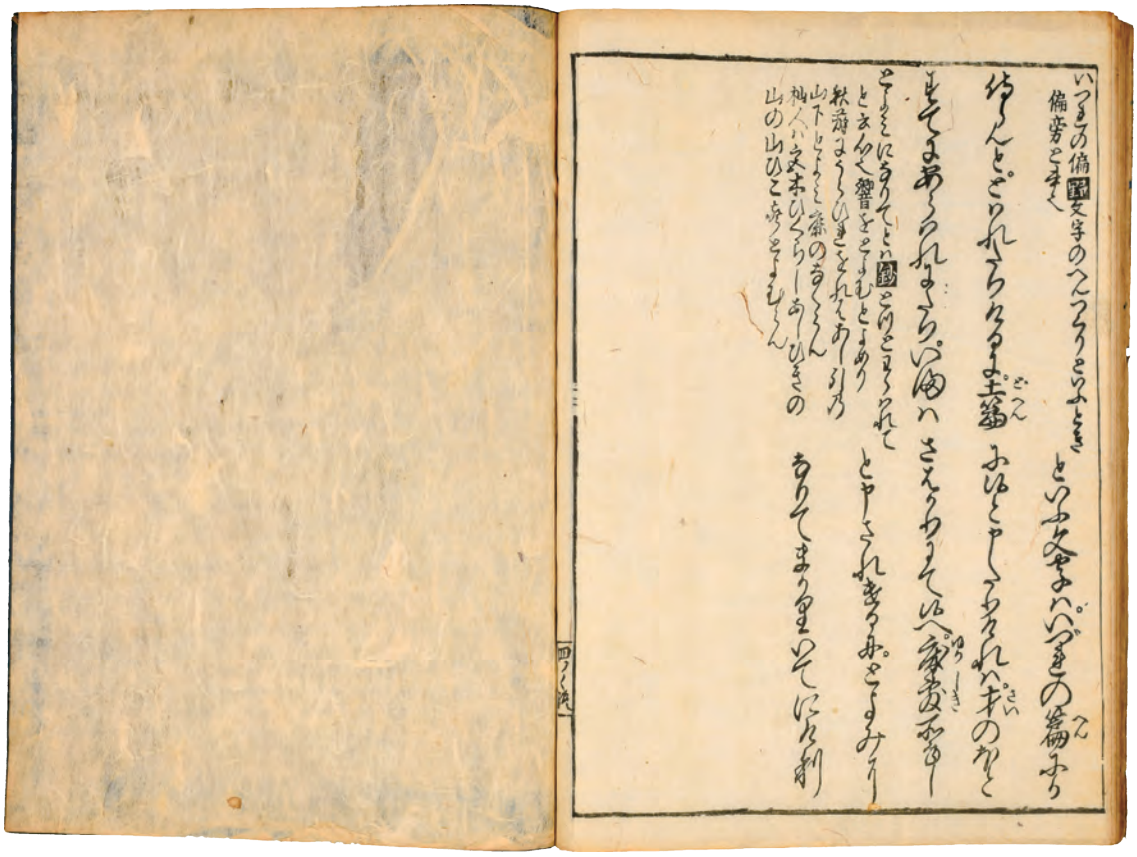
第四冊　27 丁裏　　第四冊　28 丁表



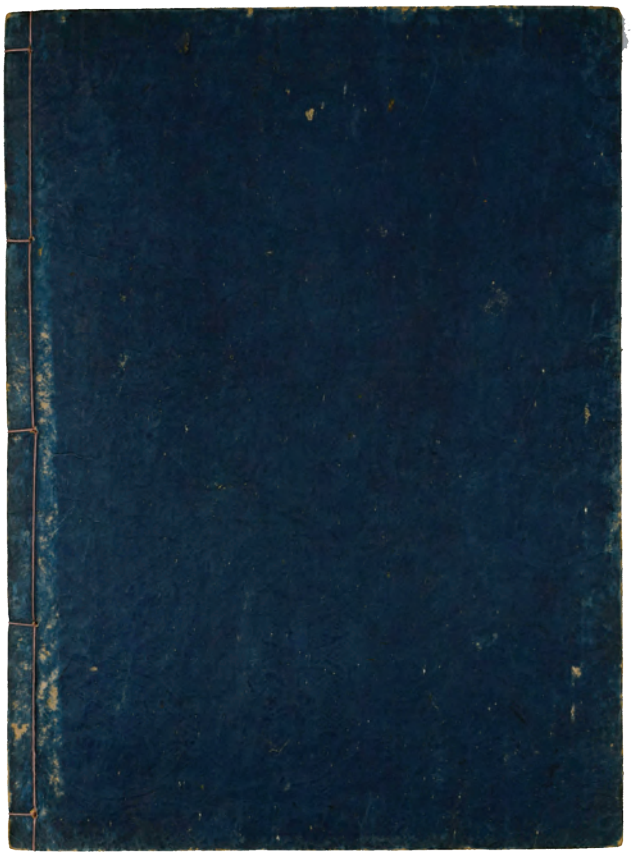
第四冊　28 丁裏　　第四冊　29 丁表



第四冊　29 丁裏　　第四冊　30 丁表



第四冊　30 丁裏　　第四冊　裏表紙見返し

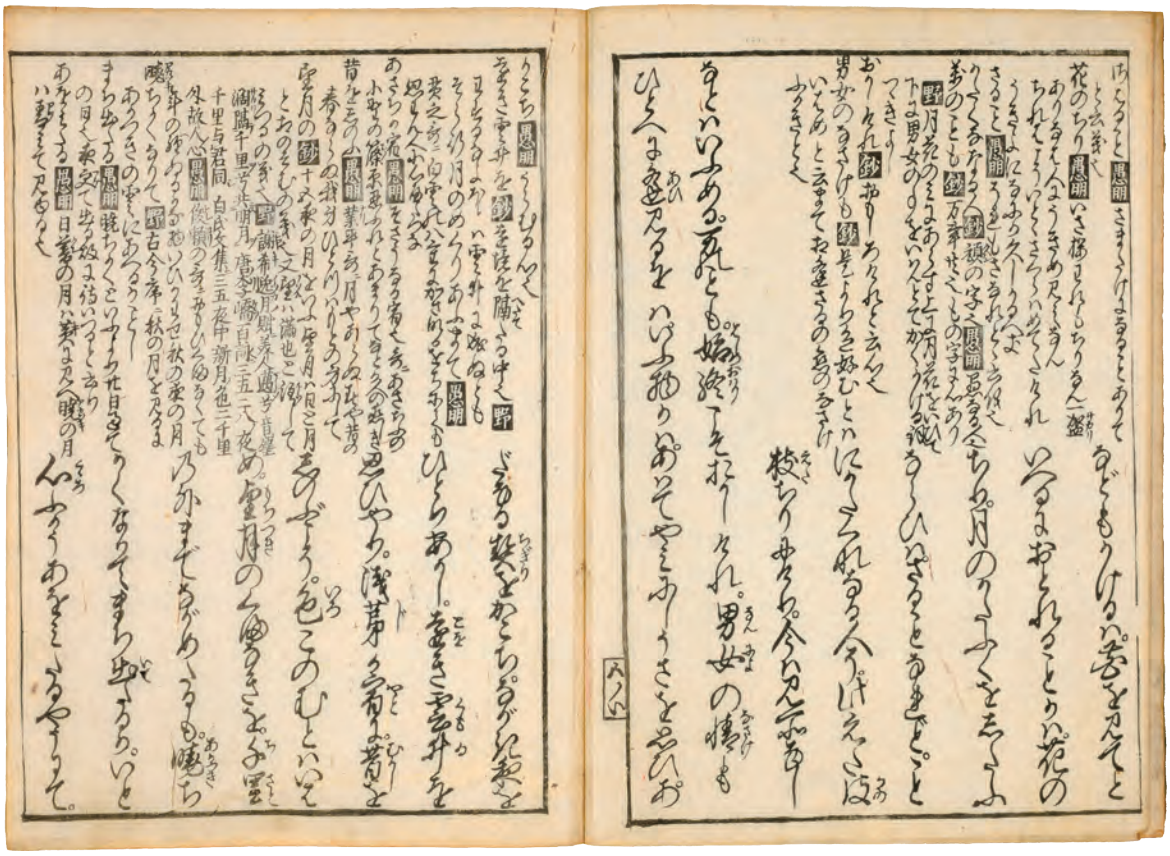


第四冊　裏表紙

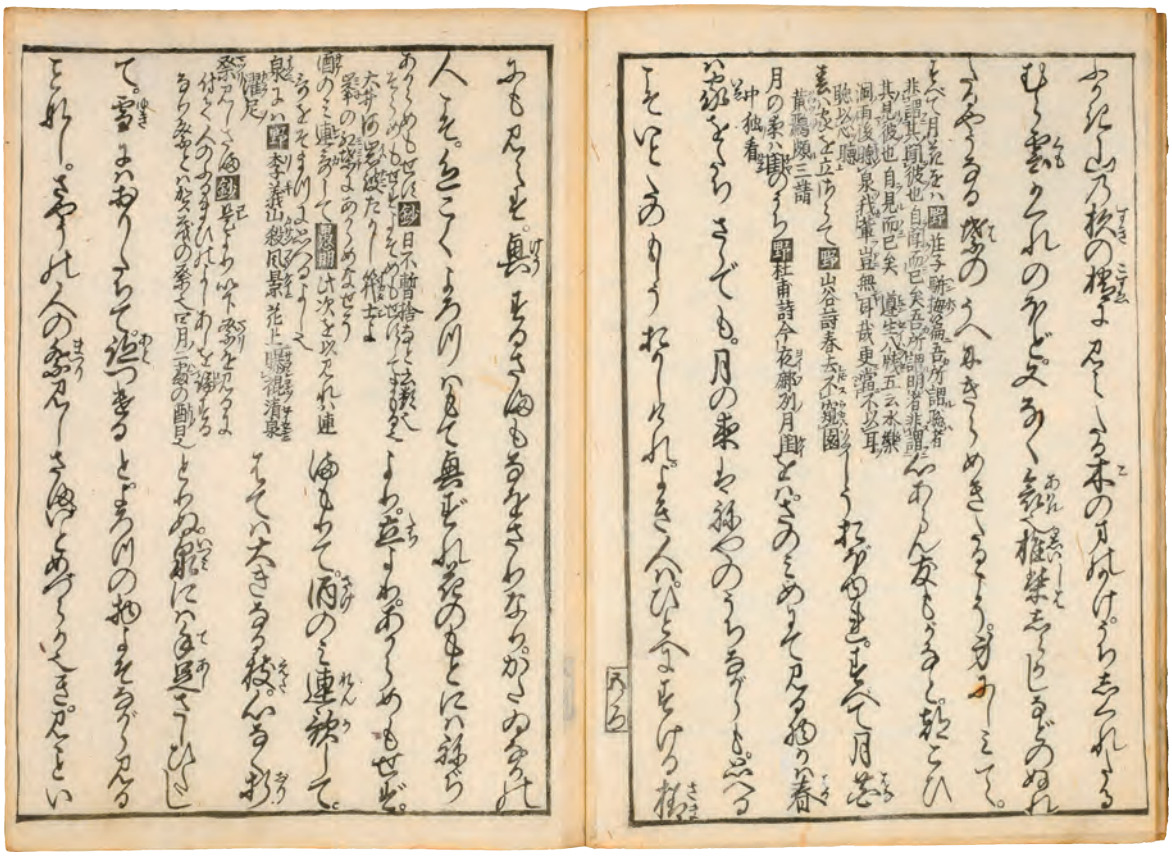
第五冊　表表紙

第五冊　1丁表

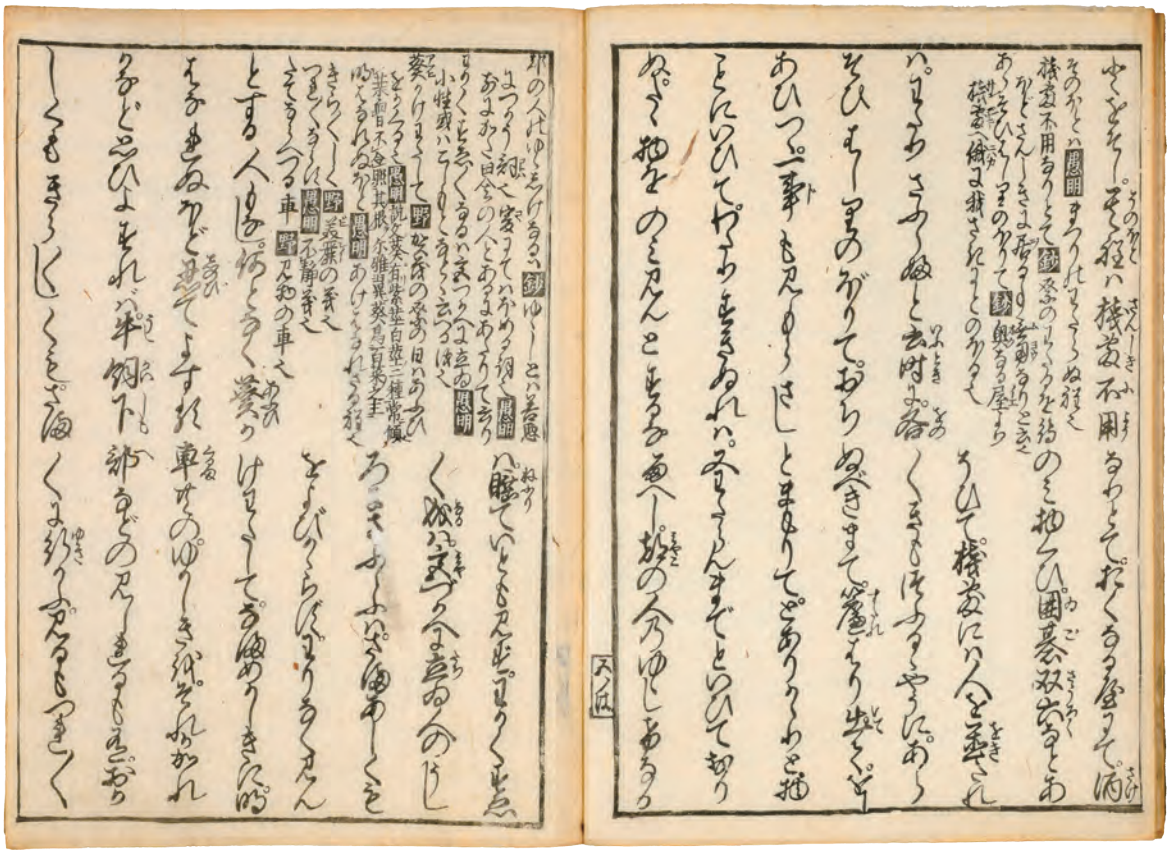
第五冊　表表紙見返し　第26図



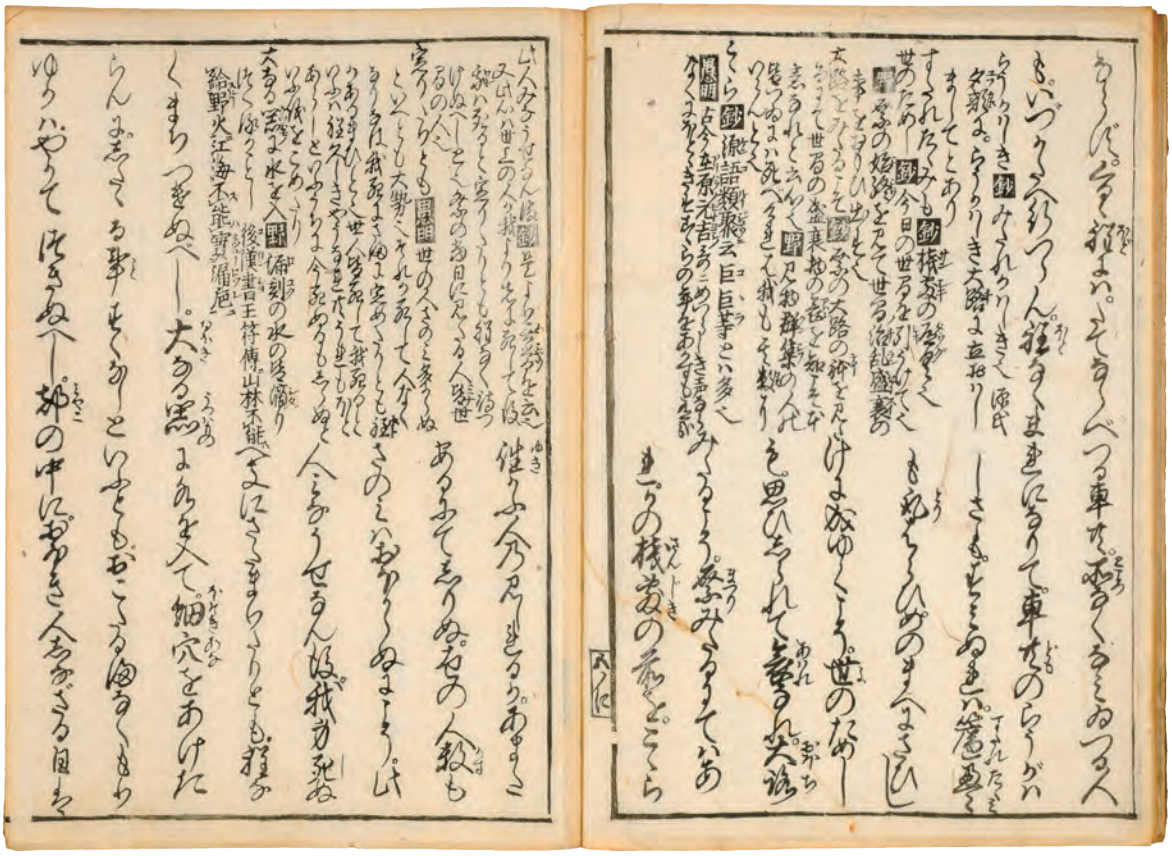
第五冊　1丁裏　　第五冊　2丁表



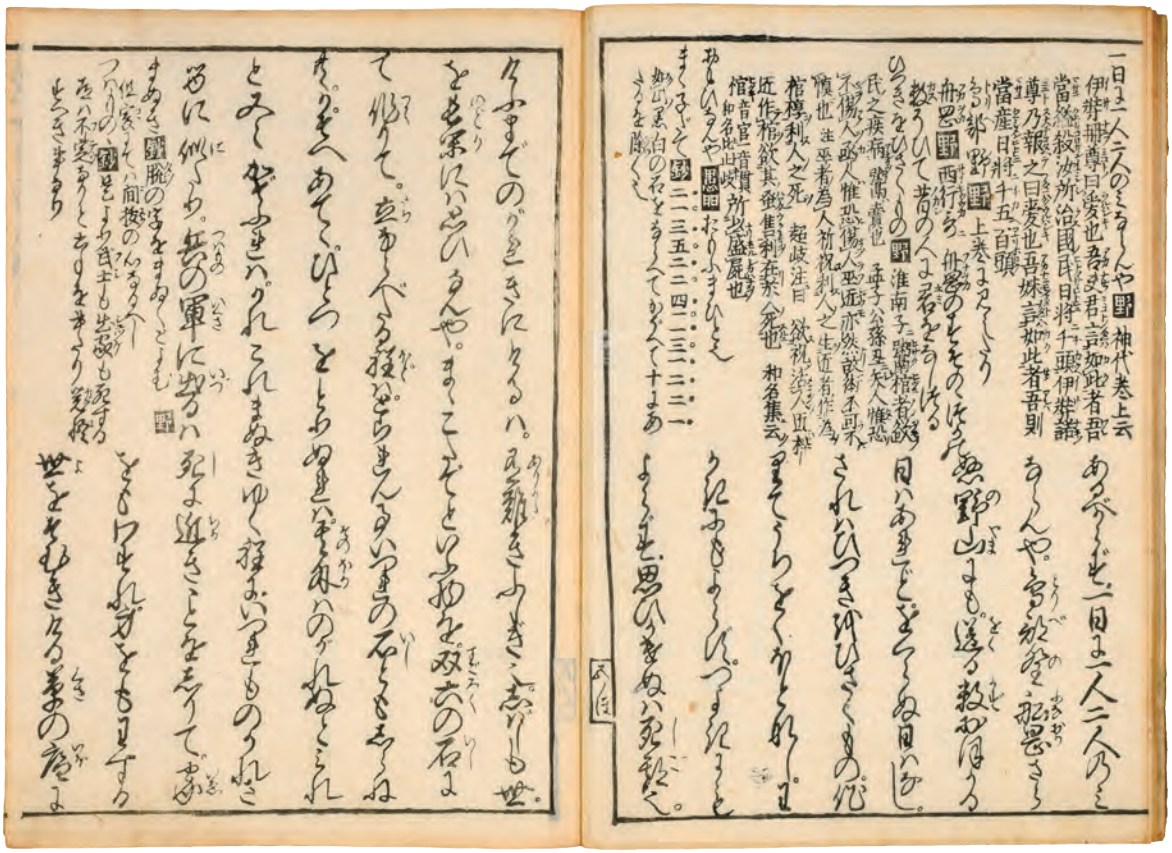
第五冊　2丁裏　　第五冊　3丁表



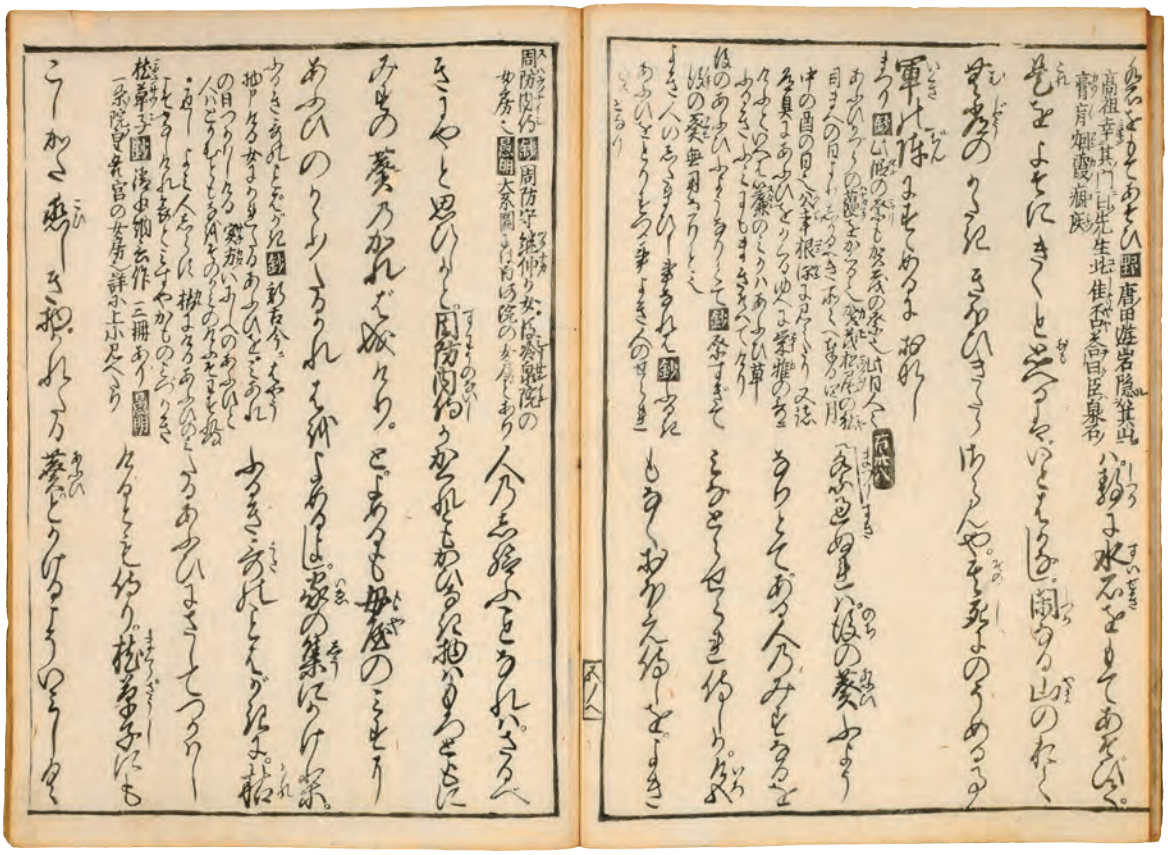
第五冊　3丁裏　　第五冊　4丁表



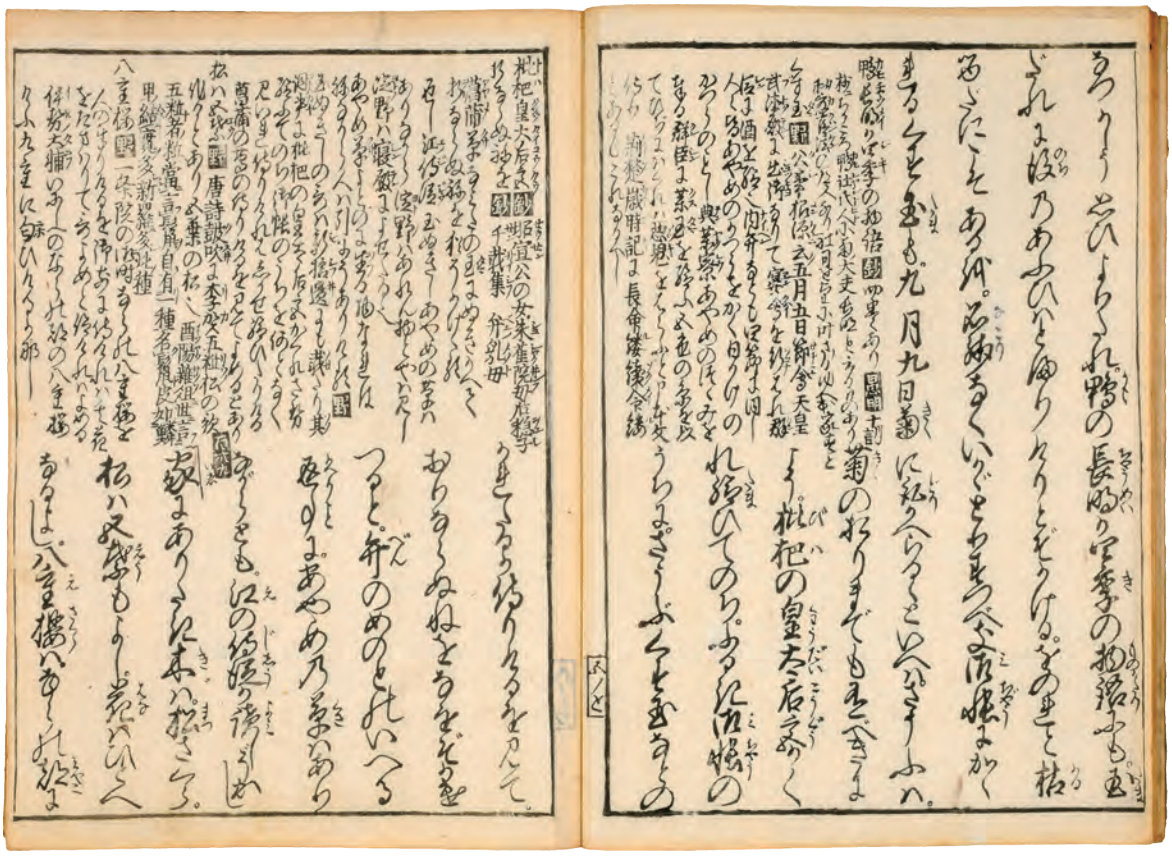
第五冊　4丁裏　　第五冊　5丁表



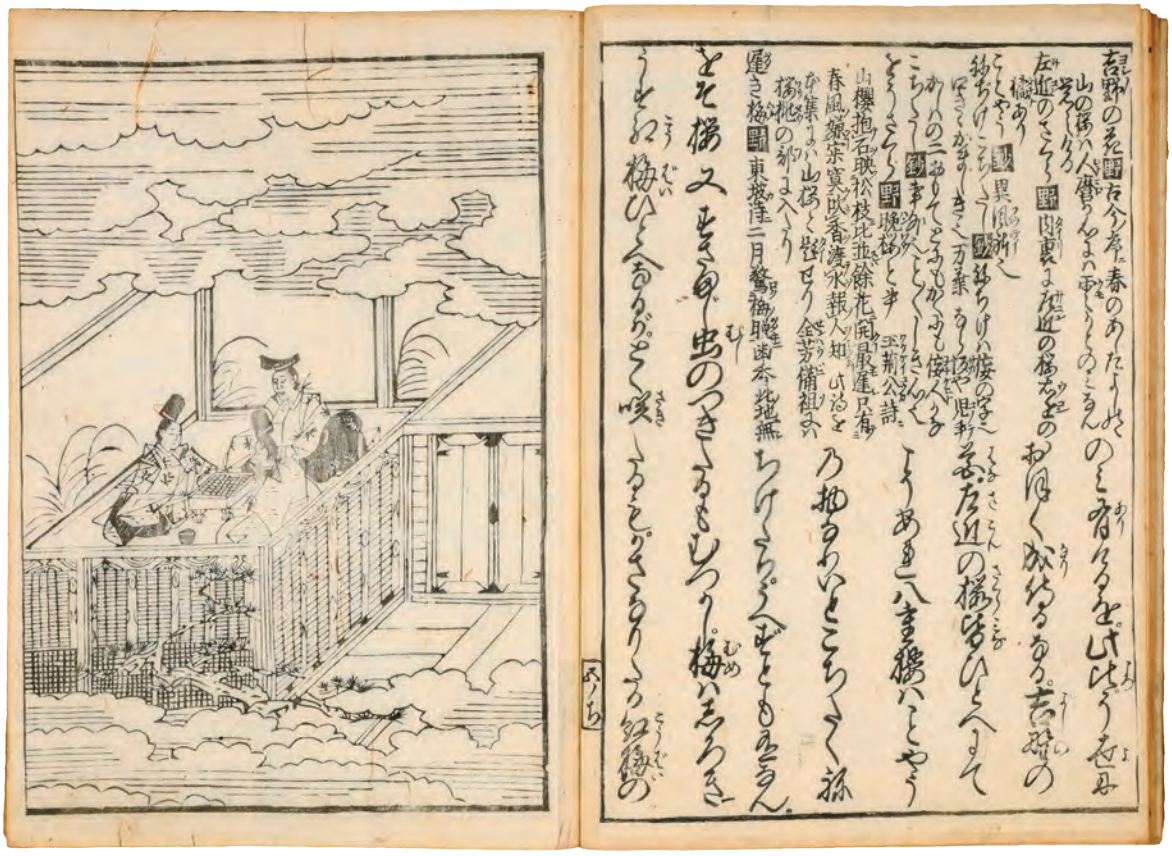
第五冊　5丁裏　　第五冊　6丁表



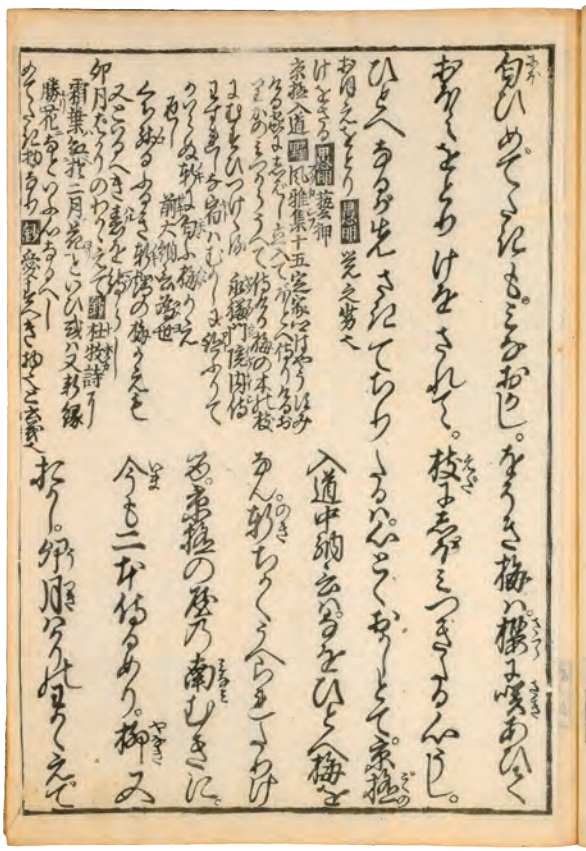
第五冊　6丁裏　　第五冊　7丁表



第五冊　7丁裏　　第五冊　8丁表

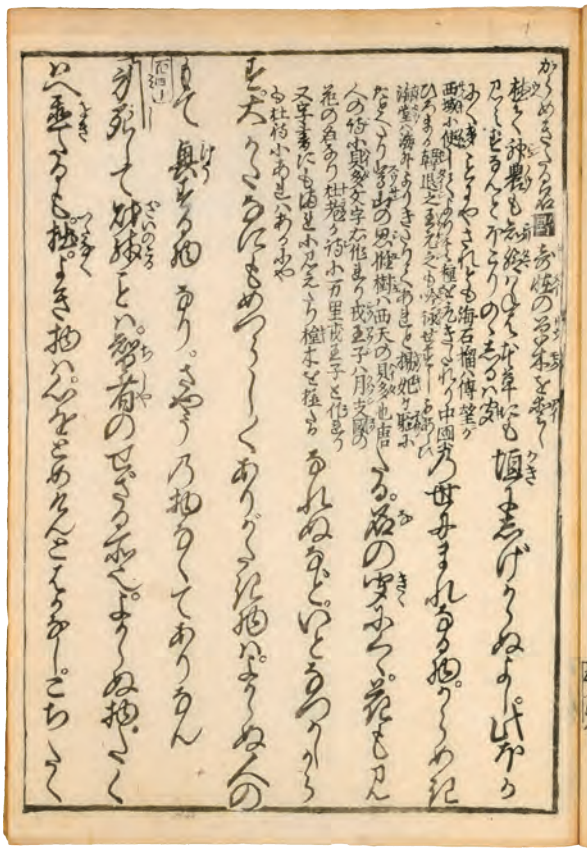


第五冊　8丁裏　　第五冊　9丁表　第27図

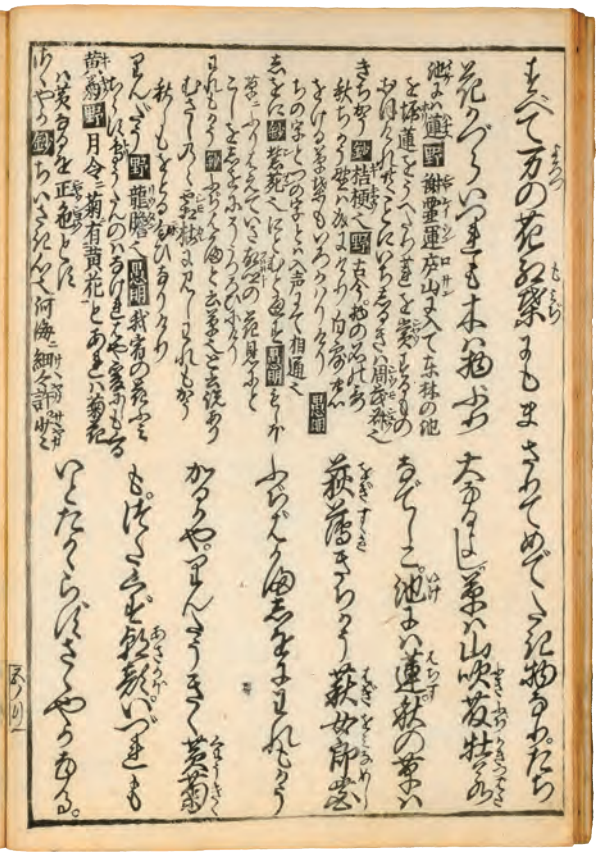


第五冊　10 丁表

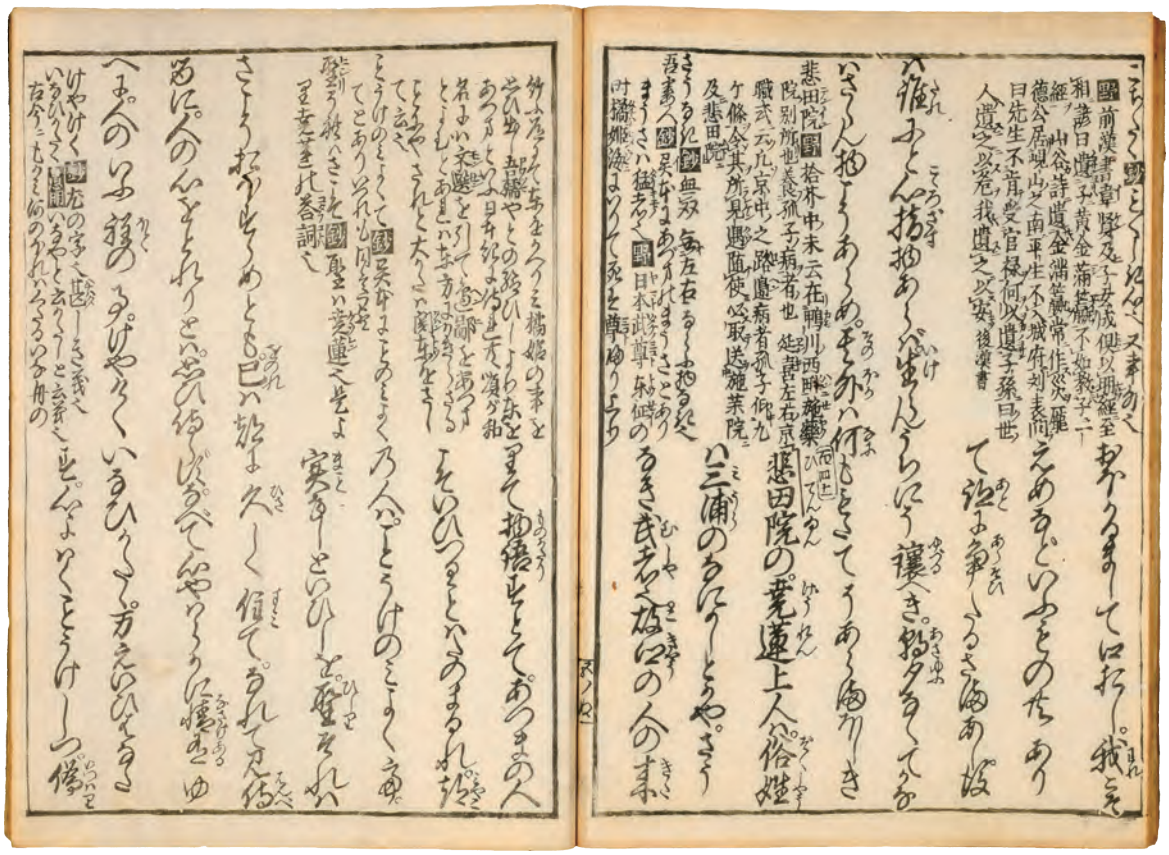
第五冊　9 丁裏　第 28 図



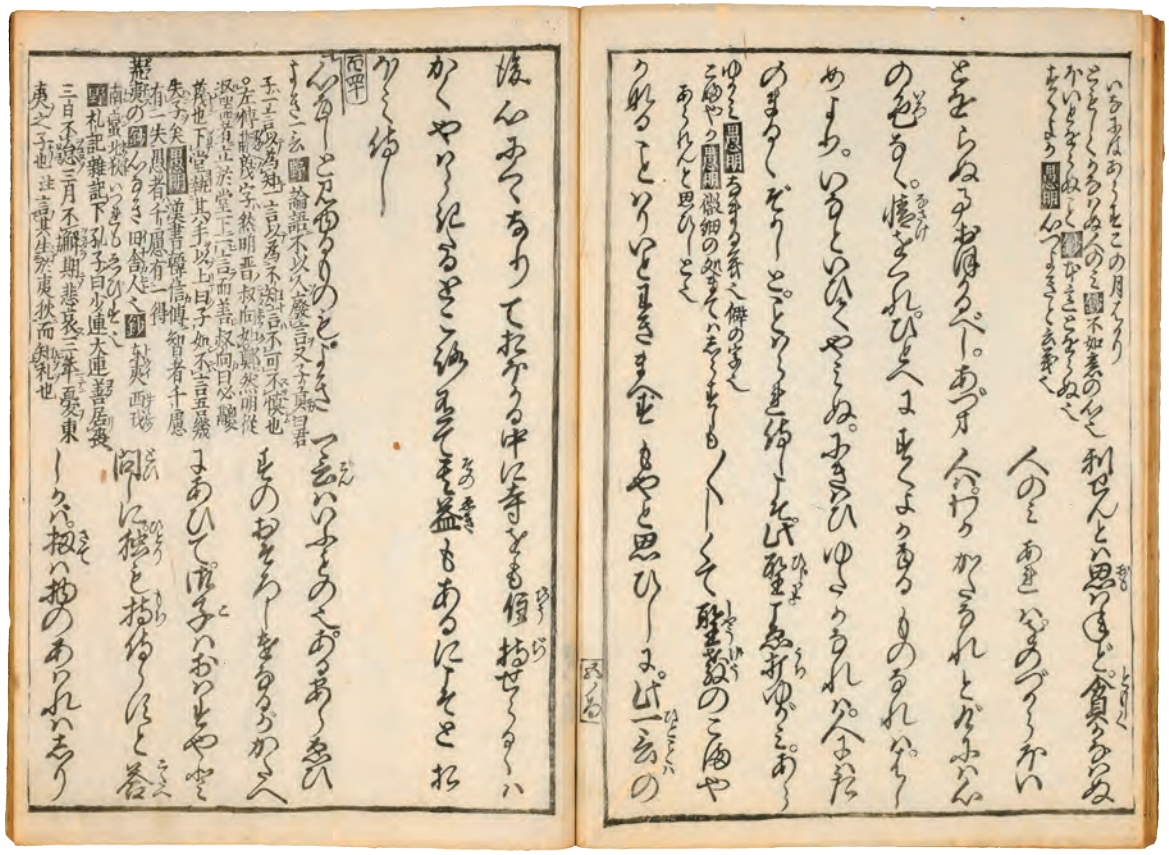
第五冊　11 丁表



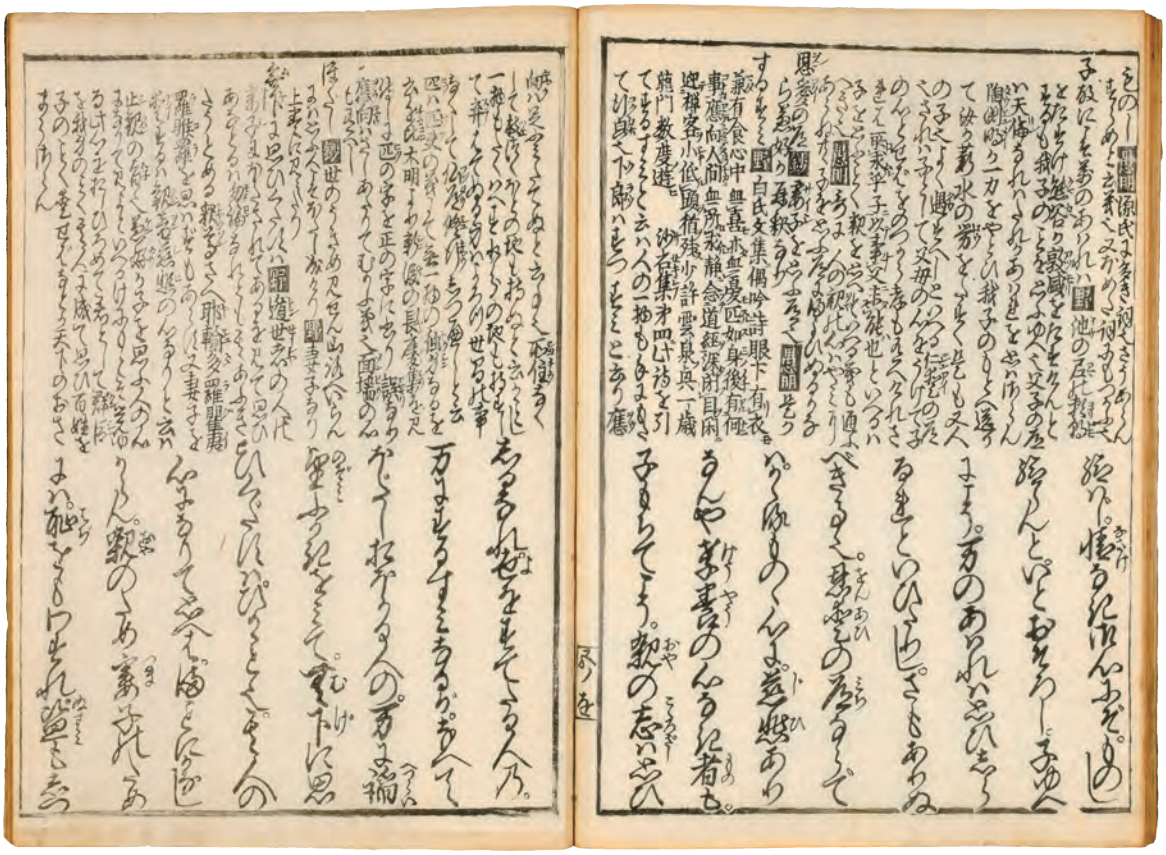
第五冊　10 丁裏



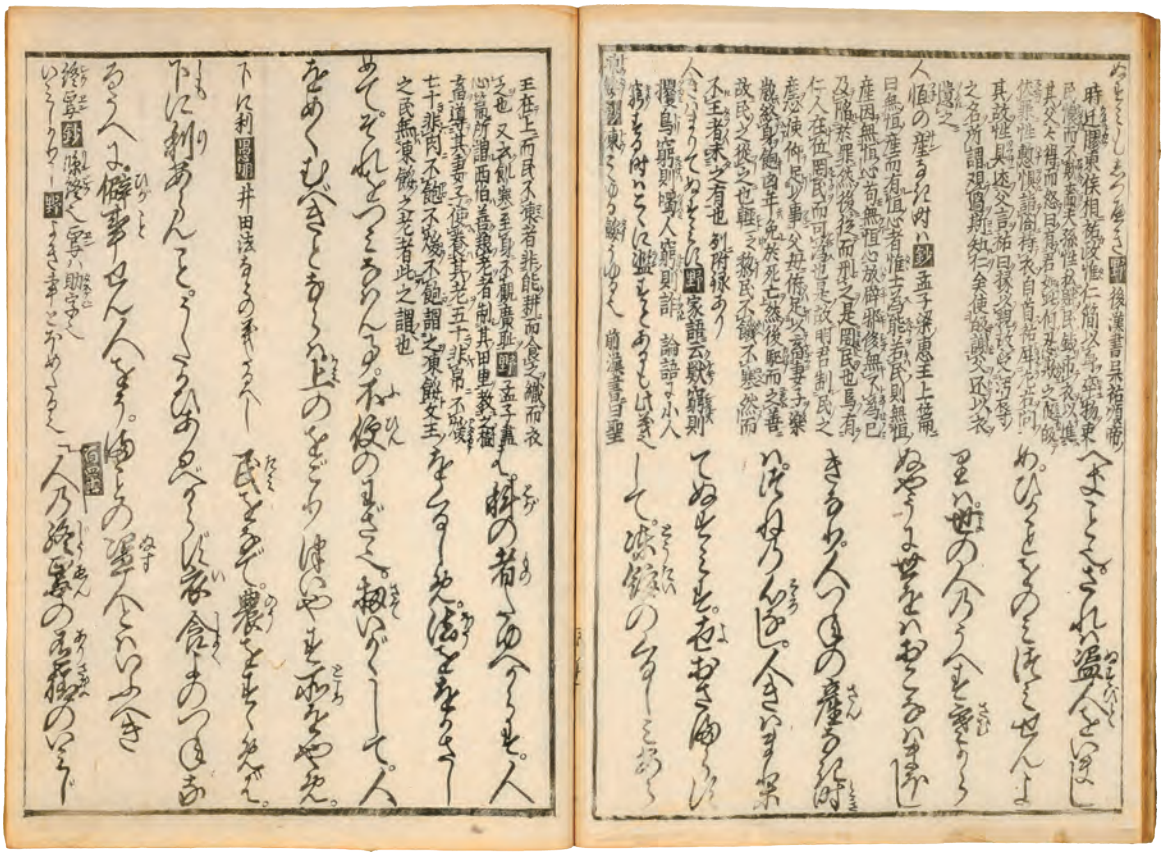
第五冊　11 丁裏　　第五冊　12 丁表



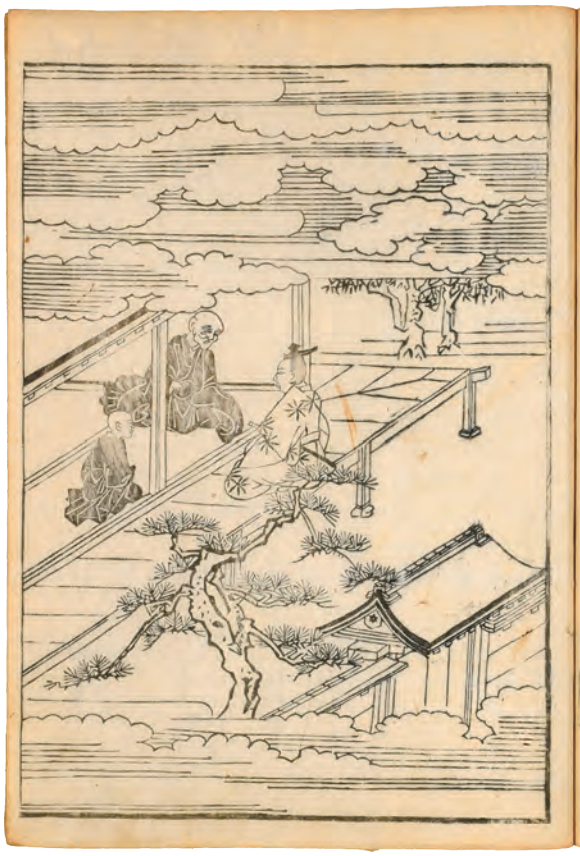
第五冊　12 丁裏　　第五冊　13 丁表



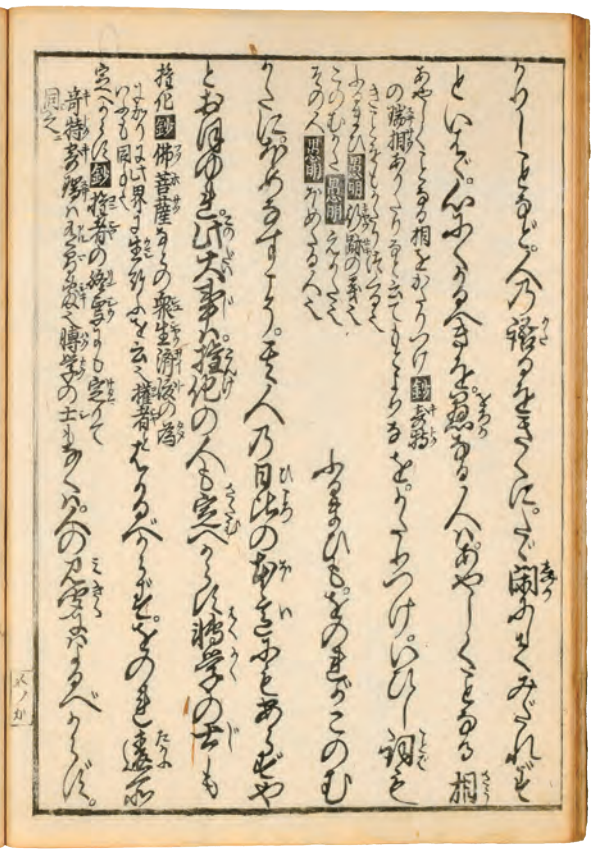
第五冊　13 丁裏　　第五冊　14 丁表



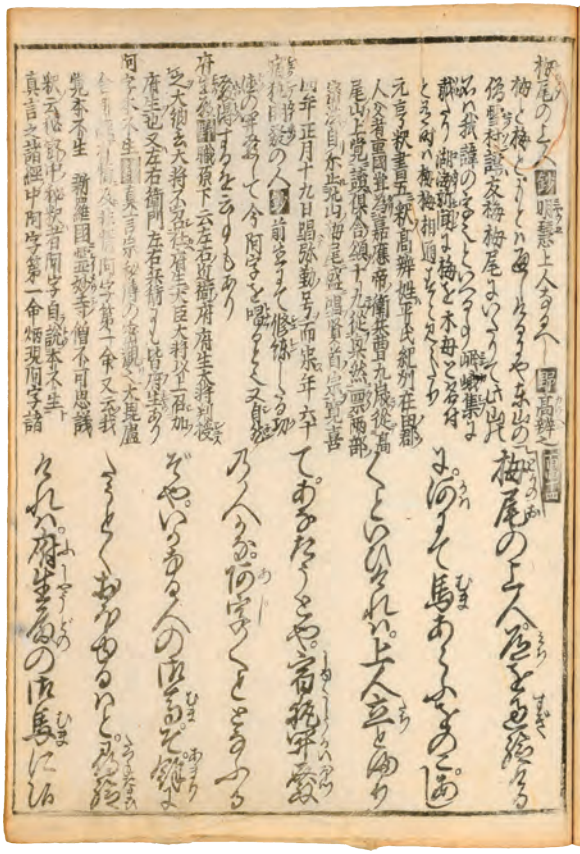
第五冊　14 丁裏　　第五冊　15 丁表



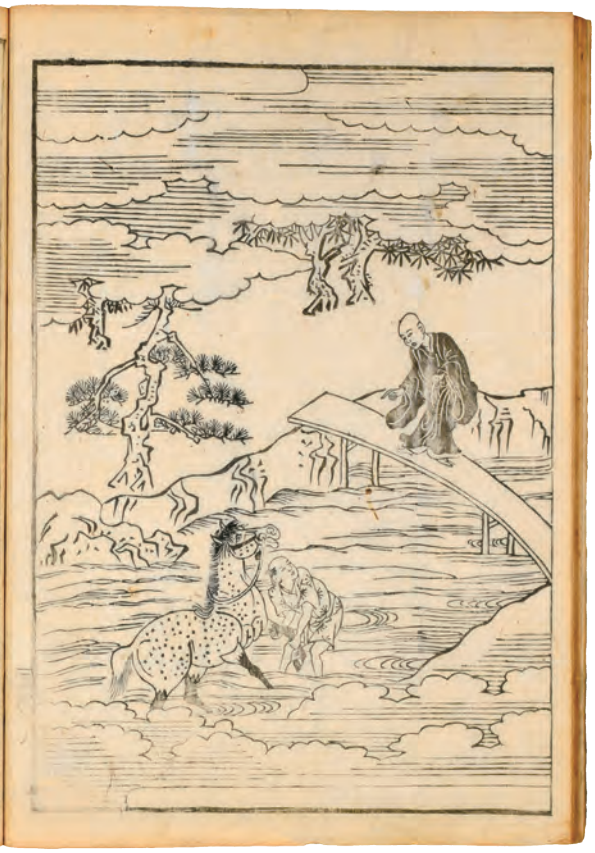
第五冊　16 丁表　第 29 図



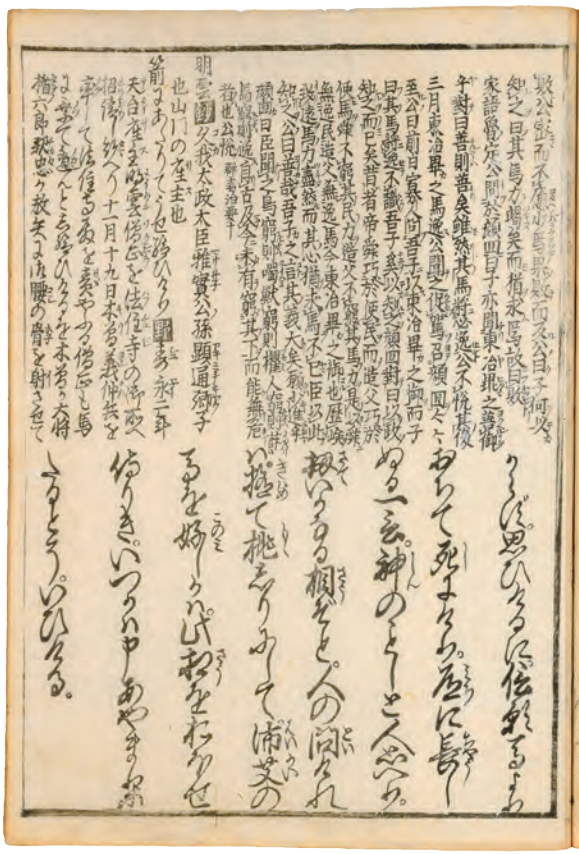
第五冊　15 丁裏



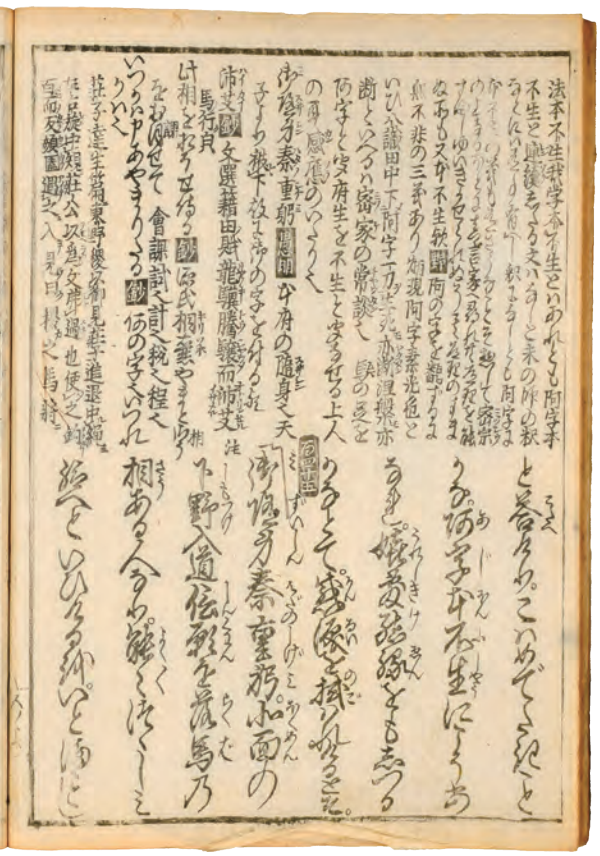
第五冊　17 丁表



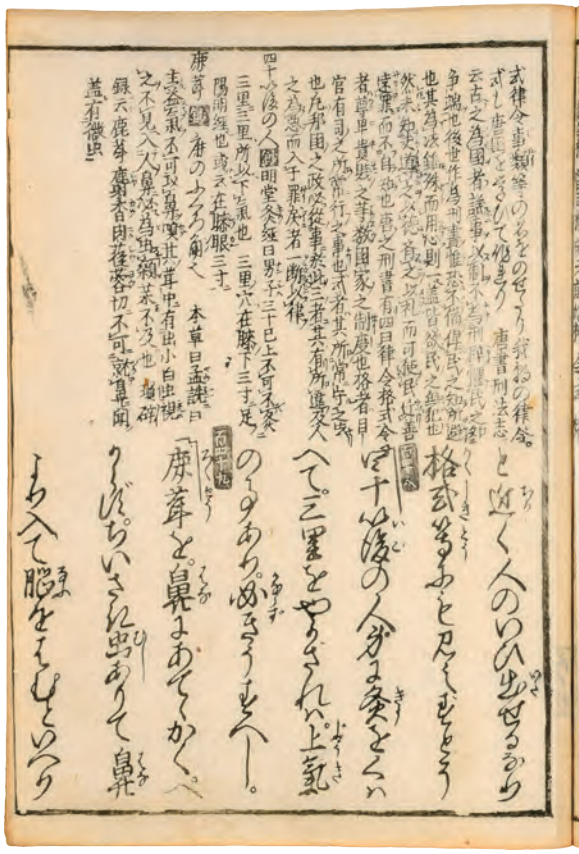
第五冊　16 丁裏　第 30 図



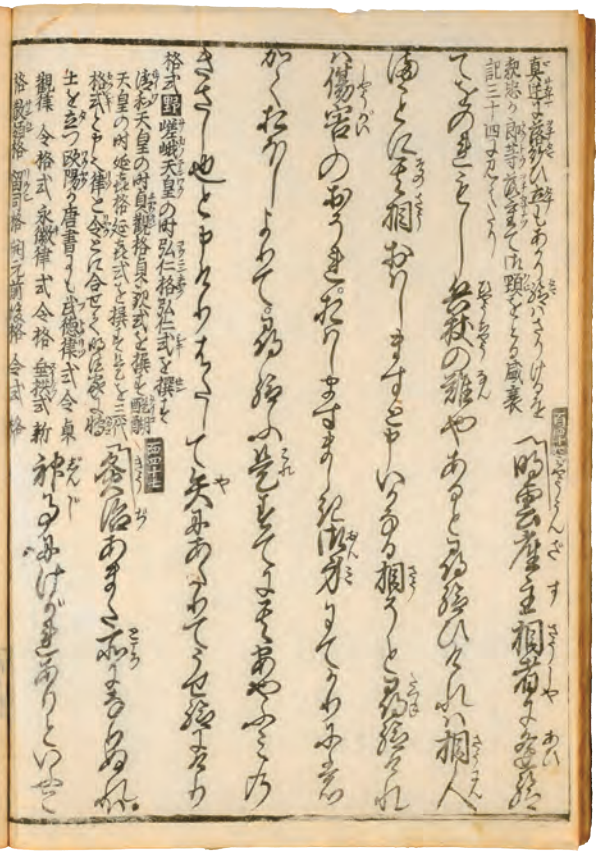
第五冊　18 丁表



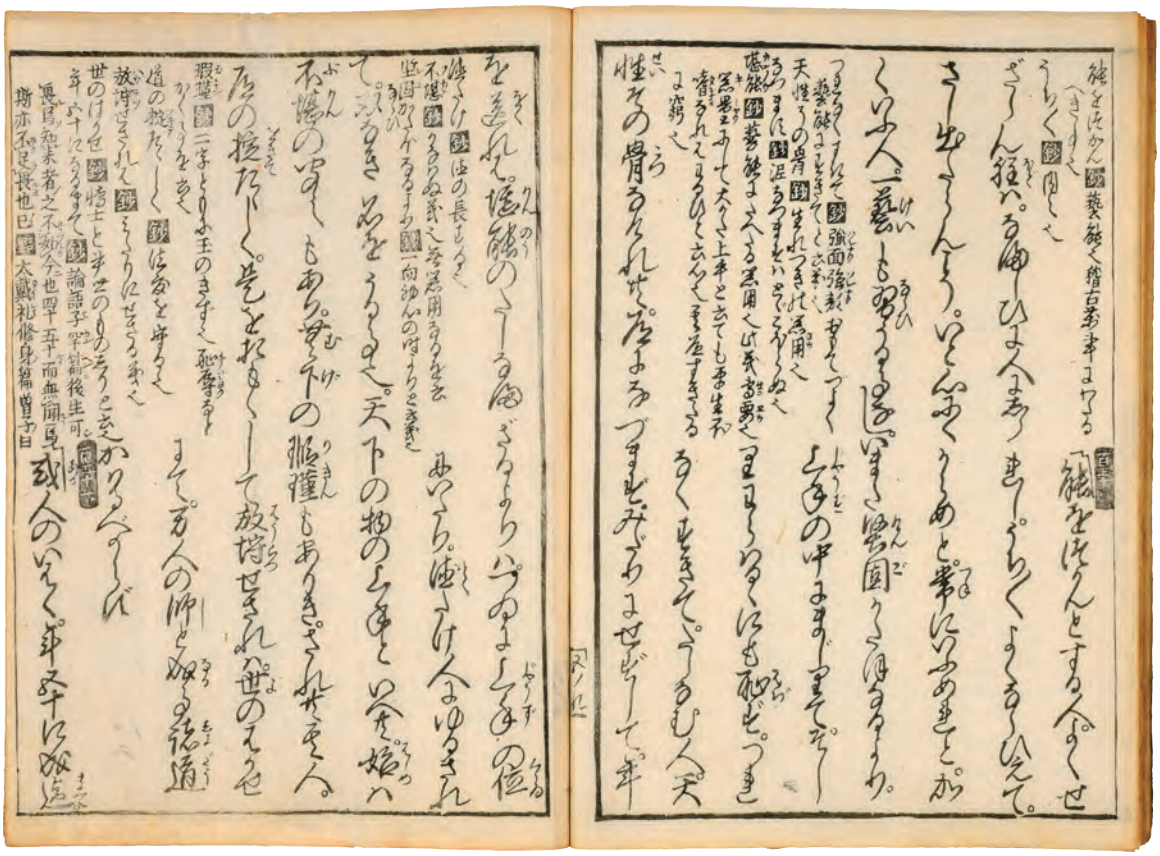
第五冊　17 丁裏



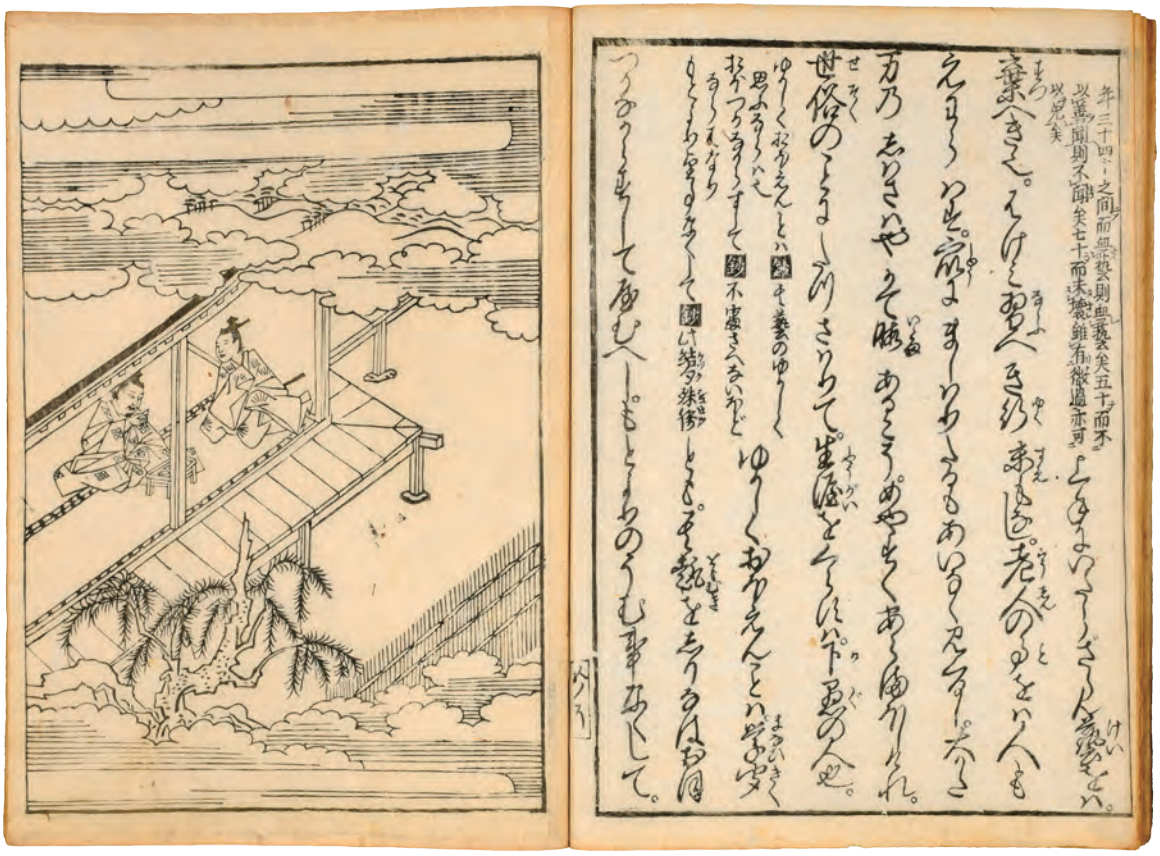
第五冊　19 丁表



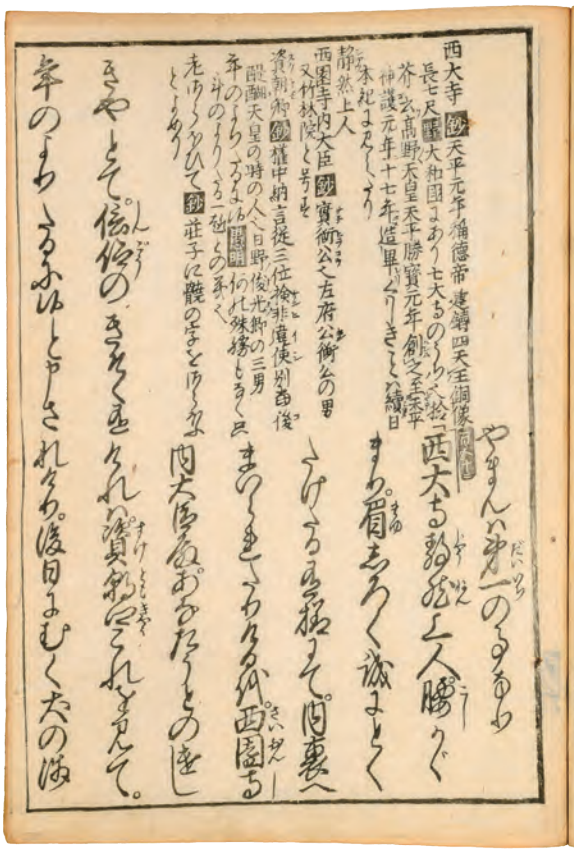
第五冊　18 丁裏



第五冊　19 丁裏　　第五冊　20 丁表

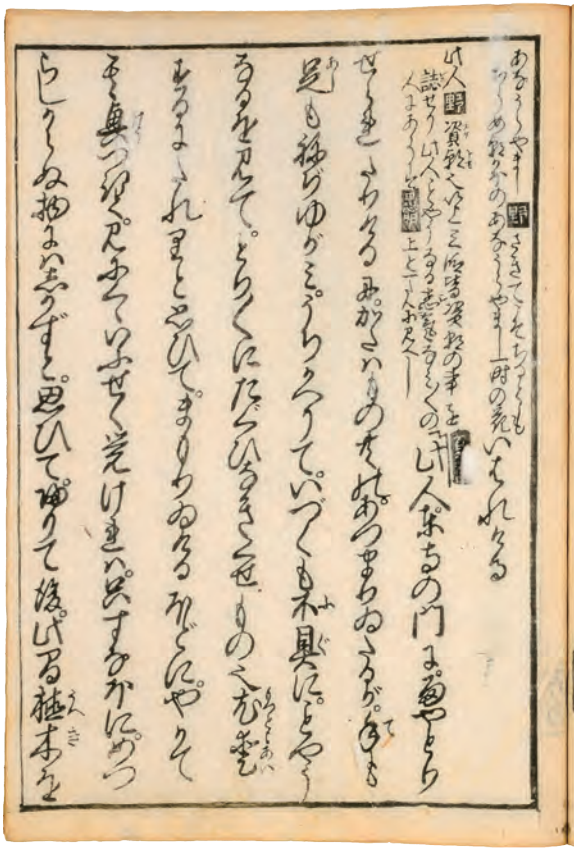


第五冊　20 丁裏　　第五冊　21 丁表　第 31 図

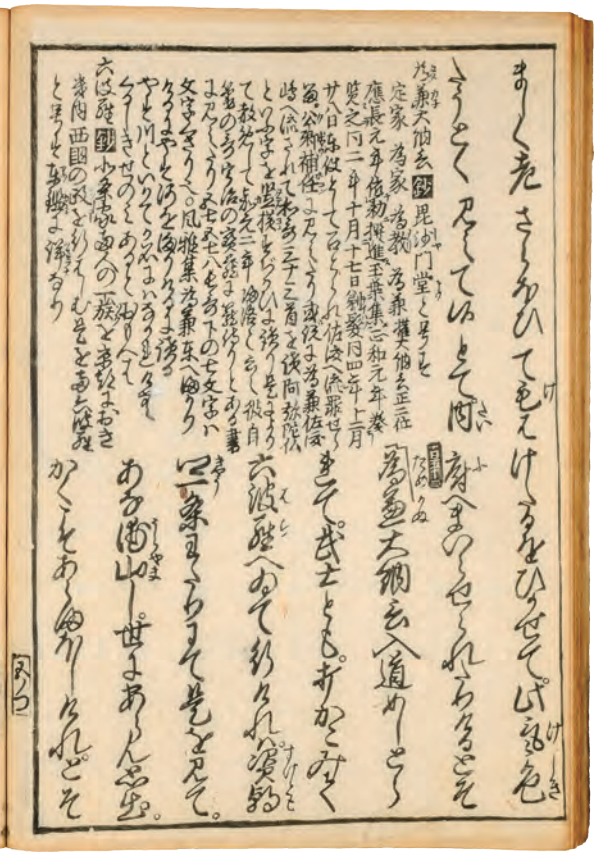


第五冊　22 丁表

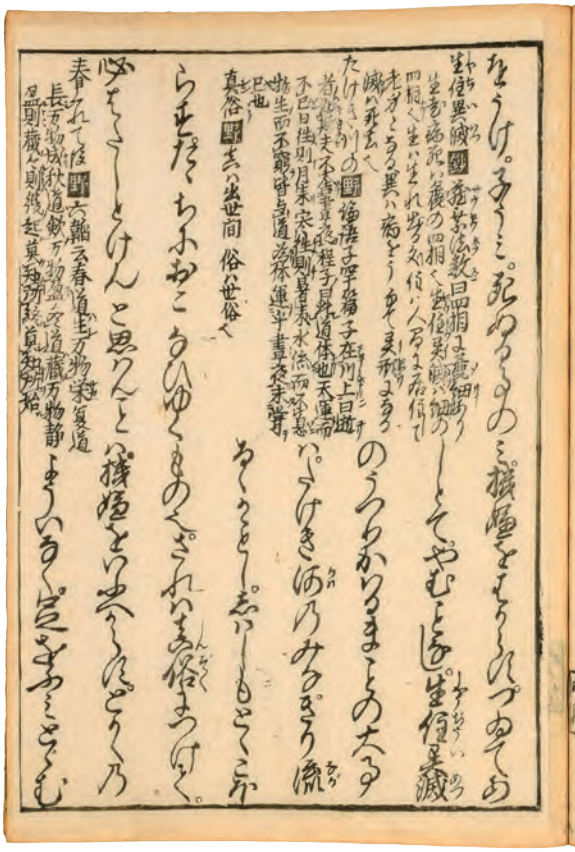
第五冊　21 丁裏　第 32 図



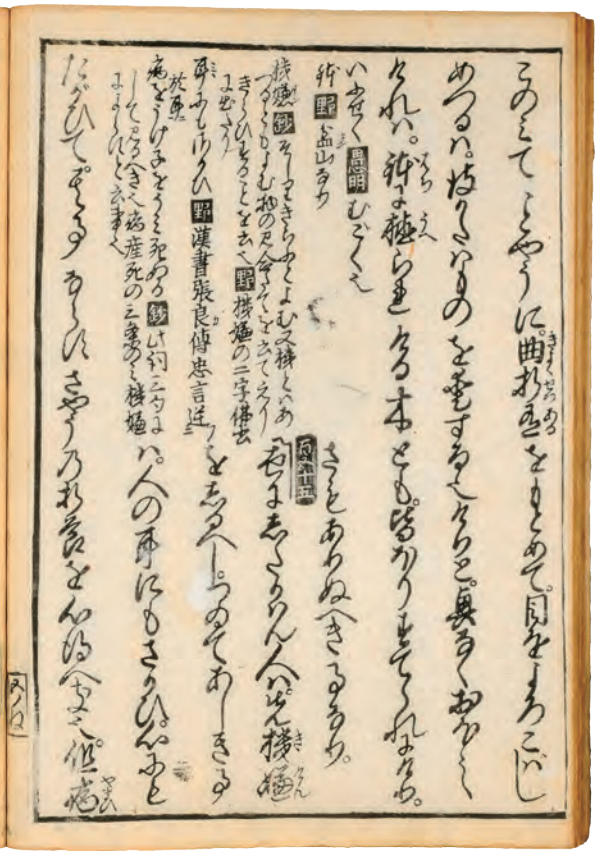
第五冊　23 丁表



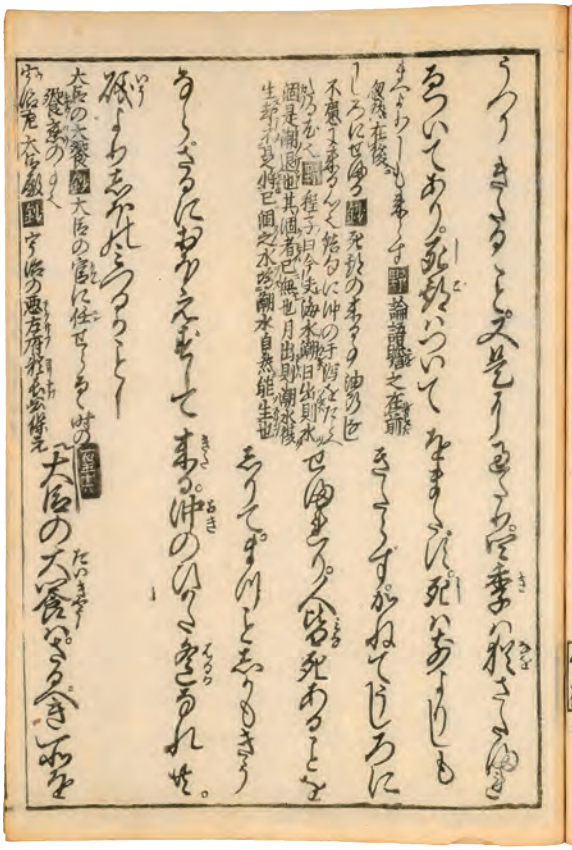
第五冊　22 丁裏



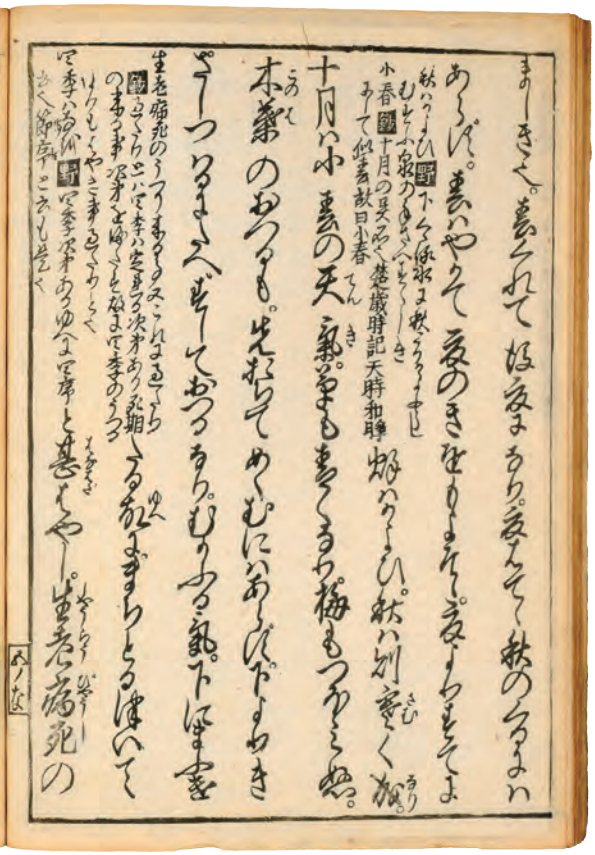
第五冊　24 丁表



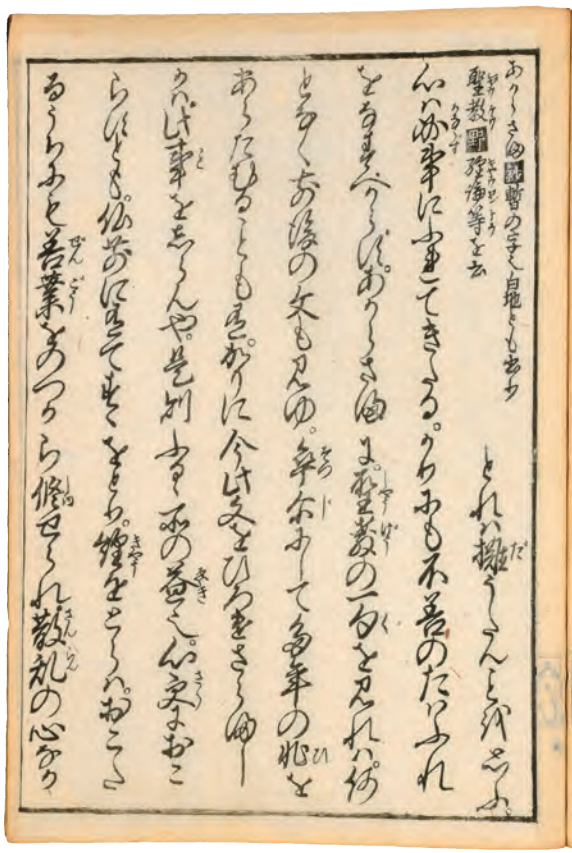
第五冊　23 丁裏



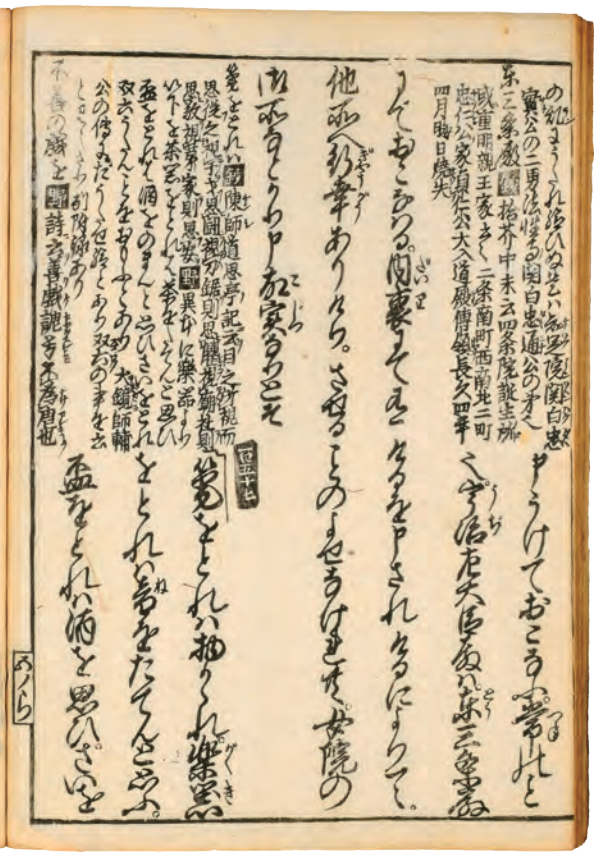
第五冊　25 丁表



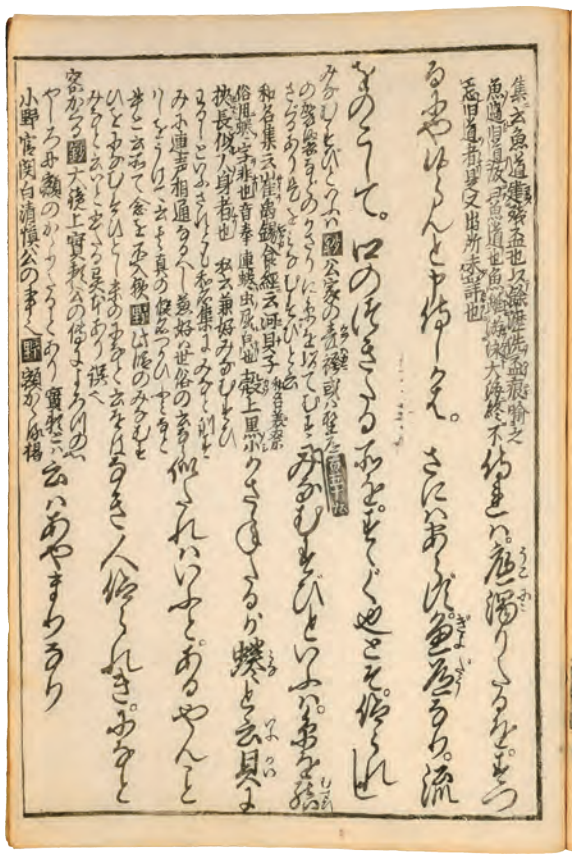
第五冊　24 丁裏



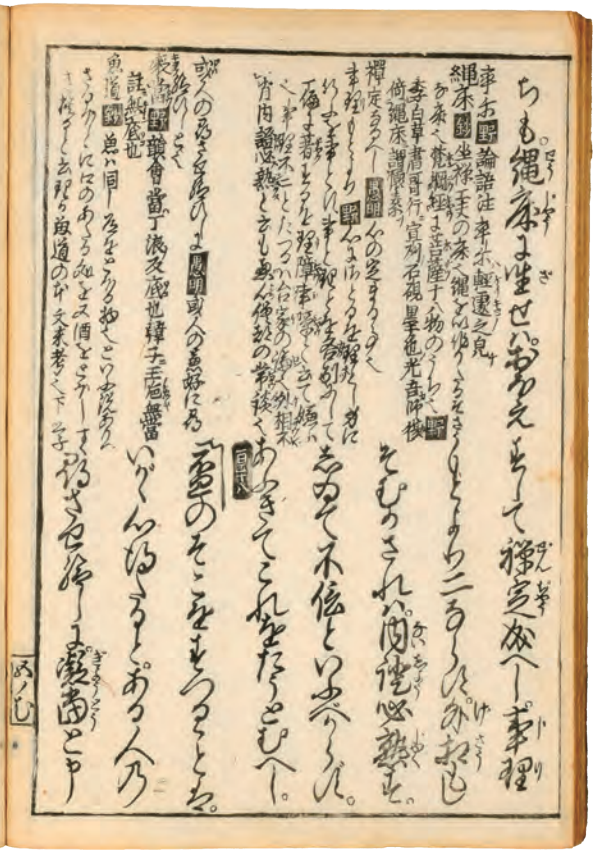
第五冊　26 丁表



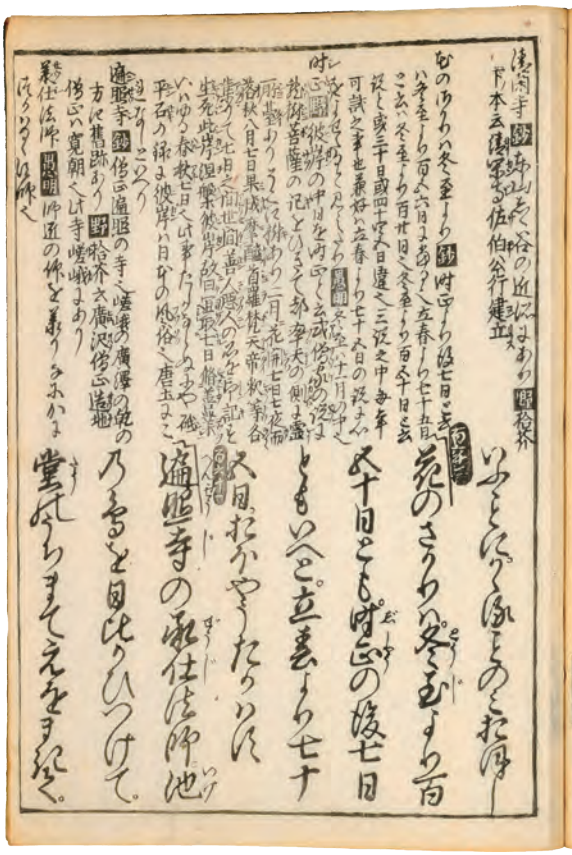
第五冊　25 丁裏



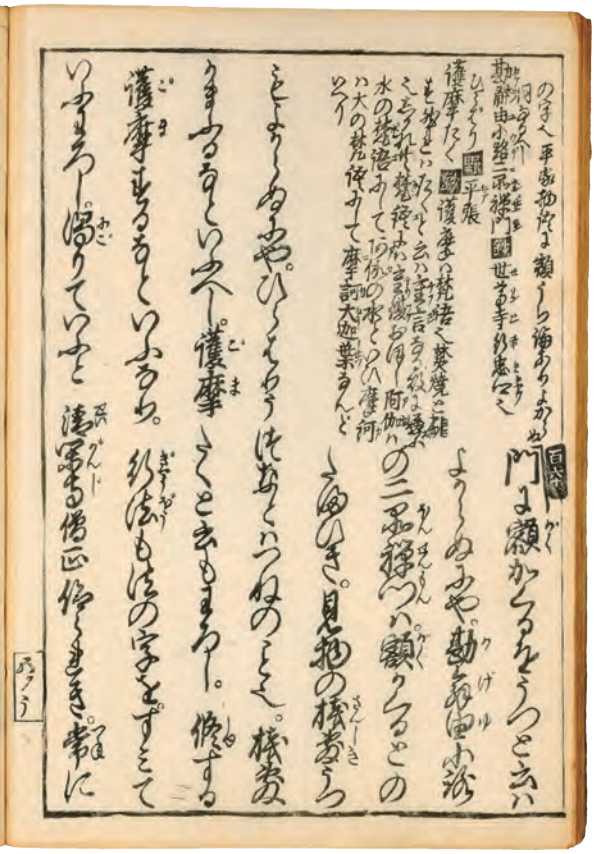
第五冊　27 丁表



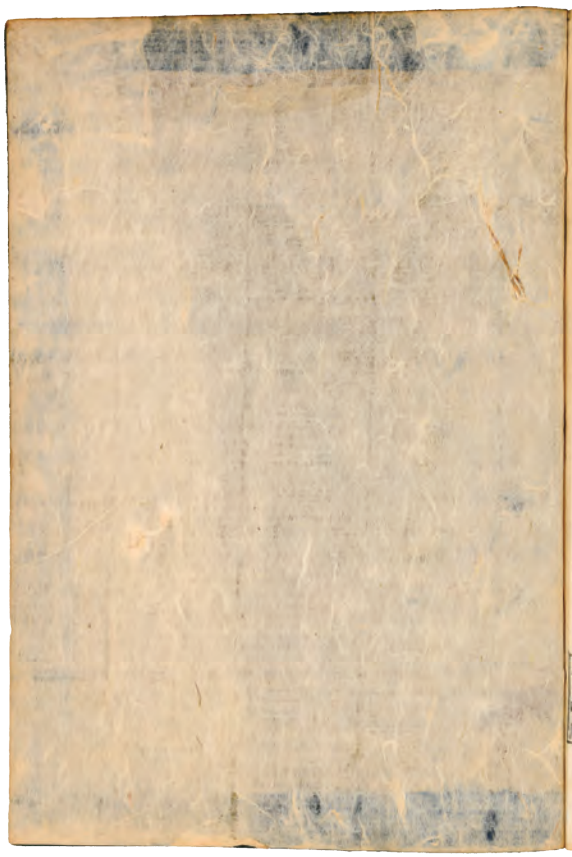
第五冊　26 丁裏



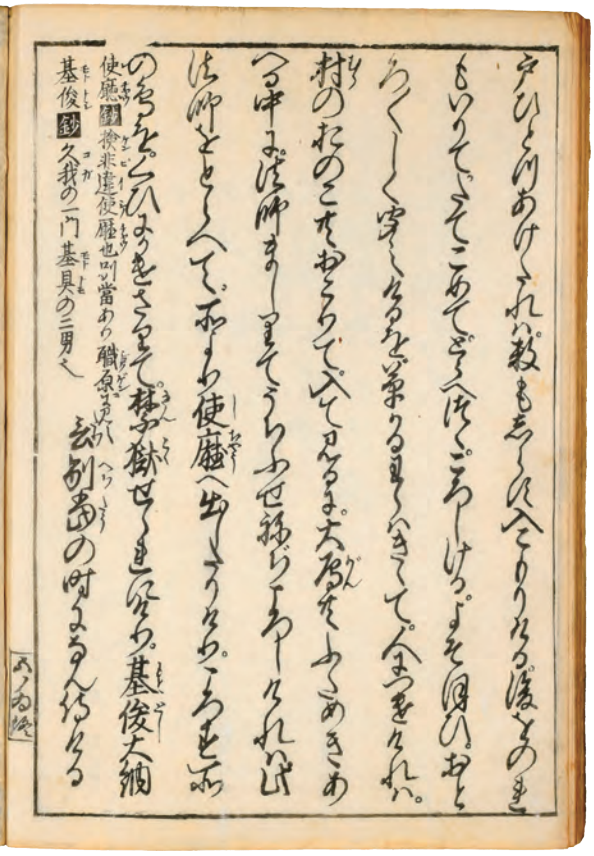
第五冊　28 丁表



第五冊　27 丁裏



第五冊　裏表紙見返し



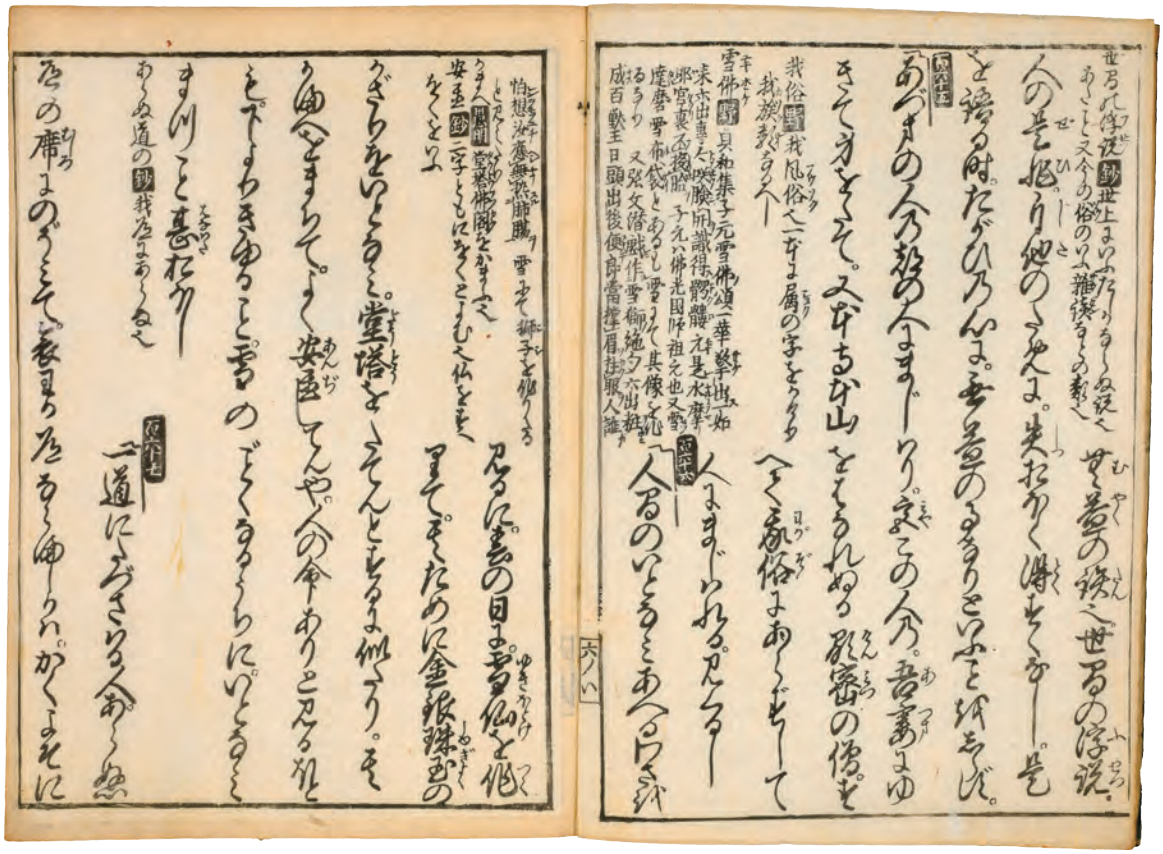
第五冊　28 丁裏

第五冊　裏表紙

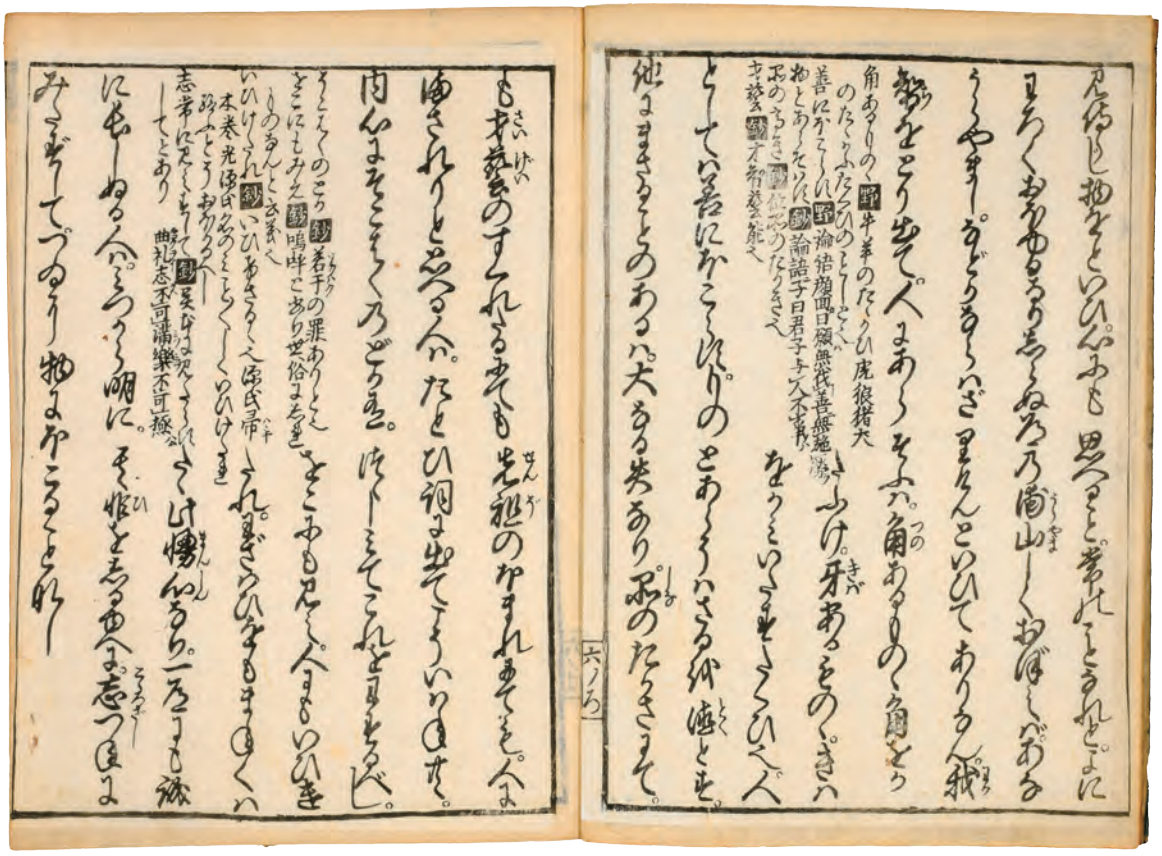
第六冊　表表紙

第六冊　１丁表

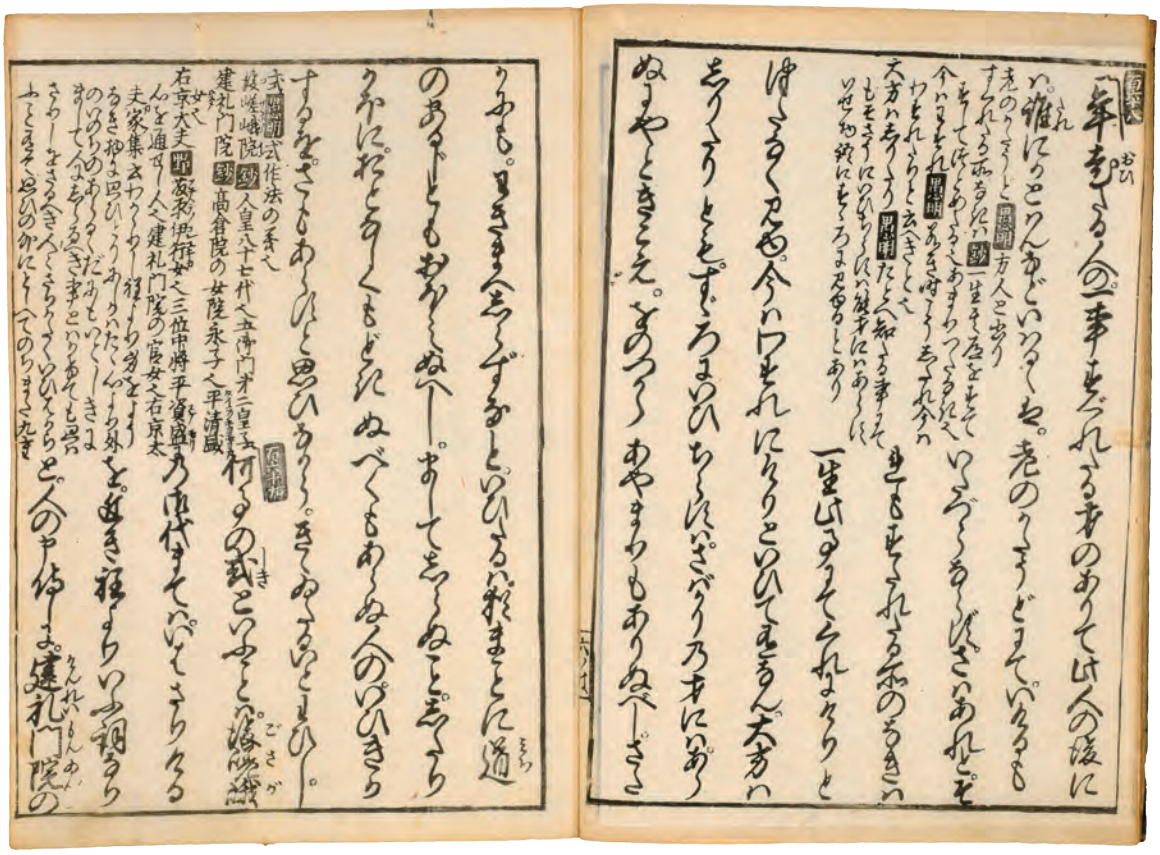
第六冊　表表紙見返し



第六冊　1丁裏　　第六冊　2丁表

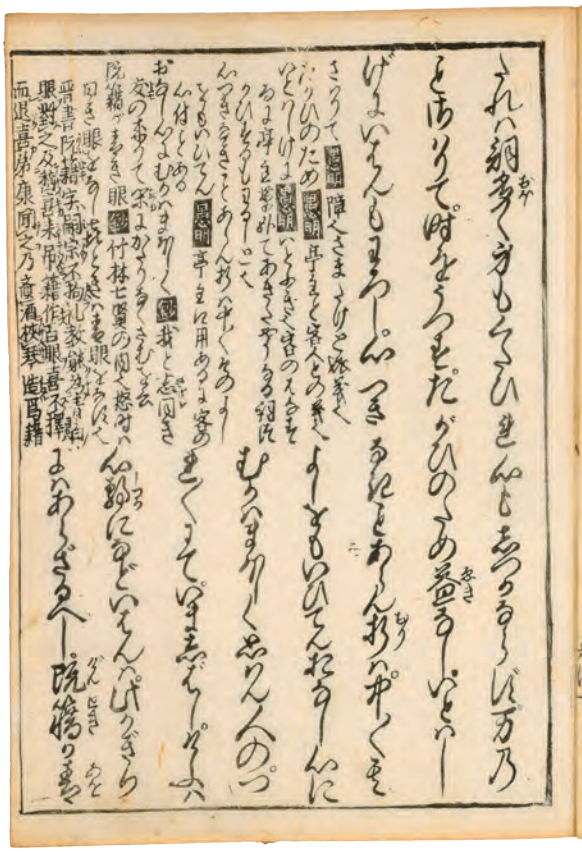


第六冊　2丁裏　　第六冊　3丁表



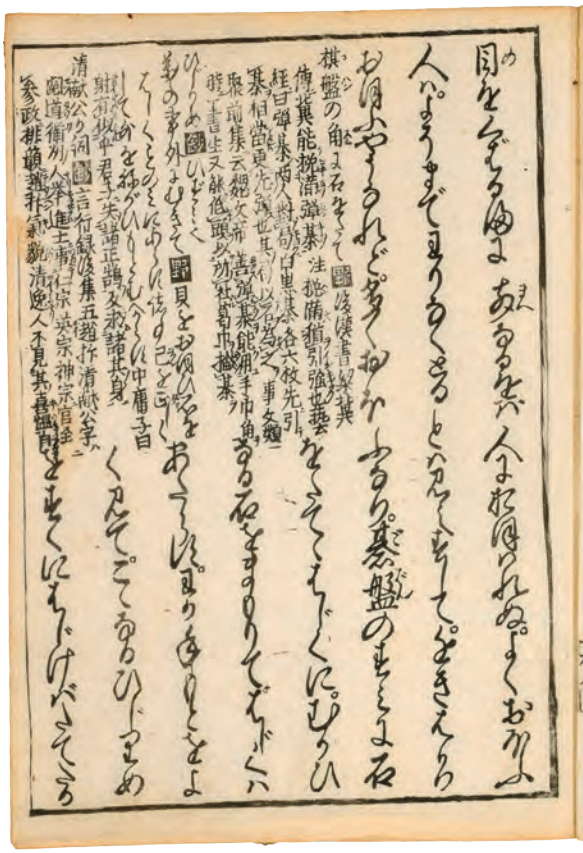
第六冊　3丁裏　　第六冊　4丁表

第六冊　4丁裏　　第六冊　5丁表　第33図

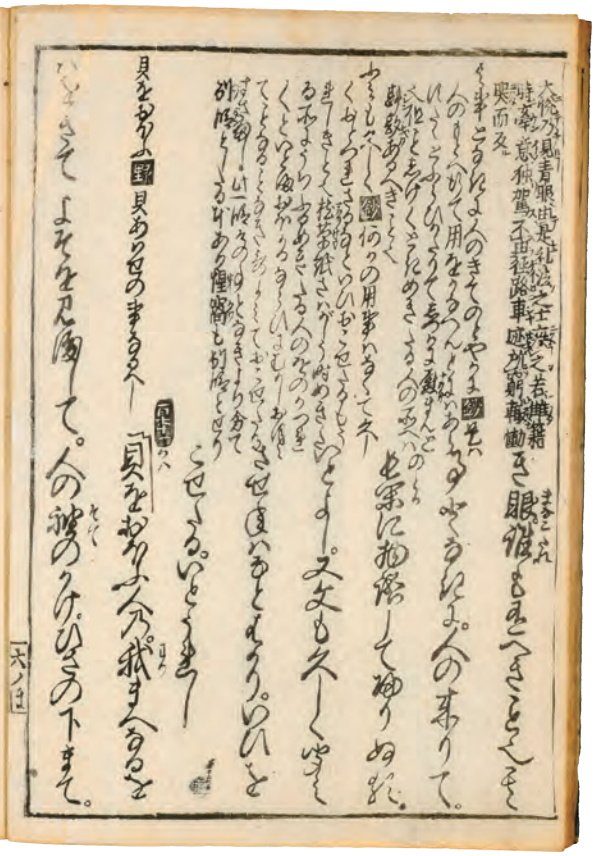


第六冊　6丁表

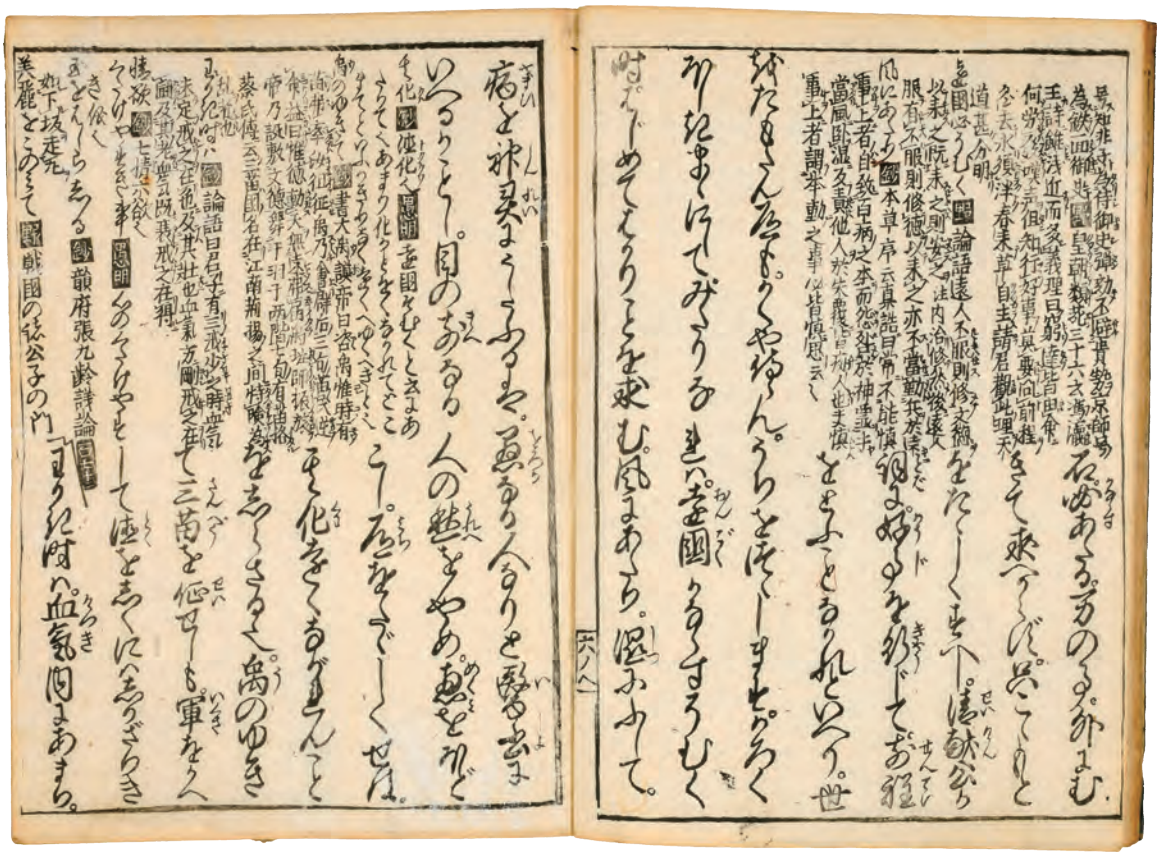
第六冊　5丁裏　第34図



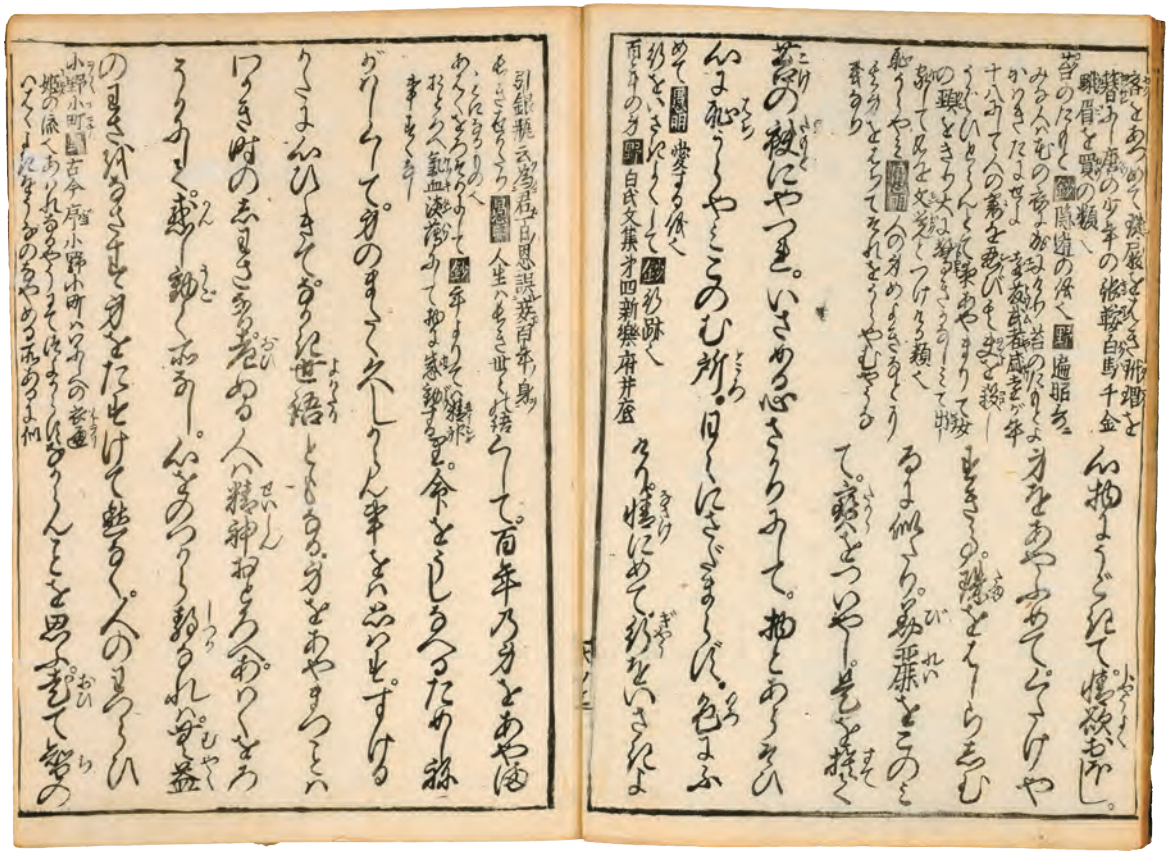
第六冊　7丁表



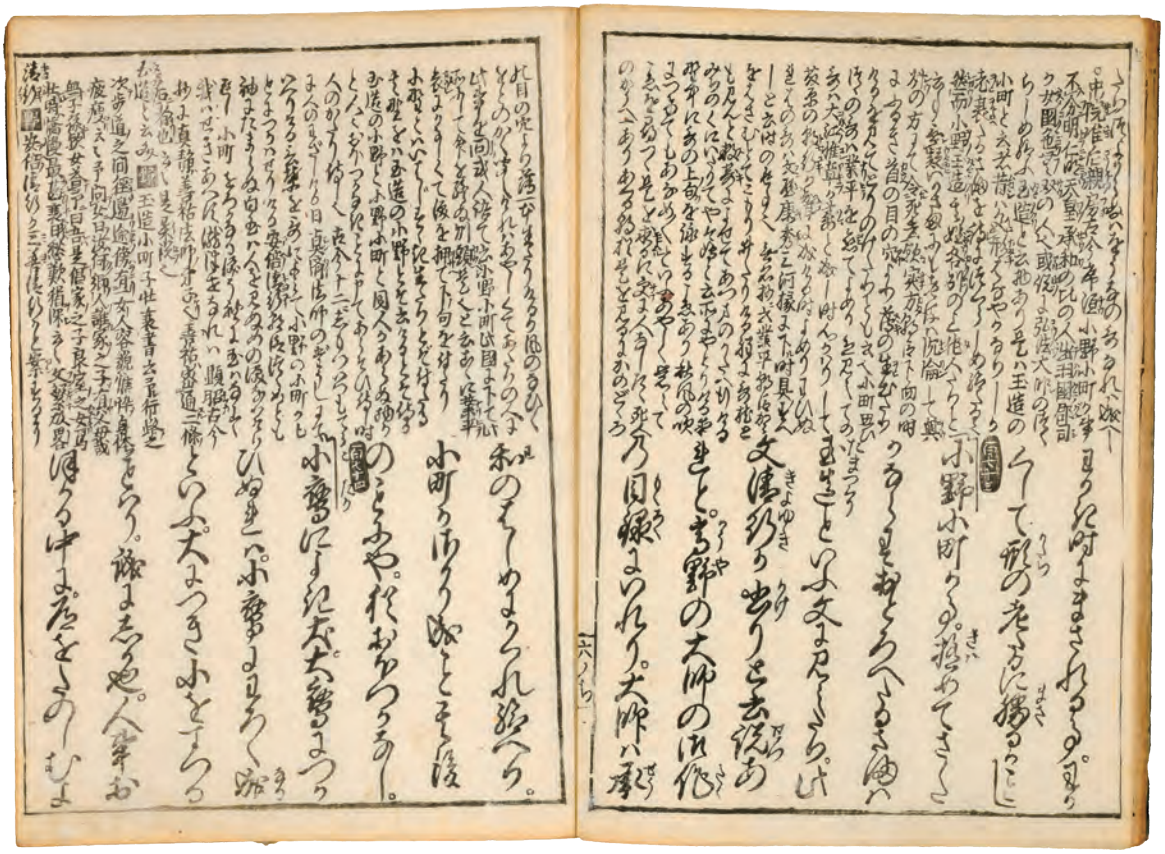
第六冊　6丁裏



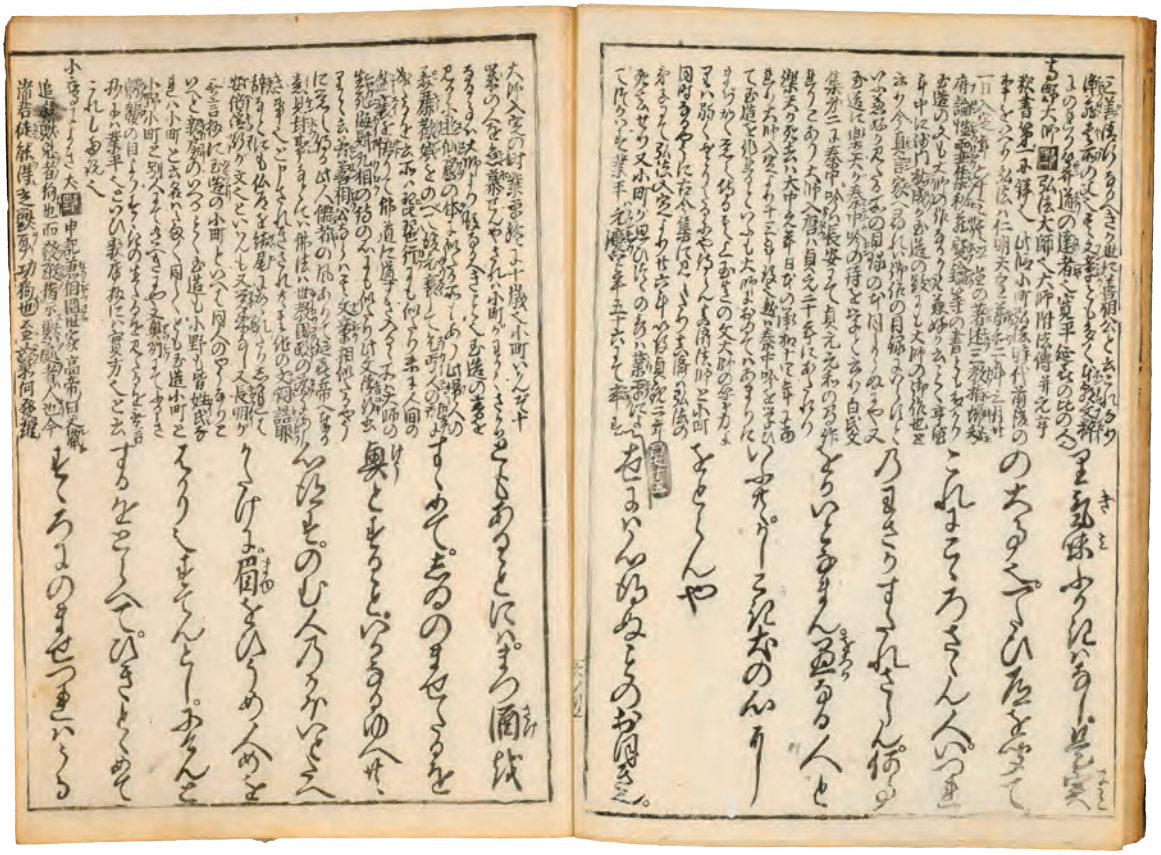
第六冊　7丁裏　　第六冊　8丁表



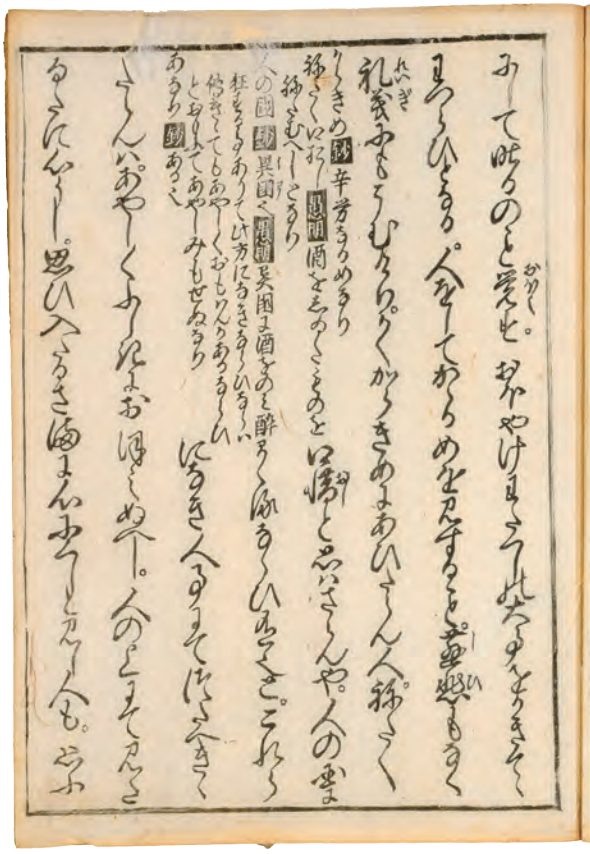
第六冊　8丁裏　　第六冊　9丁表



第六冊　9 丁裏　　第六冊　10 丁表



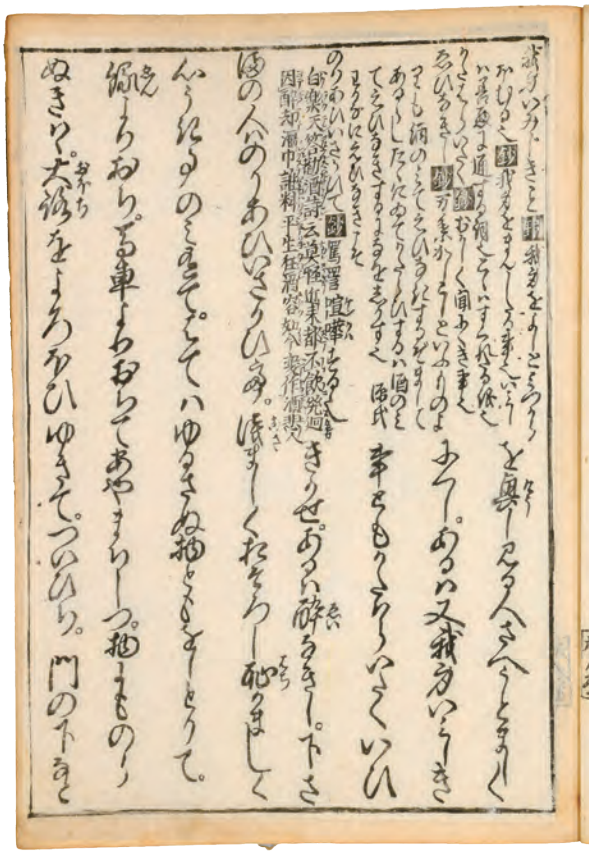
第六冊　10 丁裏　　第六冊　11 丁表



第六冊　11 丁裏



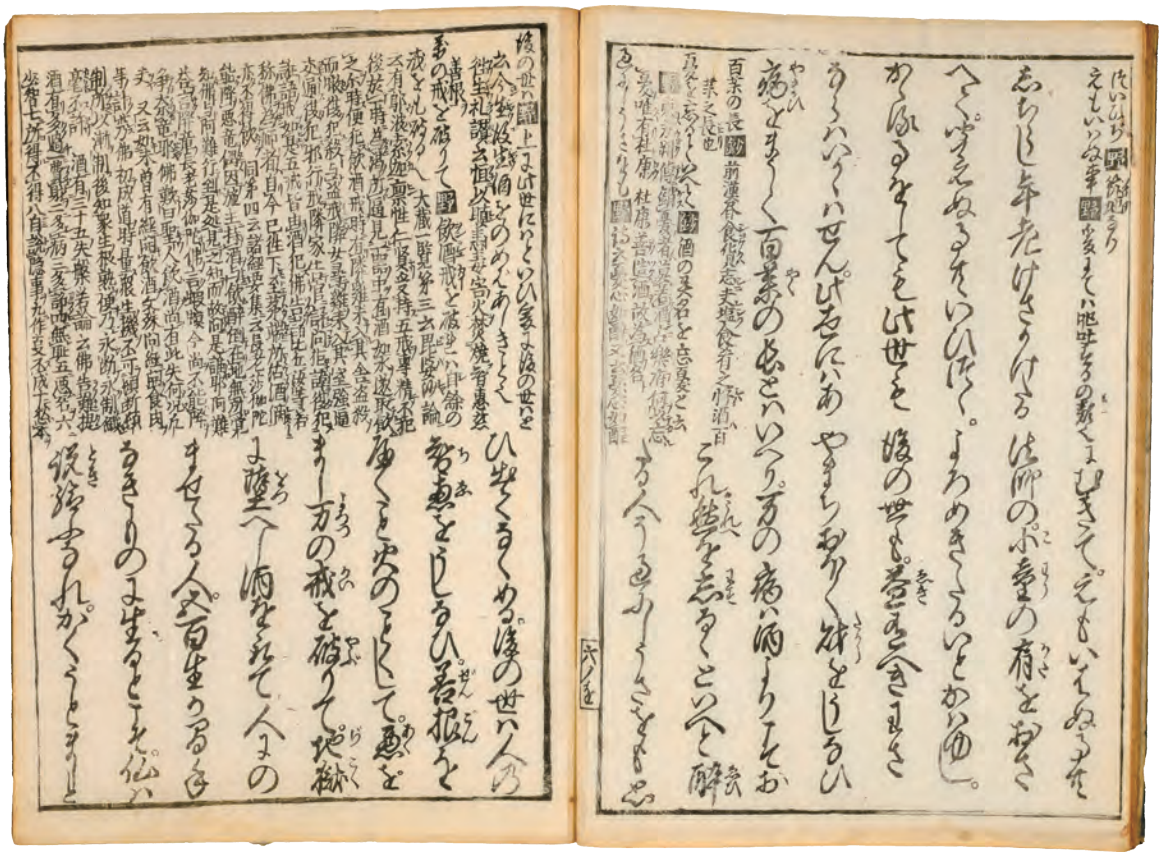
第六冊　12 丁表



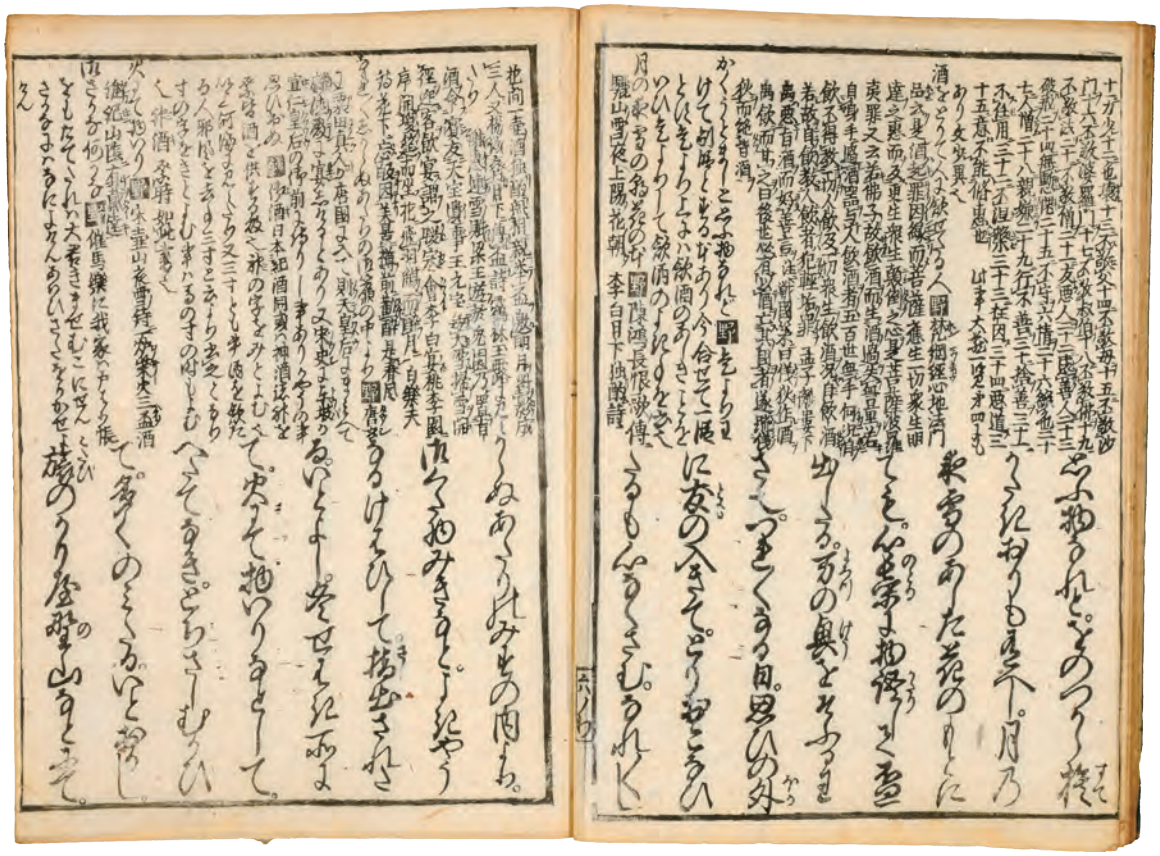
第六冊　12 丁裏



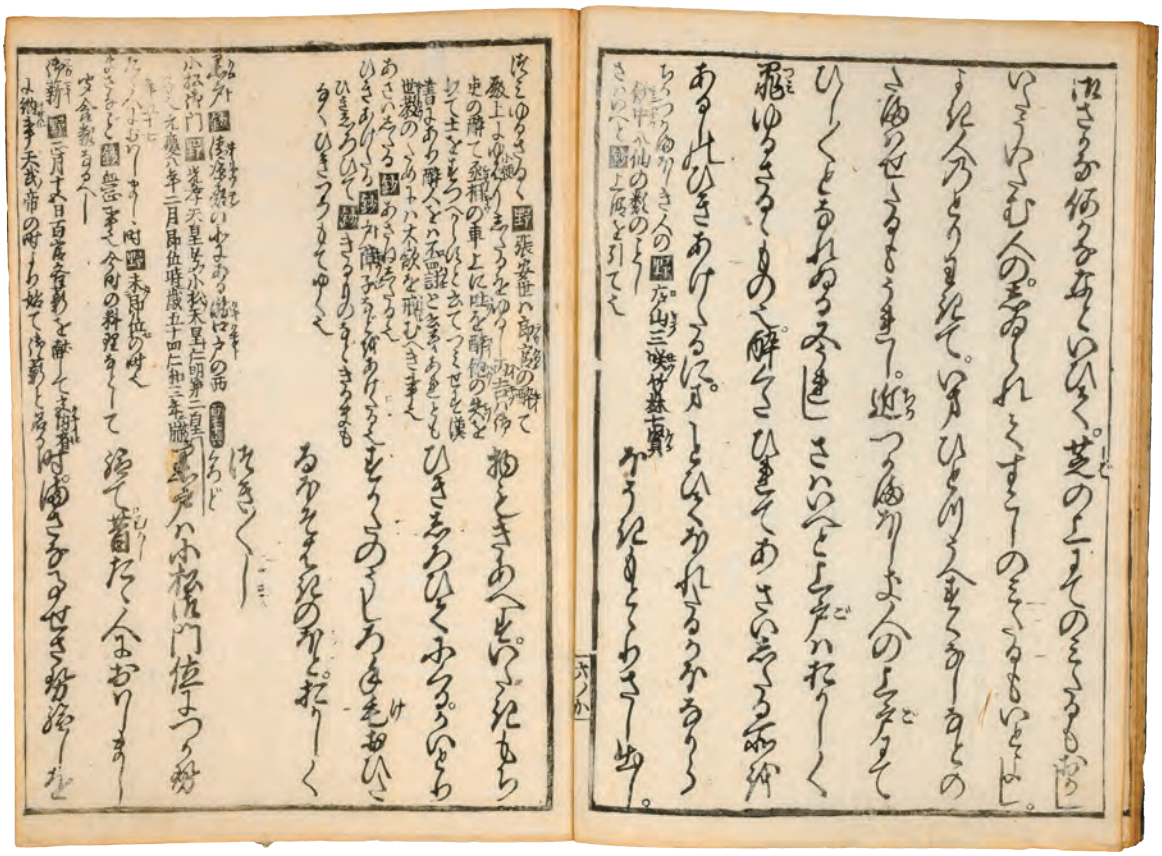
第六冊　13 丁表



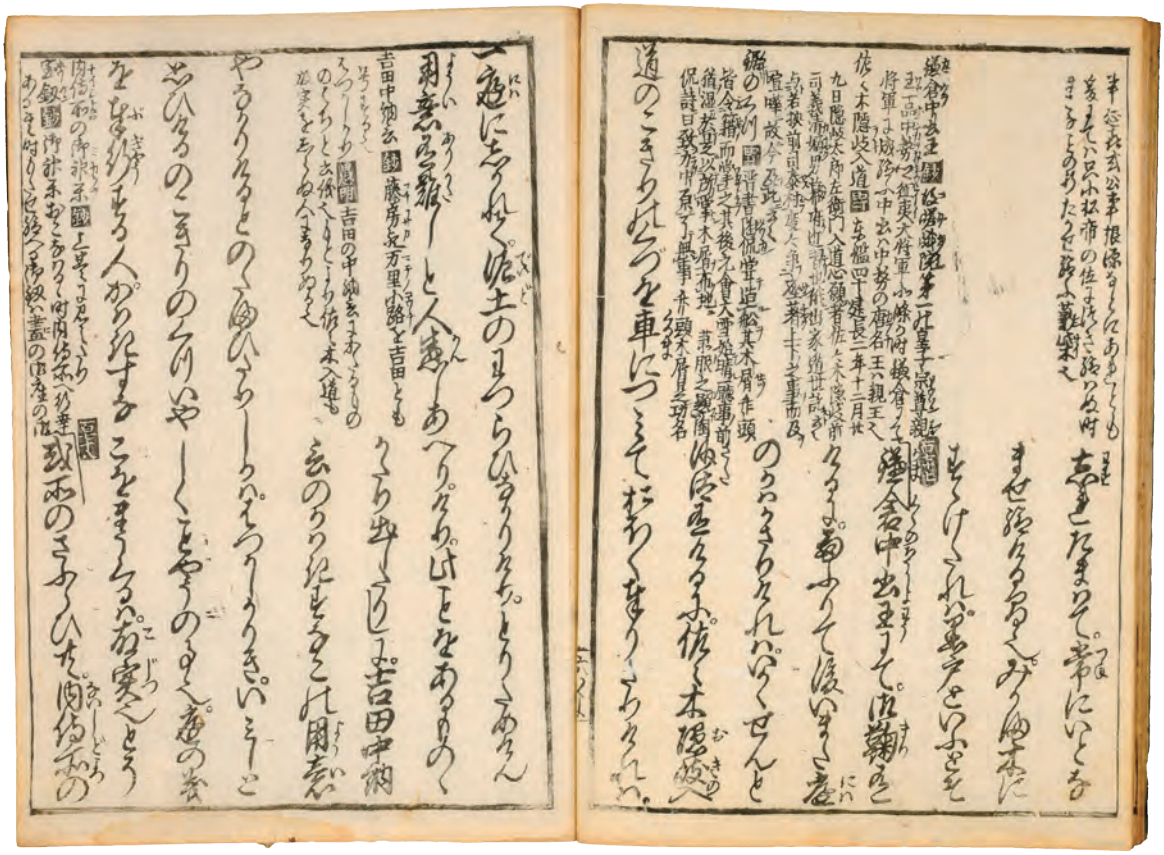
第六冊　13 丁裏　　第六冊　14 丁表



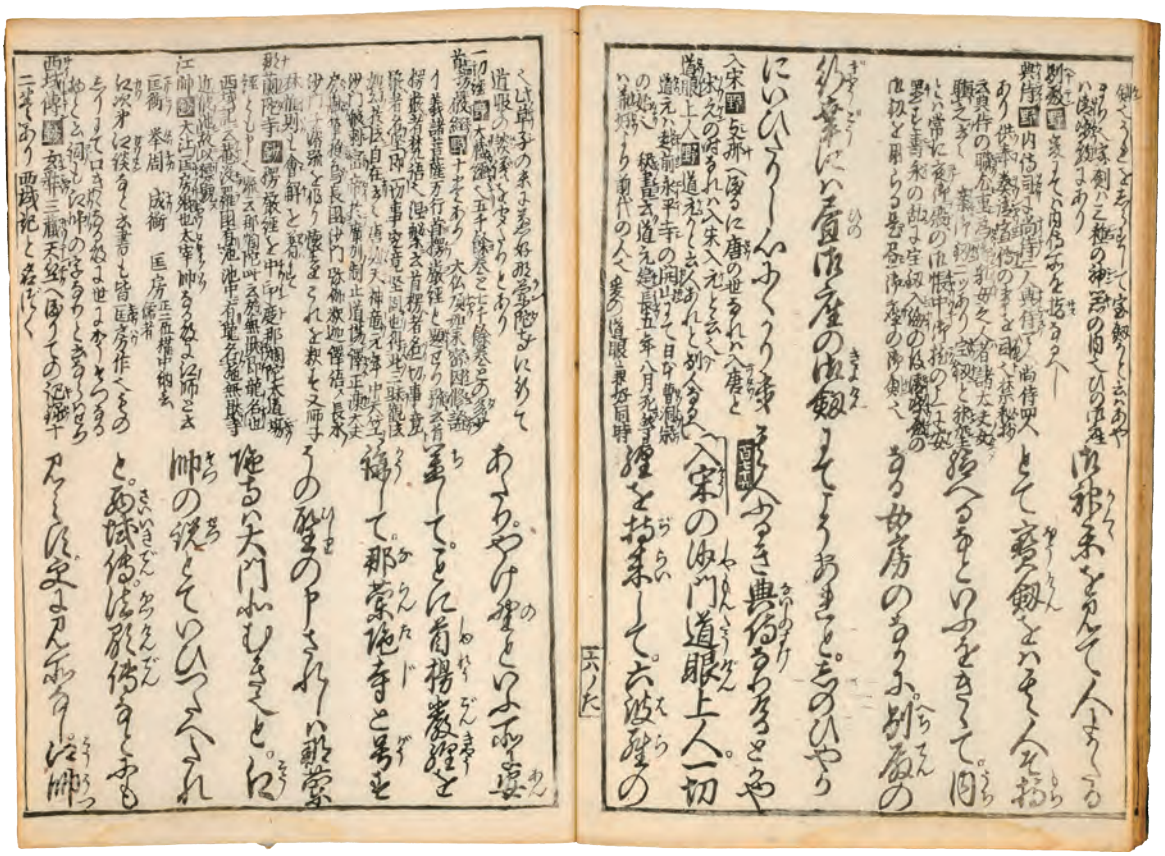
第六冊　14 丁裏　　第六冊　15 丁表



第六冊　15 丁裏　　第六冊　16 丁表

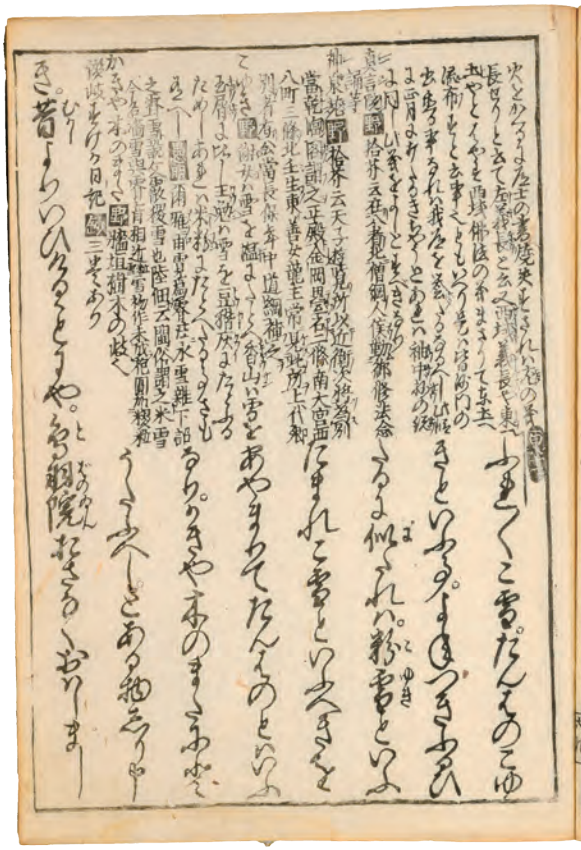


第六冊　16 丁裏　　第六冊　17 丁表



第六冊　17 丁裏　　第六冊　18 丁表

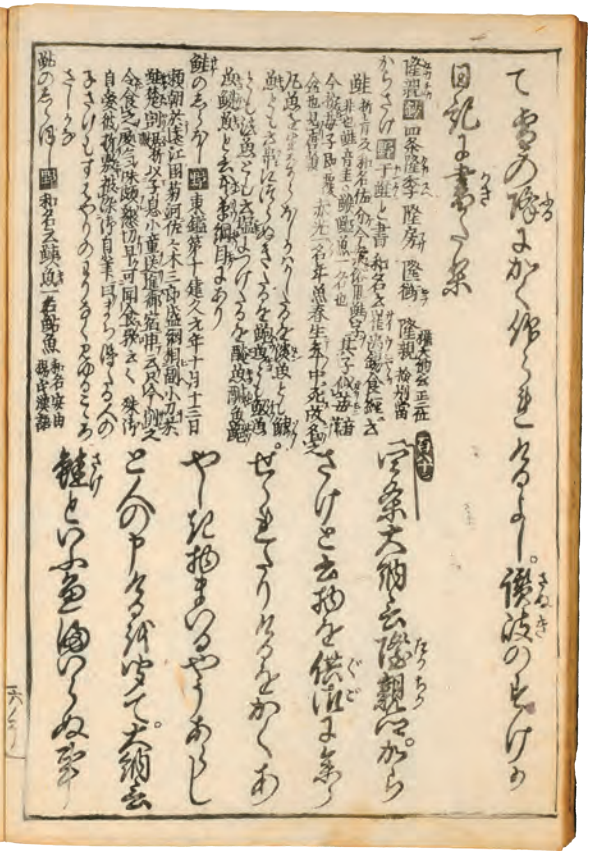
第六冊　18 丁裏　　第六冊　19 丁表　第 35 図



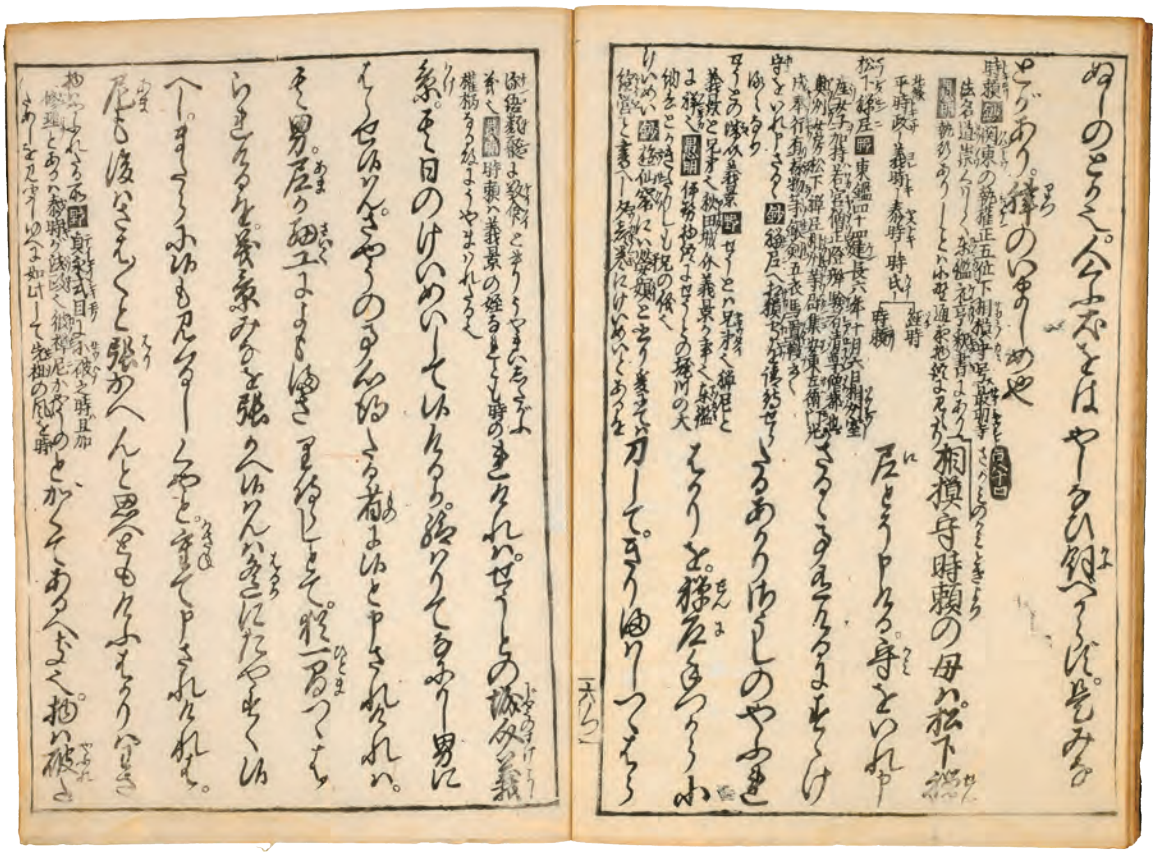
第六冊　20 丁表

第六冊　19 丁裏　第 36 図

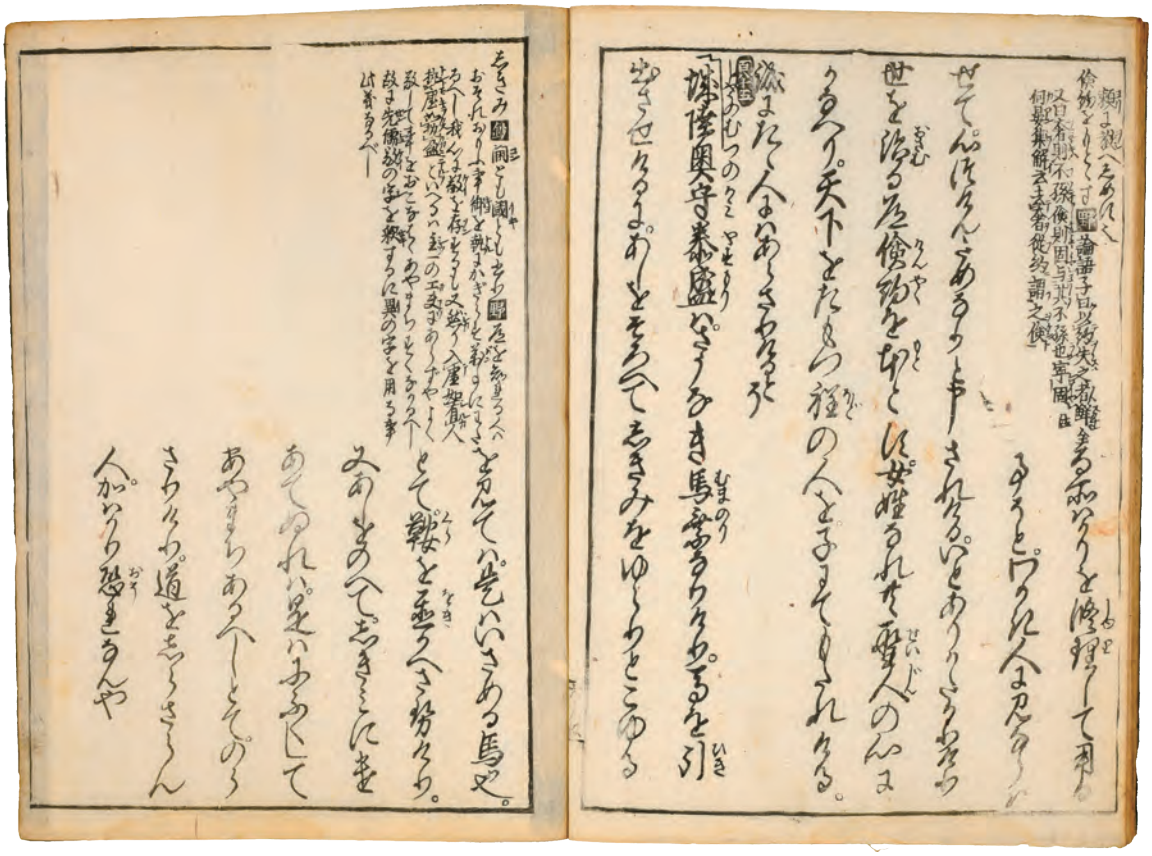
第六冊　21 丁表



第六冊　20 丁裏



第六冊　21 丁裏　　第六冊　22 丁表



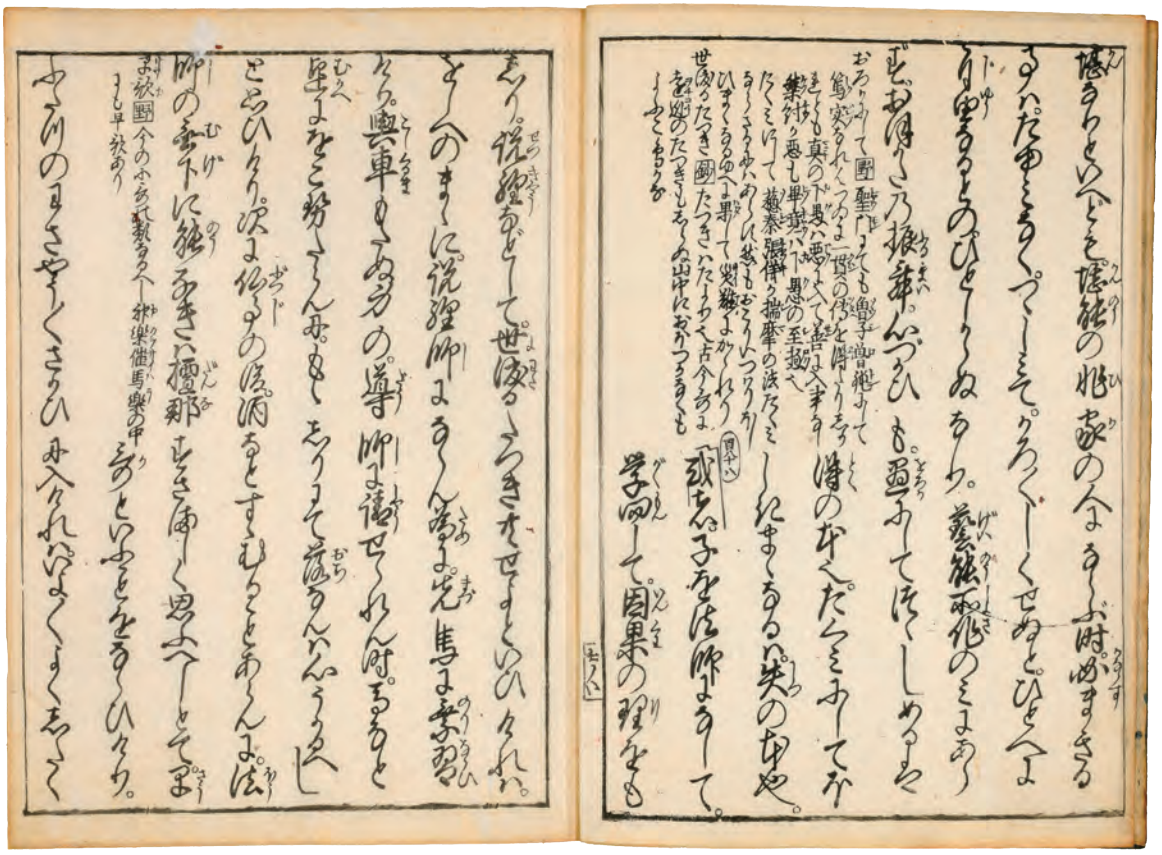
第六冊　22 丁裏　　第六冊　裏表紙見返し

第六冊　裏表紙

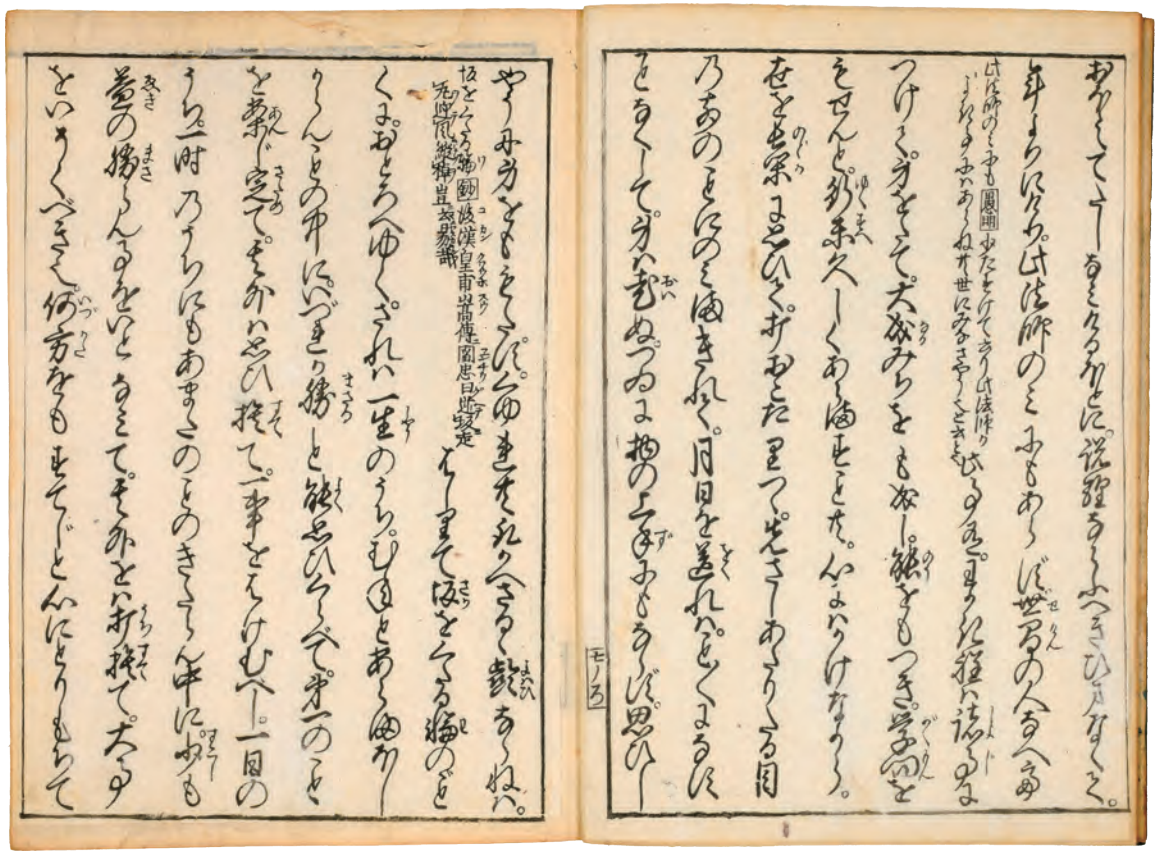
第七冊　表表紙

第七冊　１丁表

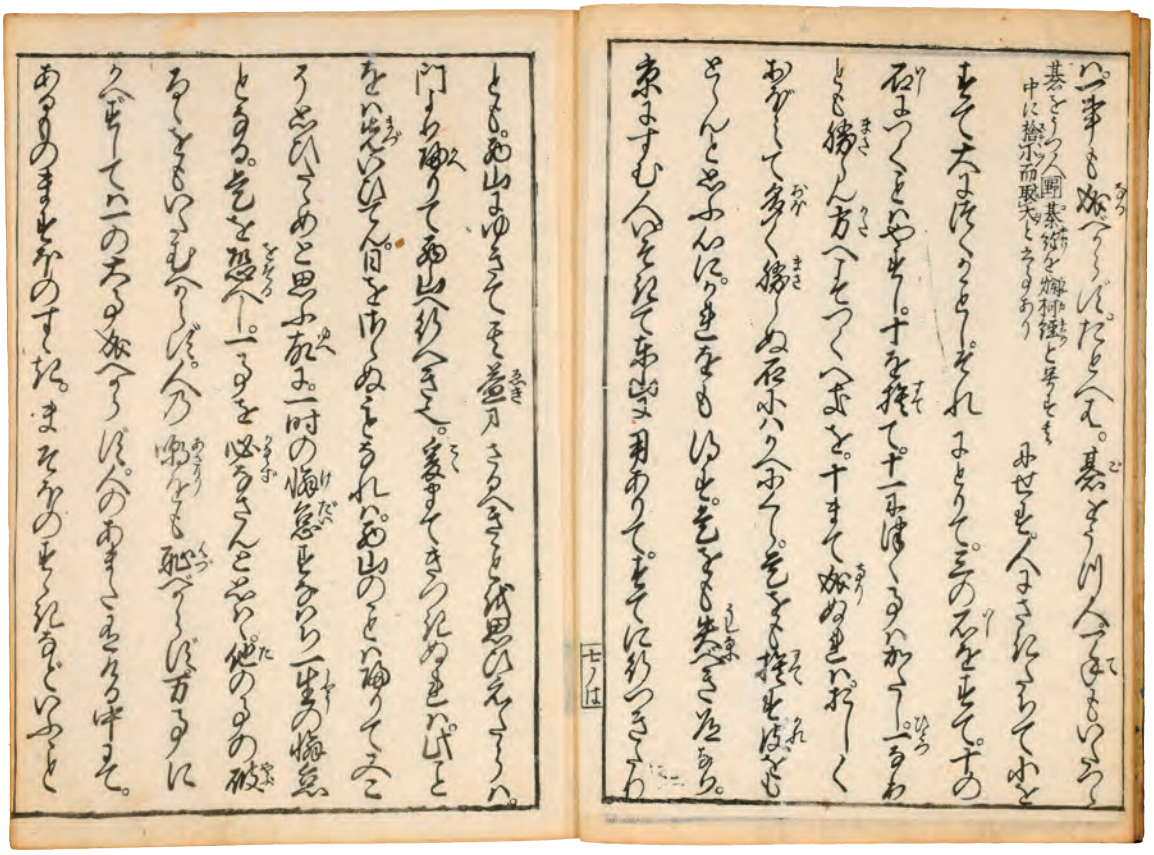
第七冊　表表紙見返し



第七冊　1丁裏　　第七冊　2丁表



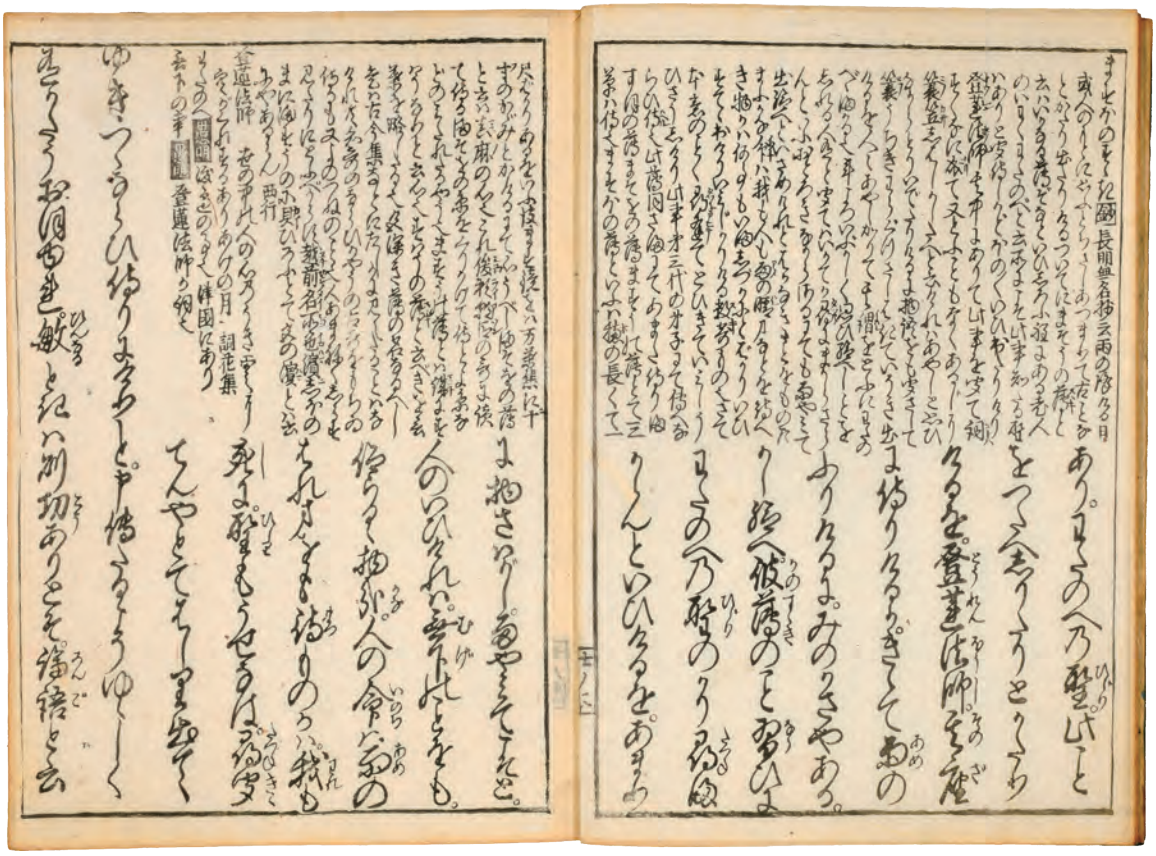
第七冊　2丁裏　　第七冊　3丁表



第七冊　3丁裏



第七冊　4丁表

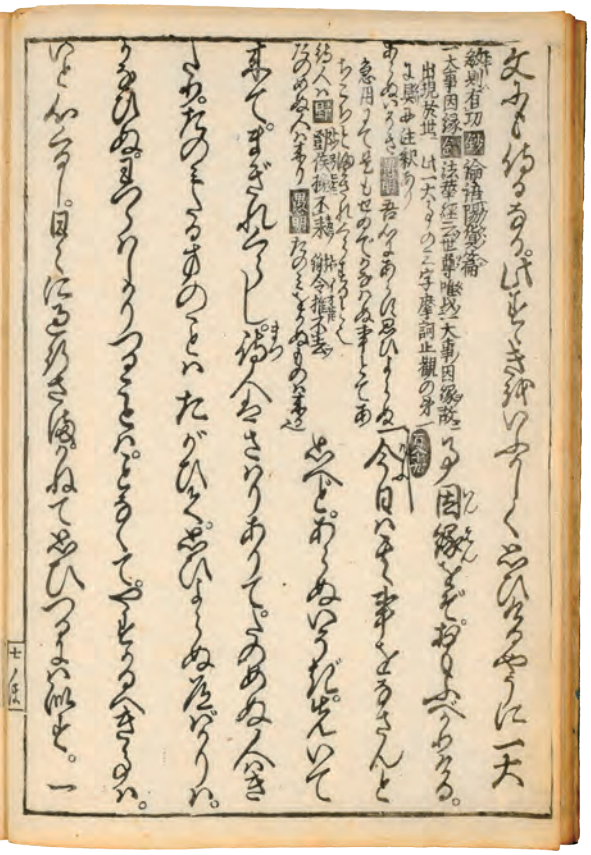


第七冊　4丁裏

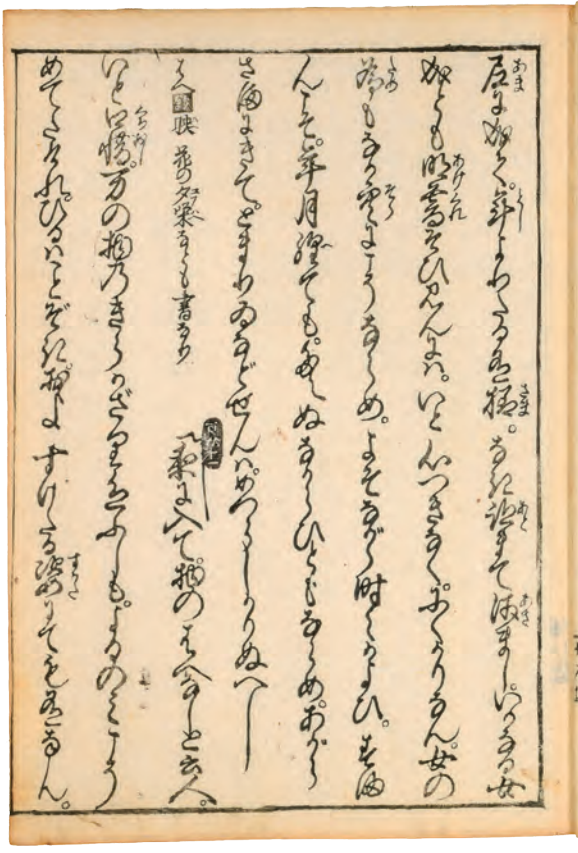


第七冊　5丁表

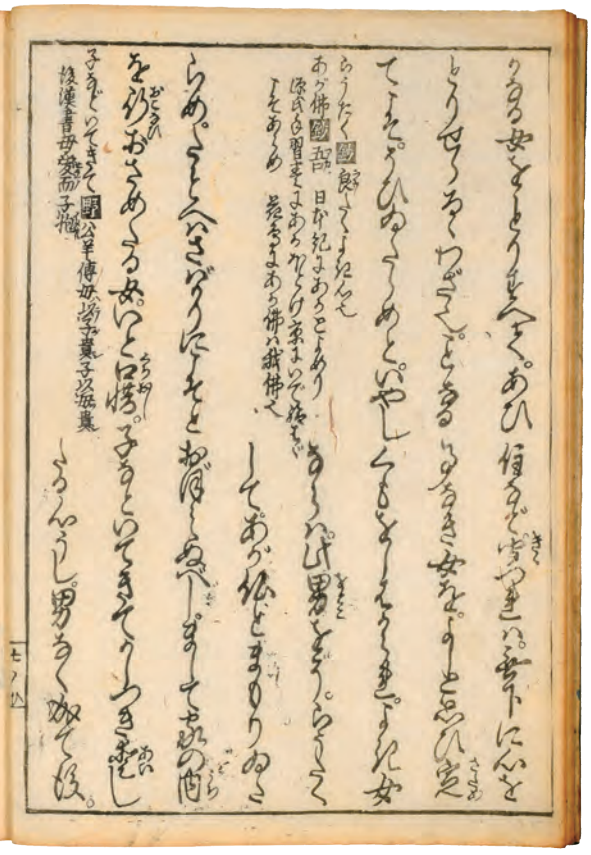
第七冊　6丁表



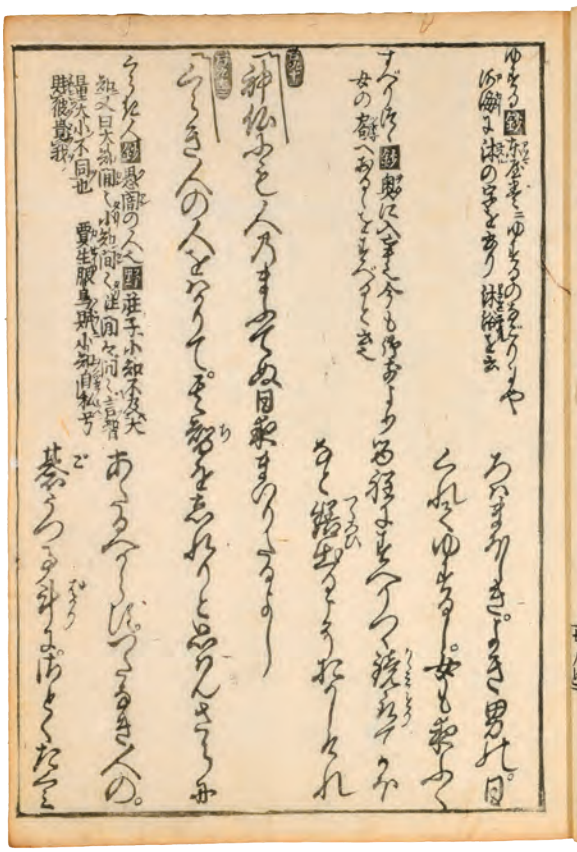
第七冊　5丁裏



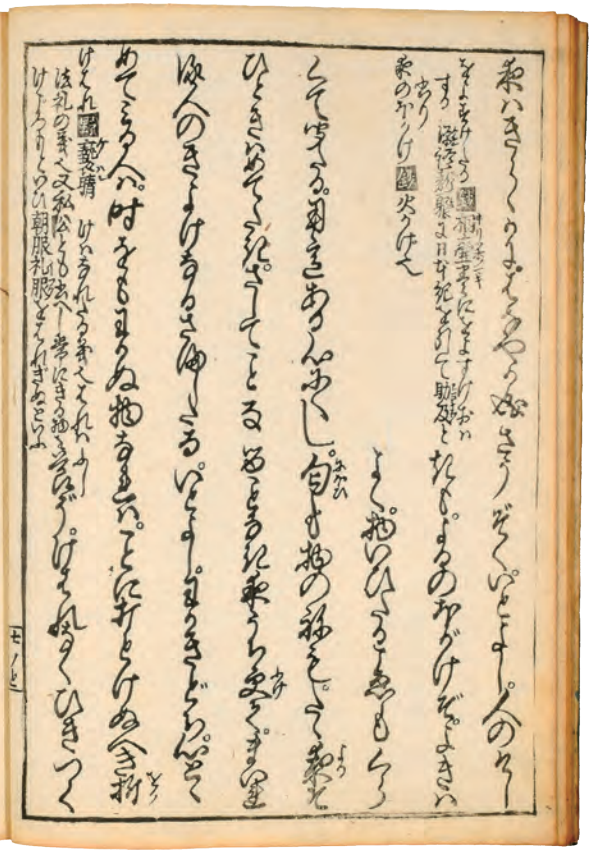
第七冊　7丁表



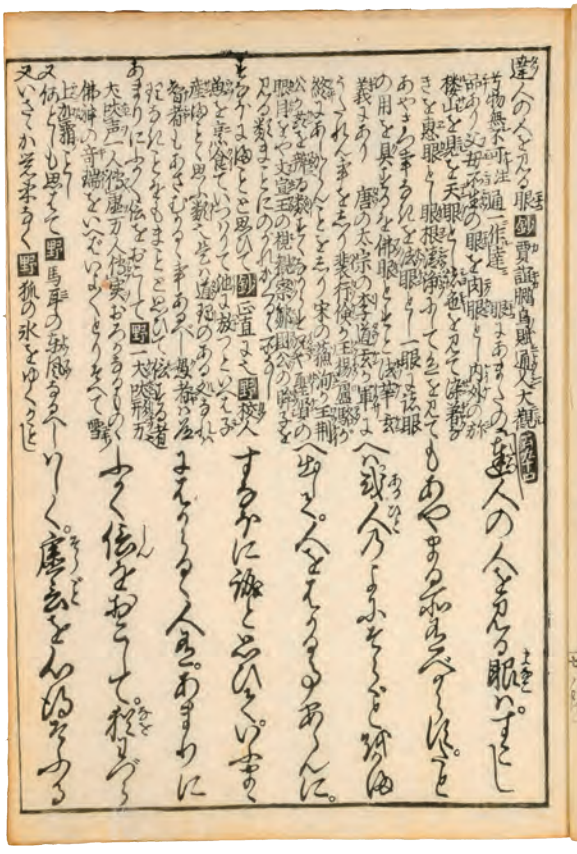
第七冊　6丁裏



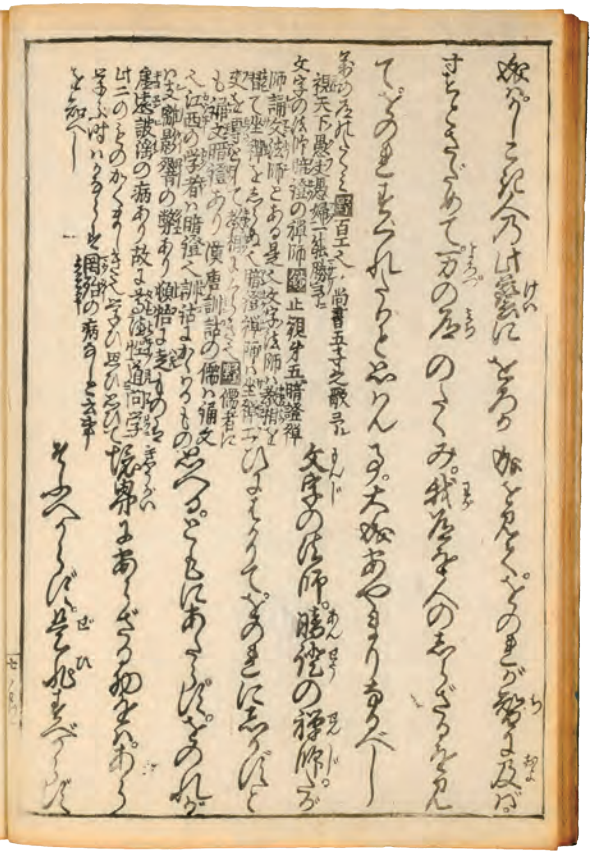
第七冊　8丁表



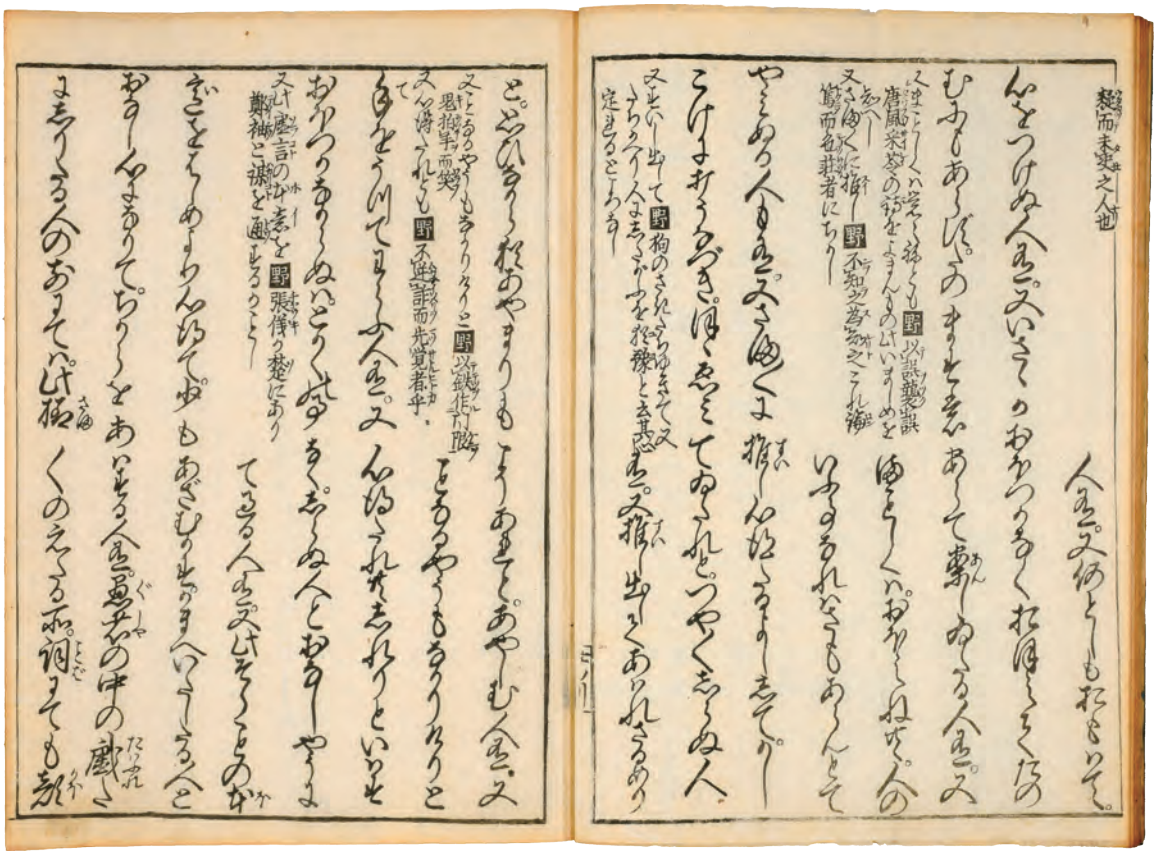
第七冊　7丁裏



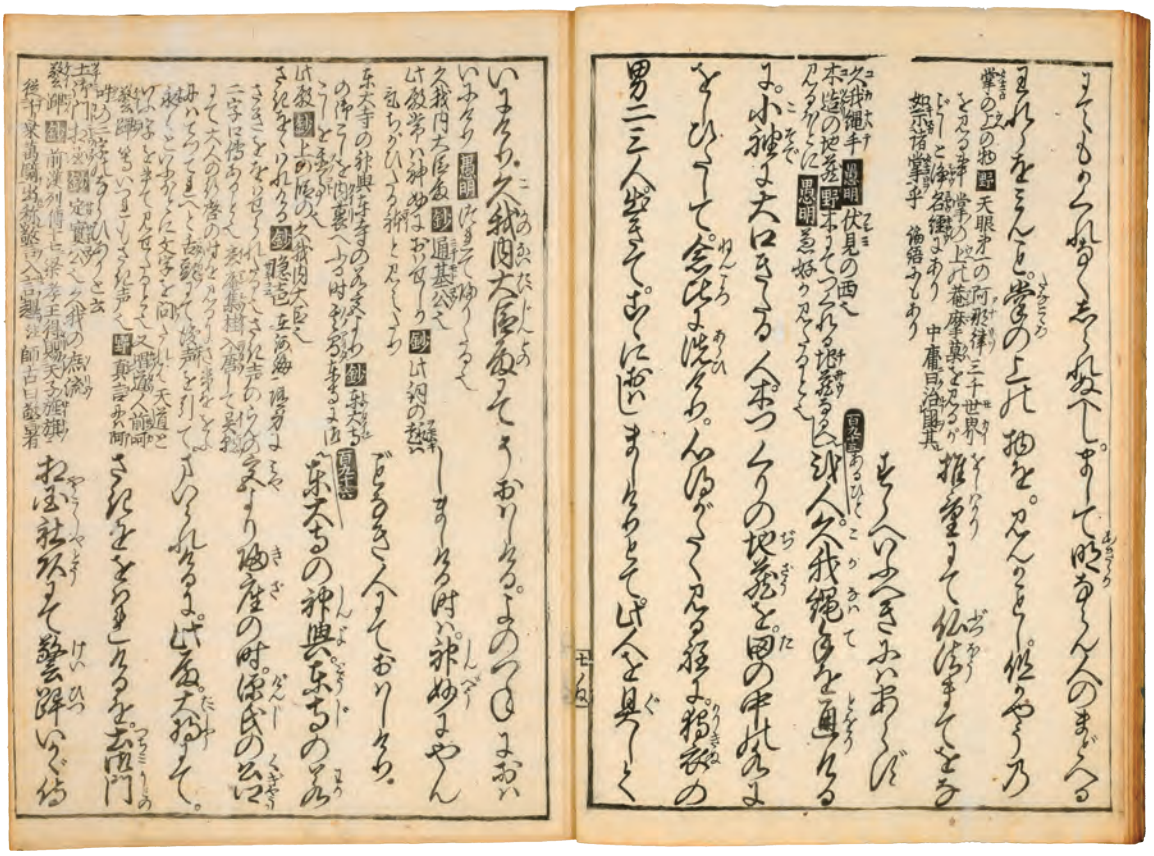
第七冊　9丁表



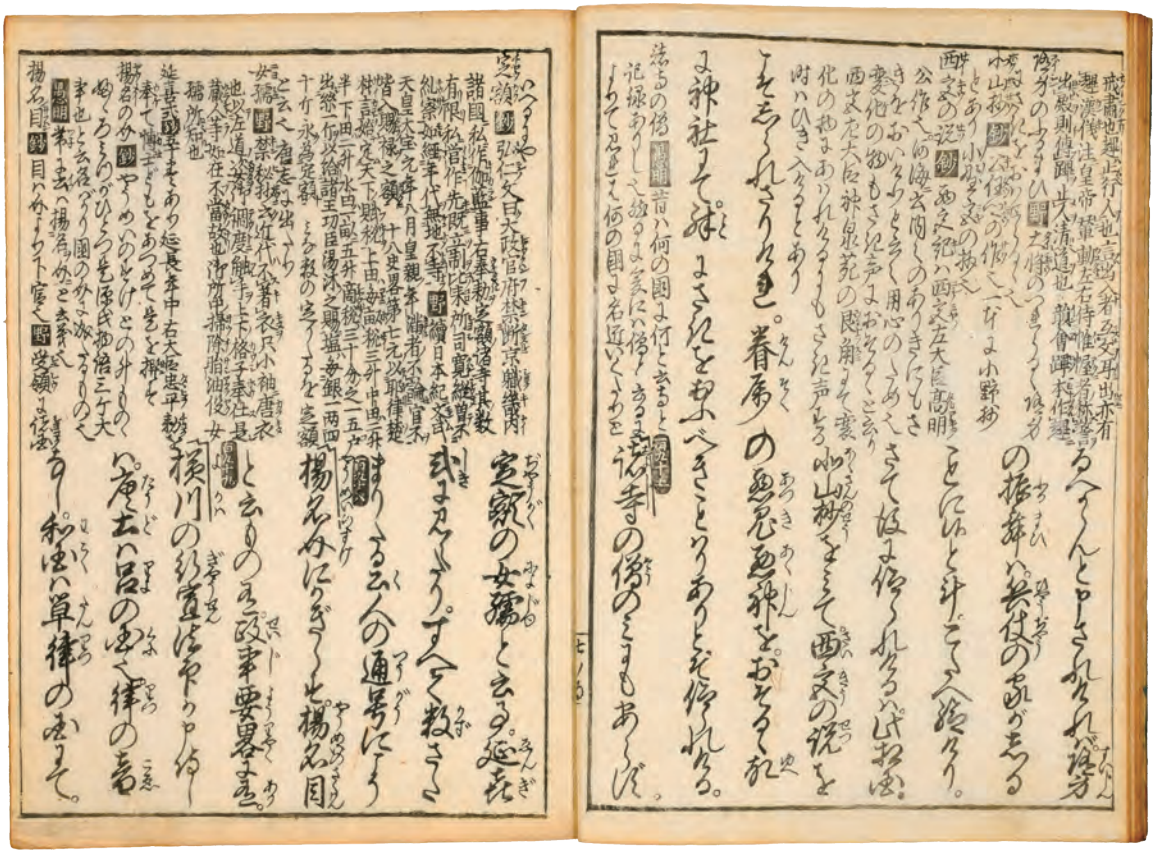
第七冊　8丁裏



第七冊　9丁裏　　第七冊　10丁表



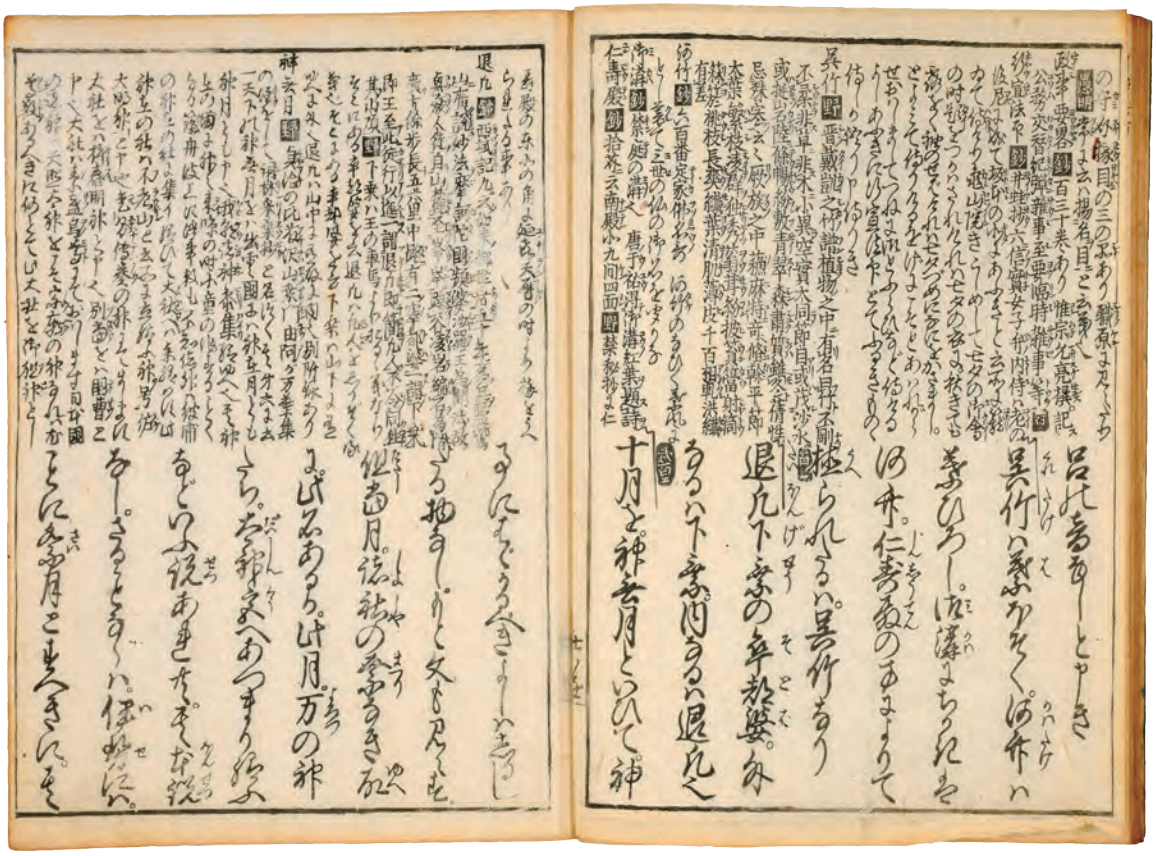
第七冊　10丁裏　　第七冊　11丁表



第七冊　11 丁裏



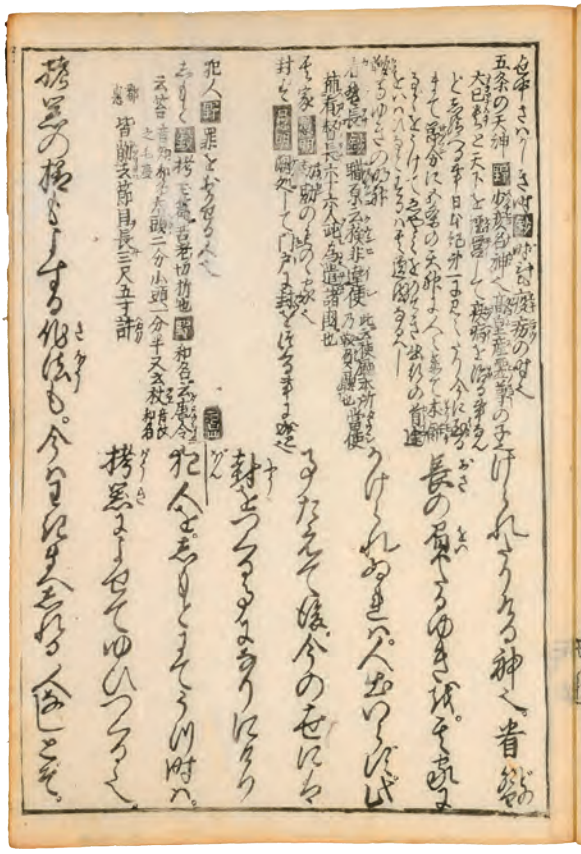
第七冊　12 丁表



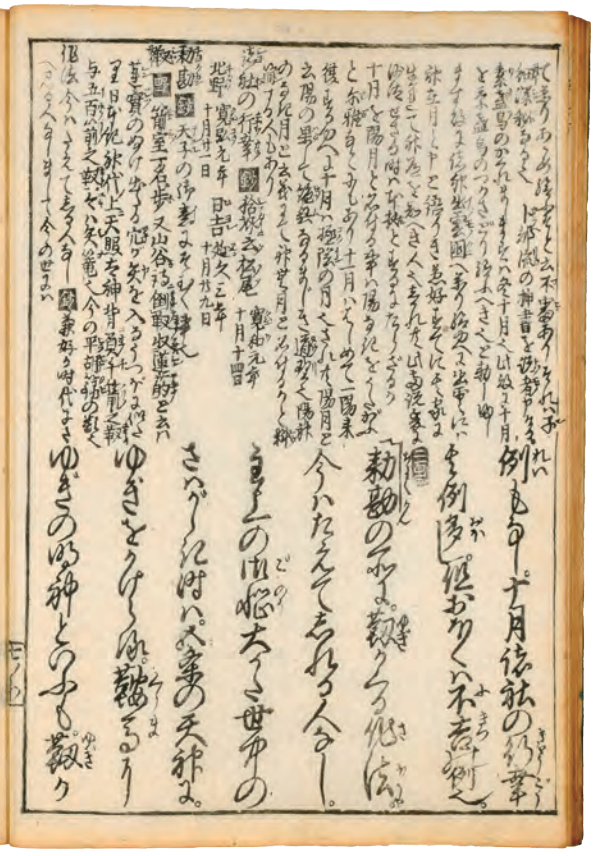
第七冊　12 丁裏



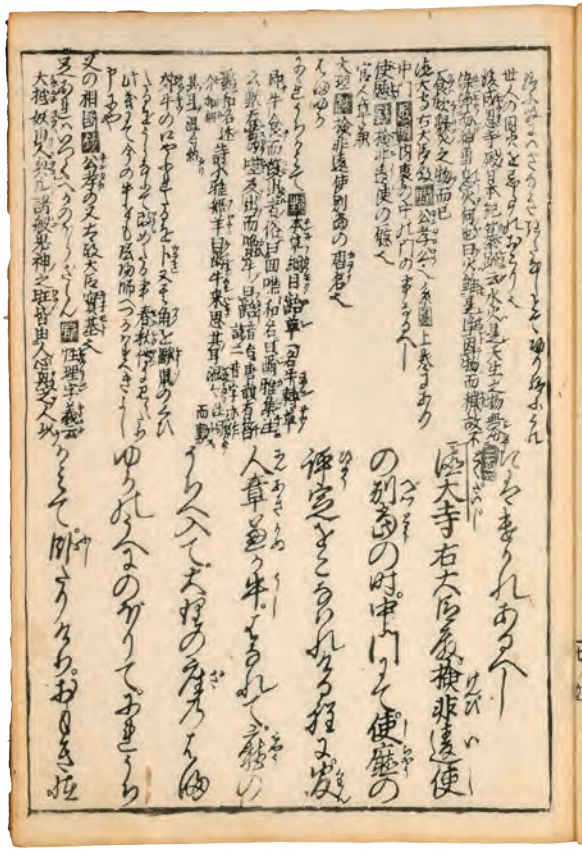
第七冊　13 丁表



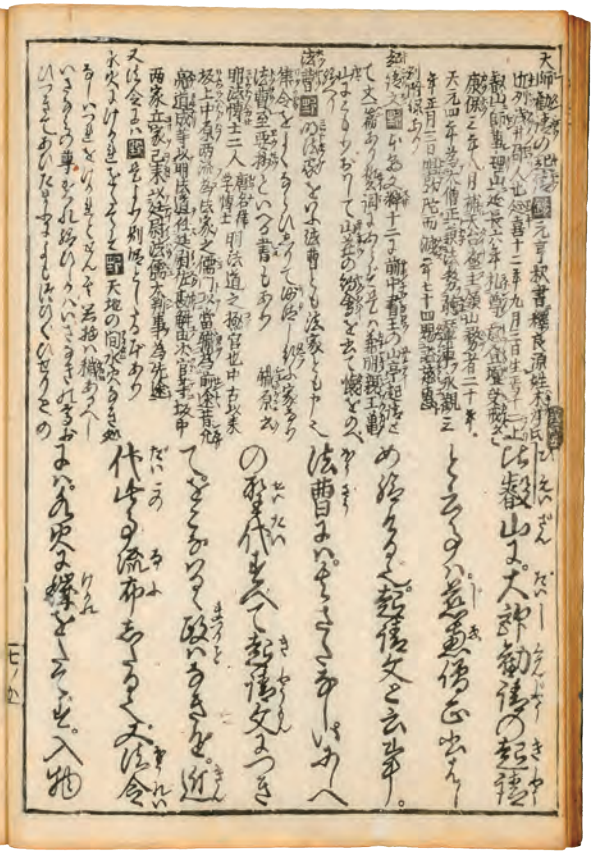
第七冊　14 丁表



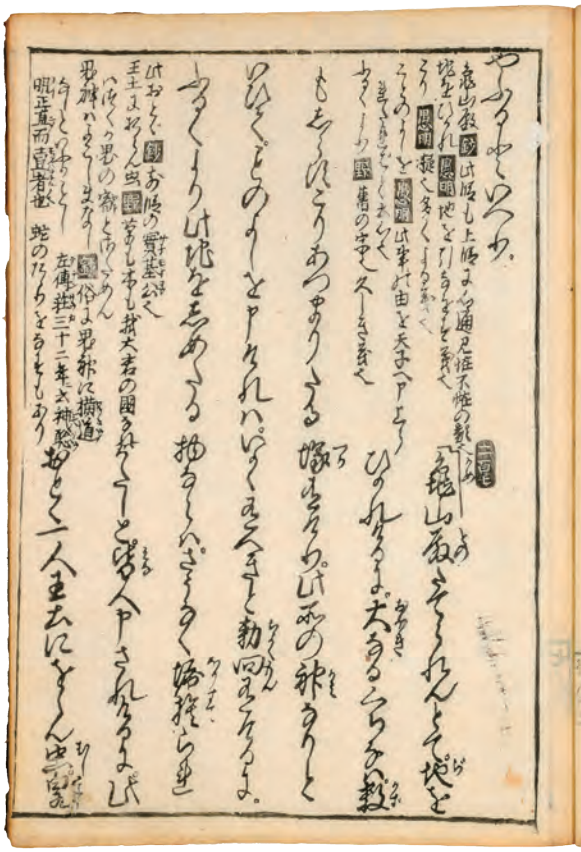
第七冊　13 丁裏



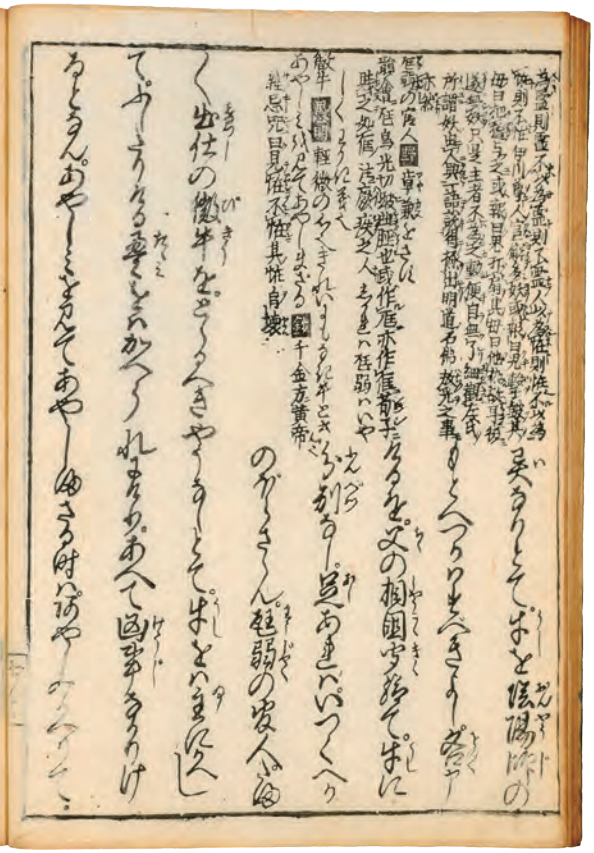
第七冊　15 丁表



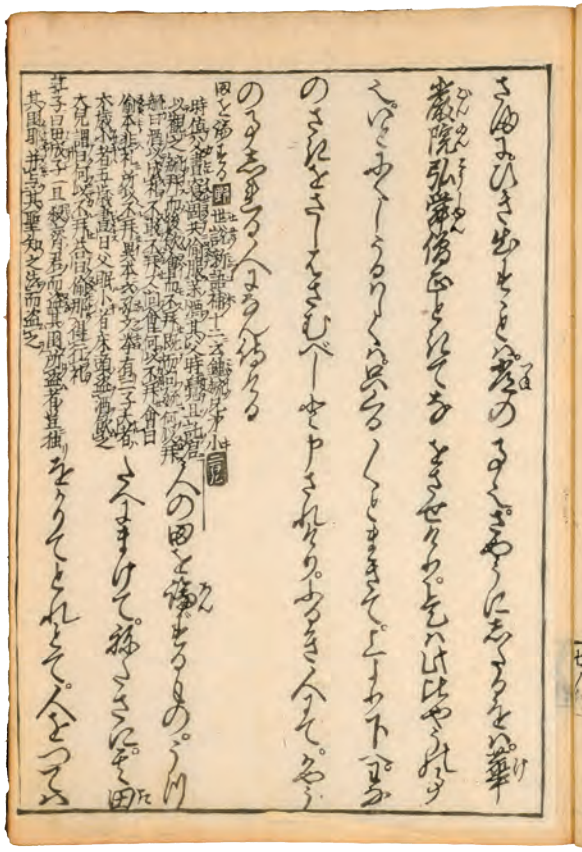
第七冊　14 丁裏



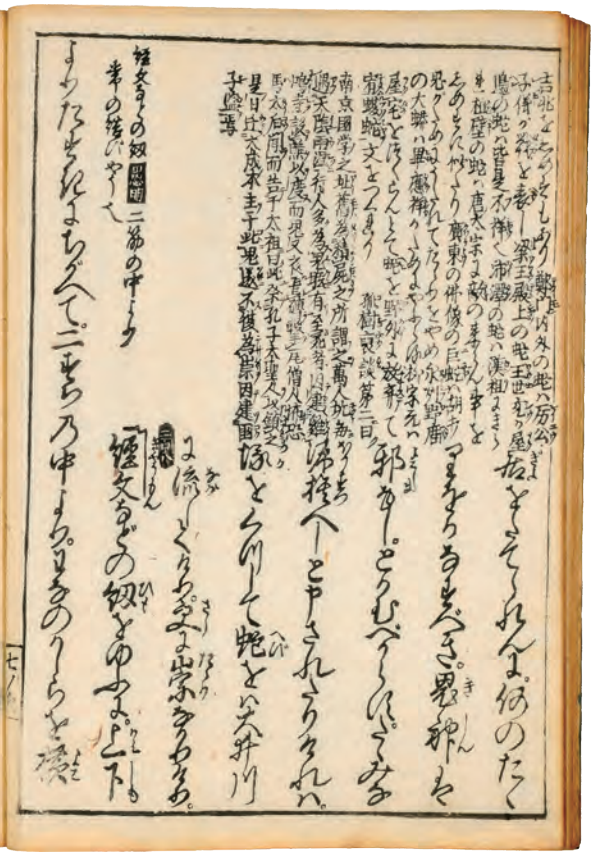
第七冊　16 丁表



第七冊　15 丁裏

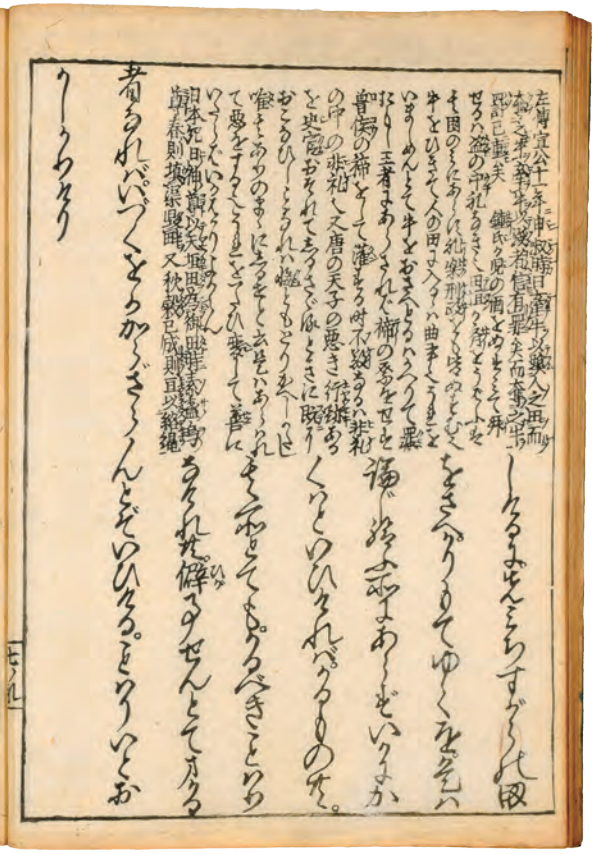


第七冊　17 丁表

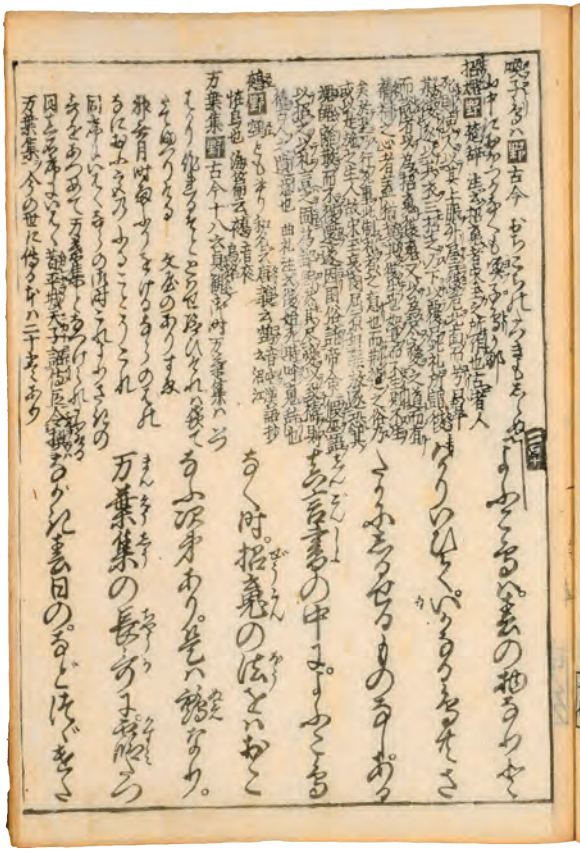


第七冊　16 丁裏

第七冊　18 丁表　第 37 図

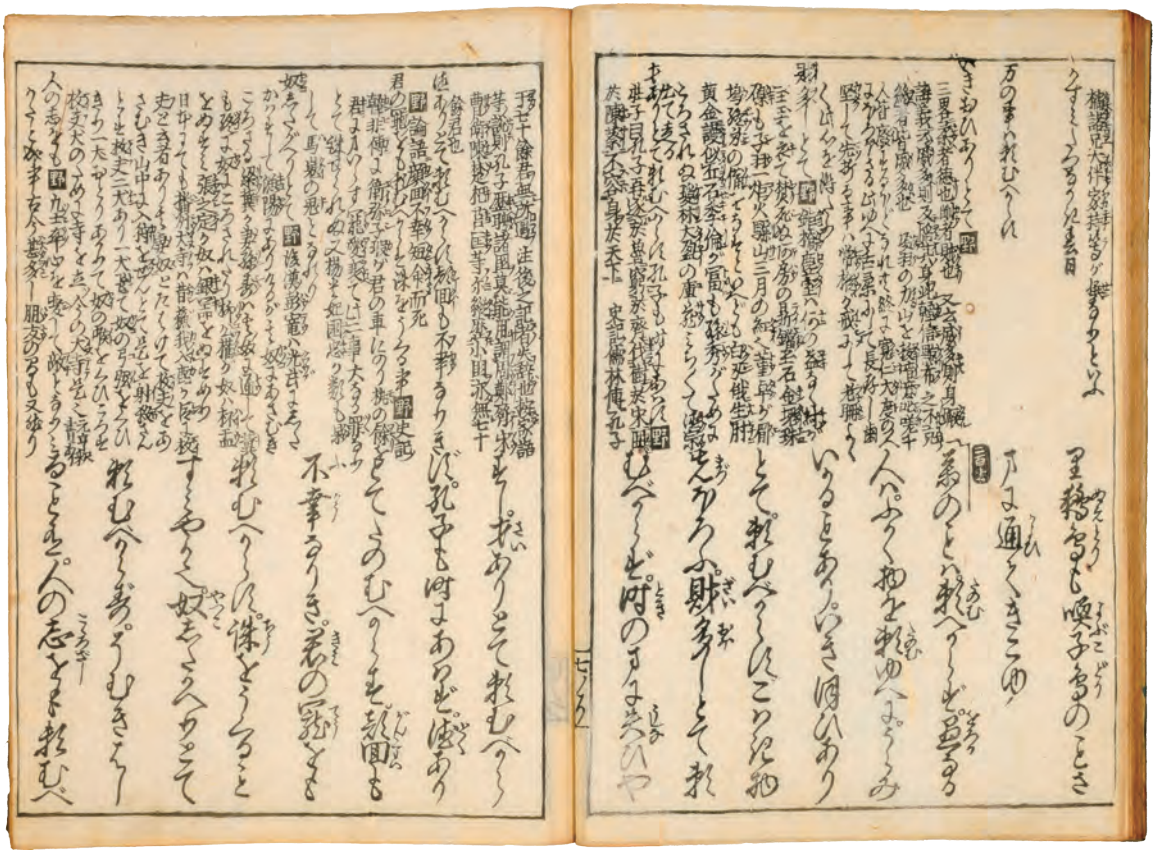


第七冊　17 丁裏

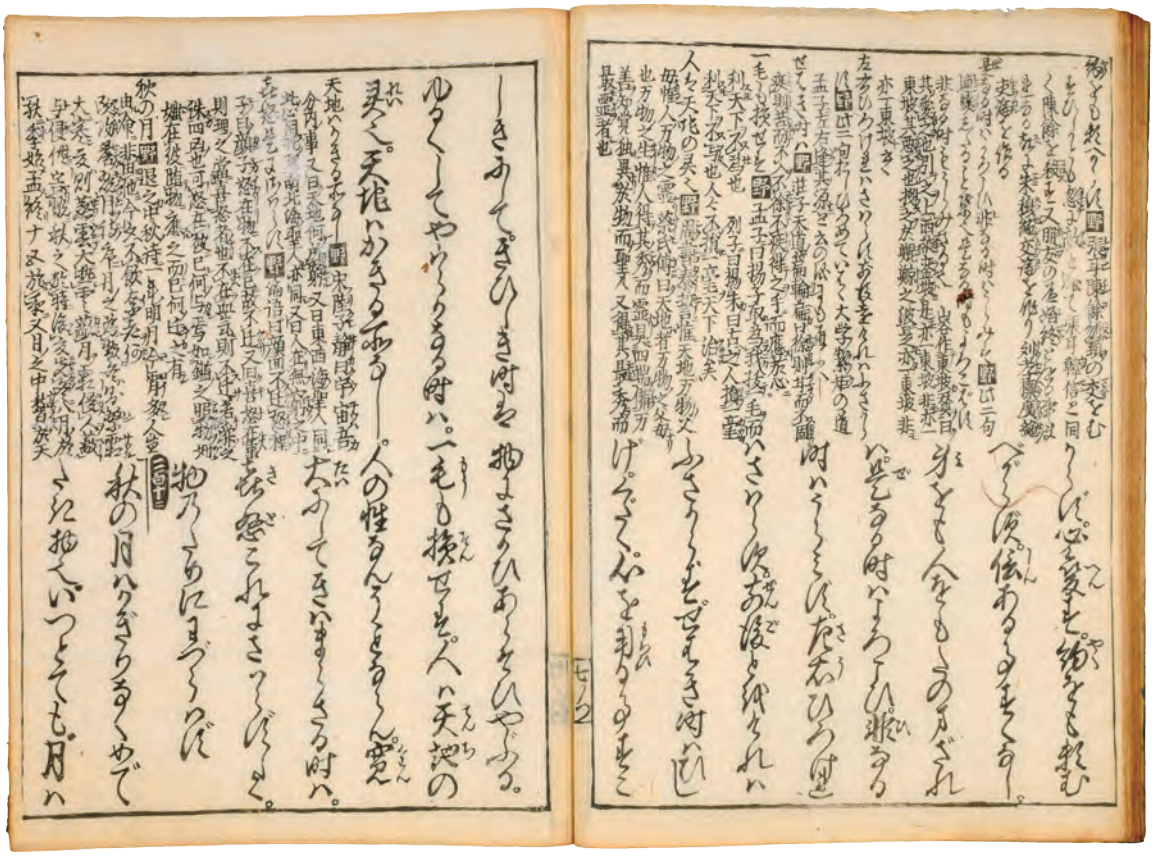


第七冊　19 丁表

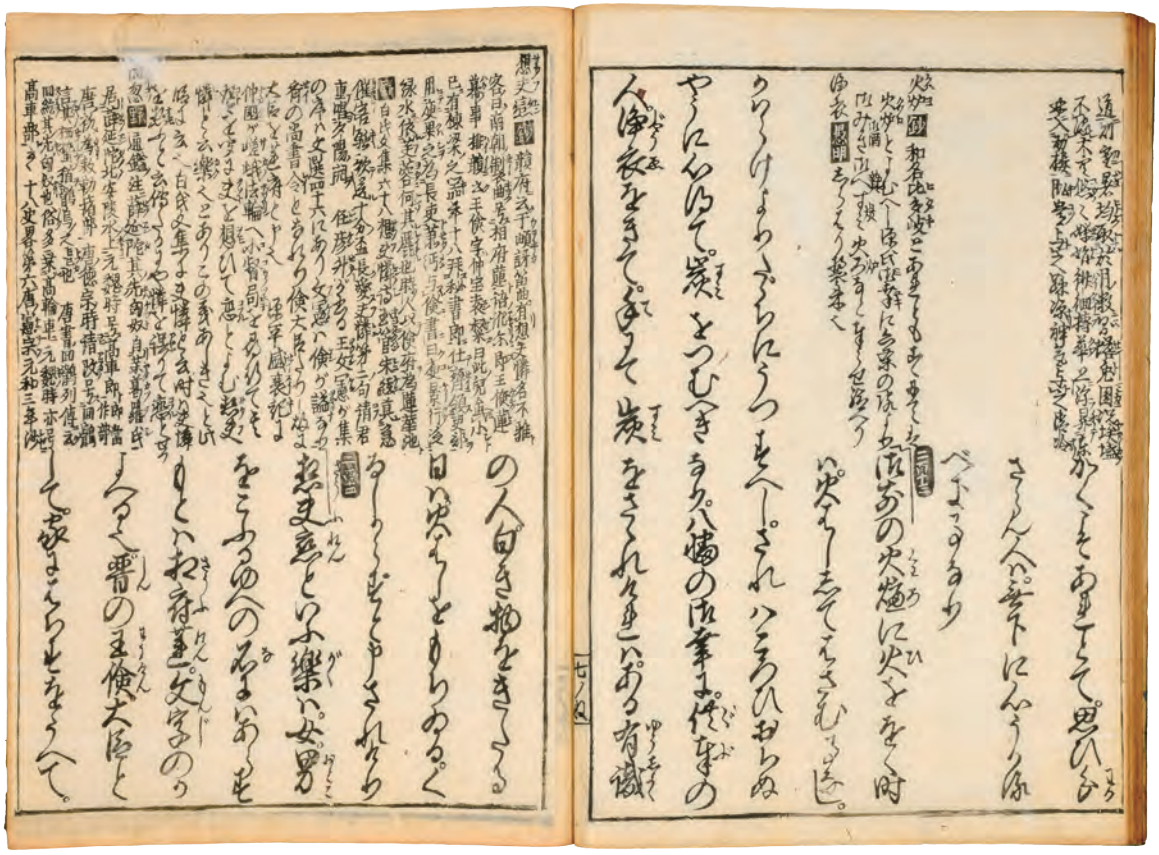
第七冊　18 丁裏　第 38 図



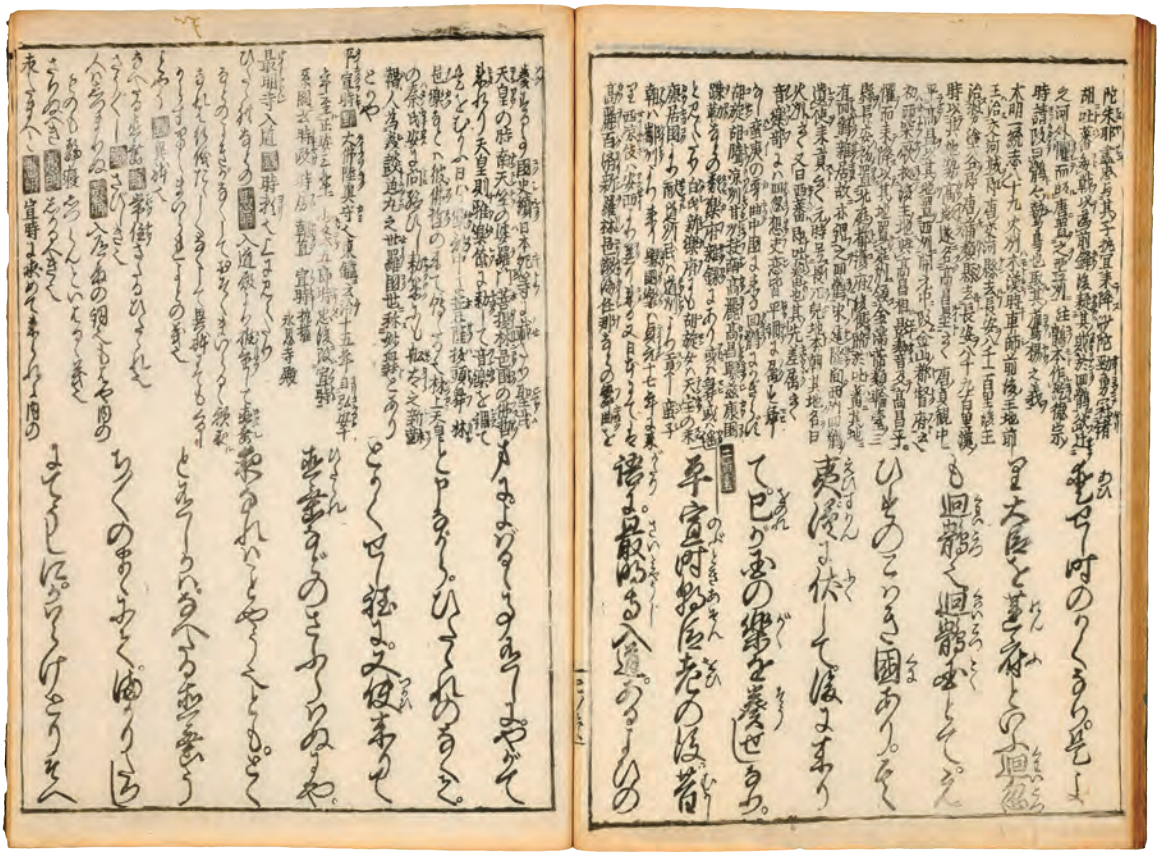
第七冊　19 丁裏　　第七冊　20 丁表



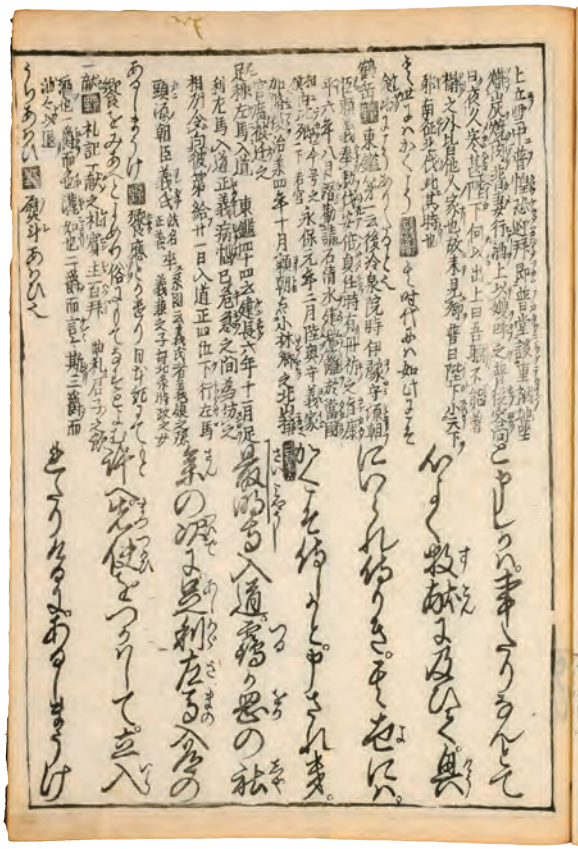
第七冊　20 丁裏　　第七冊　21 丁表



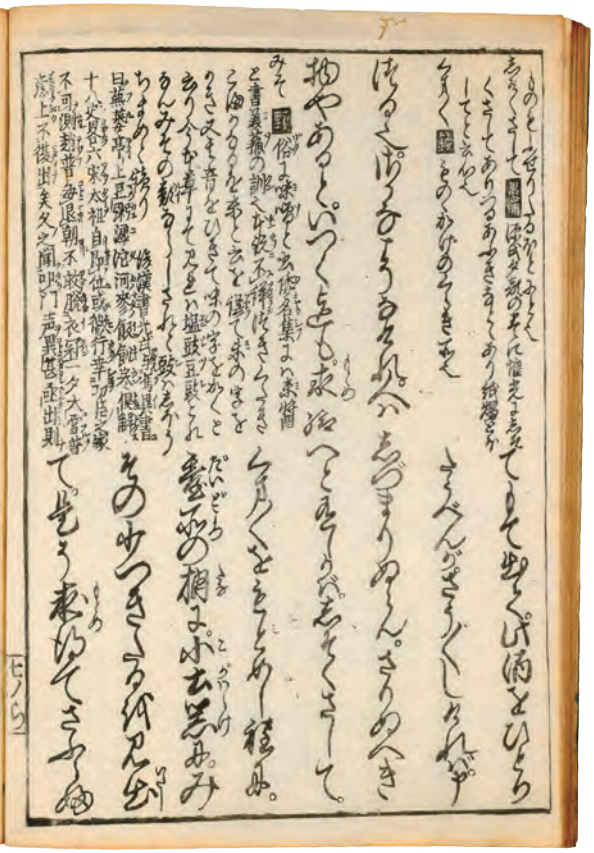
第七冊　21 丁裏　　第七冊　22 丁表



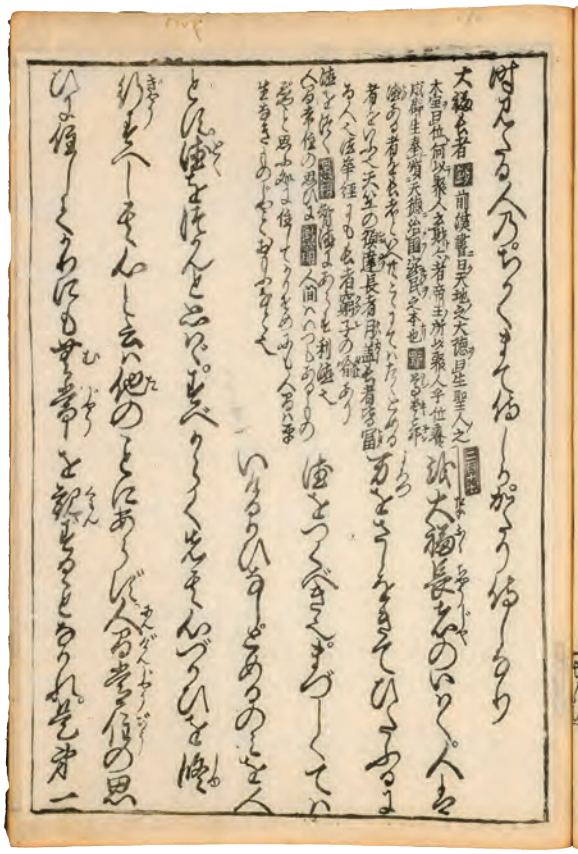
第七冊　22 丁裏　　第七冊　23 丁表



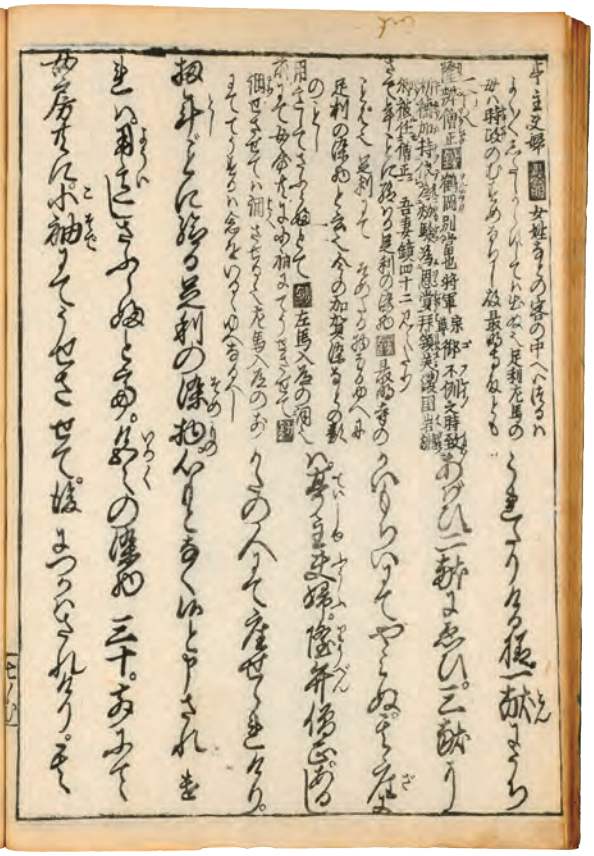
第七冊　24 丁表



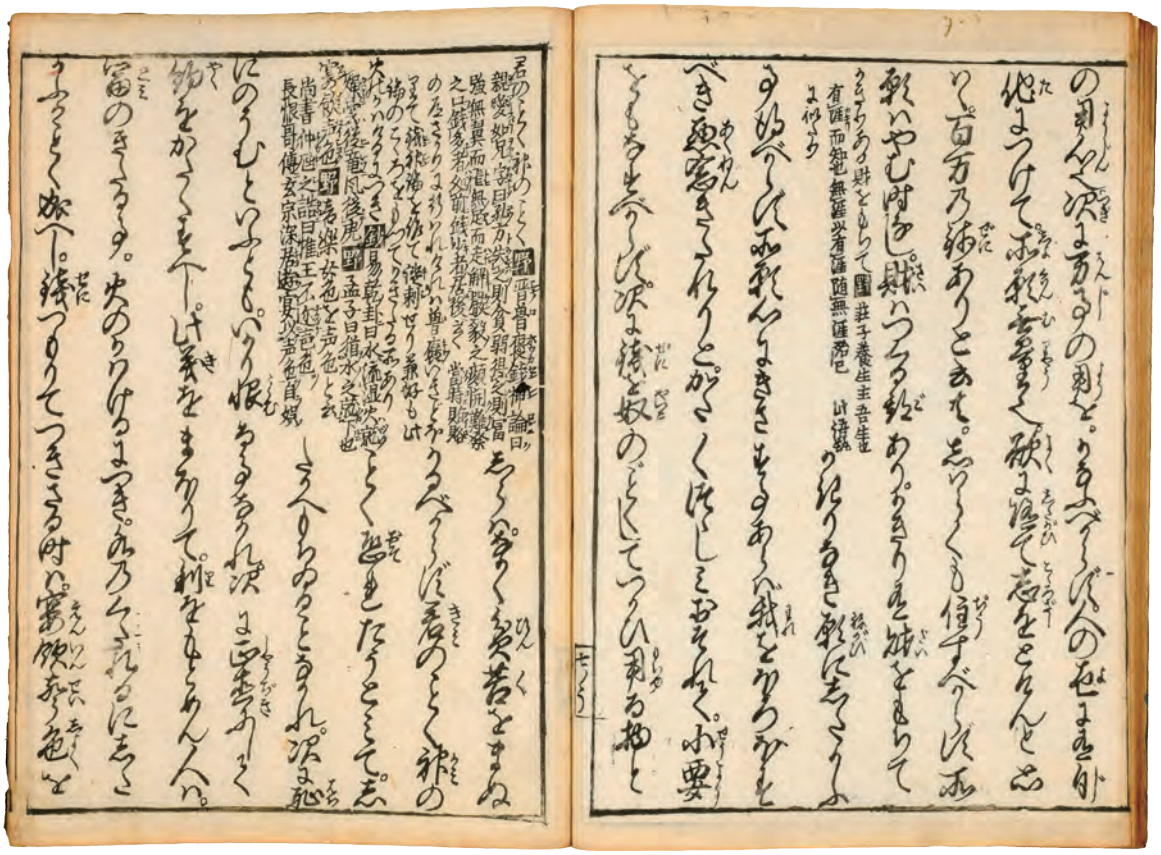
第七冊　23 丁裏



第七冊　25 丁表

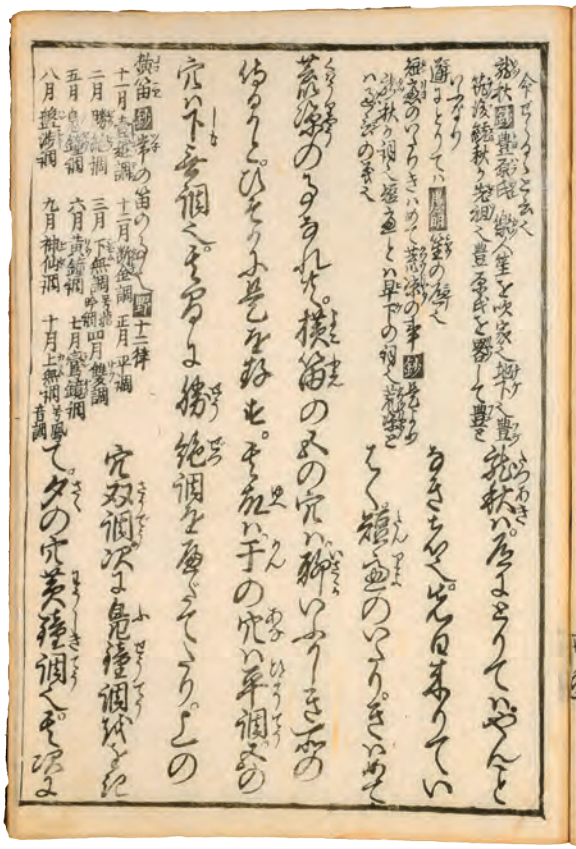


第七冊　24 丁裏

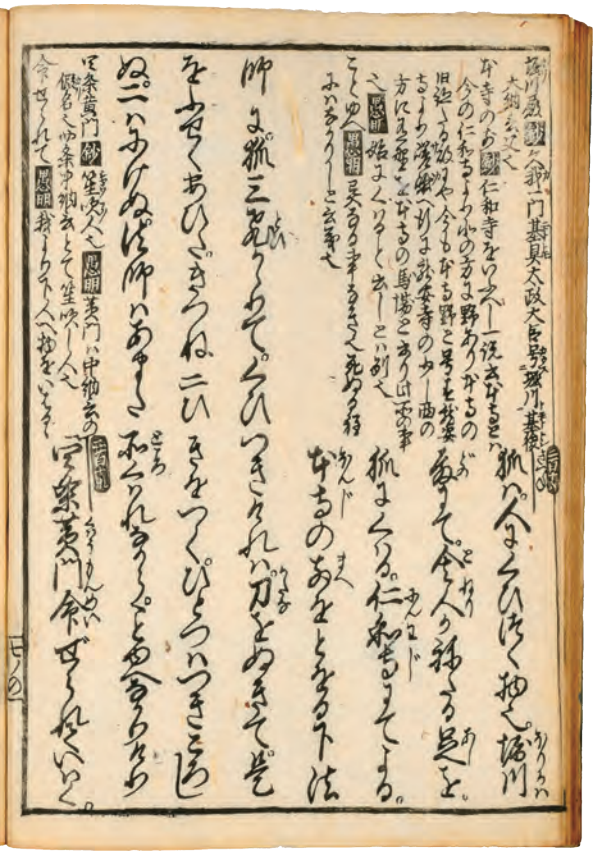


第七冊　25 丁裏　　第七冊　26 丁表

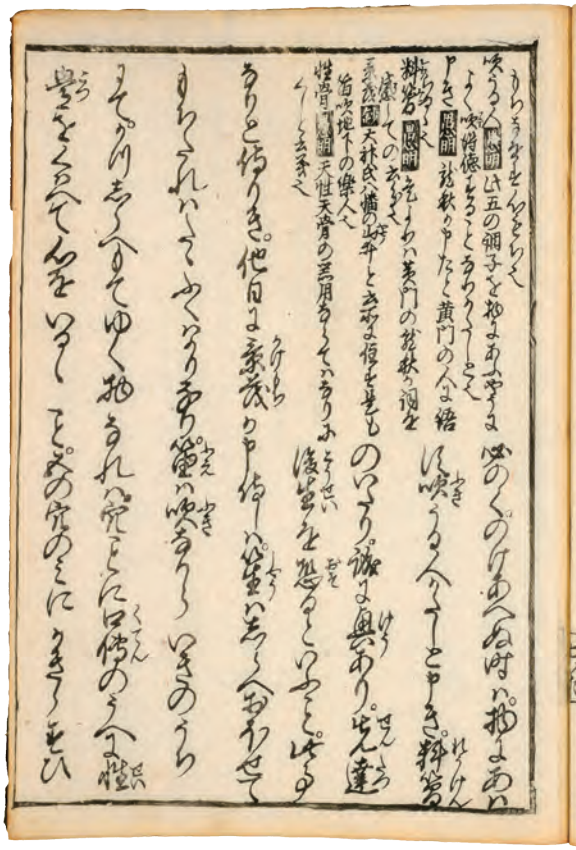
第七冊　26 丁裏　　第七冊　27 丁表



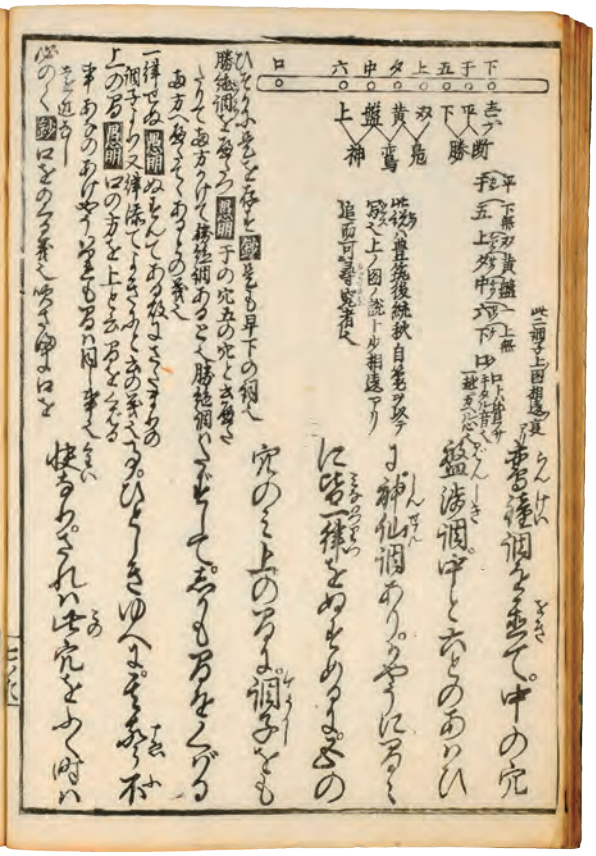
第七冊　28 丁表



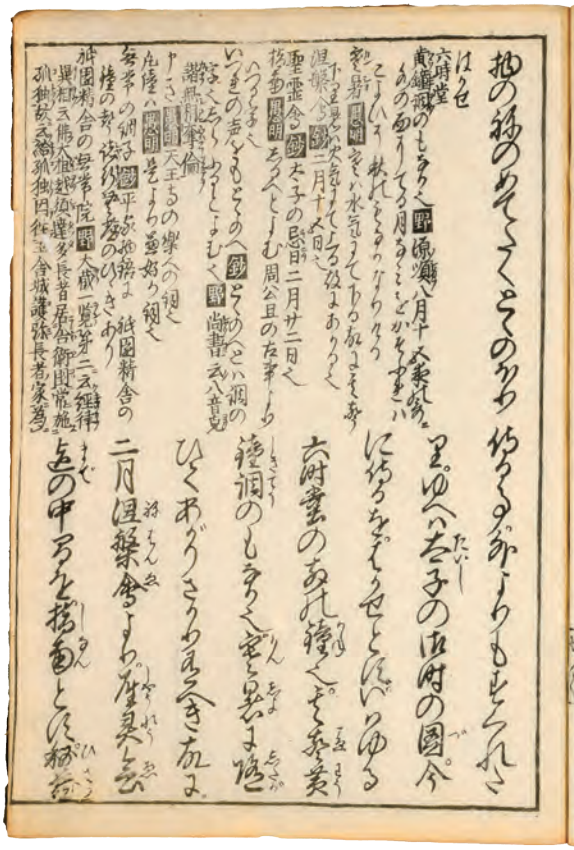
第七冊　27 丁裏



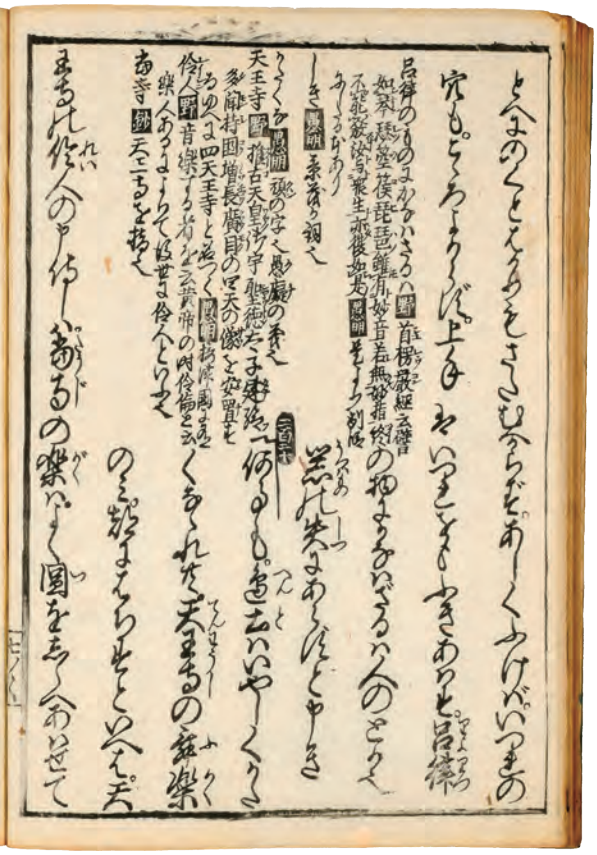
第七冊　29 丁表



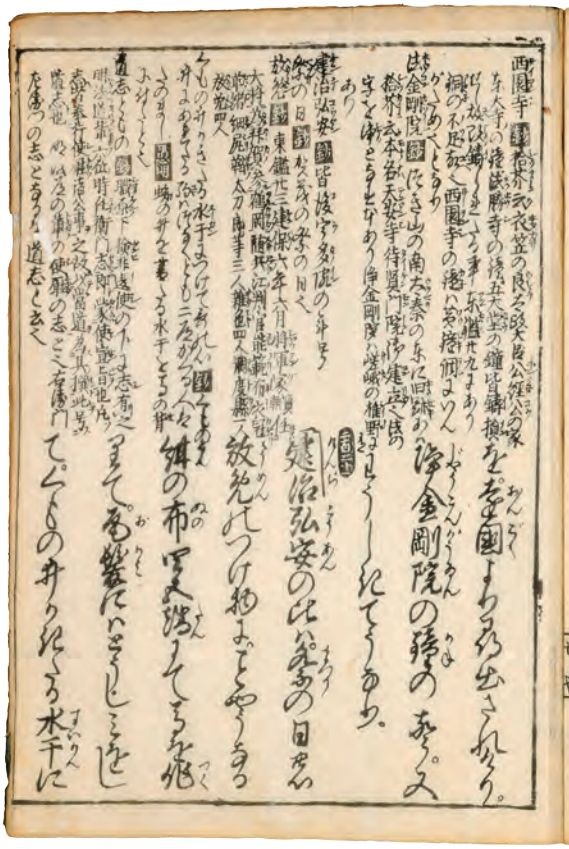
第七冊　28 丁裏



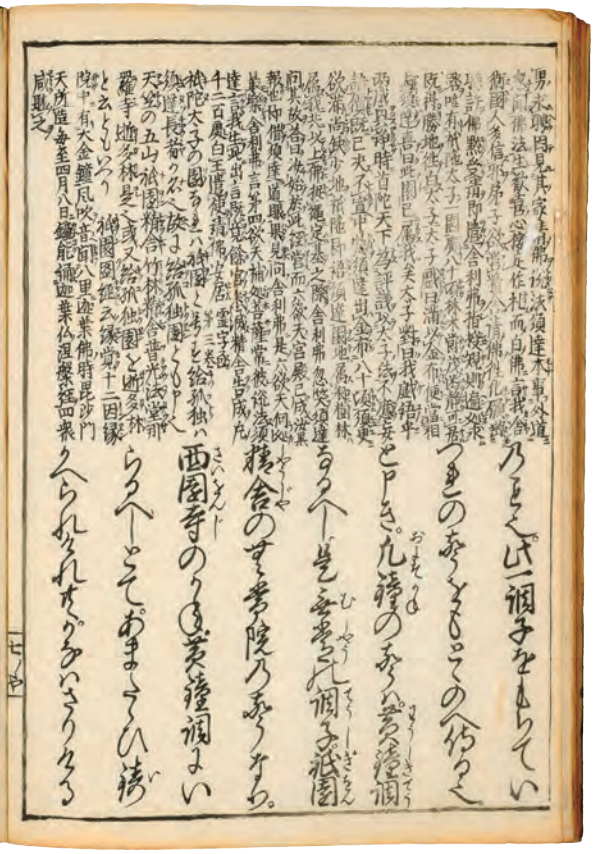
第七冊　30 丁表



第七冊　29 丁裏

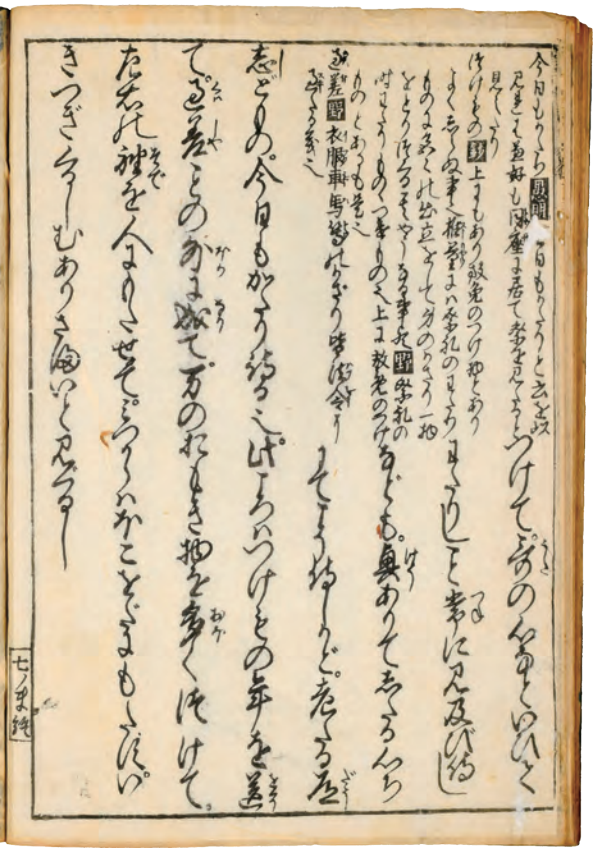


第七冊　31 丁表



第七冊　30 丁裏

第七冊　裏表紙見返し



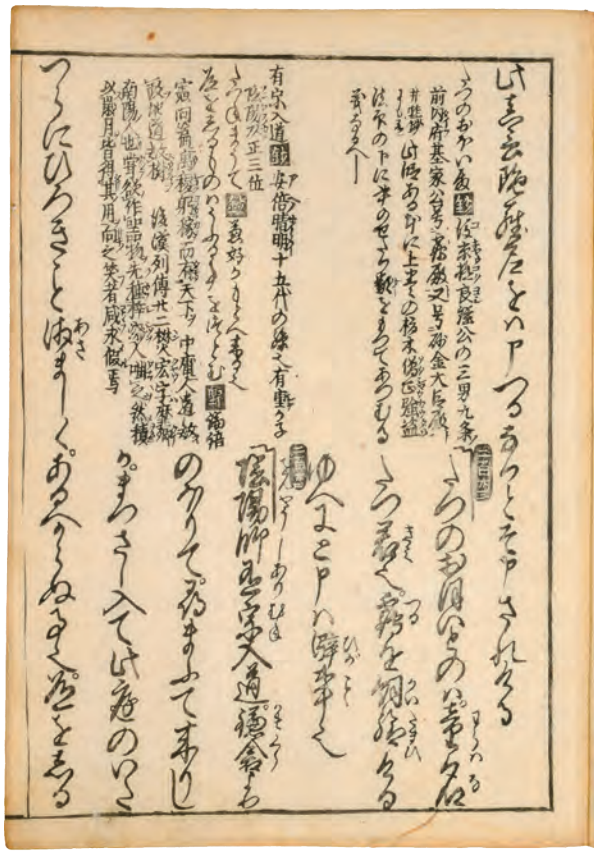
第七冊　31 丁裏

第七冊　裏表紙

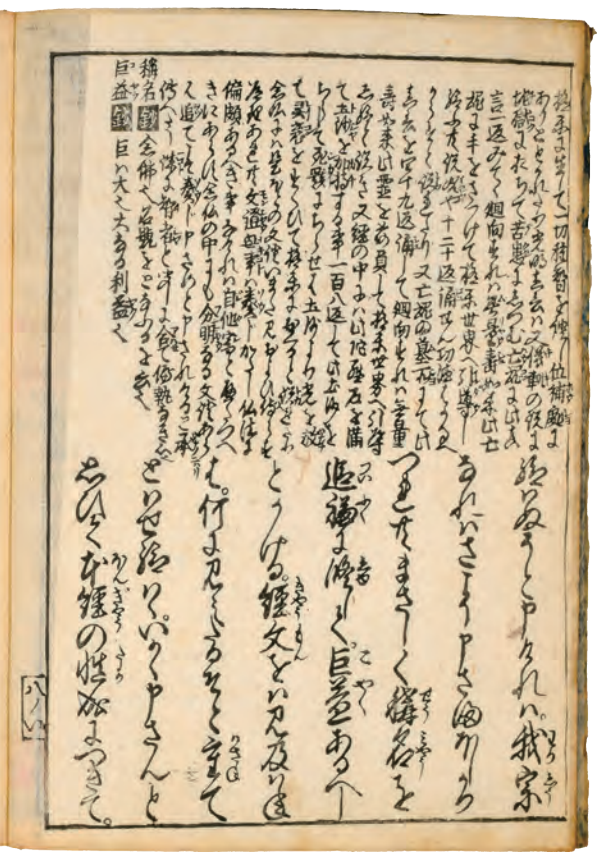
第八冊　表表紙

第八冊　１丁表

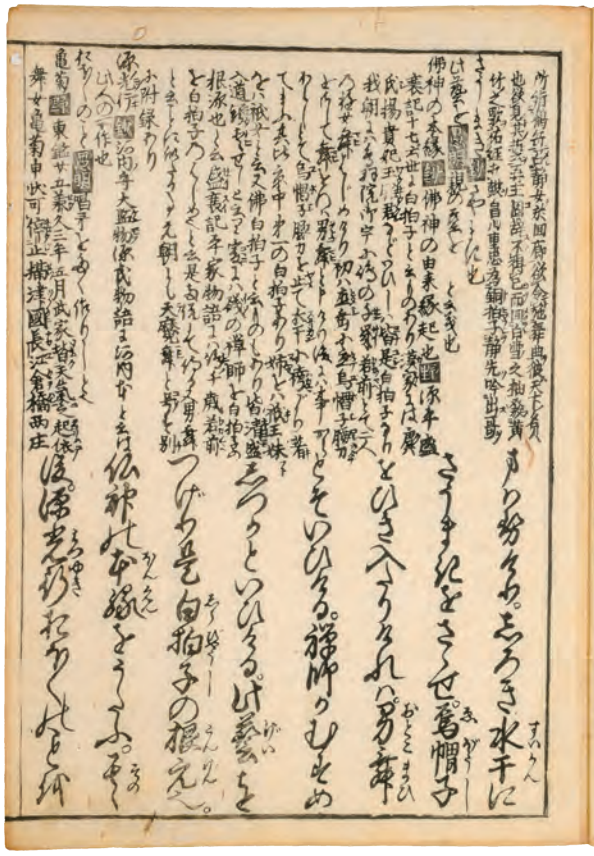
第八冊　表表紙見返し



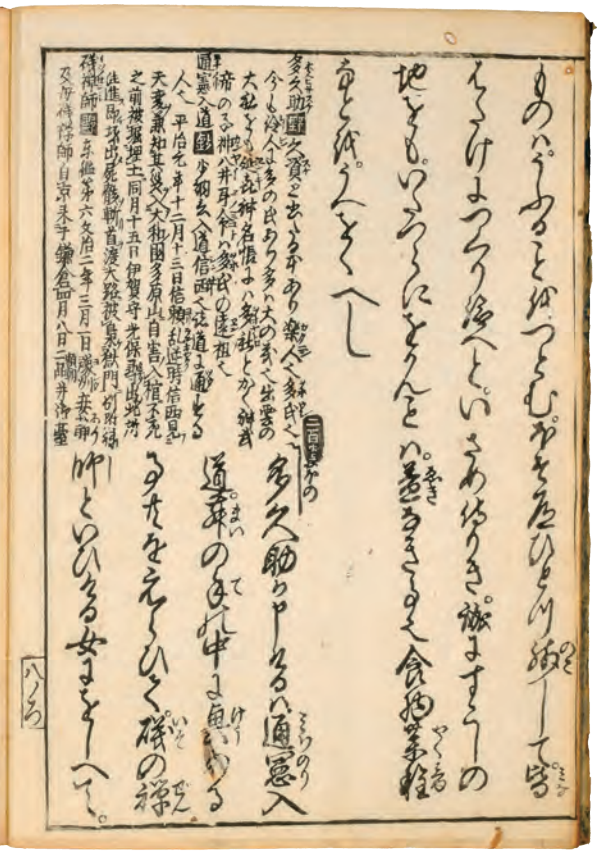
第八冊　２丁表



第八冊　１丁裏

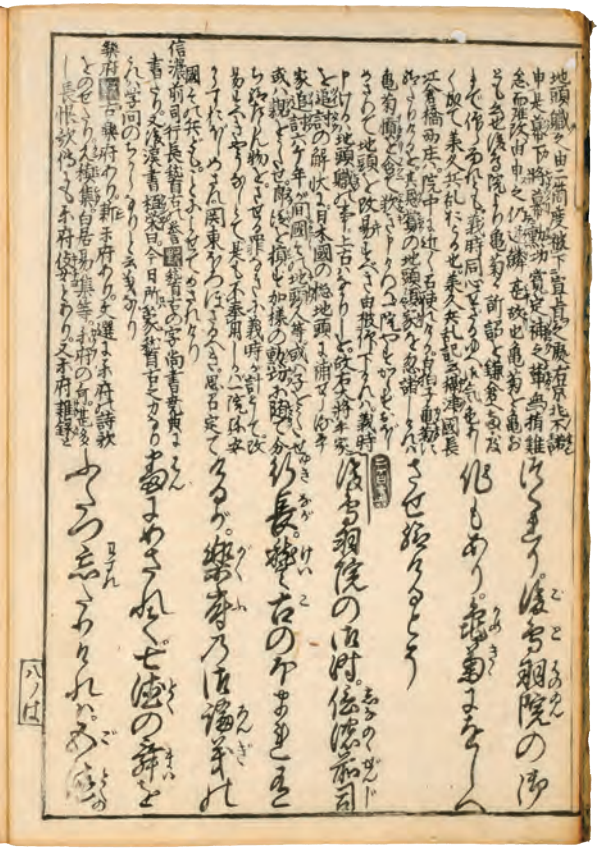


第八冊　３丁表

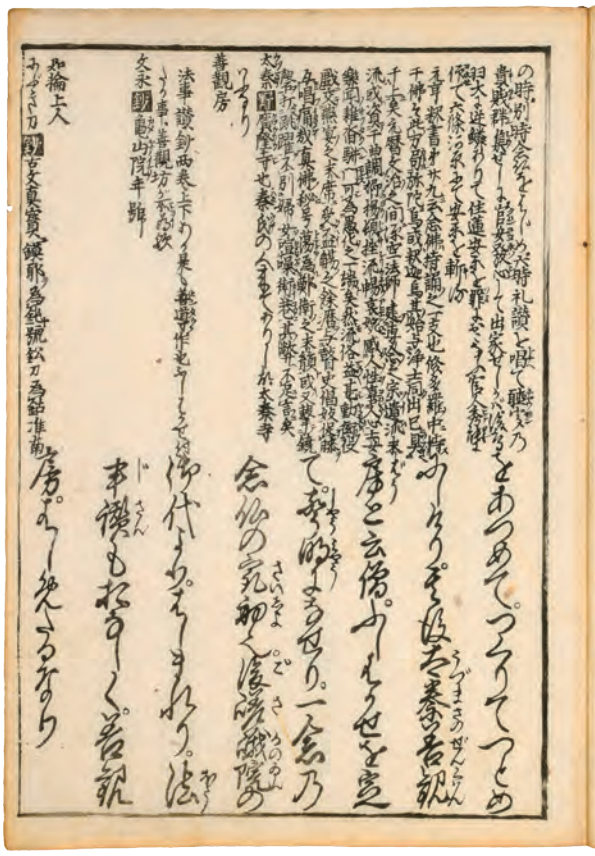


第八冊　２丁裏

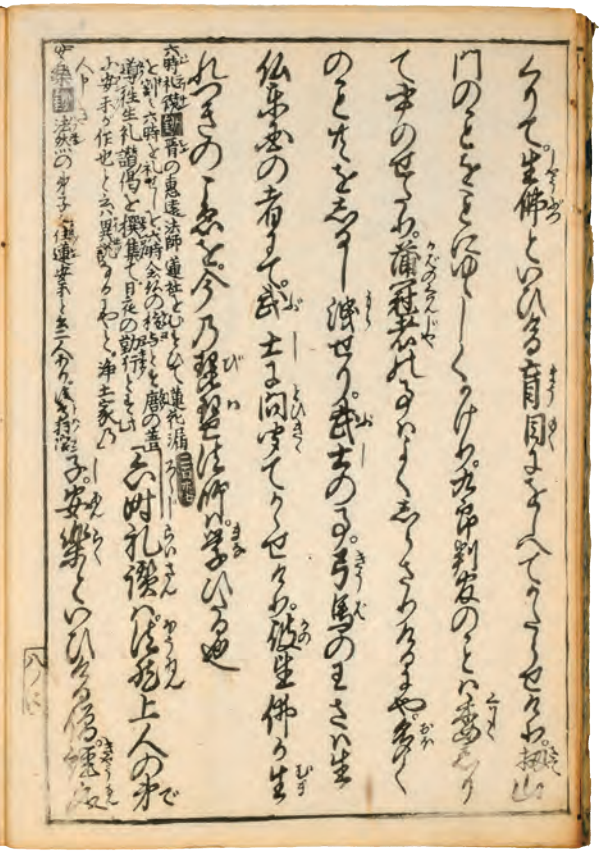
第八冊　4丁表



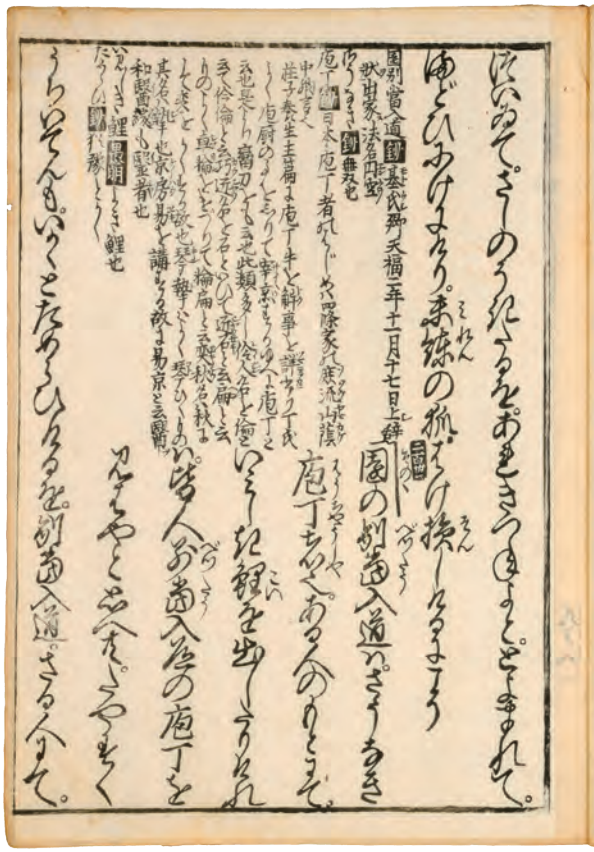
第八冊　3丁裏



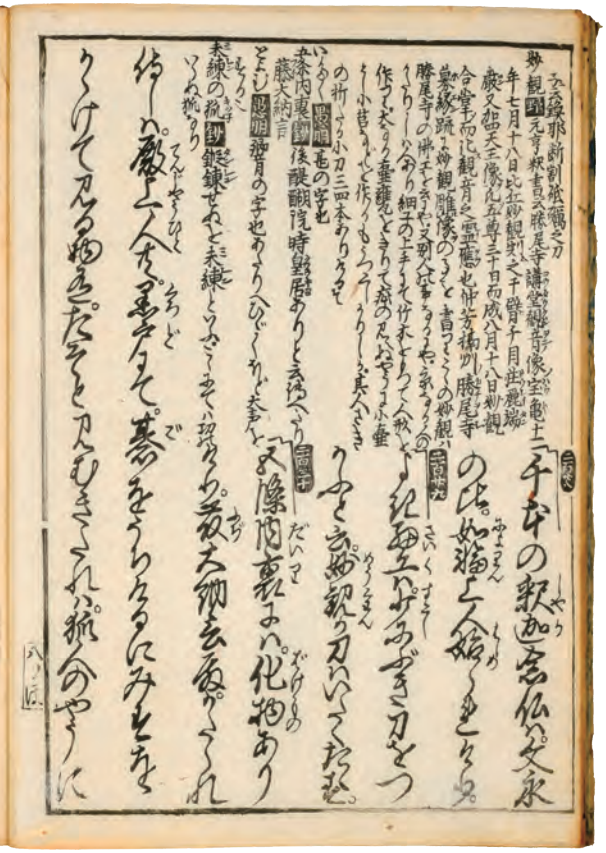
第八冊　5丁表



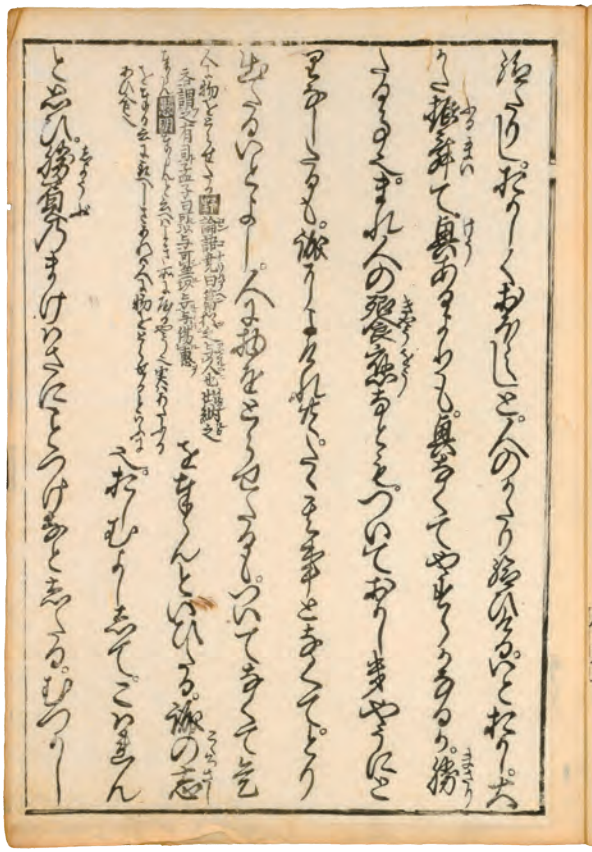
第八冊　4丁裏



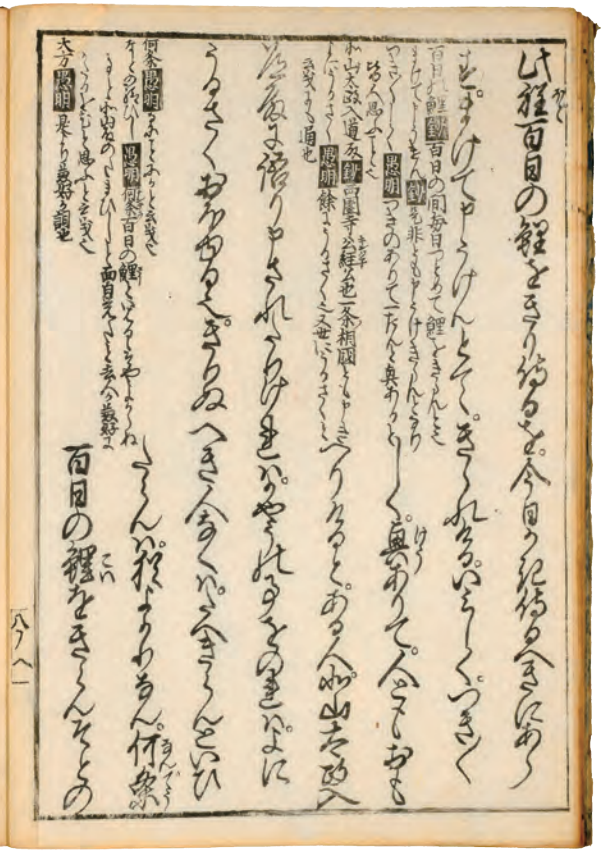
第八冊　6丁表



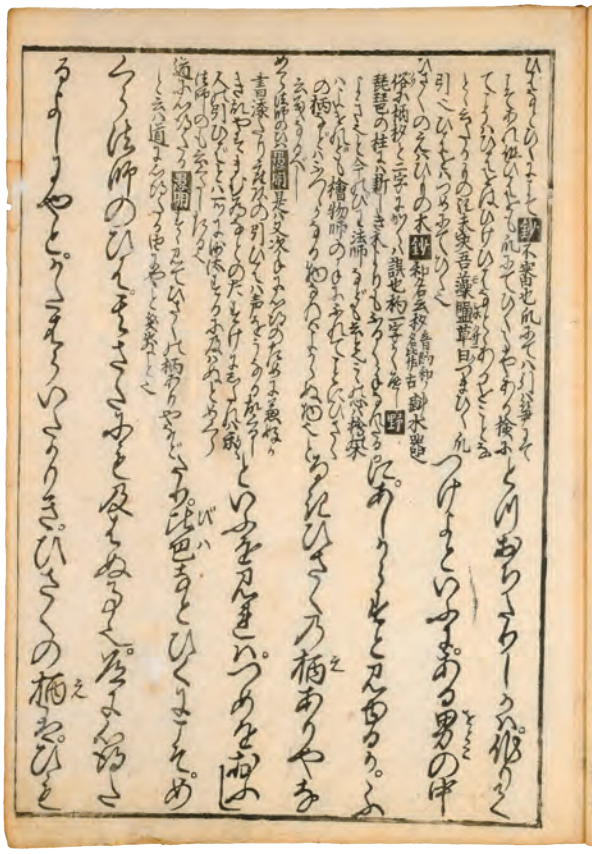
第八冊　5丁裏



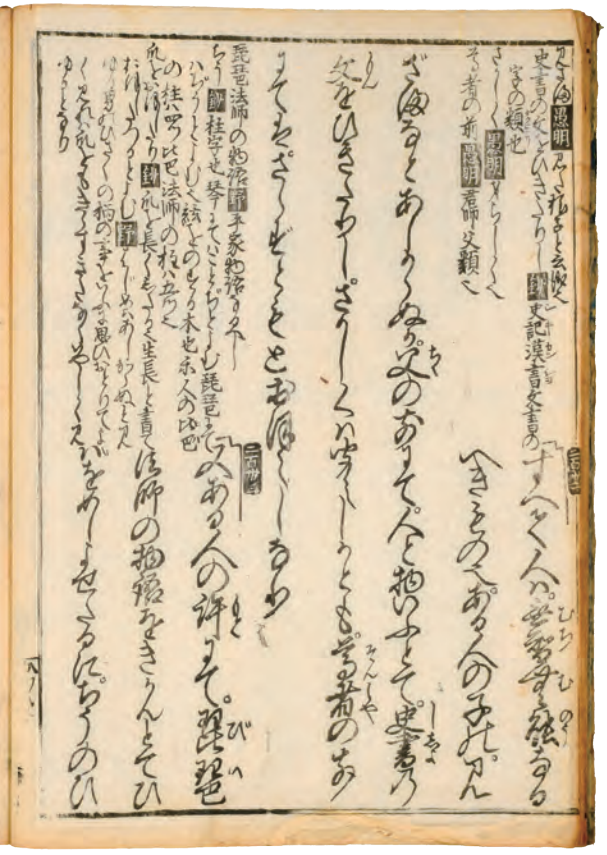
第八冊　7丁表



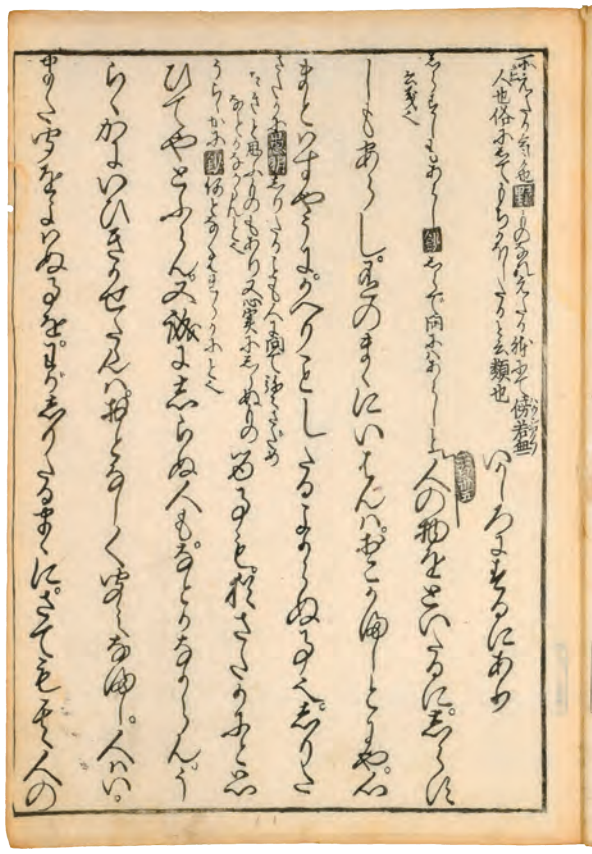
第八冊　6丁裏



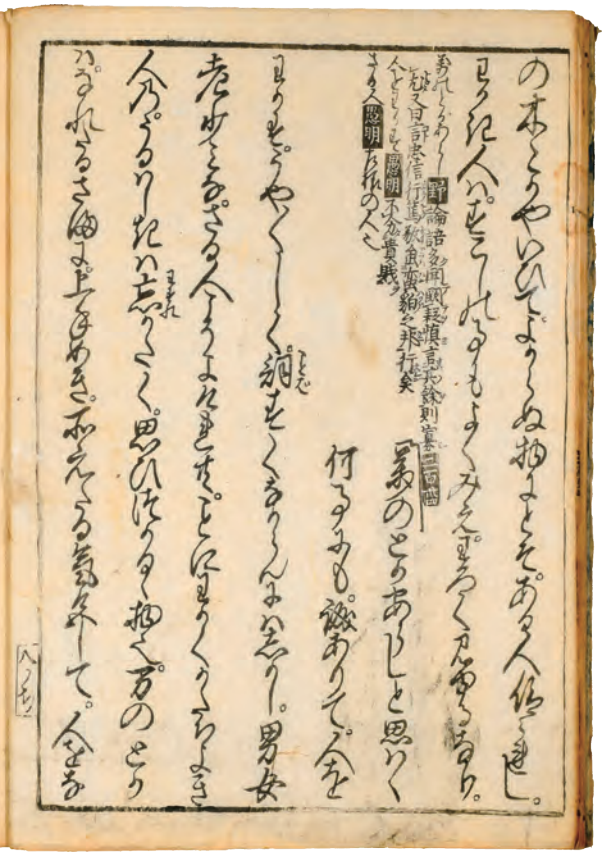
第八冊　8丁表



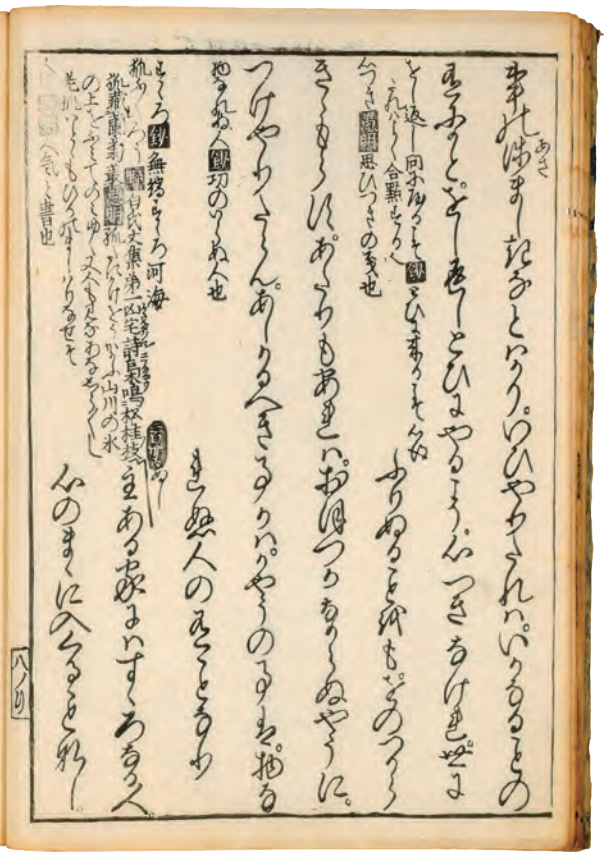
第八冊　7丁裏



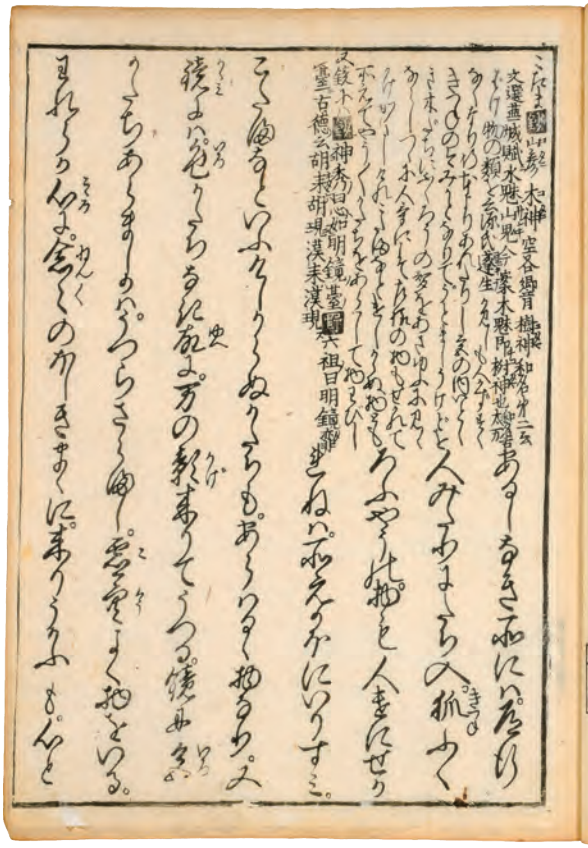
第八冊　9丁表



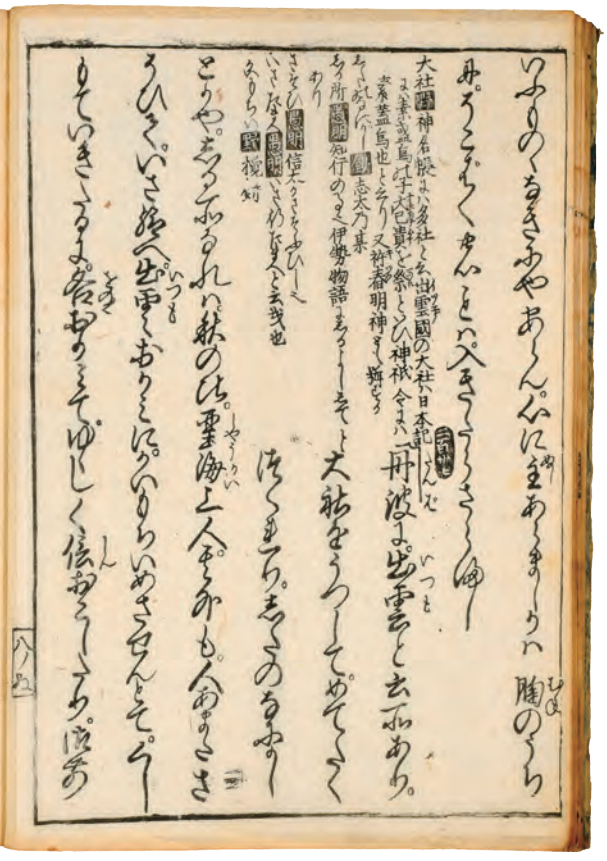
第八冊　8丁裏



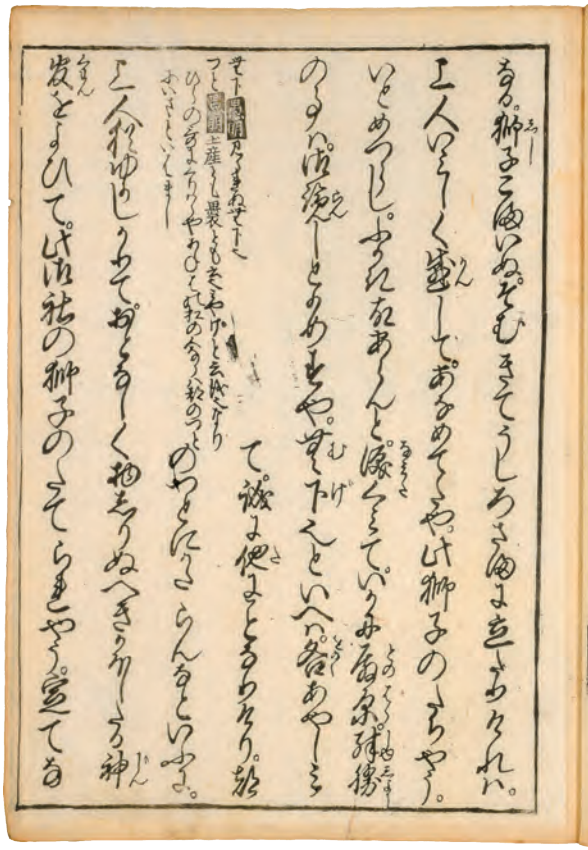
第八冊　9丁裏



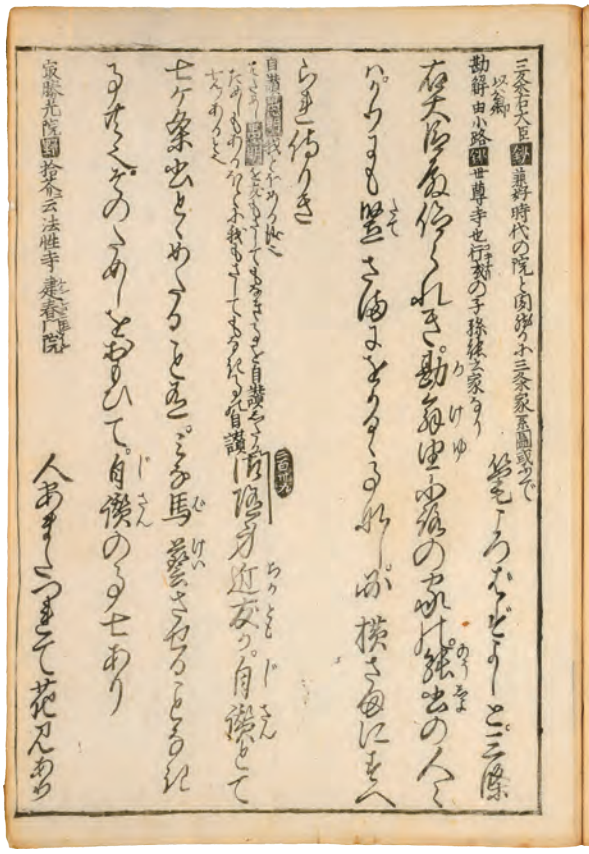
第八冊　10丁表



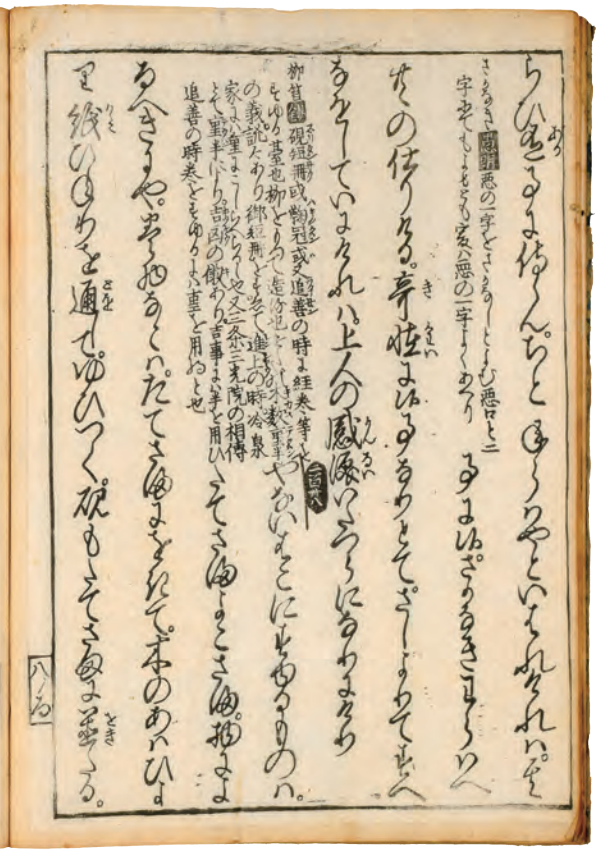
第八冊　10丁裏



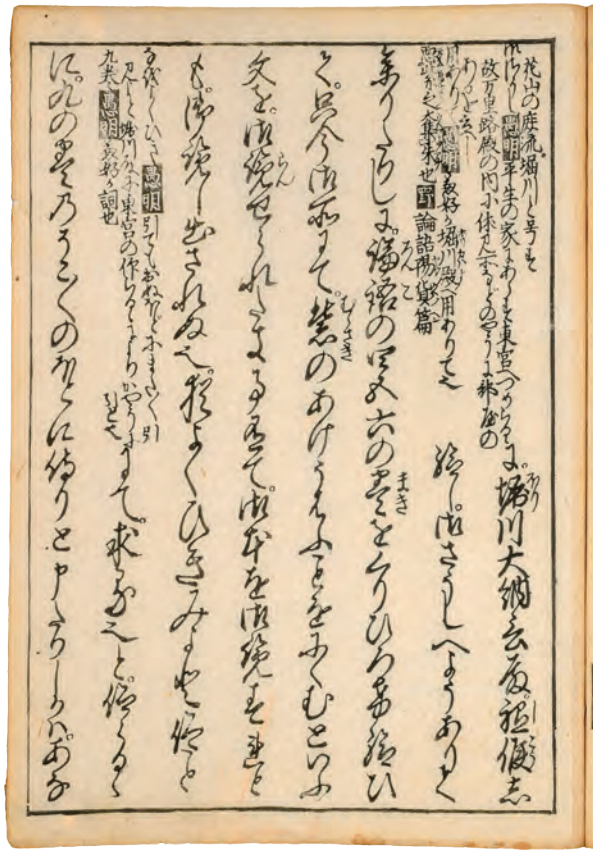
第八冊　11丁表



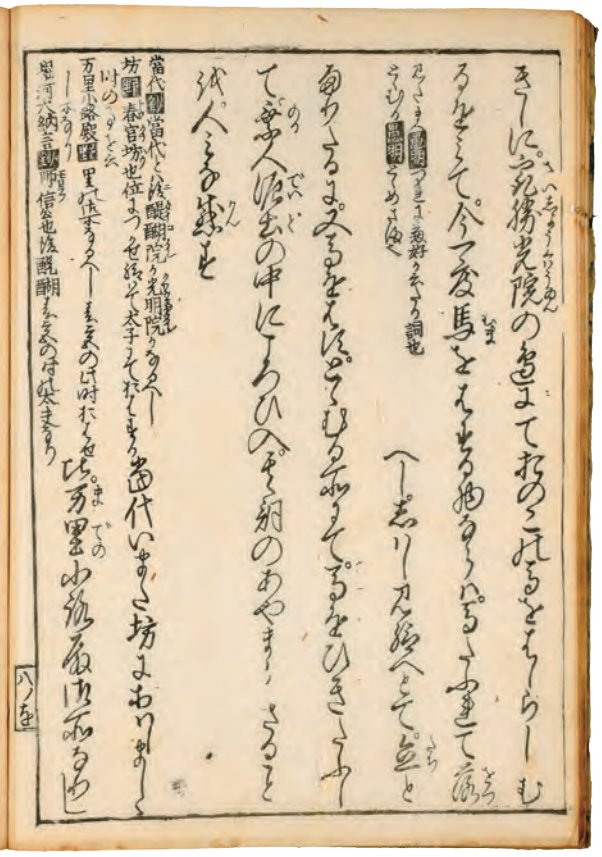
第八冊　12 丁表



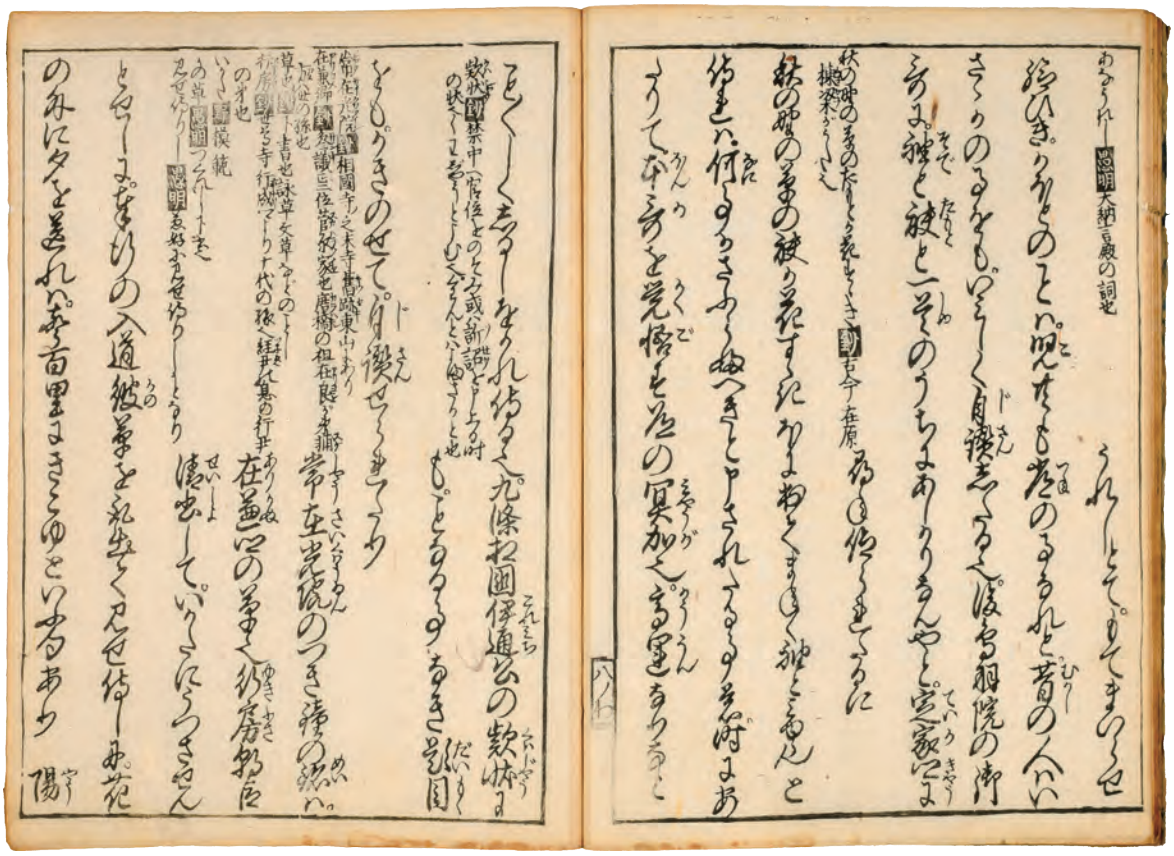
第八冊　11 丁裏



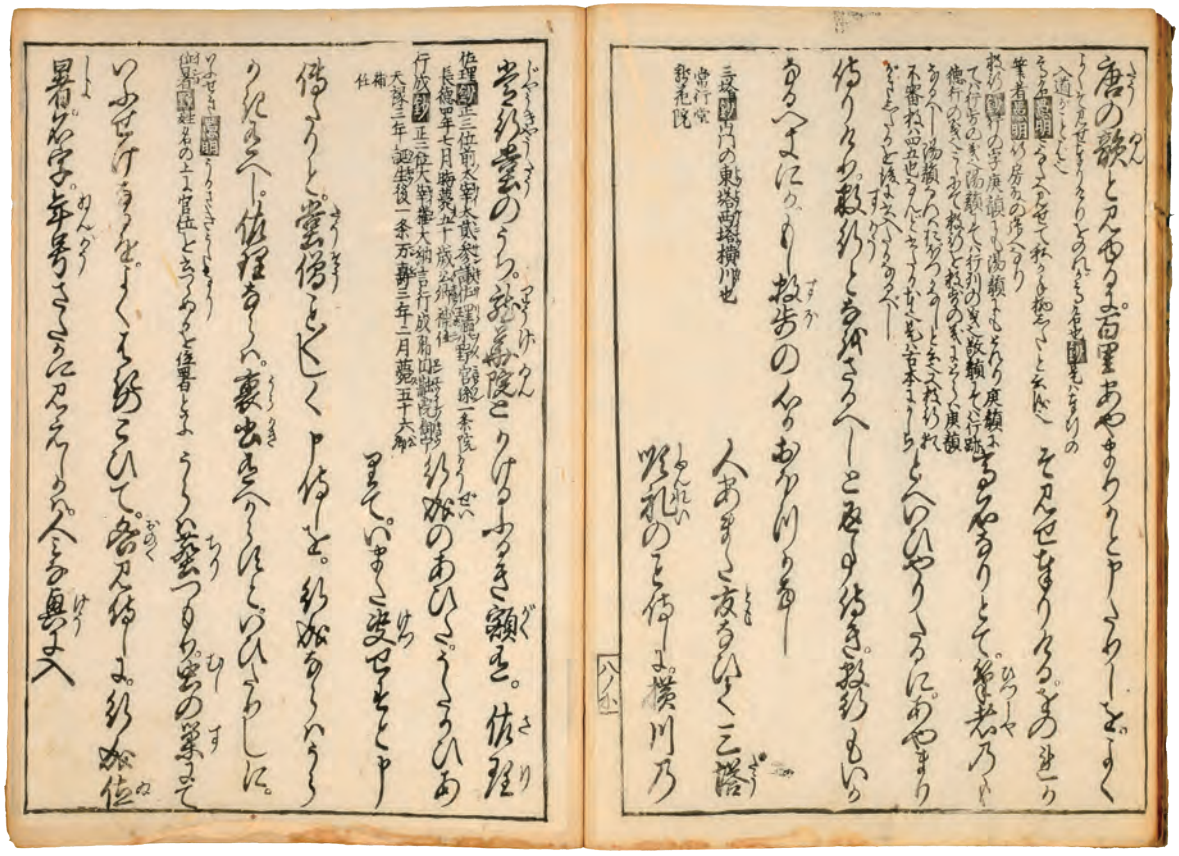
第八冊　13 丁表



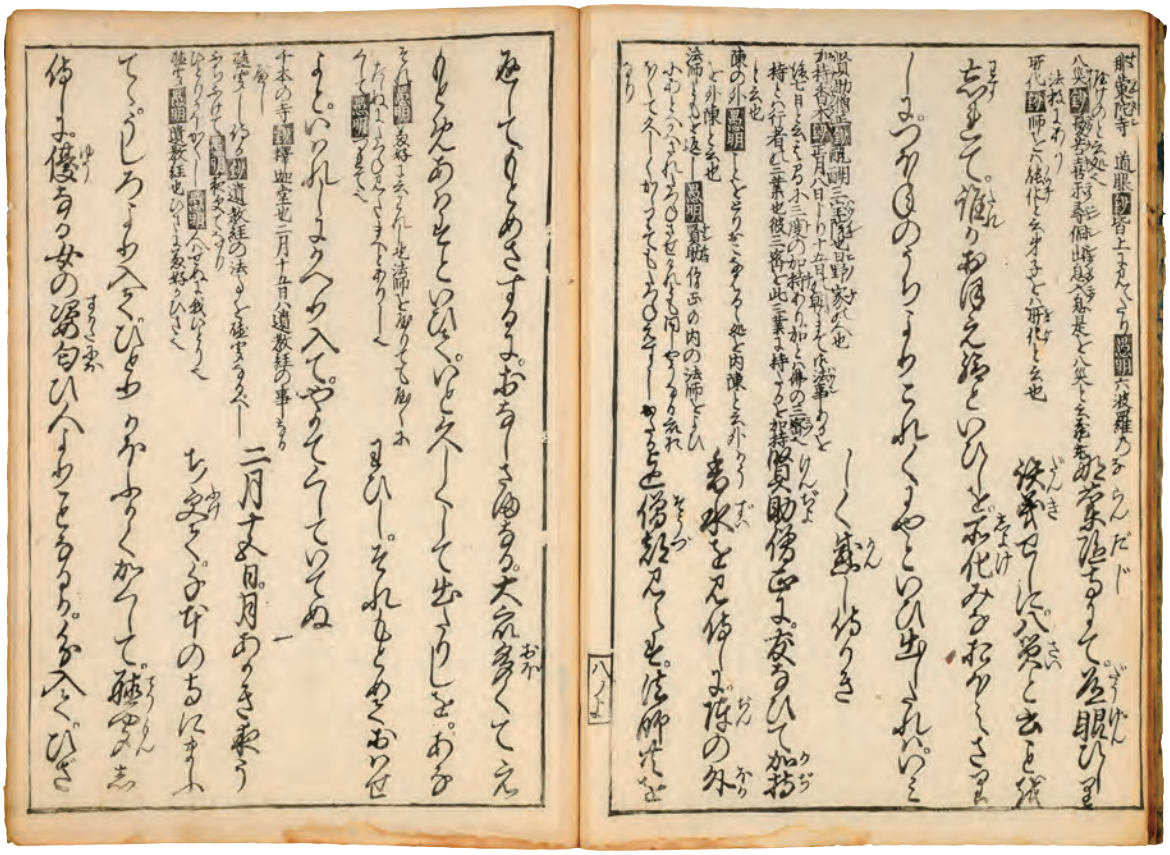
第八冊　12 丁裏



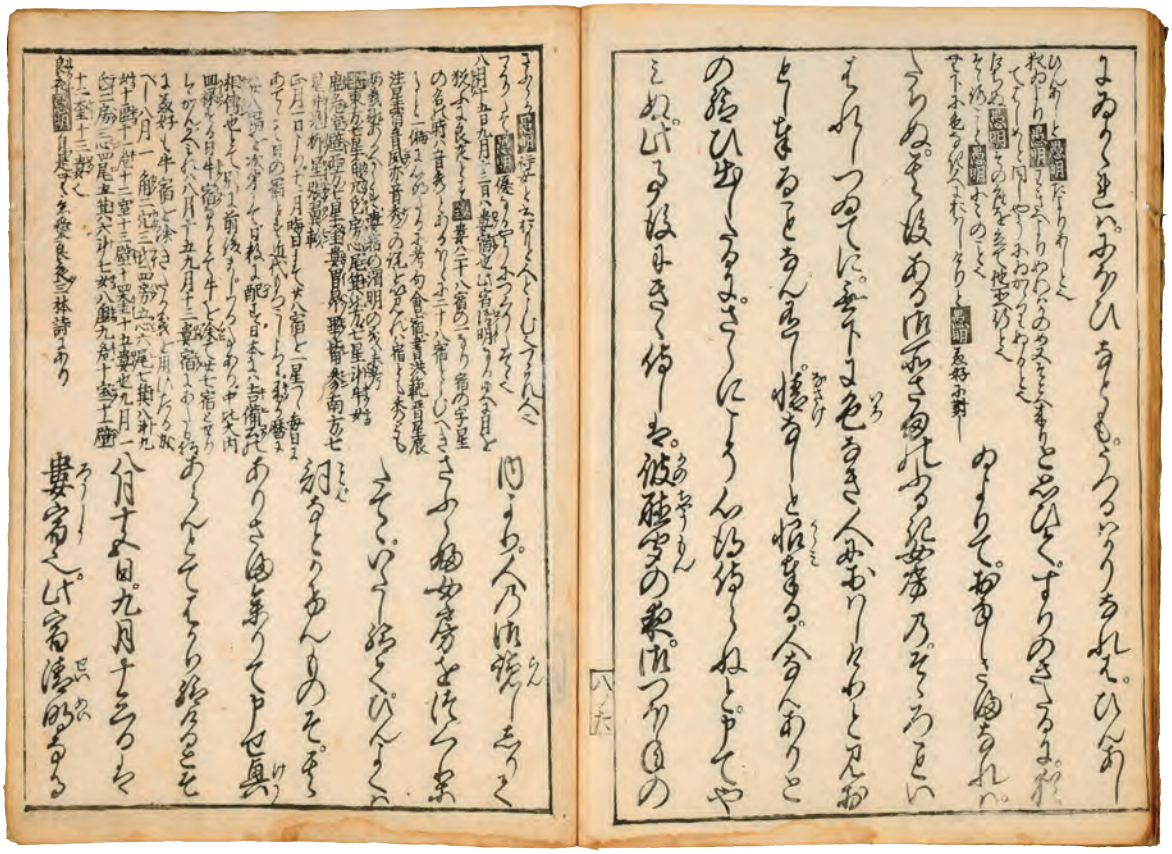
第八冊　13丁裏　　第八冊　14丁表



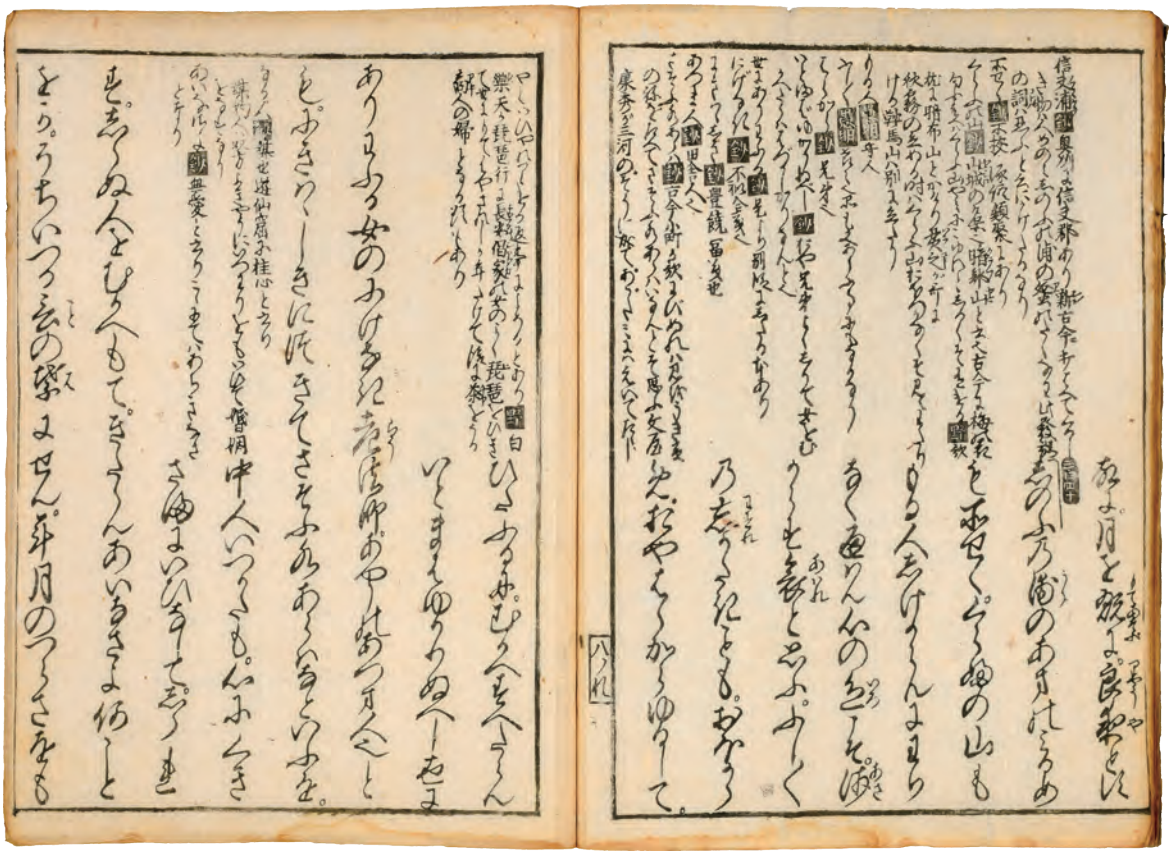
第八冊　14丁裏　　第八冊　15丁表



第八冊　15 丁裏　　第八冊　16 丁表



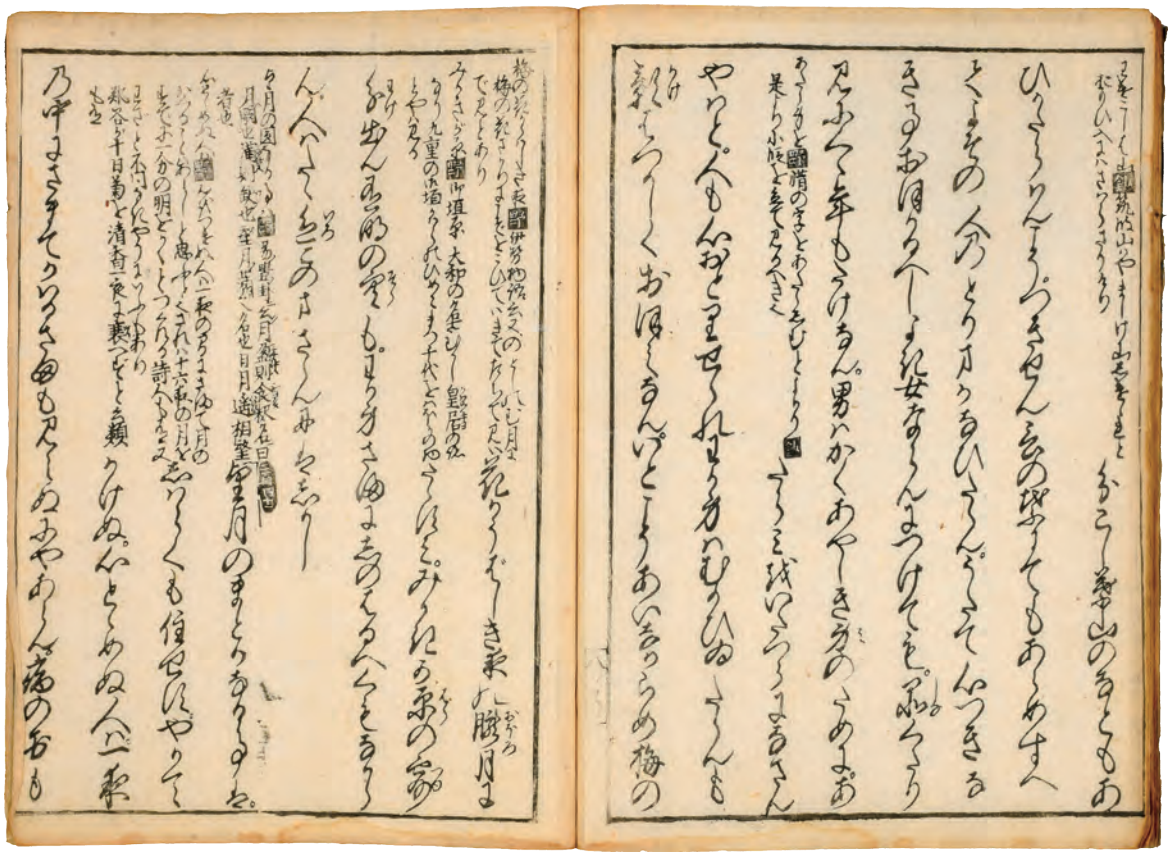
第八冊　16 丁裏　　第八冊　17 丁表



第八冊　17 丁裏



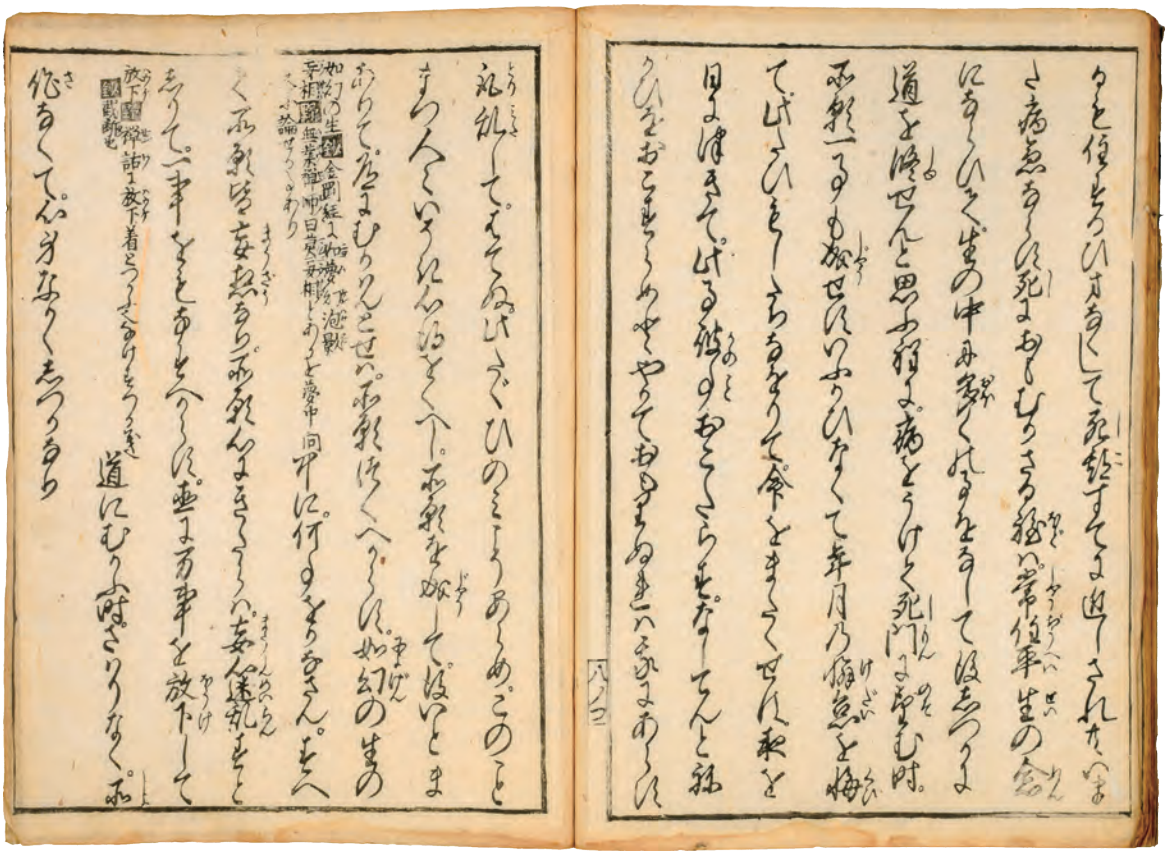
第八冊　18 丁表



第八冊　18 丁裏

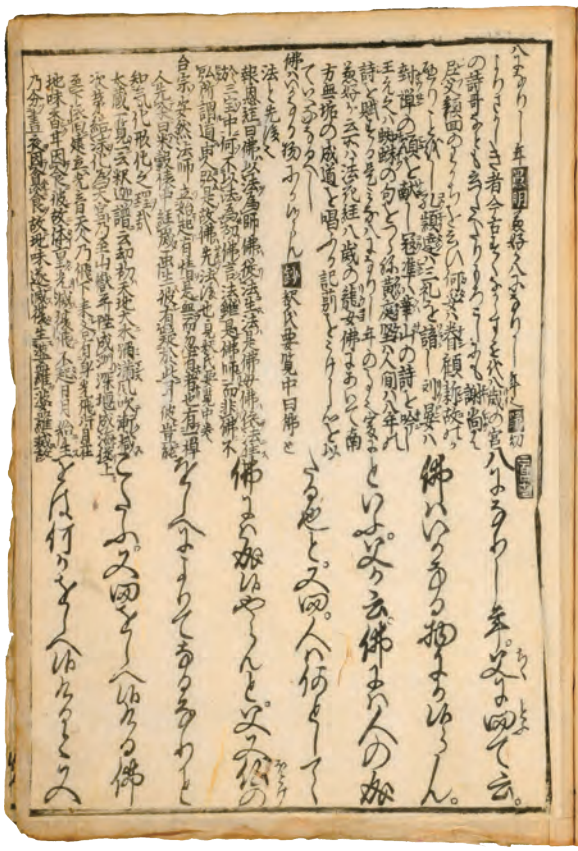


第八冊　19 丁表



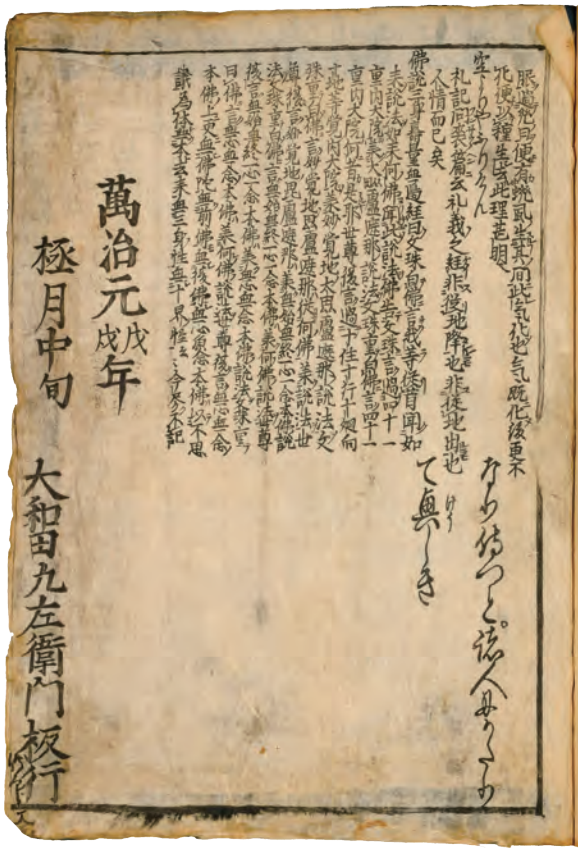
第八冊　19 丁裏　　第八冊　20 丁表

第八冊　20 丁裏　　第八冊　21 丁表　第 39 図



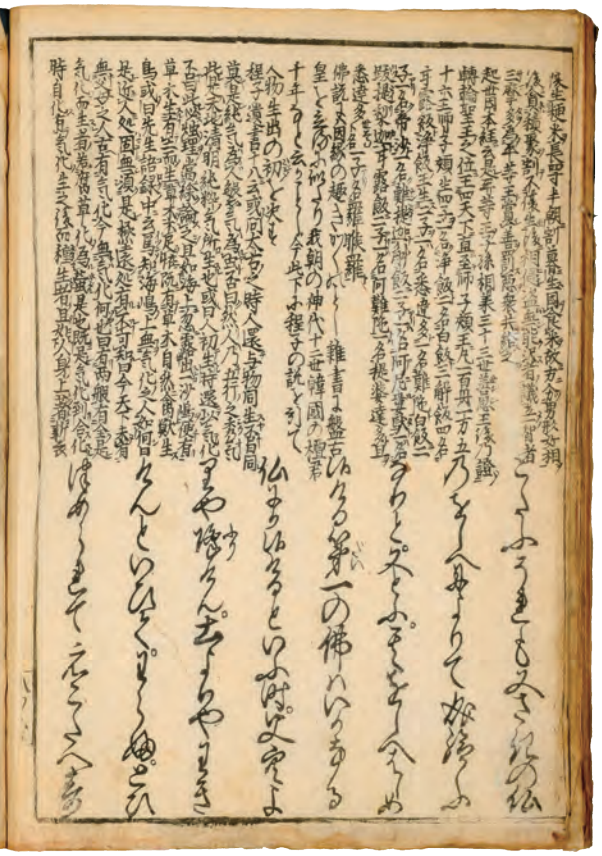
第八冊　22 丁表

第八冊　21 丁裏　第 40 図



萬治元戊年
極月中旬
大和田九左衛門板行

第八冊　裏表紙見返し



第八冊　22 丁裏

第八冊　裏表紙

附記　資料調査に際してご配慮戴き、影印を許可してくださった昭和女子大学図書館に深謝申し上げる。

（さいとう　あきら　本学名誉教授）